

道東自動車道
下トマム地区下部工工事
下トマム橋（下り線）
下部工設計図

令和 8 年 5 月

東日本高速道路株式会社
北海道支社 帯広工事事務所

目 次

1. 下部工数量総括表	1	17. 擁壁工数量総括表	67
2. 全体一般図（その１～２）	2 ～ 3	18. A 1 側 U 型擁壁構造一般図（その１～３）	68 ～ 70
3. 下部工座標図	4	19. A 1 側 U 1 ブロック擁壁配筋図（その１～１０）	71 ～ 80
4. A 1 橋台構造一般図（その１～２）	5 ～ 6	20. A 1 側 U 2 ブロック擁壁配筋図（その１～１０）	81 ～ 90
5. A 1 橋台配筋図（その１～２２）	7 ～ 28	21. A 1 側 U 型擁壁場所打ち杭配筋図（その１～２）	91 ～ 92
6. A 1 橋台場所打ち杭配筋図	29	22. A 1 側 U 型擁壁裏込め排水工詳細図（その１～２）	93 ～ 94
7. A 1 橋台裏込め工詳細図	30	23. A 2 側 L 型擁壁構造一般図（その１～４）	95 ～ 98
8. A 1 橋台土留工詳細図	31	24. A 2 側 L 1 ブロック擁壁配筋図（その１～７）	99 ～ 105
9. P 1 橋脚構造一般図	32	25. A 2 側 L 2 ブロック擁壁配筋図（その１～５）	106 ～ 110
10. P 1 橋脚配筋図（その１～８）	33 ～ 40	26. A 2 側 L 3 ブロック擁壁配筋図（その１～４）	111 ～ 114
11. P 1 橋脚土留工詳細図	41	27. A 2 側 L 4 ブロック擁壁配筋図（その１～５）	115 ～ 119
12. A 2 橋台構造一般図（その１～２）	42 ～ 43	28. A 2 側 L 型擁壁土留工詳細図（その１～５）	120 ～ 124
13. A 2 橋台配筋図（その１～２０）	44 ～ 63		
14. A 2 橋台裏込め工詳細図	64		
15. A 2 橋台土留工詳細図	65		
16. はく落防止対策工図	66		

下部工数量総括表

項目	種 別			単位	A 1 橋台	P 1 橋脚	A 2 橋台	合計	摘 要
客土掘削	土砂 A 1			m3	323. 0	914. 4	442. 9	1, 680. 3	
構造物掘削	特殊部			m3	1, 158. 6	1, 651. 9	1, 227. 4	4, 037. 9	
構造物裏込め工	裏込め工 B 1			m3	－	－	66. 2	66. 2	
基礎材	B 1			m3	26. 7	25. 1	－	51. 8	
地下排水工	Du-P φ0. 15-0. 50-0. 50			m	6. 2	－	7. 2	13. 4	※別途工事
基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1500）			m	66. 0	－	－	66. 0	
コンクリート	A 1－3			m3	506. 9	98. 4	389. 9	995. 2	σ ck=30N/mm2
	B 2－1			m3	371. 9	278. 3	280. 5	930. 7	σ ck=24N/mm2
	D 1－1			m3	62. 7	12. 5	139. 9	215. 1	σ ck=18N/mm2
型わく	C			m2	635. 6	233. 3	538. 5	1, 407. 4	
	D			m2	15. 6	4. 5	29. 4	49. 5	
	R			m2	52. 0	－	60. 2	112. 2	
鉄筋	躯体	A	D16～D25	t	2. 323	4. 798	2. 632	9. 753	SD345
			D29～D32	t	11. 499	9. 369	4. 492	25. 360	〃
			D35	t	20. 294	－	－	20. 294	〃
			D38	t	－	0. 750	7. 896	8. 646	〃
			D41	t	11. 439	－	－	11. 439	〃
			計	t	45. 555	14. 917	15. 020	75. 492	〃
		B	D38	t	－	19. 515〔148〕	－	19. 515〔148〕	〃
			計	t	－	19. 515〔148〕	－	19. 515〔148〕	〃
		C	D16～D25	t	2. 661〔296〕	2. 057〔391〕	1. 003〔144〕	5. 721〔831〕	〃
			計	t	2. 661〔296〕	2. 057〔391〕	1. 003〔144〕	5. 721〔831〕	〃
		A（E）	D13	t	0. 182	－	0. 112	0. 294	SD345（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
			D16～D25	t	10. 153	－	4. 150	14. 303	〃
			D29～D32	t	12. 311	－	7. 583	19. 894	〃
			D35	t	－	－	15. 391	15. 391	〃
			D38	t	－	－	11. 776	11. 776	〃
			計	t	22. 646	－	39. 012	61. 658	〃
		B（E）	D16～D25	t	1. 086〔24〕	－	1. 930〔43〕	3. 016〔67〕	〃
			D29～D32	t	0. 858〔59〕	－	－	0. 858〔59〕	〃
			D38	t	8. 969〔80〕	－	8. 627〔117〕	17. 596〔197〕	〃
			計	t	10. 913〔163〕	－	10. 557〔160〕	21. 470〔323〕	〃
		C（E）	D16～D25	t	2. 653〔378〕	－	0. 339〔132〕	2. 992〔510〕	〃
			D29～D32	t	－	－	2. 408〔140〕	2. 408〔140〕	〃
			計	t	2. 653〔378〕	－	2. 747〔272〕	5. 400〔650〕	〃
		B（H）	D51	t	－	11. 642〔52〕	－	11. 642〔52〕	SD490
			計	t	－	11. 642〔52〕	－	11. 642〔52〕	〃
	基礎	A	D16～D25	t	1. 476	－	－	1. 476	SD345
			計	t	1. 476	－	－	1. 476	〃
		Y	D13	t	0. 024	－	－	0. 024	〃
			D16～D25	t	5. 340	－	－	5. 340	〃
			D35	t	20. 388	－	－	20. 388	〃
			計	t	25. 752	－	－	25. 752	〃
はく落防止対策工		A	m2	7. 4	－	1. 7	9. 1		

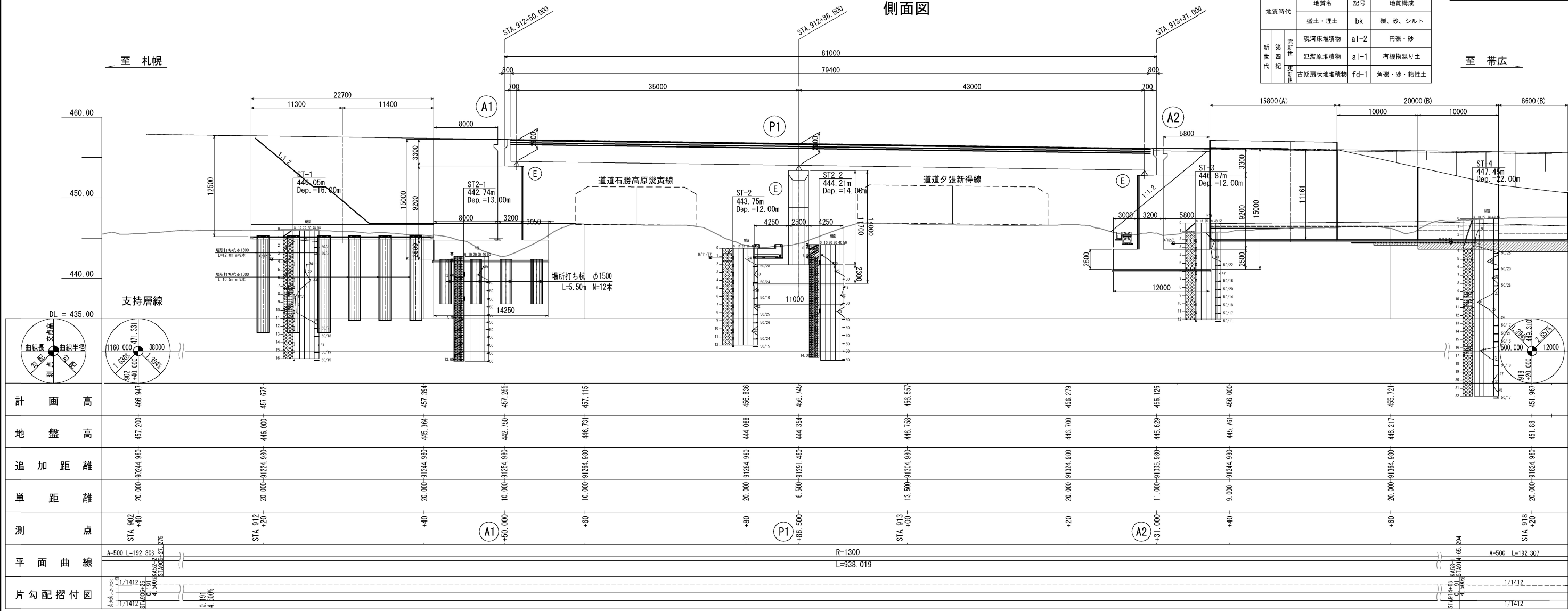
注1）〔 〕内は鉄筋の機械継手箇所数を示す。
注2）（ ）内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） 数量総括表		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

下トナム橋（下り線）全体一般図（その1） S=1:500
側面図

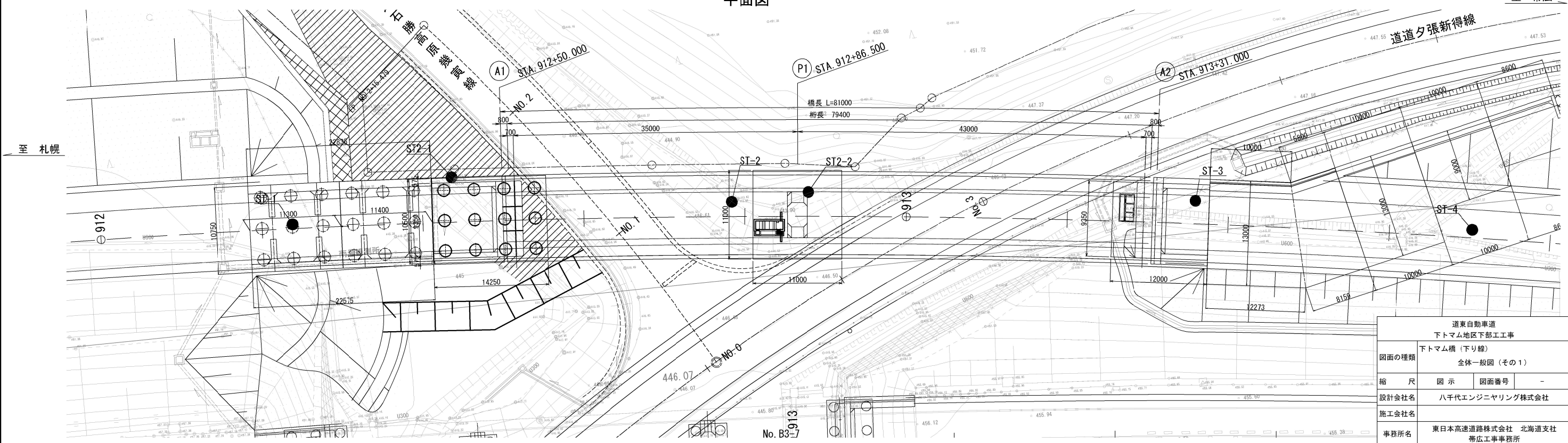
地質構成一覧表			
地質時代	地質名	記号	地質構成
新 世 代	礫土・埋土	bk	礫、砂、シルト
	現河床堆積物	a1-2	円礫・砂
	氾濫原堆積物	a1-1	有機物混り土
第四紀 更新世	古期扇状地堆積物	fd-1	角礫・砂・粘性土

至 帯広



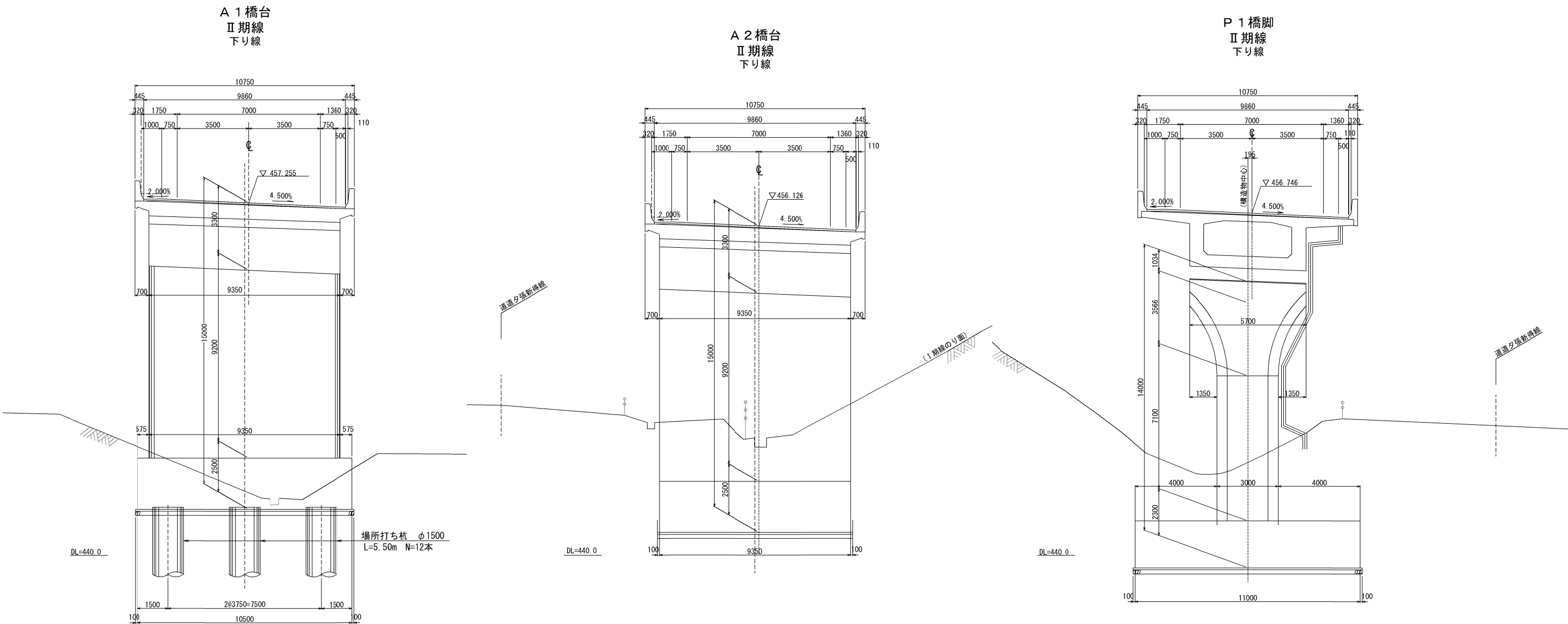
平面図

至 帯広

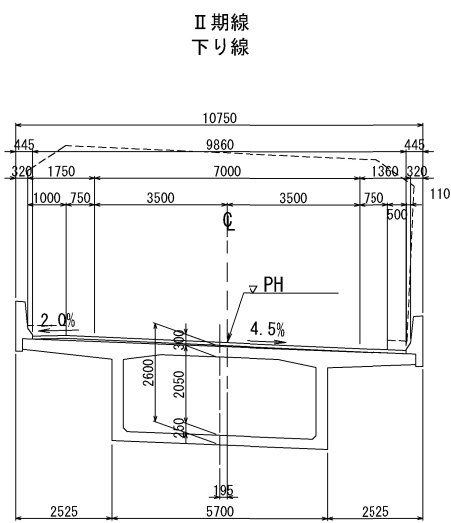


道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） 全体一般図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

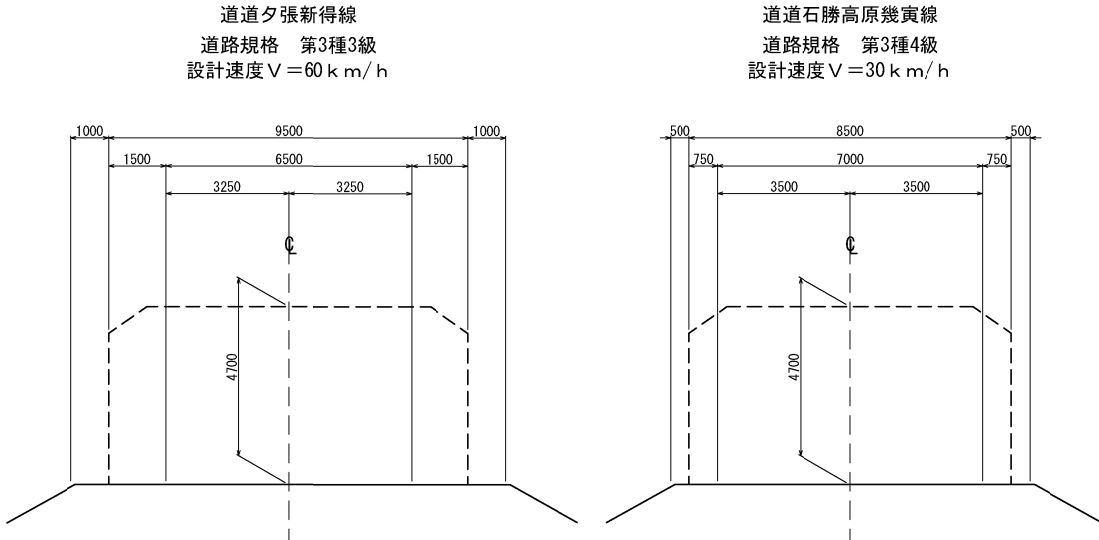
下部工正面図 S=1:200



上部工標準断面図 S=1:200

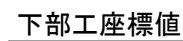


交差物件 S=1:200



設計条件			
橋長	81.000 m	桁長	79.400 m
道路規格	第1種 2 級 B 規格 設計速度 V =100 km/h		
活荷重	B 活荷重		
支間割	35.000+43.000 m		
有効幅員	10.110 m (右側路肩拡幅)		
斜角	A1橋台: 90° 00' 00", A2橋台: 90° 00' 00"		
平面線形	R= 1300 m		
横断勾配	4.500%		
縦断勾配	1.394%		
橋の重要度	B種の橋		
設計水平震度	I 種地盤 kh = Cz · kho = 0.85 × 0.20 = 0.17		
構造形式	上部構造: PC 2 径間連続箱桁橋 (支保工施工)		
	下部構造: 逆 T 式橋台 (A1, A2橋台), 張出式橋脚 (P1橋脚)		
基礎構造	A1橋台 オールシング 工法場所打ち杭 φ1500 (N=12本)		
	基礎構造: P1橋脚, A2橋台 直接基礎		
支持層	古期扇状地堆積物 (f c) N値 34		
材料	上部工	コンクリート	σck= 36 N/mm2 (主 桁)
		コンクリート	σck= 30 N/mm2 (壁高欄)
		P C 鋼 材	SWPR19BL 19S15.2
		鉄 筋	SD345
	下部工	コンクリート	σck= 30 N/mm2 [躯体]
		鉄 筋	SD345
	基礎工	コンクリート	σck= 30 N/mm2
		鉄 筋	SD345
適用示方書	道路橋示方書・同解説 (平成29年11月) 設計要領第二集 (平成28年8月)		

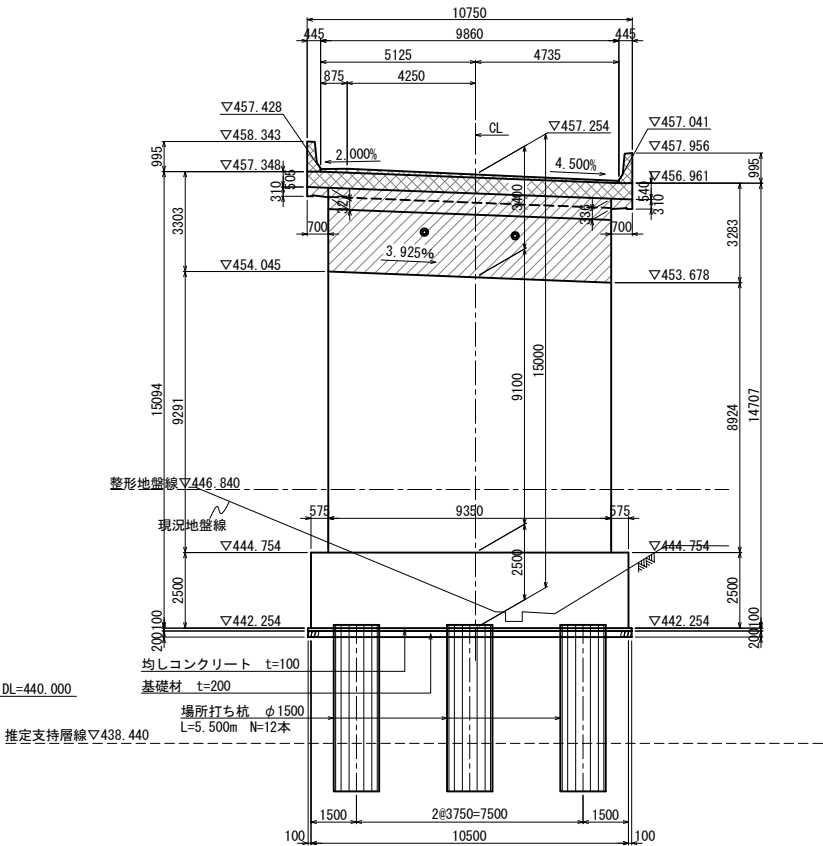
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） 全体一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



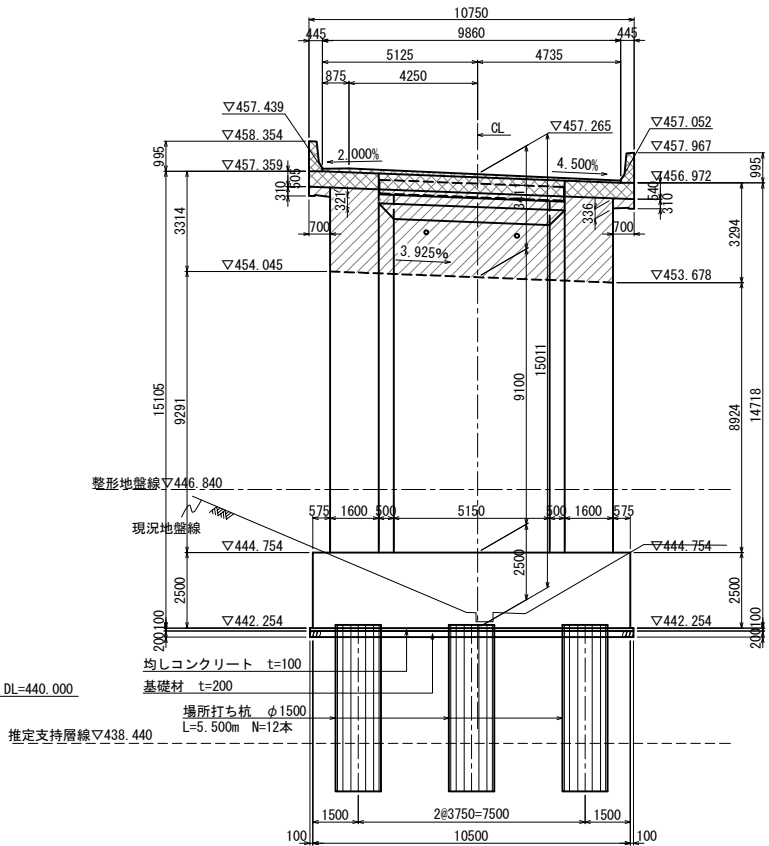
位置	番号	A1		P1		A2	
		X	Y	X	Y	X	Y
道路中心	CL	-103689.8073	23031.2155	-103692.9838	23067.5758	-103698.2353	23111.7627
構造物中心	GCL	-103689.6128	23031.2298	-103692.7898	23067.5955	-103698.0421	23111.7890
支中心	SL	-103687.7286	23032.8718	-103691.0487	23067.7723	-103695.8576	23110.5726
	SR	-103691.7179	23032.5796	-103694.5308	23067.4188	-103699.8221	23110.0326
フーチング	F1	-103683.7342	23022.8367	-103686.7624	23062.6792	-103692.6809	23107.0695
	F2	-103694.2061	23022.0698	-103697.7061	23061.5681	-103701.9453	23105.8073
	F3	-103695.2469	23036.2818	-103698.8172	23072.5119	-103703.5652	23117.6975
	F4	-103684.7749	23037.0486	-103687.8734	23073.6229	-103694.3008	23118.9597
ウィング	W1	-103684.3076	23022.7947	-	-	-103703.5652	23117.6975
	W2	-103685.9033	23022.6778	-	-	-103702.4753	23117.8460
	W3	-103692.0369	23022.2287	-	-	-103695.3907	23118.8112
	W4	-103693.6327	23022.1118	-	-	-103694.3008	23118.9597
杭中心	K1	-103685.3397	23024.2231	-	-	-	-
	K2	-103692.8197	23023.6754	-	-	-	-
	K3	-103693.6413	23034.8953	-	-	-	-
	K4	-103686.1614	23035.4431	-	-	-	-

道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類		下トマム橋（下り線） 下部工座標図		
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

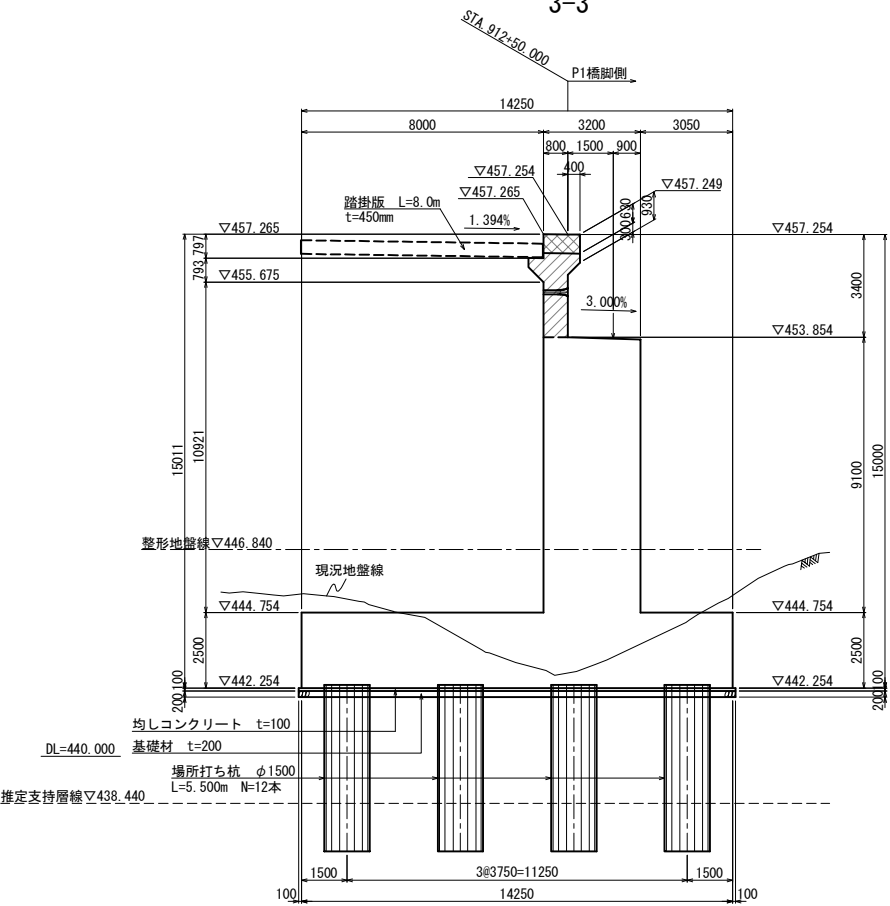
正面図
1-1



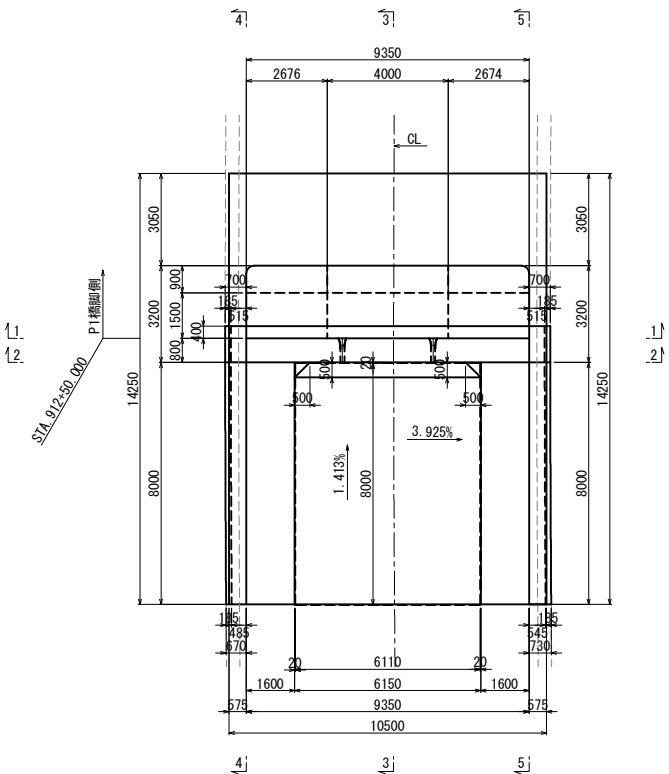
背面図
2-2



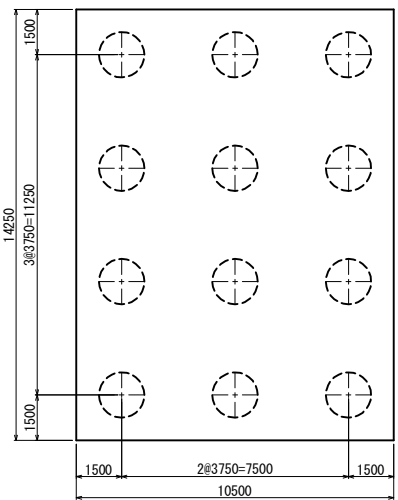
側面図
3-3



平面図

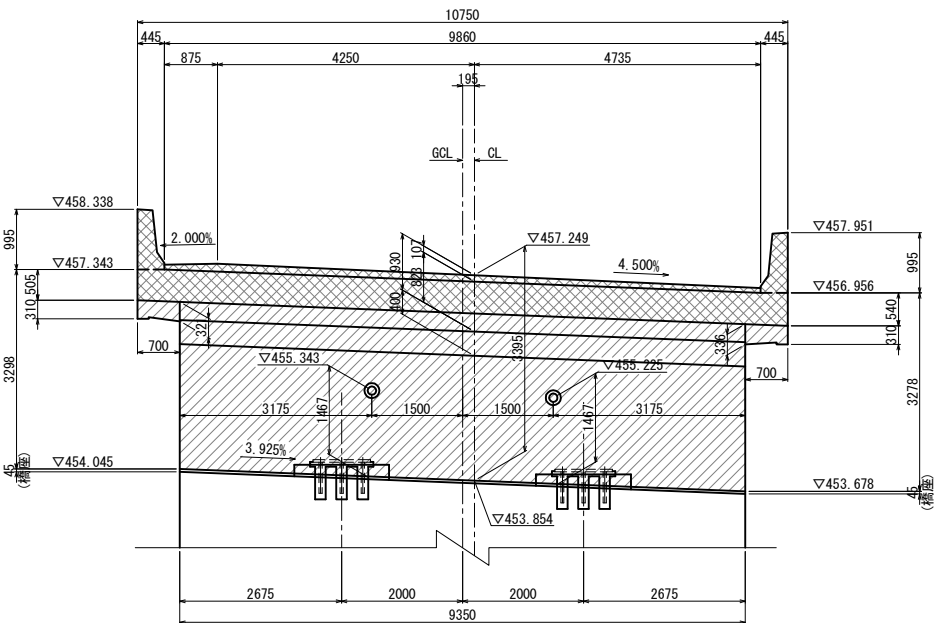


杭配置図

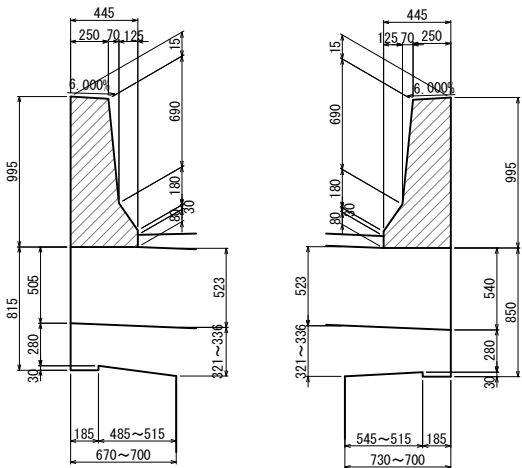


アゴ部前面図

S=1:125



張出し部及び壁高欄詳細図 S=1:50



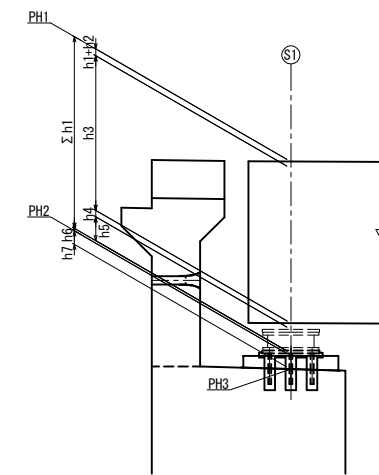
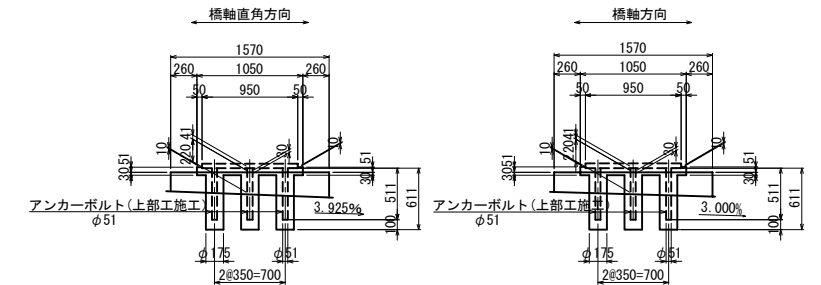
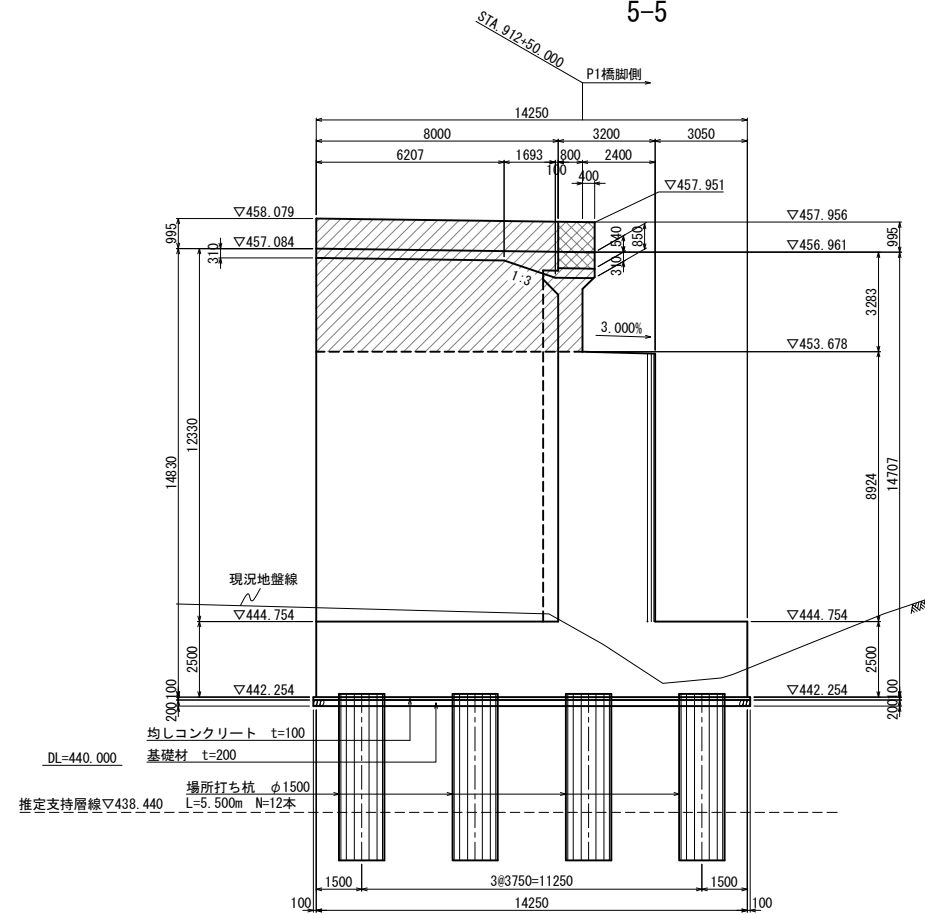
※ ハッチング部 は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部 は上部工施工を示す。

下部工施工材料基準強度

	コンクリート	鉄 筋
躯体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	-

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台構造一般図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

支 承 詳 細 図 S=1:75



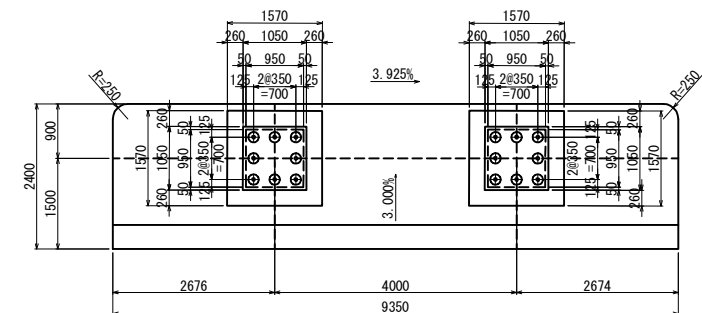
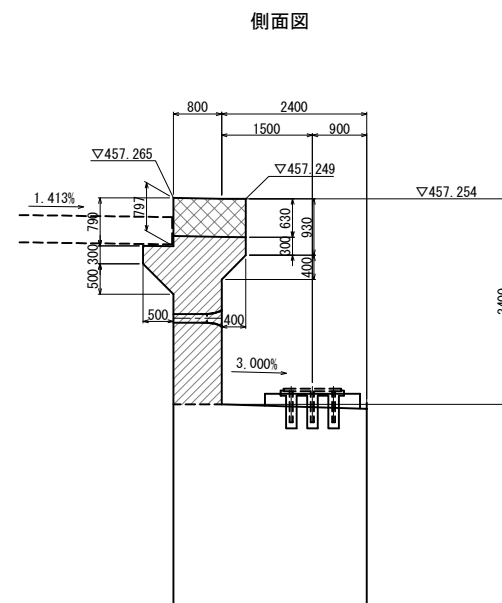
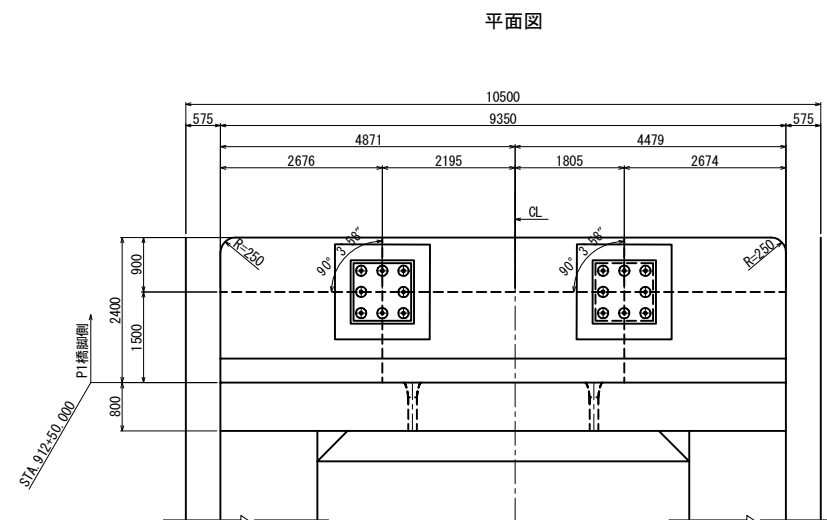
構造高表（支承ライン）

		S1 (A1 支承横断ライン)			
		SL	GCL	CL	SR
計 画 高	PH1	457.332	457.242	457.233	457.152
舗 装 厚	h1	0.080			0.080
調整コンクリート	h2	0.040			0.017
桁 高	h3	2.600			2.600
レ ア ー 厚	h4	0.060			0.060
支 承 高	h5	0.396			0.396
小 計	Σ h1	3.176			3.153
モルタル天端高	PH2	454.156			453.999
宥座モルタル高	h6	0.041			0.041
台 座 高	h7	0.220			0.220
橋 座 高	PH3	453.895	453.817	453.809	453.738
横 断 勾 合 計	i	-3.925%			
構 造 高 合 計	Σ h	3.437	3.425	3.424	3.414

※調整コンクリートは主桁コンクリートと同時に打設する。

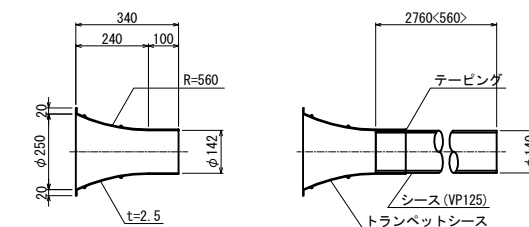
橋座面詳細平面図 S=1:125

橋座面詳細図 S=1:125



トランペットシース及び箱抜き詳細図 S=1:25
(上部工施工)

トランペットシース
(ポリエチレン)



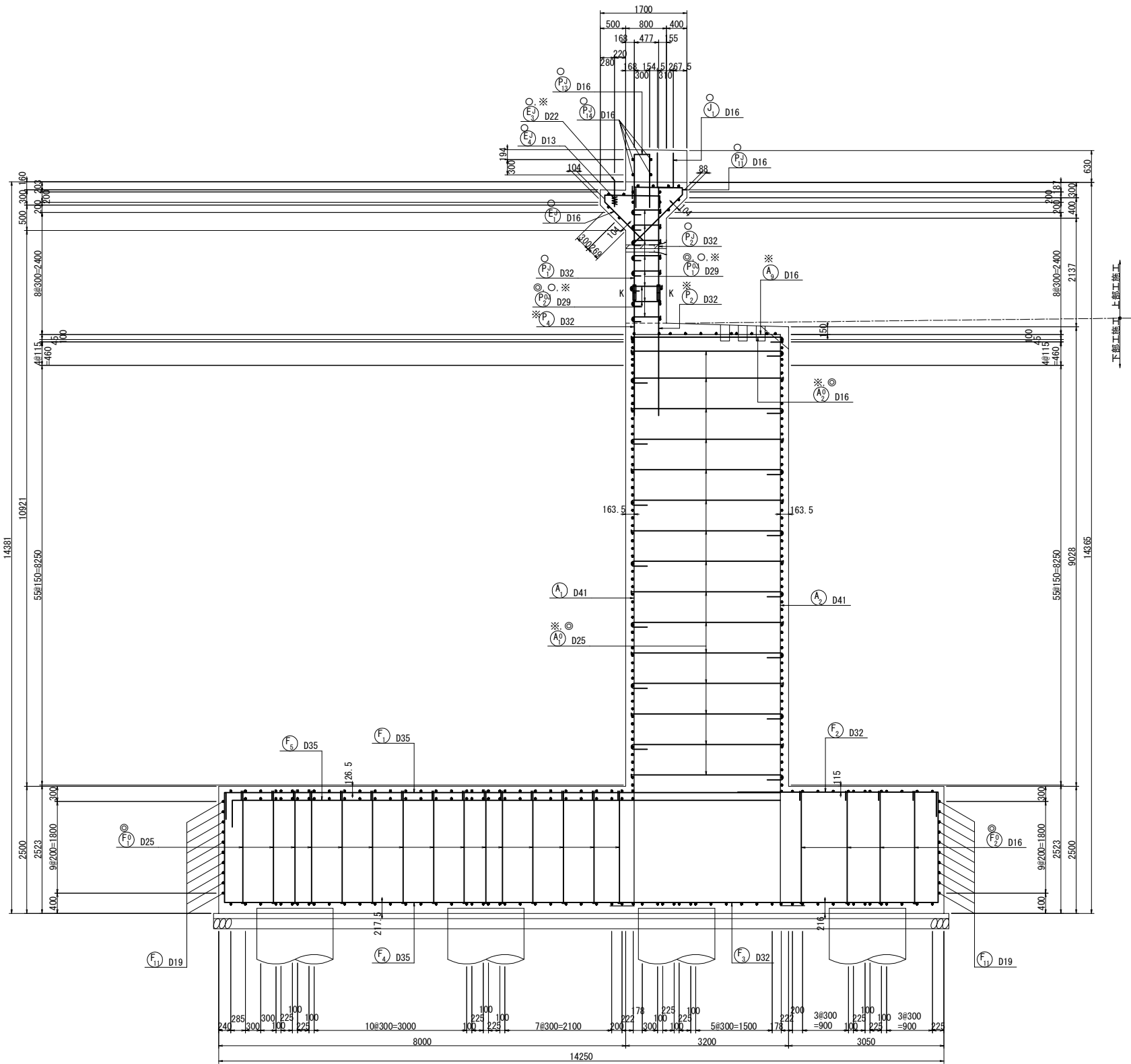
※トランペットソースはコンクリート打設前にセットする。

※スーはコンクリート打設前にセットする。
※〈 〉内寸法は、下部工側を示す。

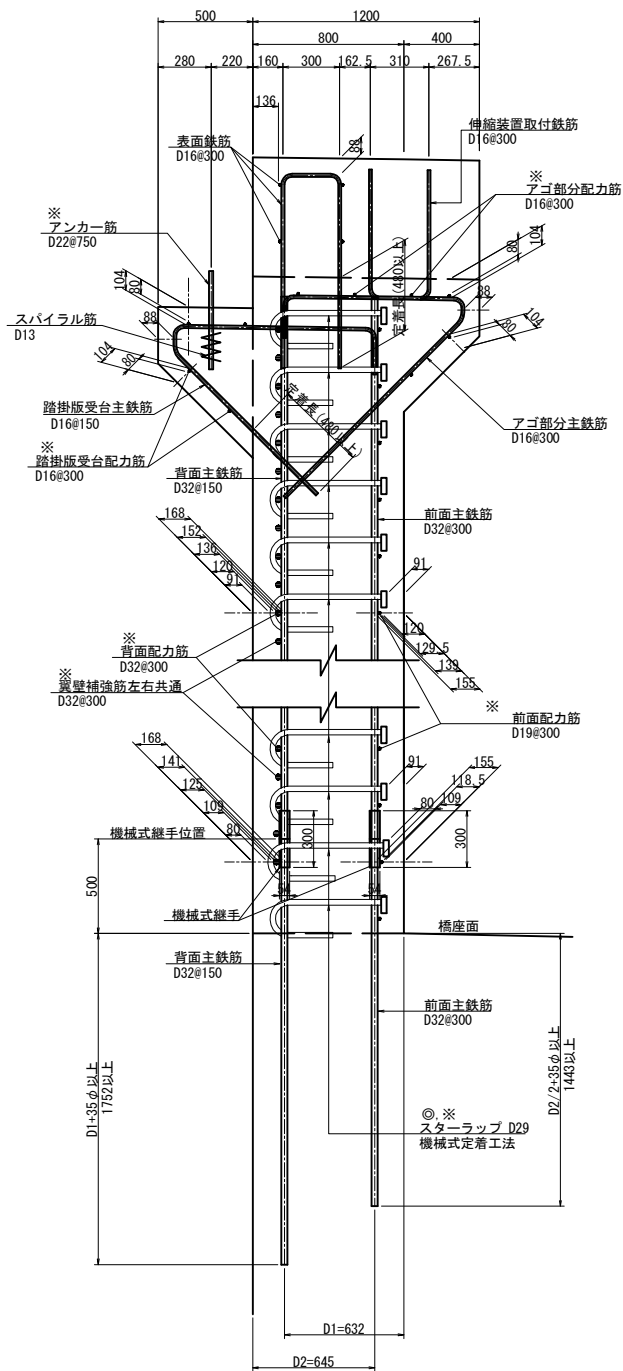
※ ハッチング部 は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部 は上部工施工を示す。

道東自動車道 下トママ地区下土工工事				
図面の種類		下トママ橋（下り線） A 1 橋台構造一般図（その2）		
縮	尺	図 示	図面番号	-
設計会社名		八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

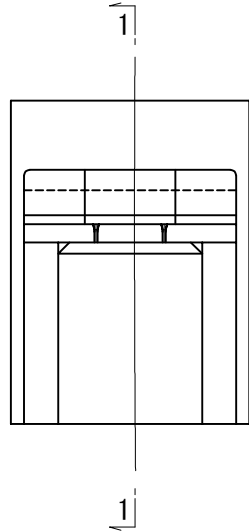
1 - 1



かぶり詳細図
パラペット

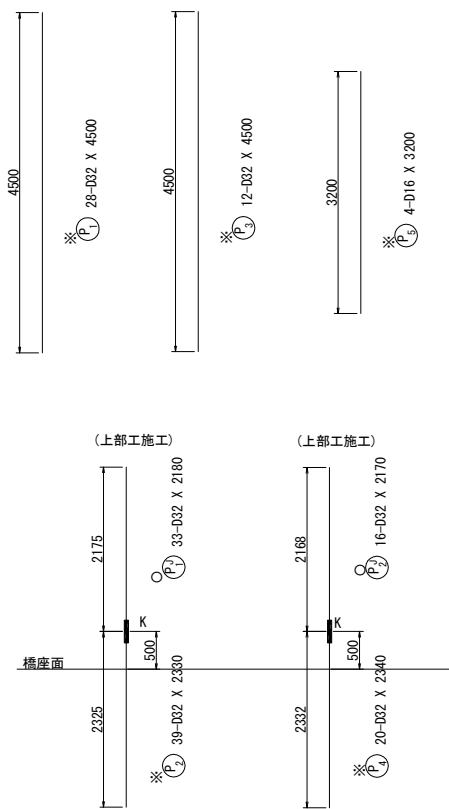


平面図

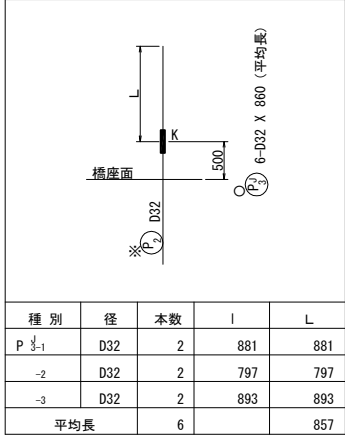


注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) ≡印は機械継手位置を表す。

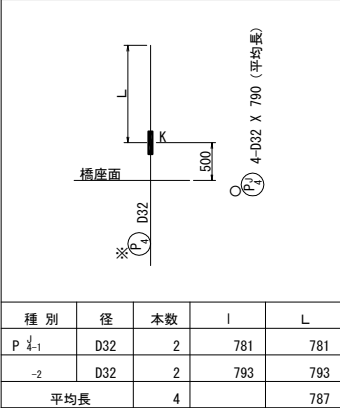
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



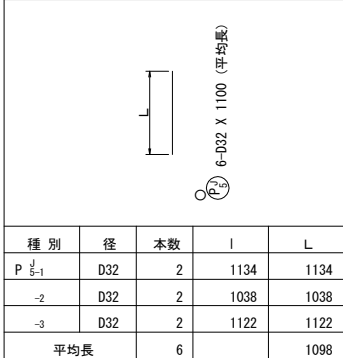
変化鉄筋表



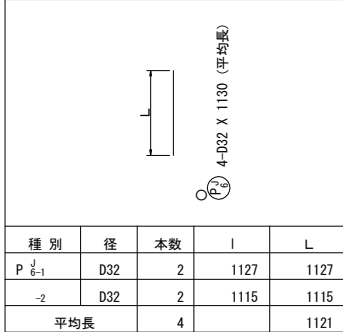
変化鉄筋表



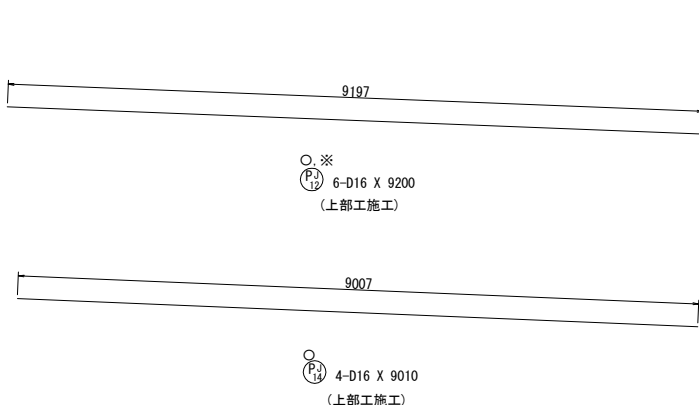
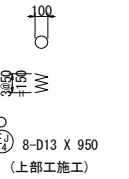
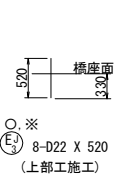
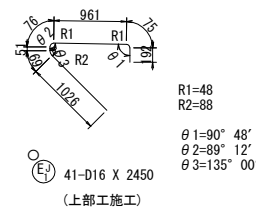
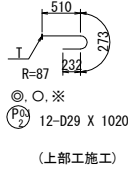
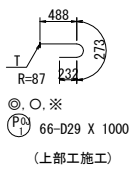
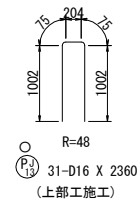
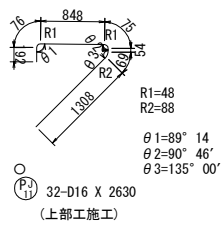
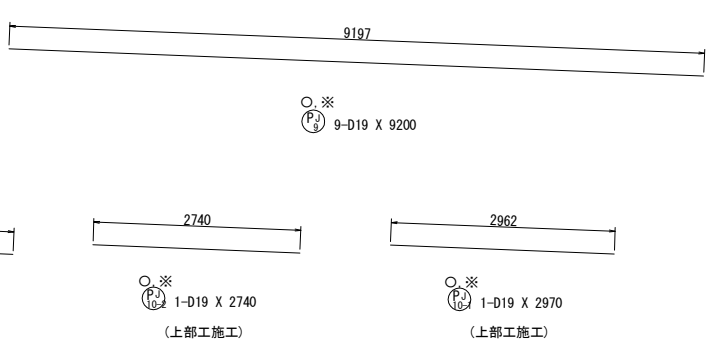
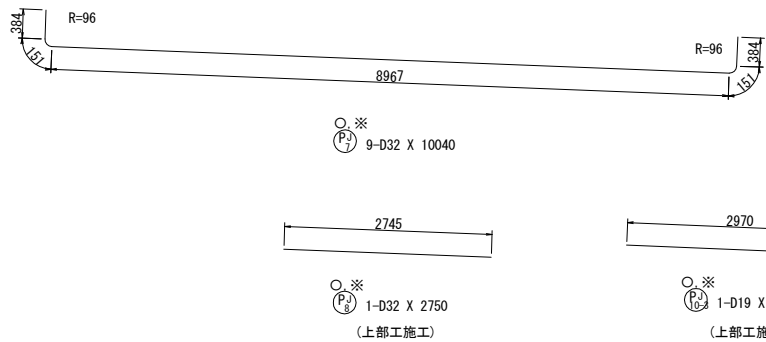
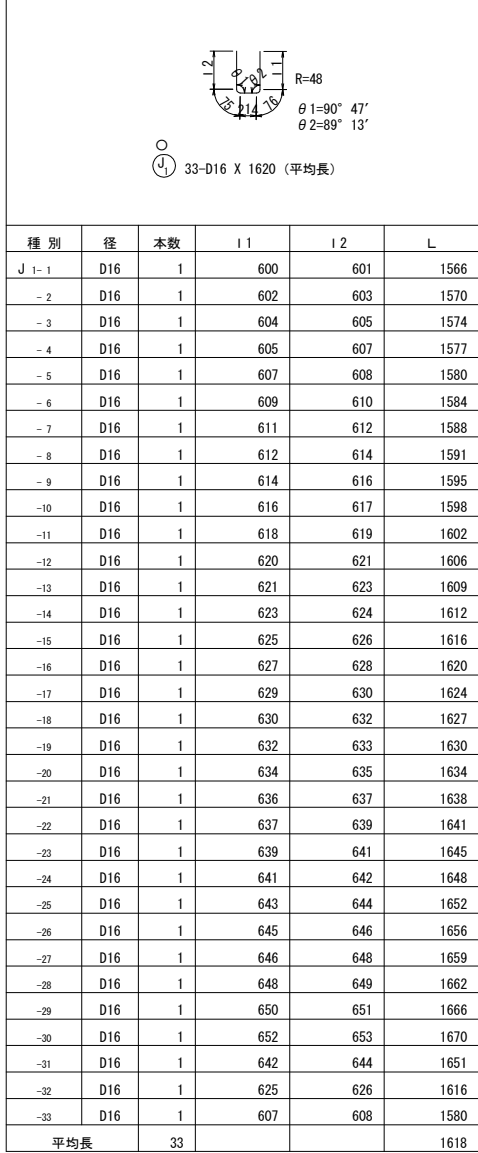
変化鉄筋表



変化鉄筋表



変化鉄筋表



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 3）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

Technical drawings of the bridge deck cross-sections A-A and B-B, and the reinforcement layout.

Section A-A: Shows the cross-section of the bridge deck. The total width is 1570 mm. The deck is 100 mm thick. The reinforcement consists of 40-D16 bars (S₁) and 8-D16 bars (S₂). The spacing between the bars is 240 mm. The deck is supported by a 300 mm wide base. The reinforcement is shown in a grid pattern.

Section B-B: Shows the cross-section of the bridge deck. The total width is 1570 mm. The deck is 100 mm thick. The reinforcement consists of 40-D16 bars (S₁) and 8-D16 bars (S₂). The spacing between the bars is 240 mm. The deck is supported by a 300 mm wide base. The reinforcement is shown in a grid pattern.

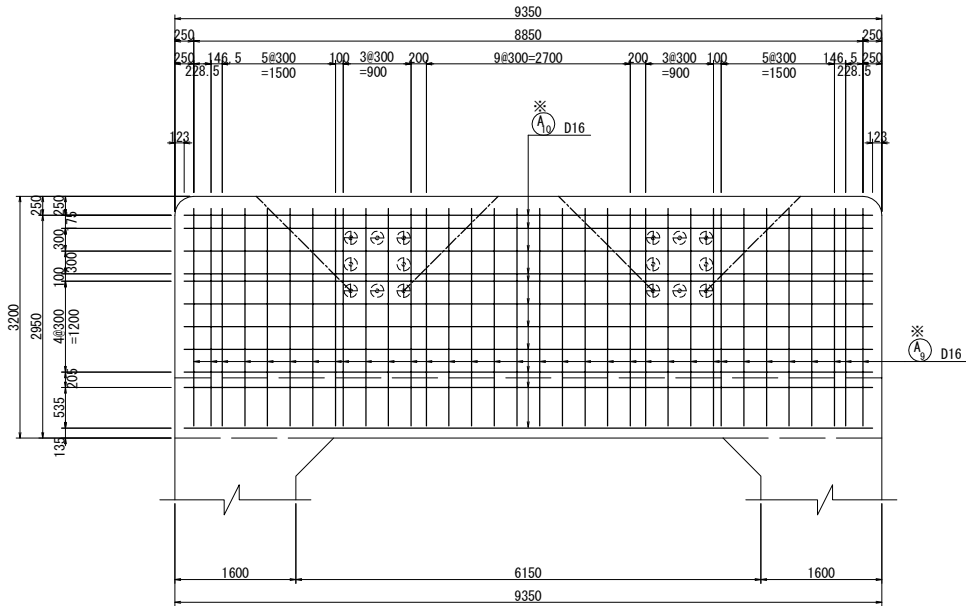
Reinforcement Layout: Shows the reinforcement layout for the bridge deck. The total width is 1570 mm. The reinforcement consists of 40-D16 bars (S₁) and 8-D16 bars (S₂). The spacing between the bars is 240 mm. The reinforcement is shown in a grid pattern.

Dimensions:

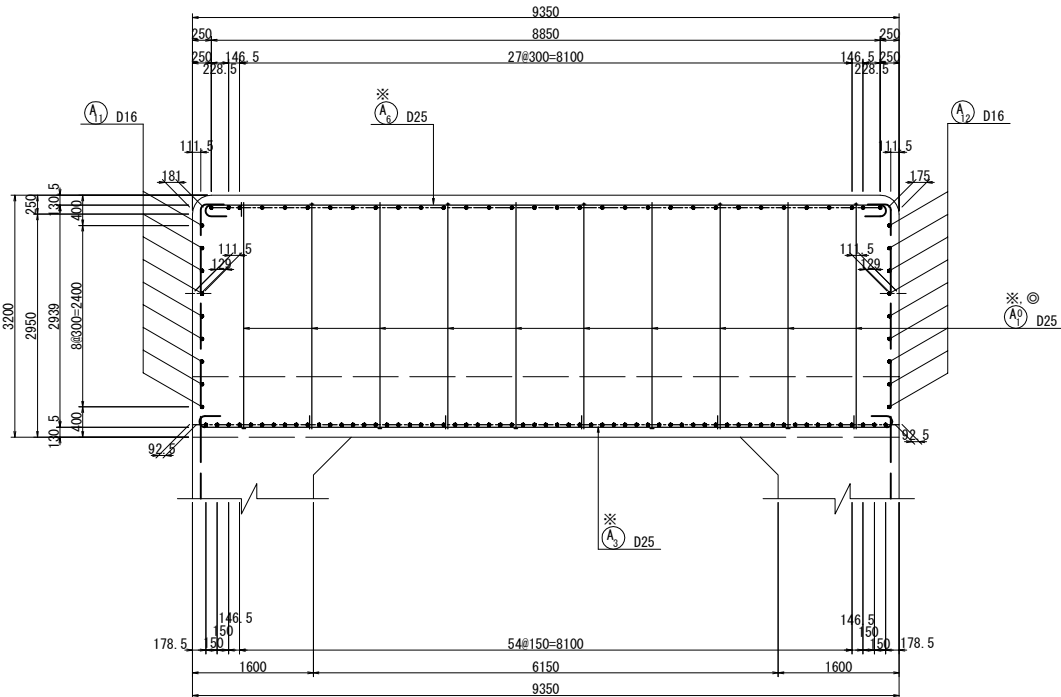
- Section A-A: 1570 mm (width), 100 mm (thickness), 300 mm (base width), 240 mm (bar spacing), 40-D16 (S₁), 8-D16 (S₂).
- Section B-B: 1570 mm (width), 100 mm (thickness), 300 mm (base width), 240 mm (bar spacing), 40-D16 (S₁), 8-D16 (S₂).
- Reinforcement Layout: 1570 mm (width), 240 mm (bar spacing), 40-D16 (S₁), 8-D16 (S₂).

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A1橋台配筋図（その４）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

1 - 1

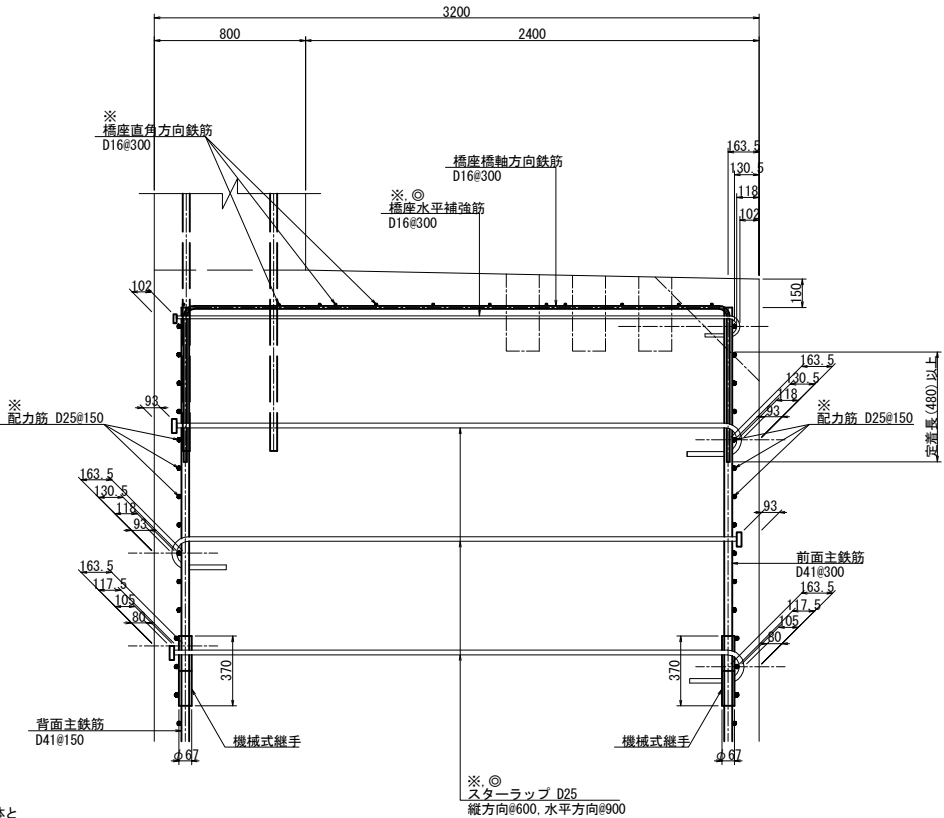


3 - 3

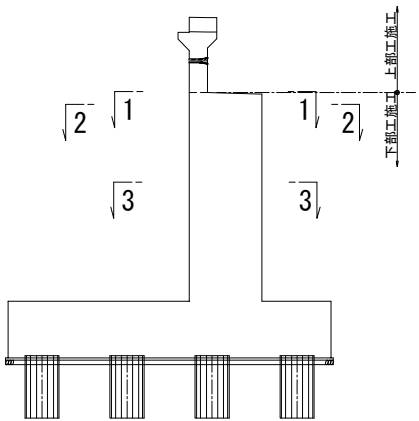


かぶり詳細図 S=1:40

縦壁



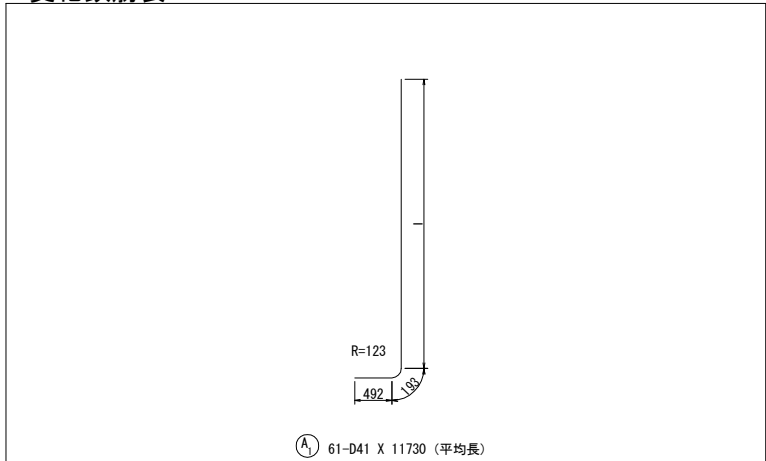
位置図



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K 印は機械継手位置を表す。

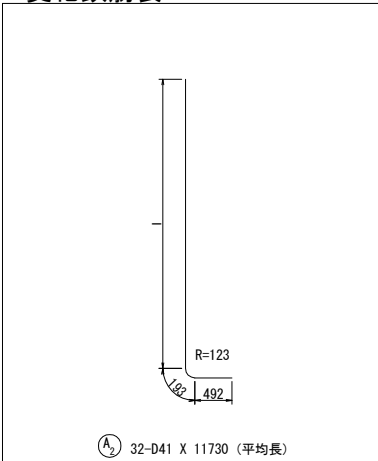
道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その6）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

変化鉄筋表

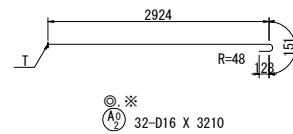
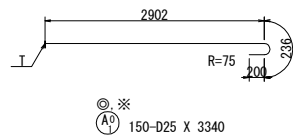
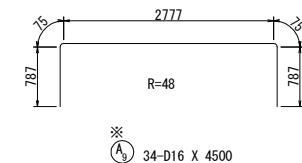
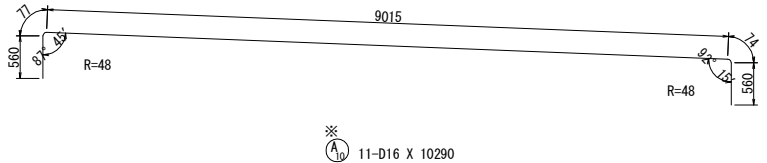
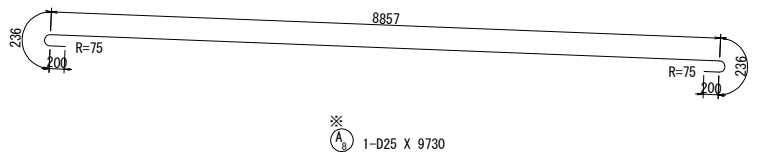
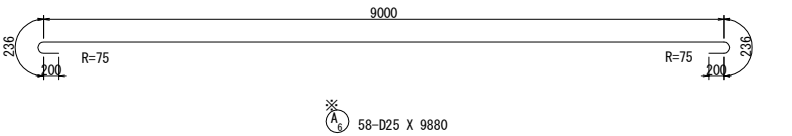
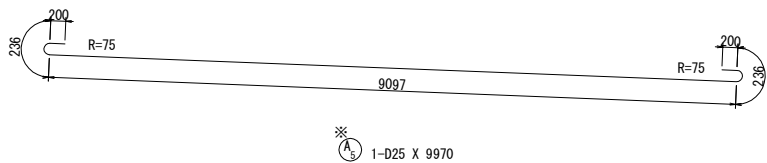
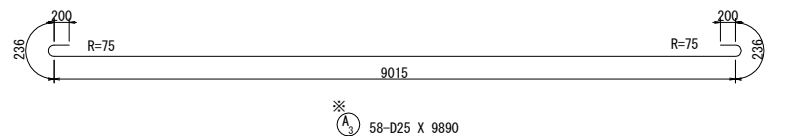


種 別	径	本数	I	L	種 別	径	本数	I	L
A 1-1	D41	1	10866	11551	A 1-32	D41	1	11048	11733
- 2	D41	1	10872	11557	-33	D41	1	11054	11739
- 3	D41	1	10877	11562	-34	D41	1	11060	11745
- 4	D41	1	10883	11568	-35	D41	1	11066	11751
- 5	D41	1	10889	11574	-36	D41	1	11072	11757
- 6	D41	1	10895	11580	-37	D41	1	11077	11762
- 7	D41	1	10901	11586	-38	D41	1	11083	11768
- 8	D41	1	10907	11592	-39	D41	1	11089	11774
- 9	D41	1	10913	11598	-40	D41	1	11095	11780
-10	D41	1	10919	11604	-41	D41	1	11101	11786
-11	D41	1	10924	11609	-42	D41	1	11107	11792
-12	D41	1	10930	11615	-43	D41	1	11113	11798
-13	D41	1	10936	11621	-44	D41	1	11119	11804
-14	D41	1	10942	11627	-45	D41	1	11125	11810
-15	D41	1	10948	11633	-46	D41	1	11130	11815
-16	D41	1	10954	11639	-47	D41	1	11136	11821
-17	D41	1	10960	11645	-48	D41	1	11142	11827
-18	D41	1	10966	11651	-49	D41	1	11148	11833
-19	D41	1	10972	11657	-50	D41	1	11154	11839
-20	D41	1	10977	11662	-51	D41	1	11160	11845
-21	D41	1	10983	11668	-52	D41	1	11166	11851
-22	D41	1	10989	11674	-53	D41	1	11172	11857
-23	D41	1	10995	11680	-54	D41	1	11178	11863
-24	D41	1	11001	11686	-55	D41	1	11183	11868
-25	D41	1	11007	11692	-56	D41	1	11189	11874
-26	D41	1	11013	11698	-57	D41	1	11195	11880
-27	D41	1	11019	11704	-58	D41	1	11201	11886
-28	D41	1	11024	11709	-59	D41	1	11207	11892
-29	D41	1	11030	11715	-60	D41	1	11213	11898
-30	D41	1	11036	11721	-61	D41	1	11219	11904
-31	D41	1	11042	11727	平均長		61		11727

変化鉄筋表

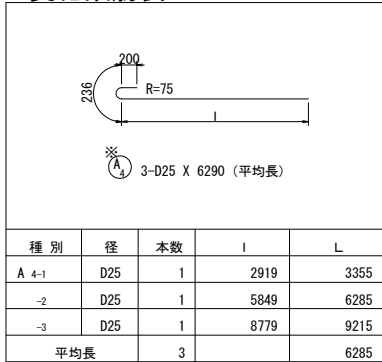


種 別	径	本数	I	L	種 別	径	本数	I	L
A 2-1	D41	1	10869	11554					
- 2	D41	1	10878	11563					
- 3	D41	1	10884	11569					
- 4	D41	1	10895	11580					
- 5	D41	1	10907	11592					
- 6	D41	1	10919	11604					
- 7	D41	1	10931	11616					
- 8	D41	1	10942	11627					
- 9	D41	1	10954	11639					
-10	D41	1	10966	11651					
-11	D41	1	10978	11663					
-12	D41	1	10990	11675					
-13	D41	1	11001	11686					
-14	D41	1	11013	11698					
-15	D41	1	11025	11710					
-16	D41	1	11037	11722					
-17	D41	1	11048	11733					
-18	D41	1	11060	11745					
-19	D41	1	11072	11757					
-20	D41	1	11084	11769					
-21	D41	1	11095	11780					
-22	D41	1	11107	11792					
-23	D41	1	11119	11804					
-24	D41	1	11131	11816					
-25	D41	1	11143	11828					
-26	D41	1	11154	11839					
-27	D41	1	11166	11851					
-28	D41	1	11178	11863					
-29	D41	1	11190	11875					
-30	D41	1	11201	11886					
-31	D41	1	11207	11892					
-32	D41	1	11216	11901					
平均長		32		11726					



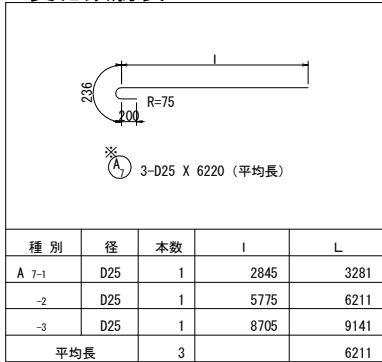
- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K印は機械継手位置を表す。

変化鉄筋表



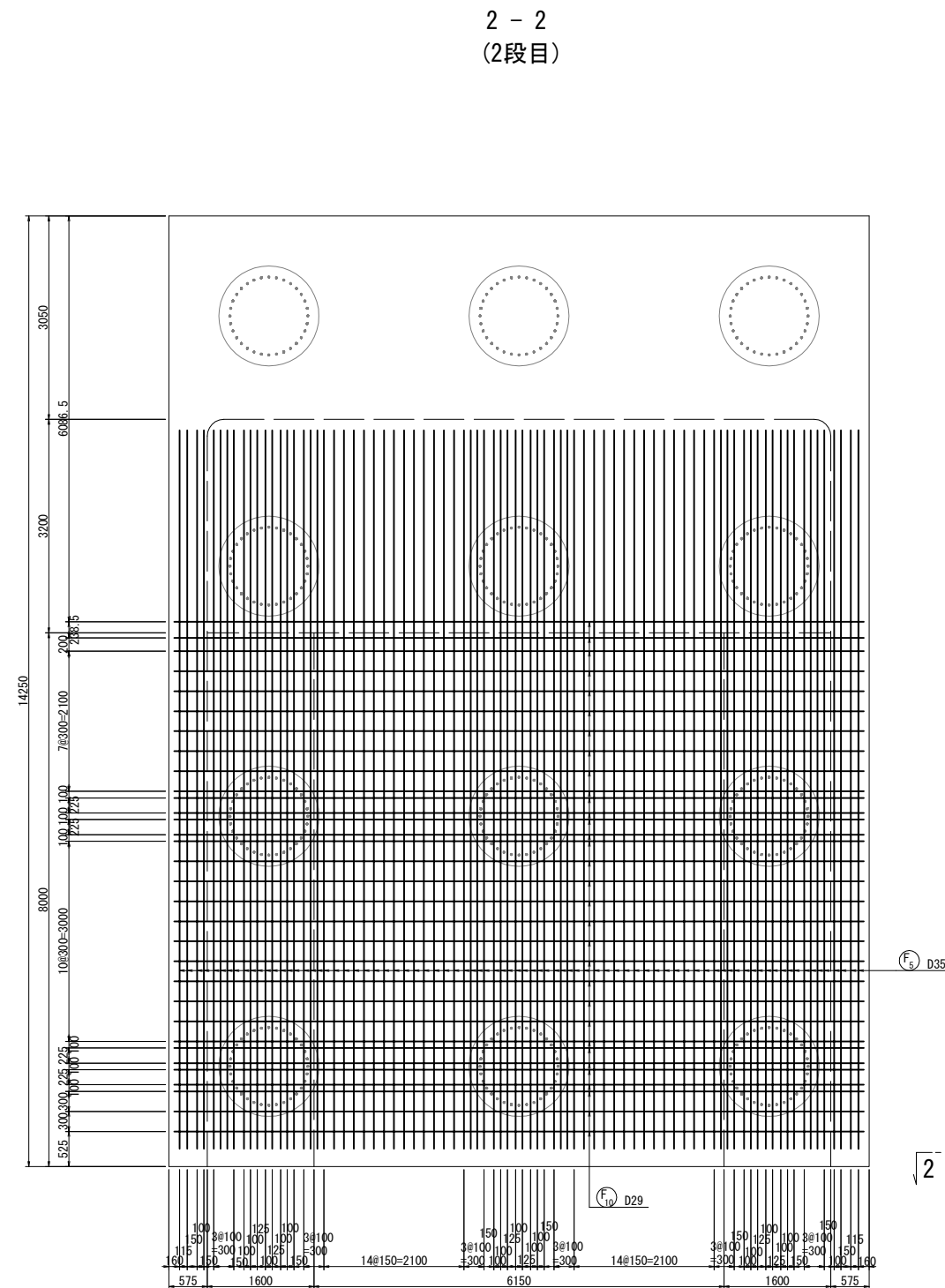
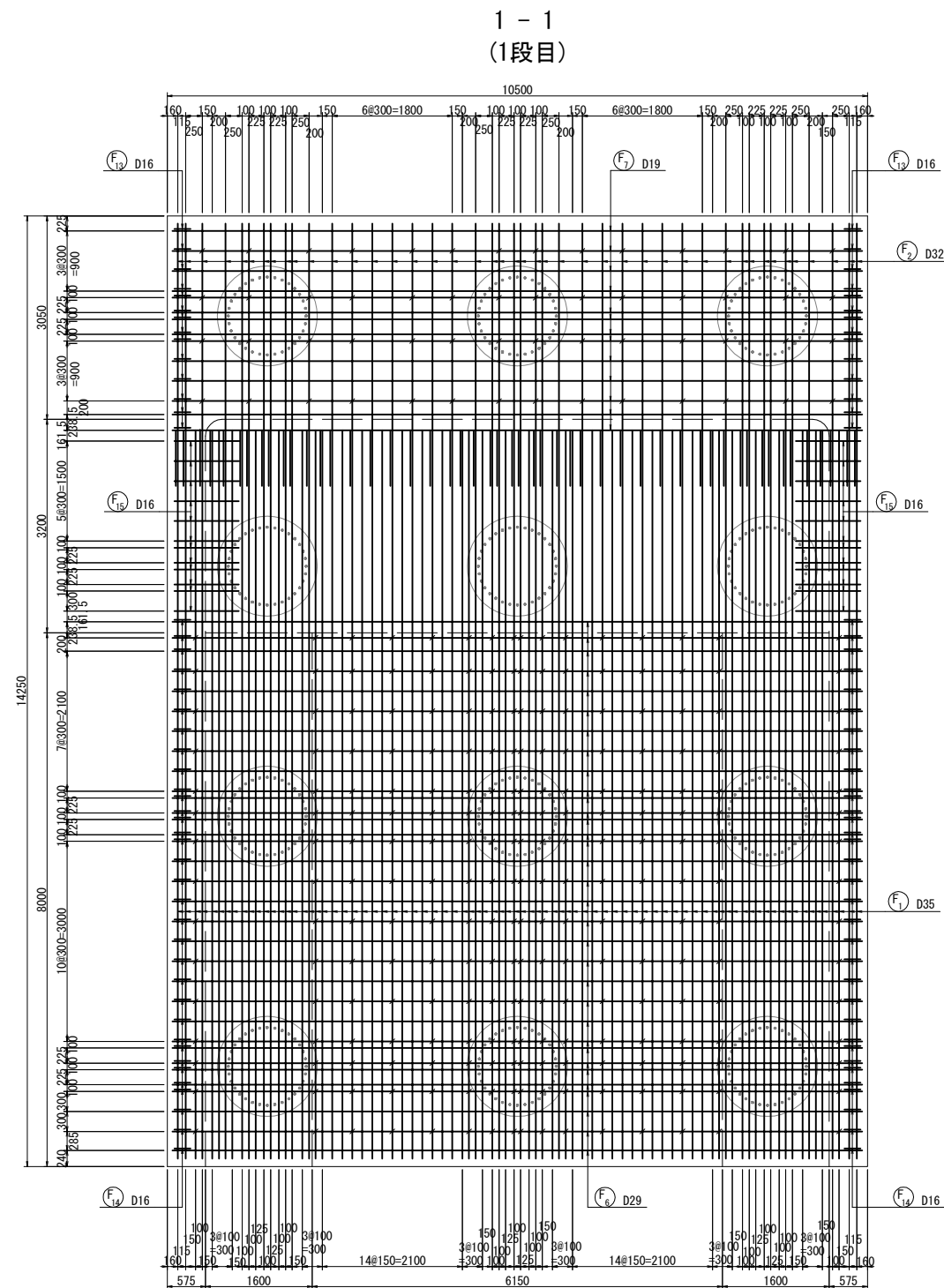
種 別	径	本数	I	L
A 4-1	D25	1	2919	3355
-2	D25	1	5849	6285
-3	D25	1	8779	9215
平均長		3		6285

変化鉄筋表

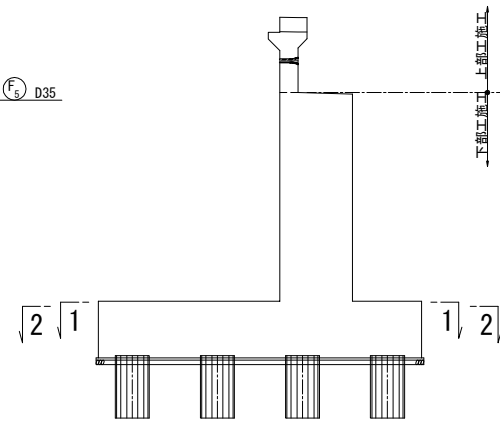


種 別	径	本数	I	L
A 7-1	D25	1	2845	3281
-2	D25	1	5775	6211
-3	D25	1	8705	9141
平均長		3		6211

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



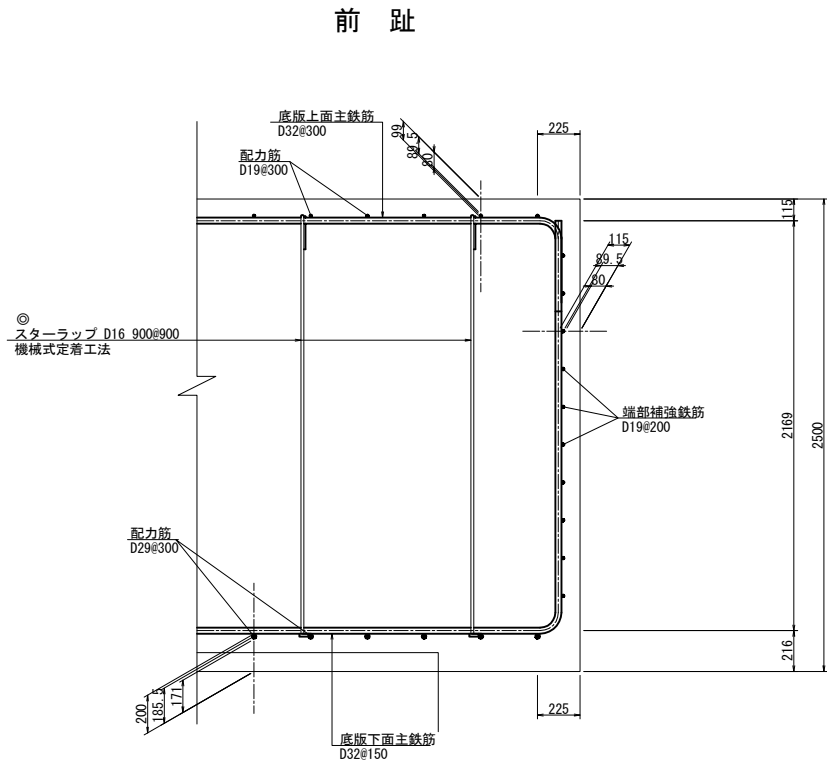
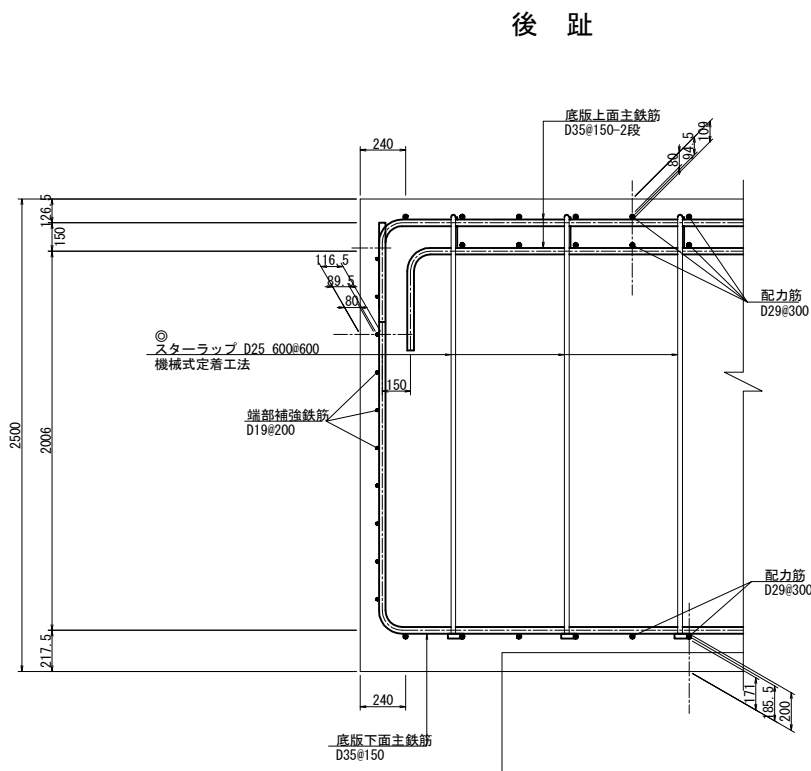
位置図



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トママ地区下部工工事				
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 8）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

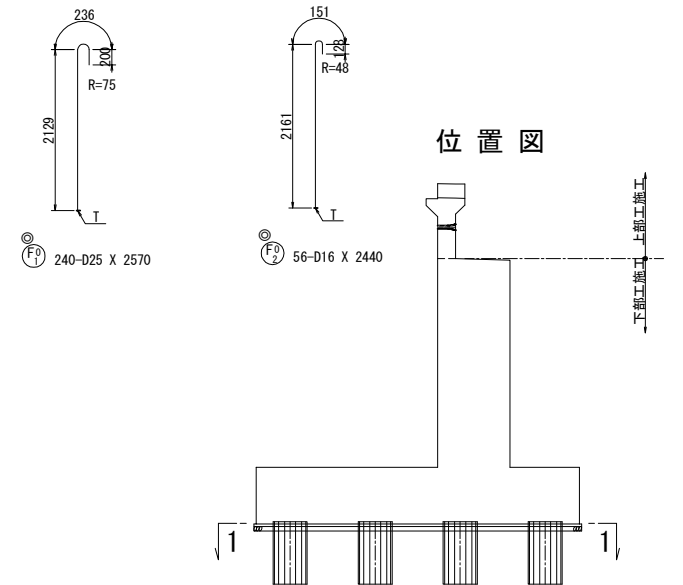
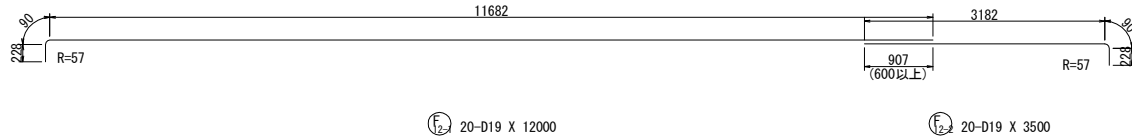
かぶり詳細図 S=1:40
底 版



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トママ地区下部工工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線）		
	A 1 橋台配筋図（その 9）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

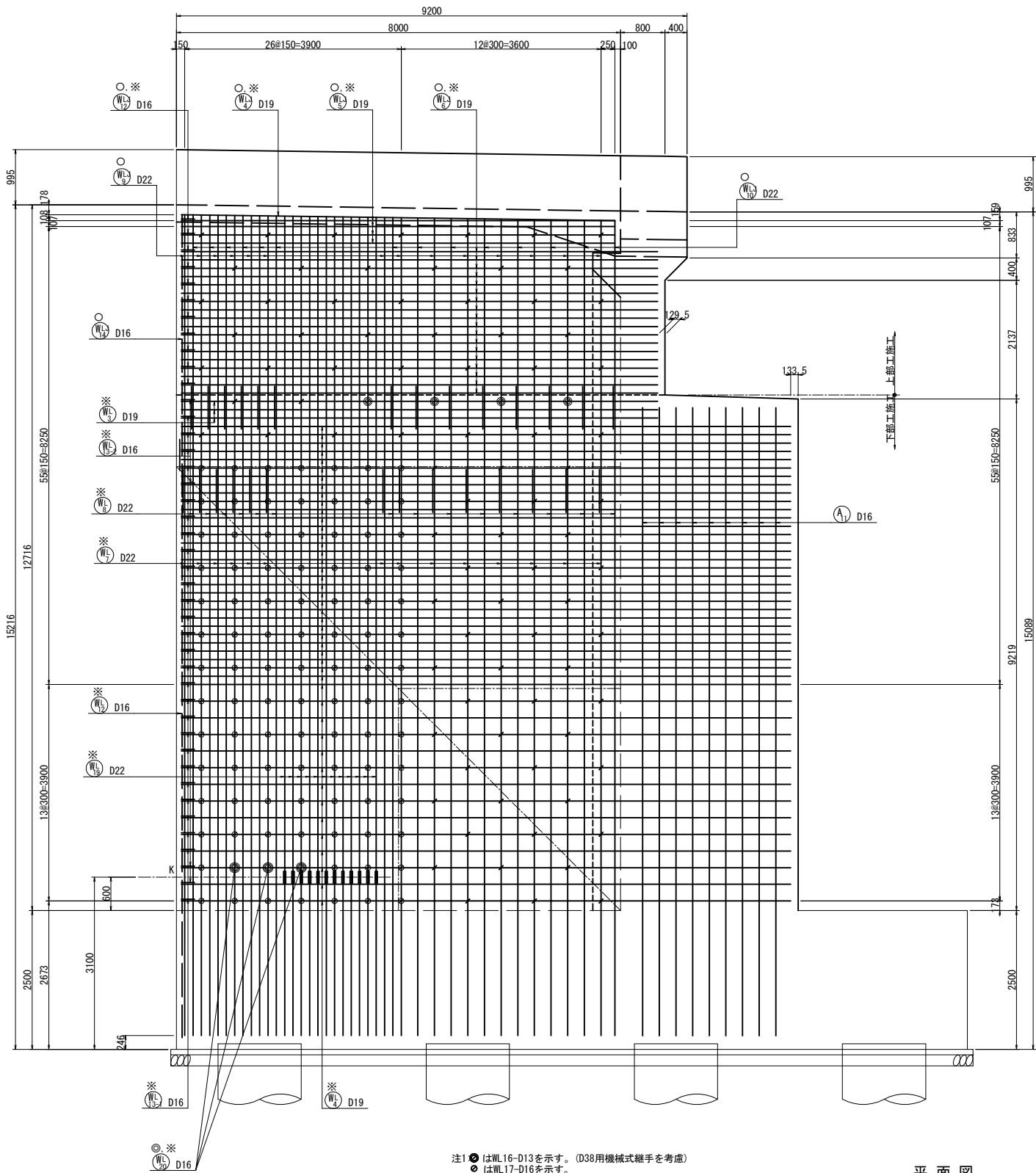
1 - 1



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
下路橋標示方書・同解説(R7,10日本道路協会)
注2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28,7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と平円形フックの設置方向を変更しても良い。
注3) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主筋間に可能な限り近づける。
注4) T印は機械式定着工法の定着体を示す。
注5) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注5) 鉄筋長は切り残りの10mm丸めとする。
注6) K 印は鉄筋継手位置を表す。

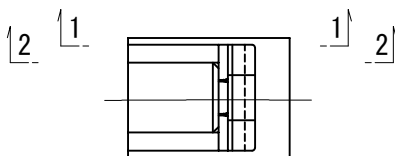
道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線）			
	A1橋台配筋図（その１０）			
縮	尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

1 - 1

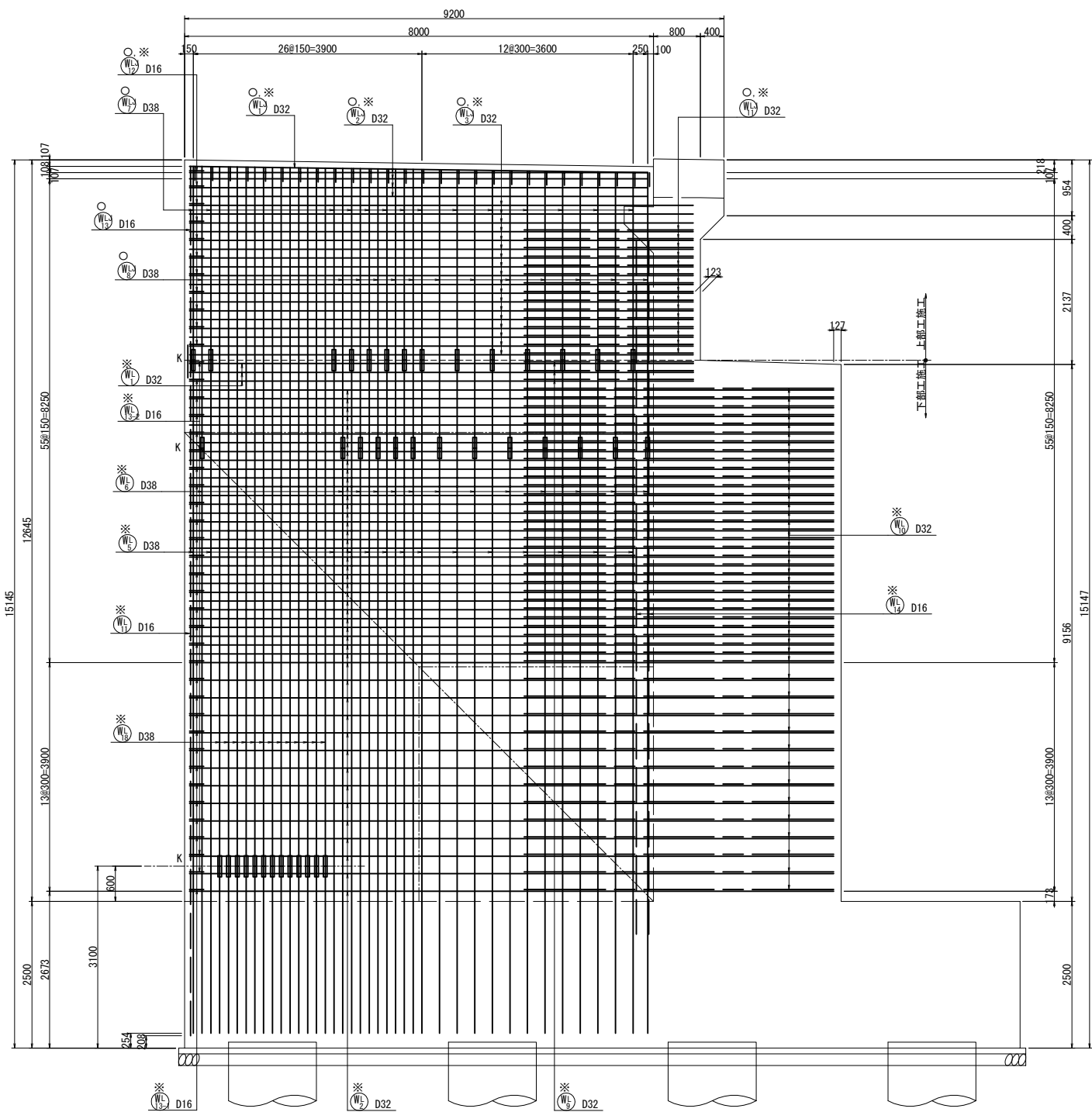


注1 ◎はWL16-D13を示す。(D38用機械式継手を考慮)
●はWL17-D16を示す。
◎はWL20-D16を示す。(D38用機械式継手を考慮)

平面図



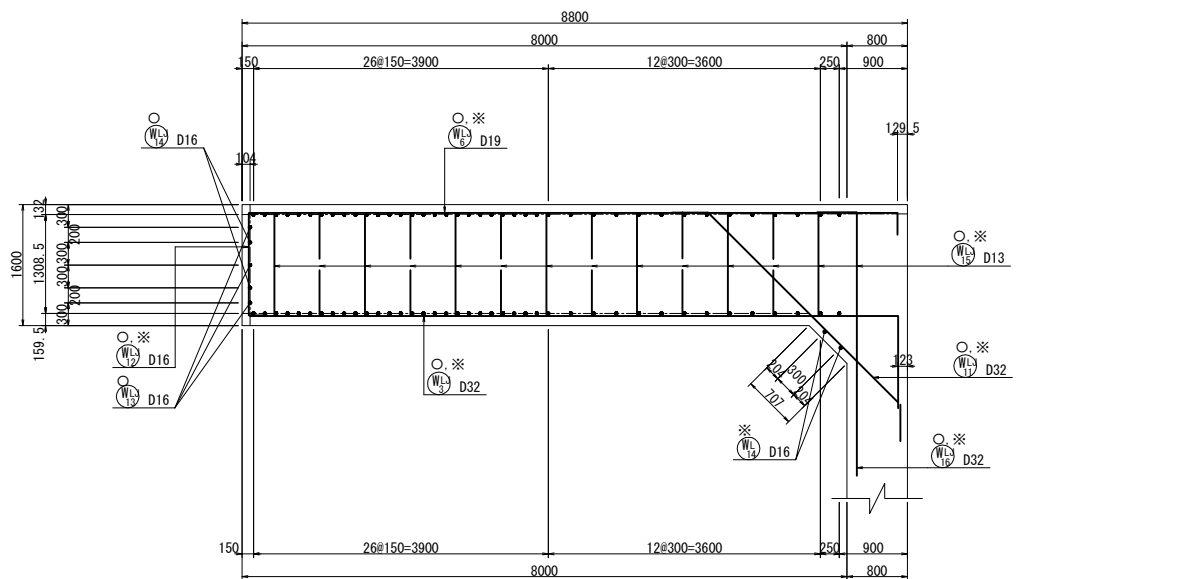
2 - 2



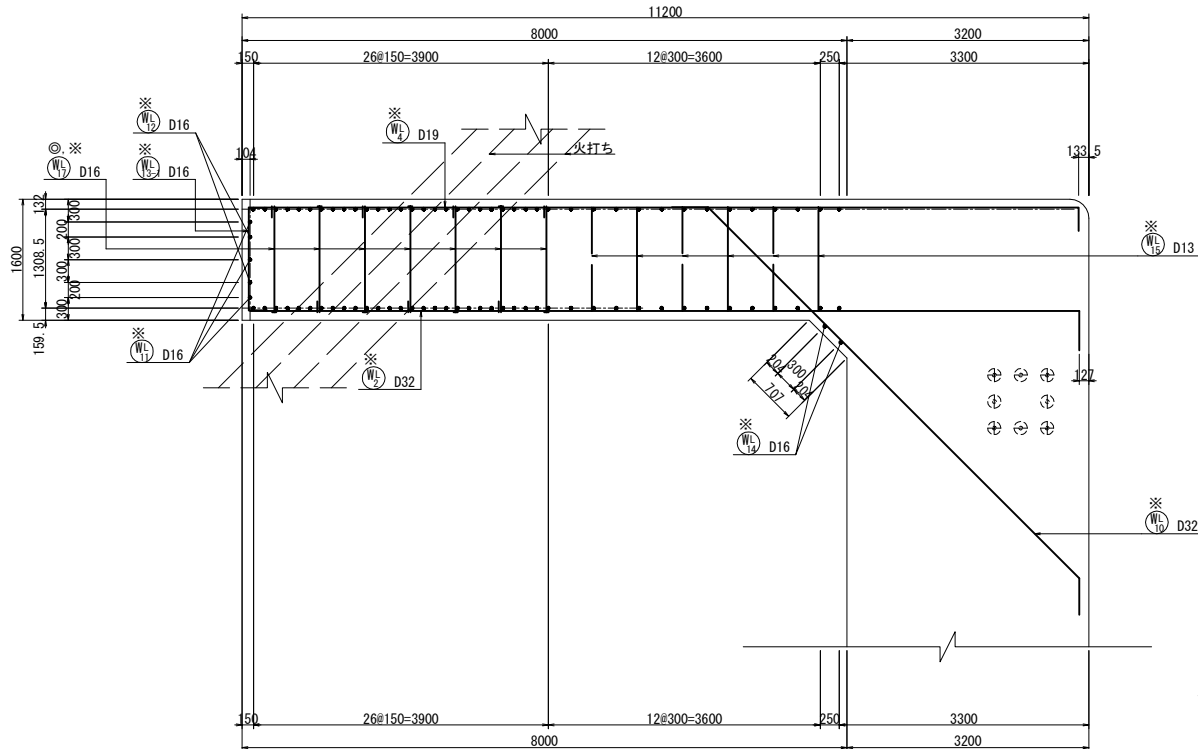
注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7, 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 1 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

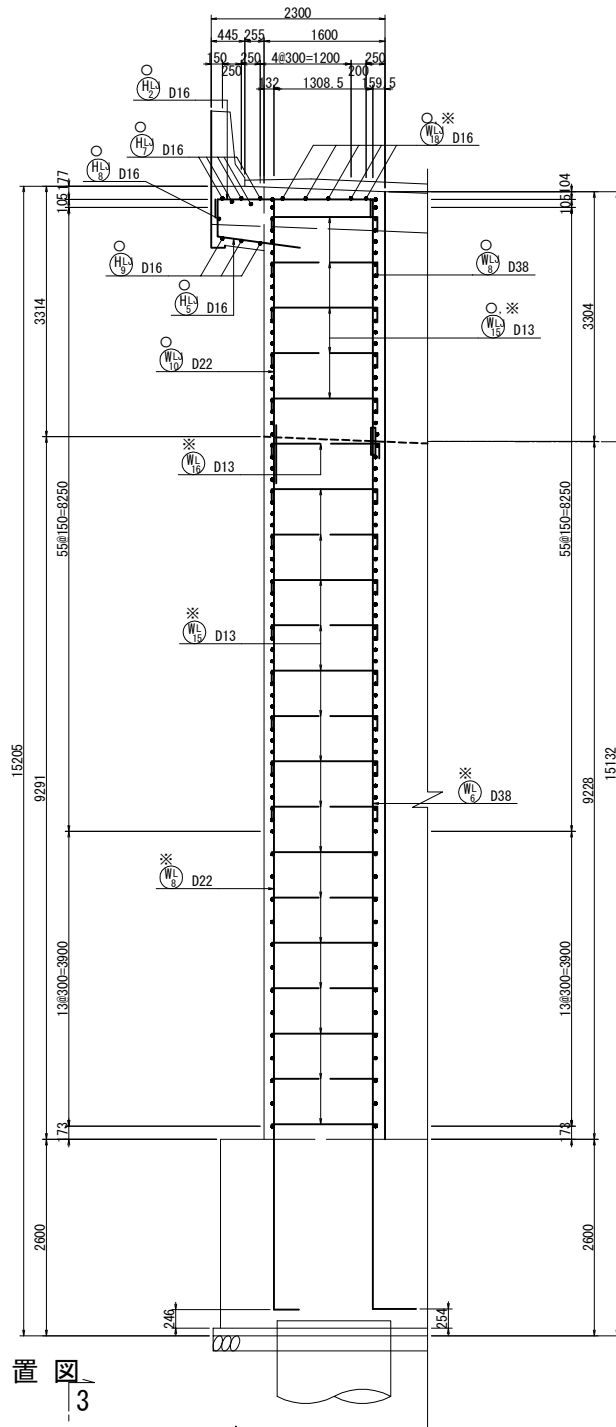
1 - 1



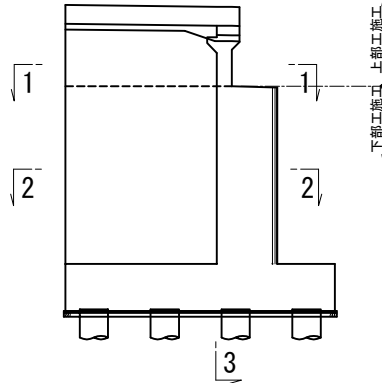
2 - 2



3 - 3

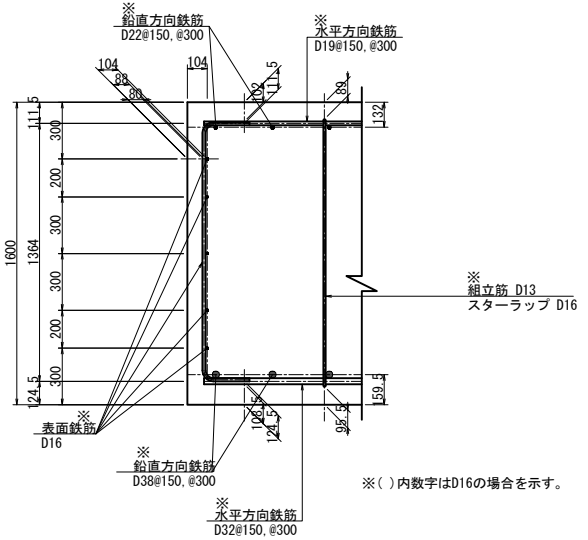


位置図

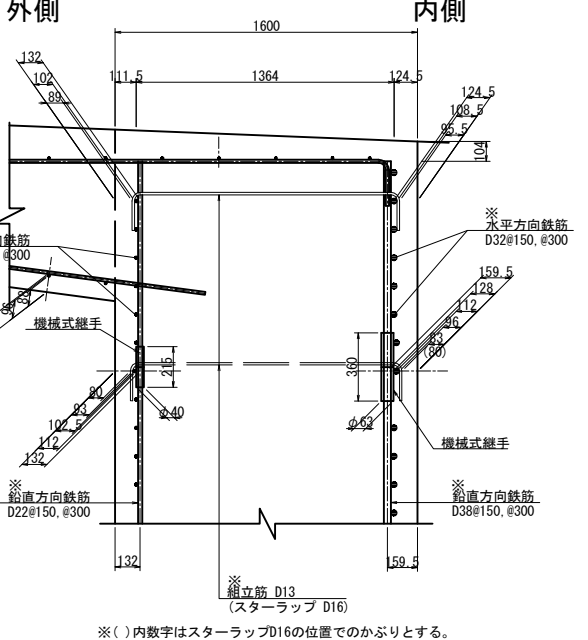


かぶり詳細図 S=1:40

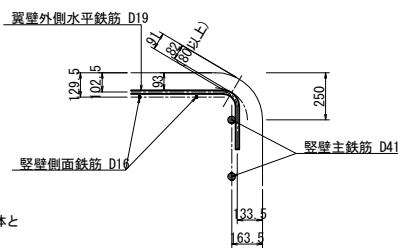
(左翼壁) 端部



翼壁部

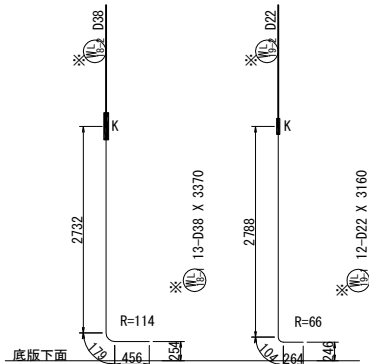
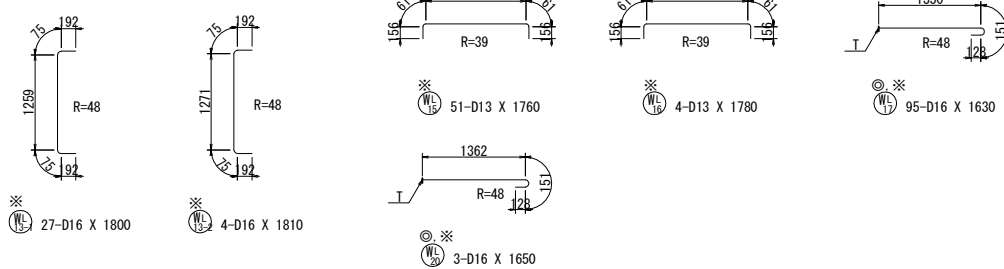


翼壁外側水平鉄筋と縦壁主鉄筋との取り合い

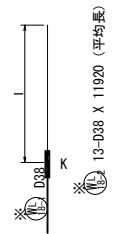


- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K印は機械継手位置を表す。
- ※上記の図より縦壁部における翼壁外側水平鉄筋のRはR=75とする。

道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 1 2）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

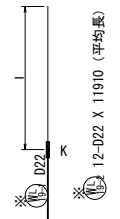


变化鉄筋表



種 別	徑	本數	I	L
W 18-2-1	D38	1	11906	11906
- 2	D38	1	11908	11908
- 3	D38	1	11910	11910
- 4	D38	1	11912	11912
- 5	D38	1	11914	11914
- 6	D38	1	11916	11916
- 7	D38	1	11918	11918
- 8	D38	1	11921	11921
- 9	D38	1	11923	11923
-10	D38	1	11925	11925
-11	D38	1	11927	11927
-12	D38	1	11929	11929
-13	D38	1	11931	11931
平均長		13		11919

变化鉄筋表



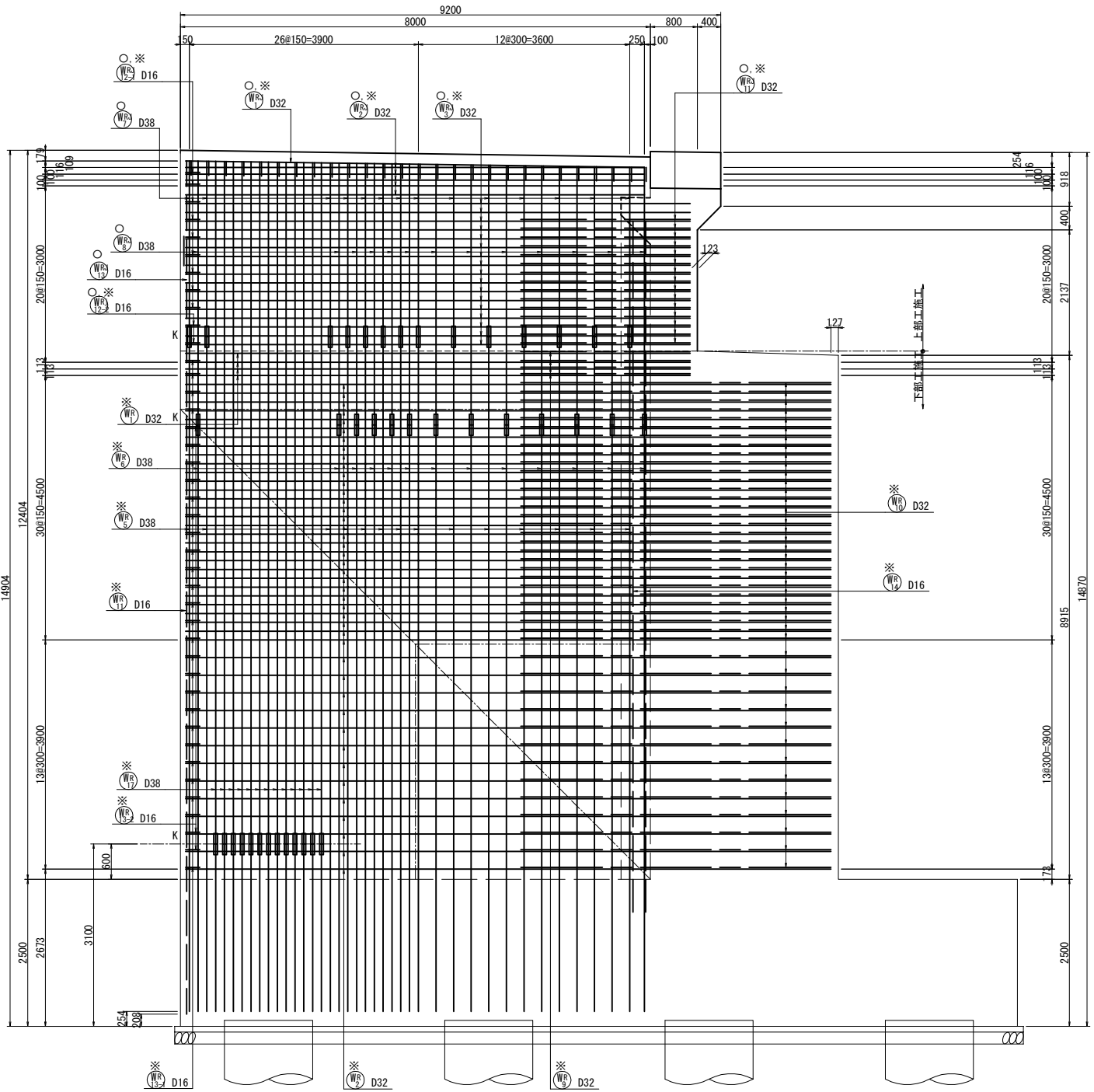
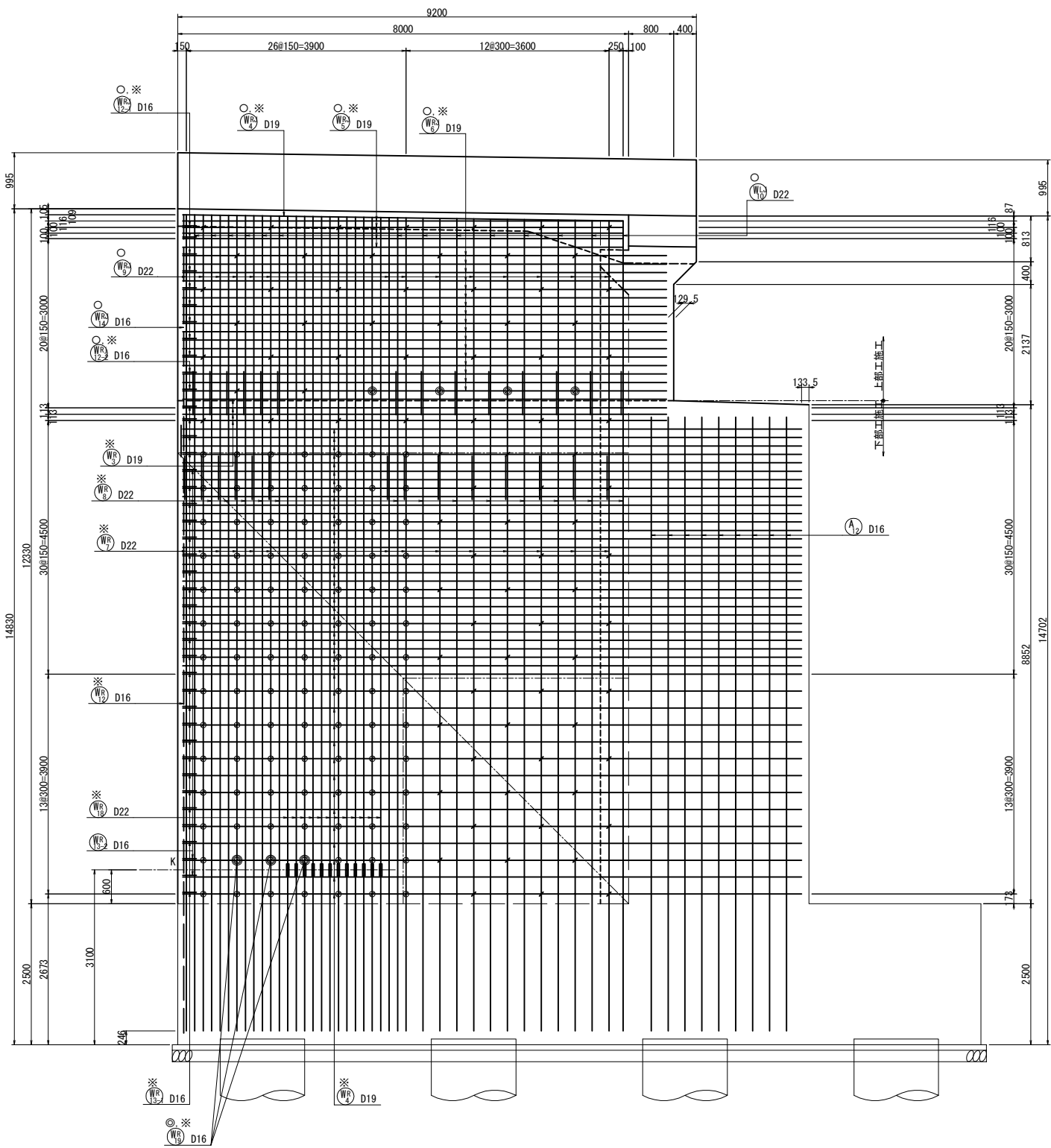
種 別	径	本数	I	L
W 19-2-1	D22	1	11889	11889
- 2	D22	1	11891	11891
- 3	D22	1	11893	11893
- 4	D22	1	11896	11896
- 5	D22	1	11898	11898
- 6	D22	1	11900	11900
- 7	D22	1	11902	11902
- 8	D22	1	11904	11904
- 9	D22	1	11906	11906
-10	D22	1	11908	11908
-11	D22	1	11910	11910
-12	D22	1	11912	11912
平均長		12		11901

- 注1) ①図表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋計画書・同解説(R7, 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づく。
- 注3) 1印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注5) ○鉄筋は上部工鉄筋工法を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの0.9mm丸とする。
注7) K 印は機械組手位置を表す。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類		下トマム橋（下り線） A 1橋台配筋図（その 13）	
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

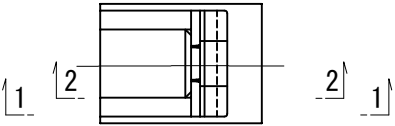
1 - 1

2 - 2



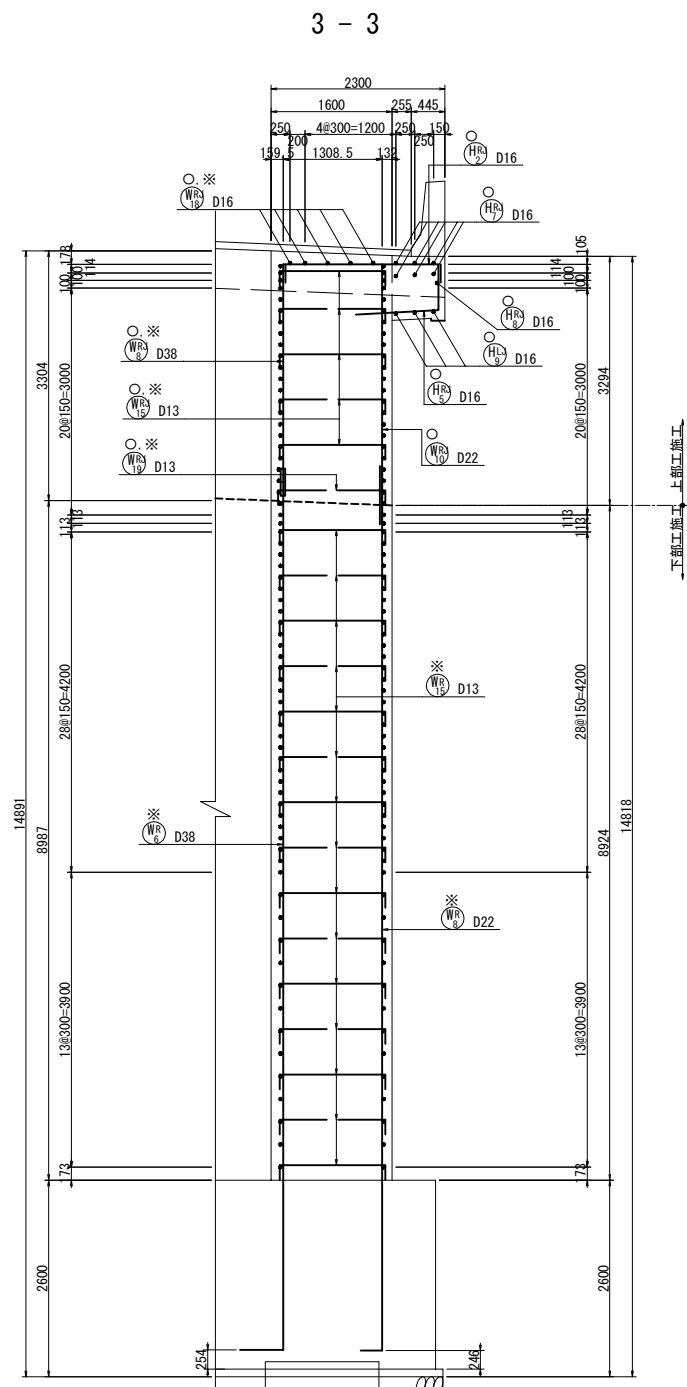
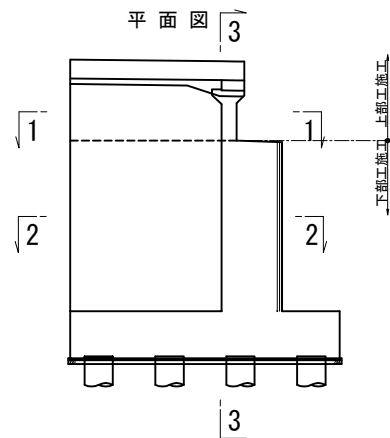
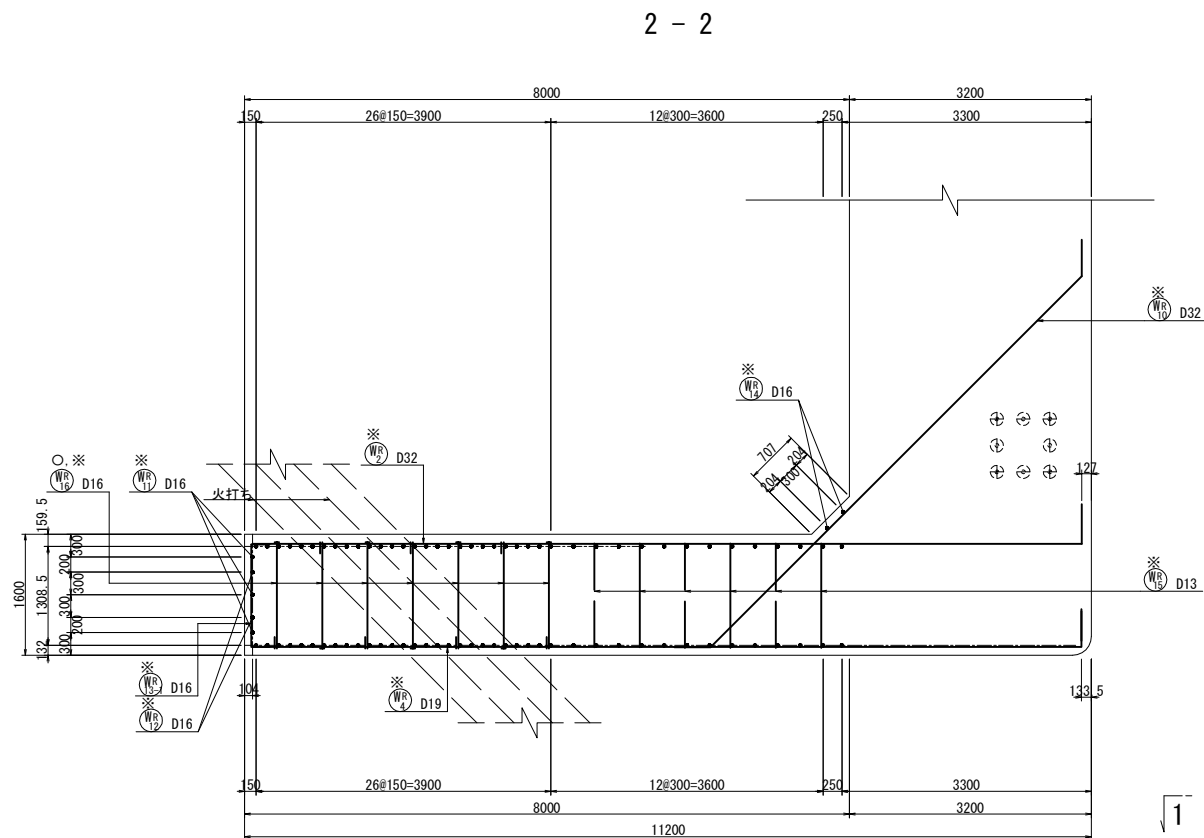
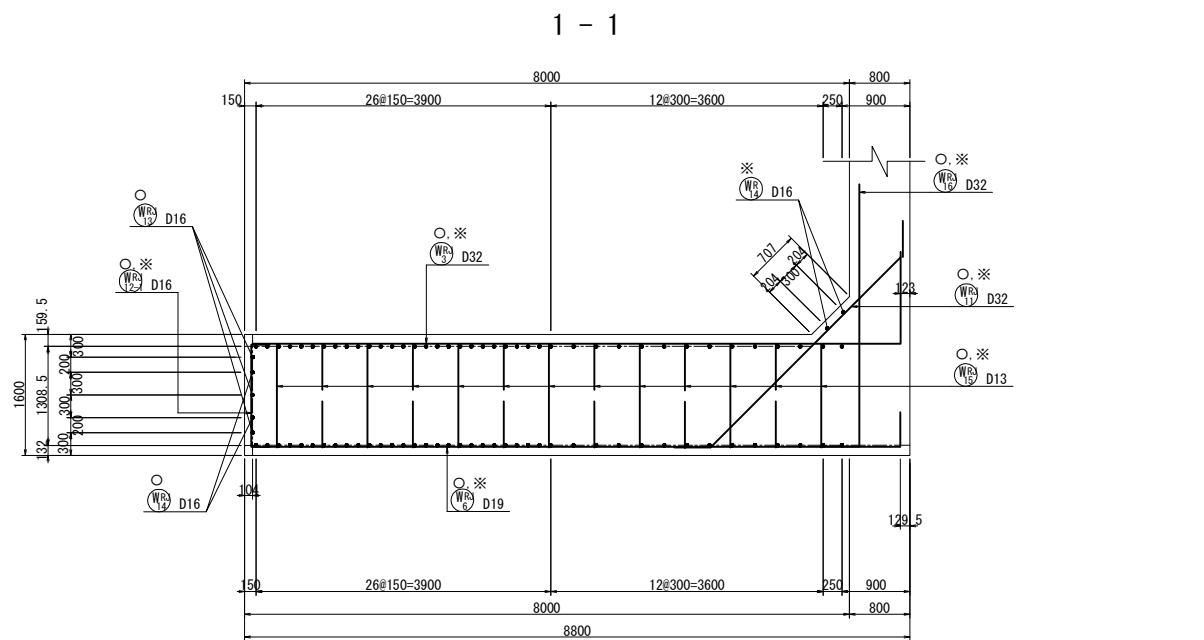
注1 ◎はWRJ19-D13を示す。(D38用機械式継手を考慮)
◎はWR16-D16を示す。
◎はWR19-D16を示す。(D38用機械式継手を考慮)

平面図



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更しても良い。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K印は機械継手位置を表す。

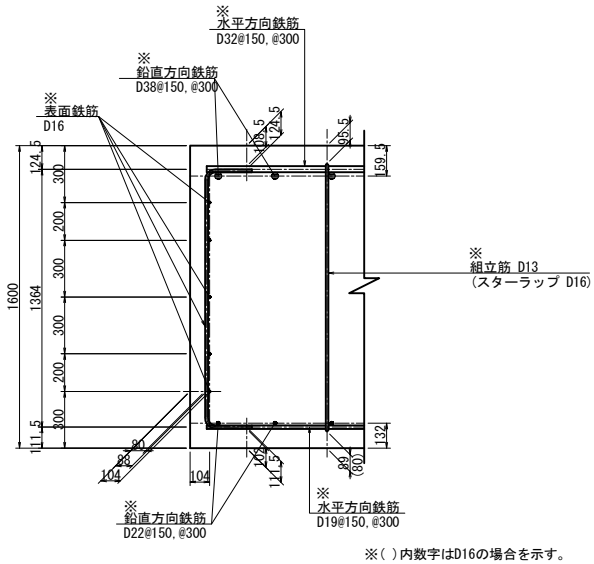
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 1 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:40

(右翼壁)

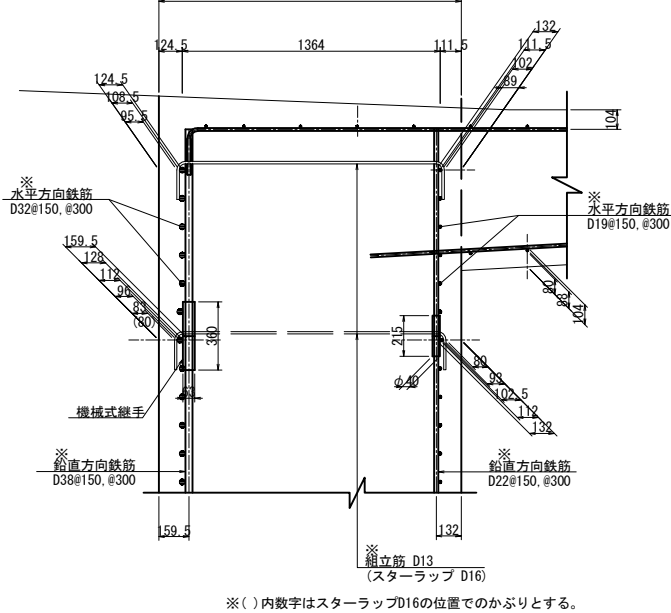
端部



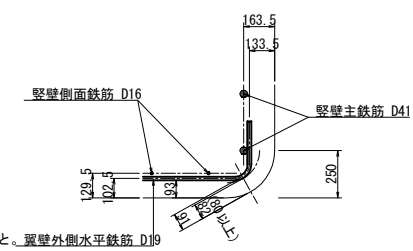
翼壁部

内側

外側



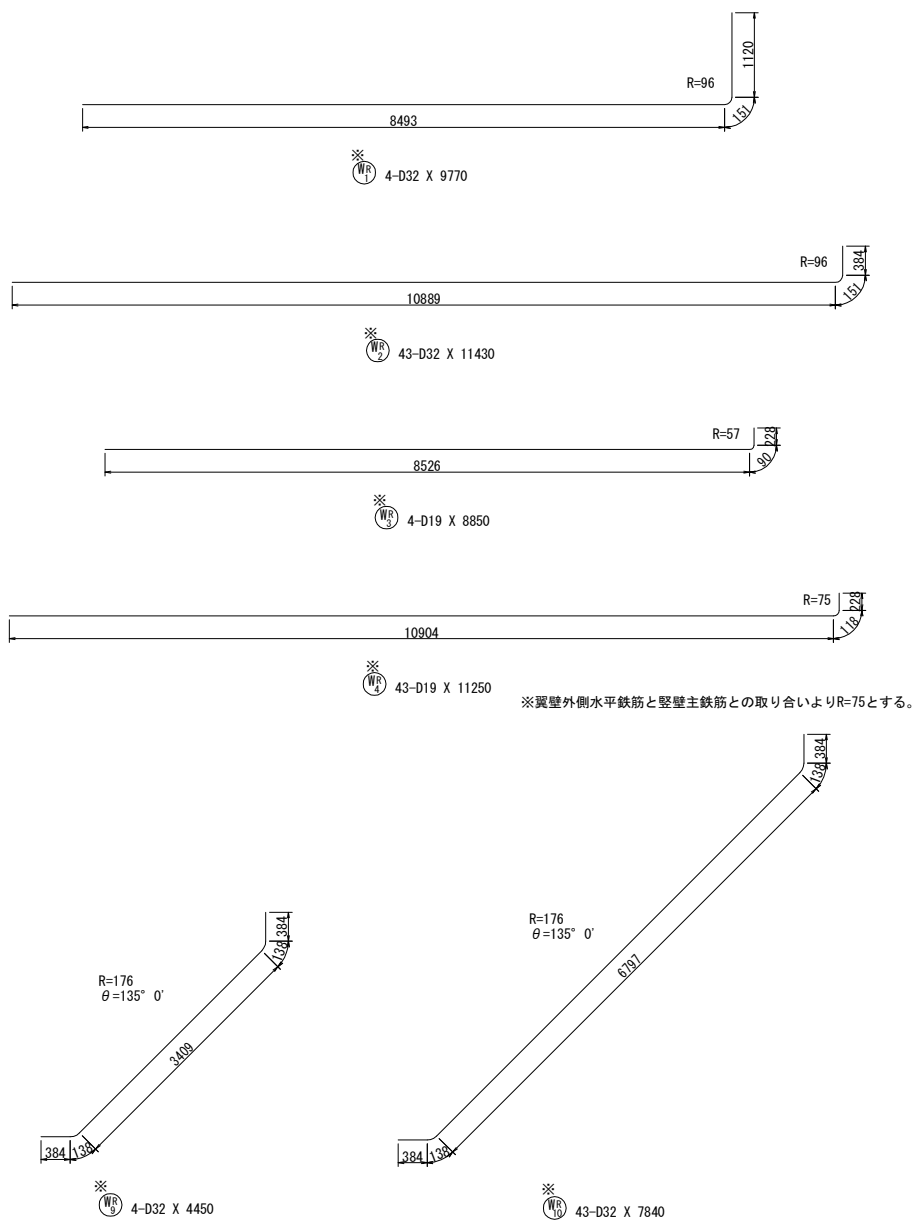
翼壁外側水平鉄筋と堅壁主鉄筋との取り合い



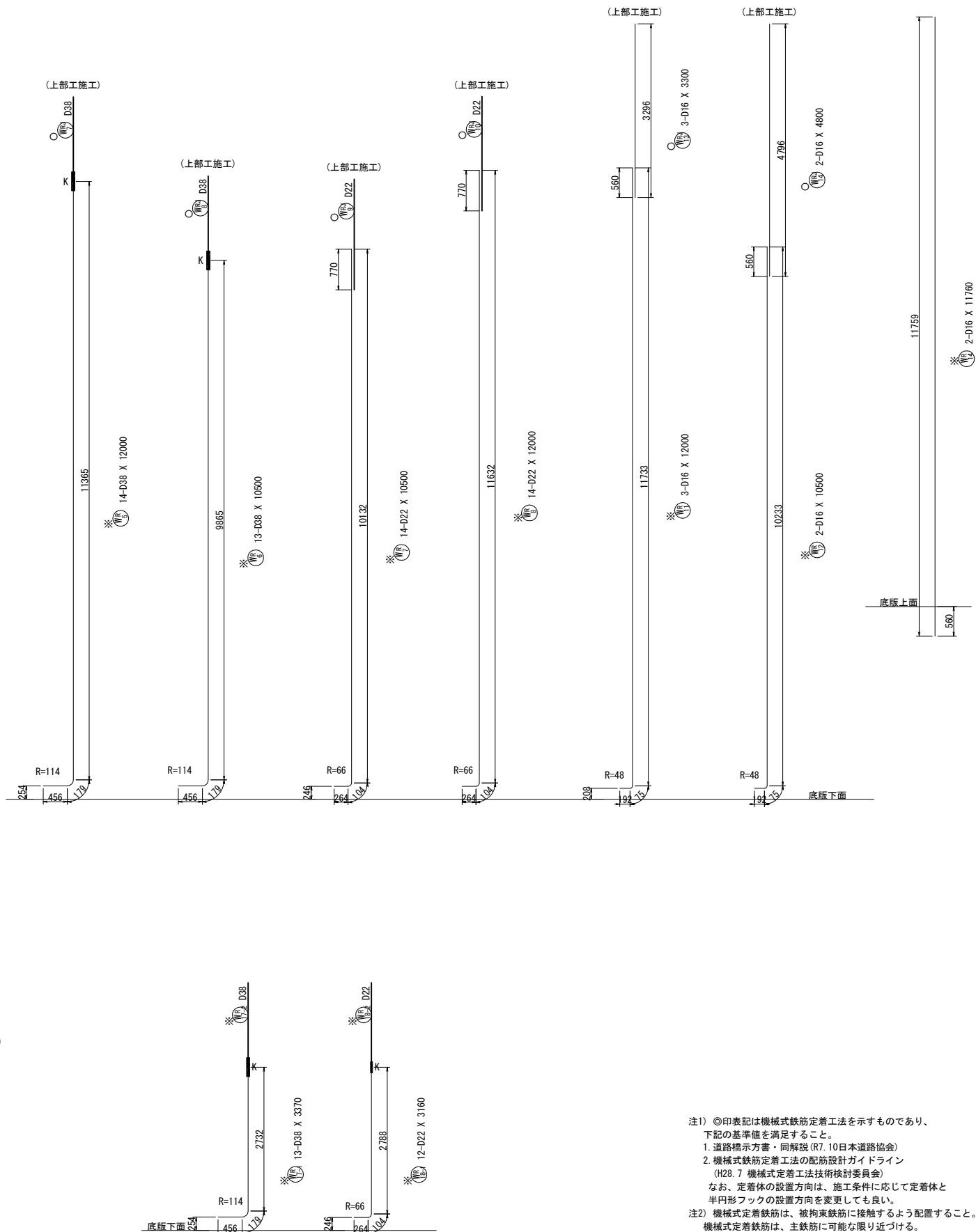
- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。翼壁外側水平鉄筋 D19
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

※上記の図より堅壁部における翼壁外側水平鉄筋のRはR=75とする。

道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
下トナム橋（下り線）				
A 1 橋台配筋図（その 1 5）				
図面の種類	縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社			
	帯広工務事務所			



※翼壁外側水平鉄筋と壁主鉄筋との取り合いよりR=75とする。



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

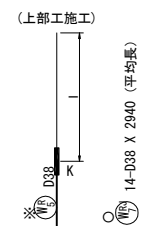
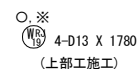
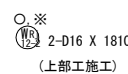
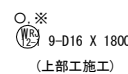
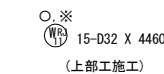
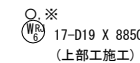
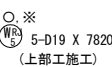
変化鉄筋表

変化鉄筋表				
種 別	径	本数	I	L
W R ₇₋₂₋₁	D38	1	11592	11592
- 2	D38	1	11594	11594
- 3	D38	1	11597	11597
- 4	D38	1	11599	11599
- 5	D38	1	11601	11601
- 6	D38	1	11603	11603
- 7	D38	1	11605	11605
- 8	D38	1	11607	11607
- 9	D38	1	11609	11609
-10	D38	1	11611	11611
-11	D38	1	11613	11613
-12	D38	1	11615	11615
-13	D38	1	11618	11618
平均長		13		11605

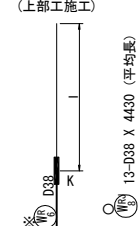
変化鉄筋表

変化鉄筋表				
種 別	径	本数	I	L
W R ₈₋₂₋₁	D22	1	11576	11576
- 2	D22	1	11578	11578
- 3	D22	1	11580	11580
- 4	D22	1	11582	11582
- 5	D22	1	11584	11584
- 6	D22	1	11586	11586
- 7	D22	1	11588	11588
- 8	D22	1	11590	11590
- 9	D22	1	11592	11592
-10	D22	1	11594	11594
-11	D22	1	11597	11597
-12	D22	1	11599	11599
平均長		12		11588

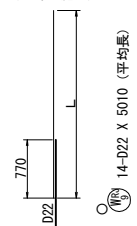
道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 1 6）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



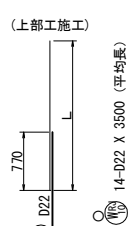
種 別	徑	本數	l	L
W ₁ ^{BJ}	D38	1	2886	2886
~ 2	D38	1	2894	2894
~ 3	D38	1	2903	2903
~ 4	D38	1	2911	2911
~ 5	D38	1	2919	2919
~ 6	D38	1	2928	2928
~ 7	D38	1	2936	2936
~ 8	D38	1	2940	2940
~ 9	D38	1	2945	2945
~10	D38	1	2949	2949
~11	D38	1	2953	2953
~12	D38	1	2957	2957
~13	D38	1	2987	2987
~14	D38	1	2991	2991



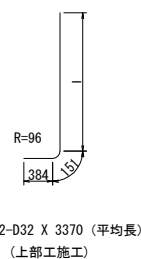
種 別	徑	本数	l	L
W ^R -1	D38	1	4382	438
- 2	D38	1	4390	439
- 3	D38	1	4398	439
- 4	D38	1	4407	440
- 5	D38	1	4415	441
- 6	D38	1	4424	442
- 7	D38	1	4432	443
- 8	D38	1	4438	443
- 9	D38	1	4443	444
-10	D38	1	4447	444
-11	D38	1	4451	445
-12	D38	1	4455	445
-13	D38	1	4489	448



種 別	徑	本数	I	L
W ₂ ^{BJ} ₂ -1	D22	1	4945	494
- 2	D22	1	4953	495
- 3	D22	1	4962	496
- 4	D22	1	4970	497
- 5	D22	1	4978	497
- 6	D22	1	4987	498
- 7	D22	1	4995	499
- 8	D22	1	4999	499
- 9	D22	1	5029	502
-10	D22	1	5033	503
-11	D22	1	5037	503
-12	D22	1	5041	504
-13	D22	1	5046	504
-14	D22	1	5050	505



種 別	徑	本数	l	L
W ₁₂ -1	D22	1	3441	344
- 2	D22	1	3449	344
- 3	D22	1	3457	345
- 4	D22	1	3466	346
- 5	D22	1	3474	347
- 6	D22	1	3483	348
- 7	D22	1	3491	349
- 8	D22	1	3497	349
- 9	D22	1	3527	352
-10	D22	1	3531	353
-11	D22	1	3535	353
-12	D22	1	3539	353
-13	D22	1	3544	354
-14	D22	1	3548	354



種 別	径	本数	I	L
W ₁₇₋₁	D32	1	2812	334
-2	D32	1	2849	338
平均値		2		336

1. 道路橋示方書・同解説(R7.10日本道路協会)

- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。

機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。

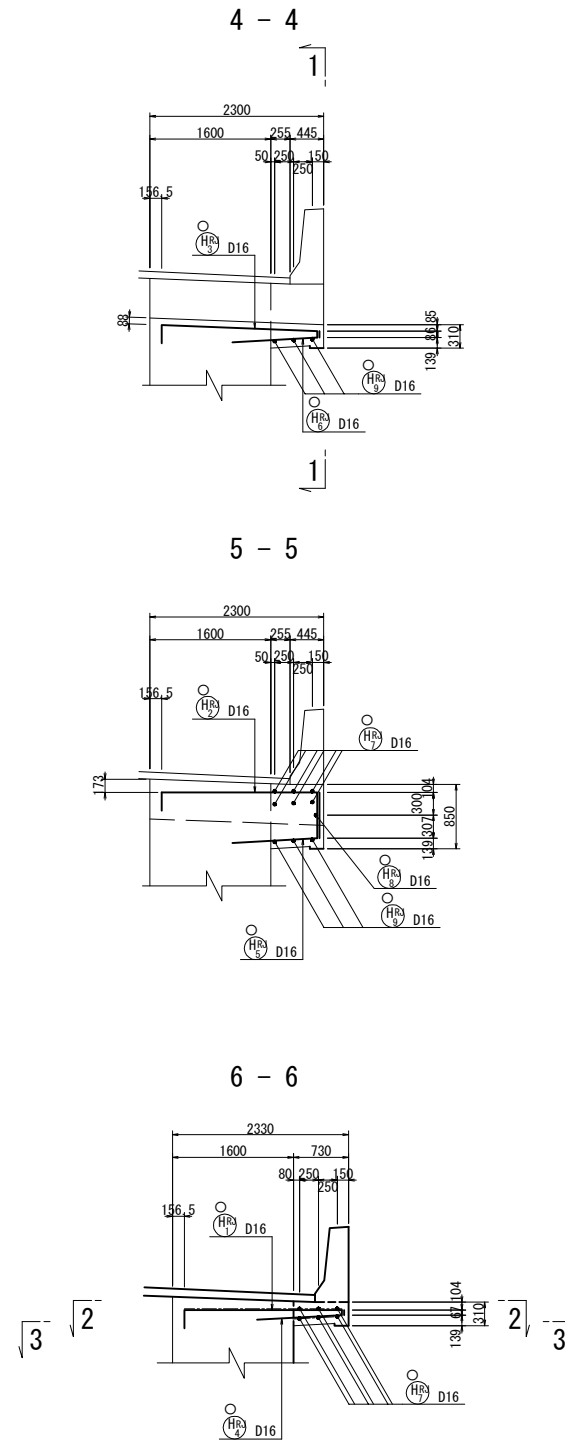
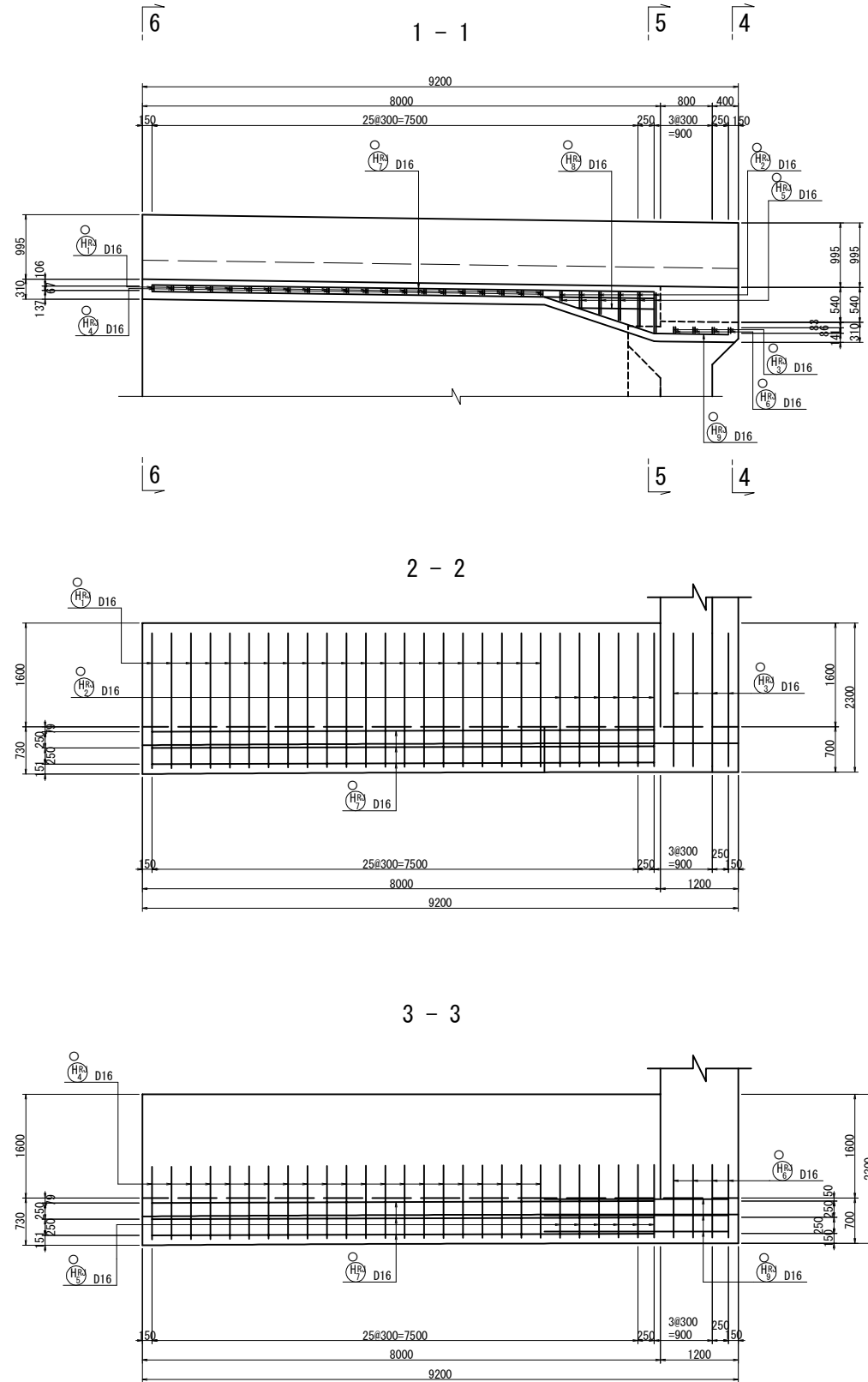
4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。

6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。



道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その１）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支 店 工務部 橋梁課		

右張出部詳細図



注1) ○印表記は機械式鉄釘定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。

注2) ① 道路標示方番：同解説(第7.10日本道路協会)
② 機械式鉄釘定着工法の防犯設計ガイドライン(H28)：機械式定着工法技術検討委員会

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。

注3) 機械式定着鉄釘は、街路末鉄釘に接触しよう配置すること。

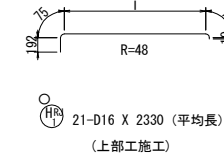
機械式定着鉄釘は、主鉄筋に可能な限り近づくこと。

注3) ① 印は機械式定着工法の定着体を表す。
② ※鉄釘はエポキシ塗装鉄釘を示す。

注5) ○鉄釘は上部施工鉄釘を表す。
③ 鉄釘長は切りり方の10mm丸めとする。

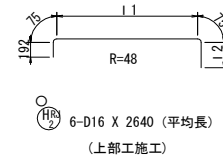
注7) K 印は機械縦手位置を表す。

变化鉄筋表



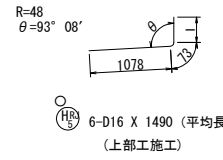
種 別	怪	本数	I	L
H ₁₋₁ ^{B1}	D16	1	1962	2323
- 2	D16	1	1963	2324
- 3	D16	1	1964	2325
- 4	D16	1	1964	2325
- 5	D16	1	1965	2326
- 6	D16	1	1966	2327
- 7	D16	1	1967	2328
- 8	D16	1	1968	2329
- 9	D16	1	1969	2330
-10	D16	1	1971	2332
-11	D16	1	1972	2333
-12	D16	1	1973	2334
-13	D16	1	1975	2336
-14	D16	1	1976	2337
-15	D16	1	1978	2339
-16	D16	1	1979	2340
-17	D16	1	1981	2342
-18	D16	1	1983	2344
-19	D16	1	1985	2346
-20	D16	1	1986	2347
-21	D16	1	1988	2349
平均長		21		2334

变化鉄筋表

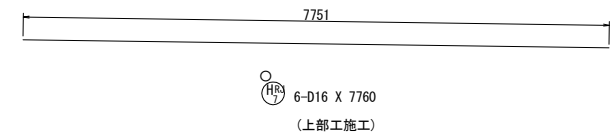


種 別	徑	本数	I 1	I 2	L
H ₂₋₁ ^{B1}	D16	1	1960	560	2862
-2	D16	1	1960	480	2782
-3	D16	1	1960	384	2686
-4	D16	1	1961	288	2591
-5	D16	1	1961	193	2496
-6	D16	1	1962	97	2401
平均長		6			2636

变化鉄筋表

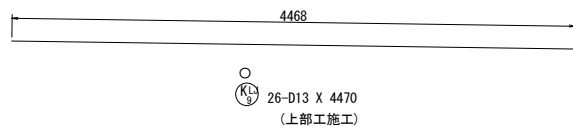
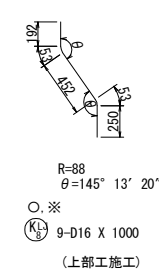
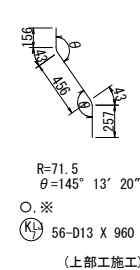
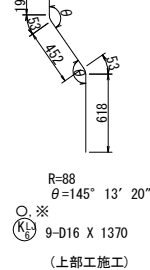
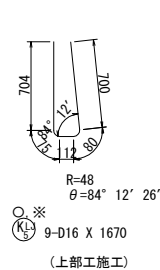
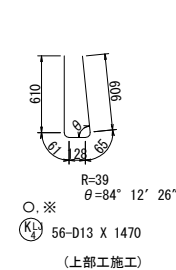
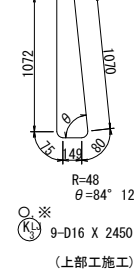
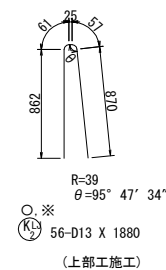
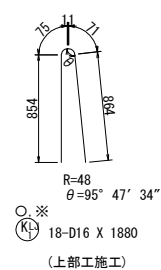
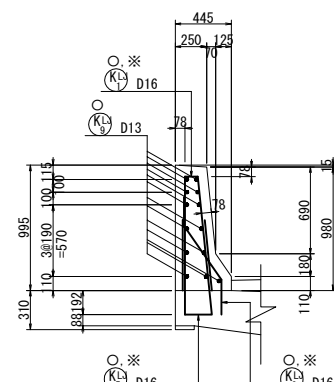
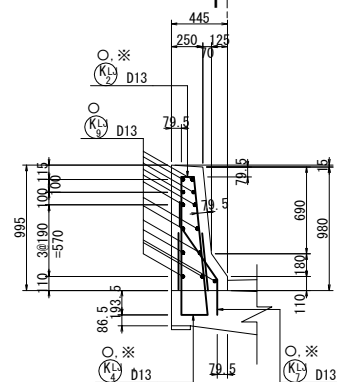


種 別	径	本数	I	L
H ₅₋₁ ^{BU}	D16	1	563	1714
-2	D16	1	483	1634
-3	D16	1	387	1538
-4	D16	1	291	1442
-5	D16	1	195	1346
-6	D16	1	99	1250
平均長		6		1488

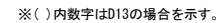


道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A1橋台設防図（その18）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

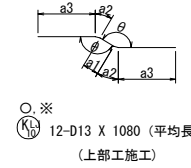
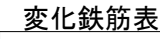
1 - 1



S=1 : 40



S=1 : 20



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説(R7.10日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。

注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
 機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。

注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。

注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。

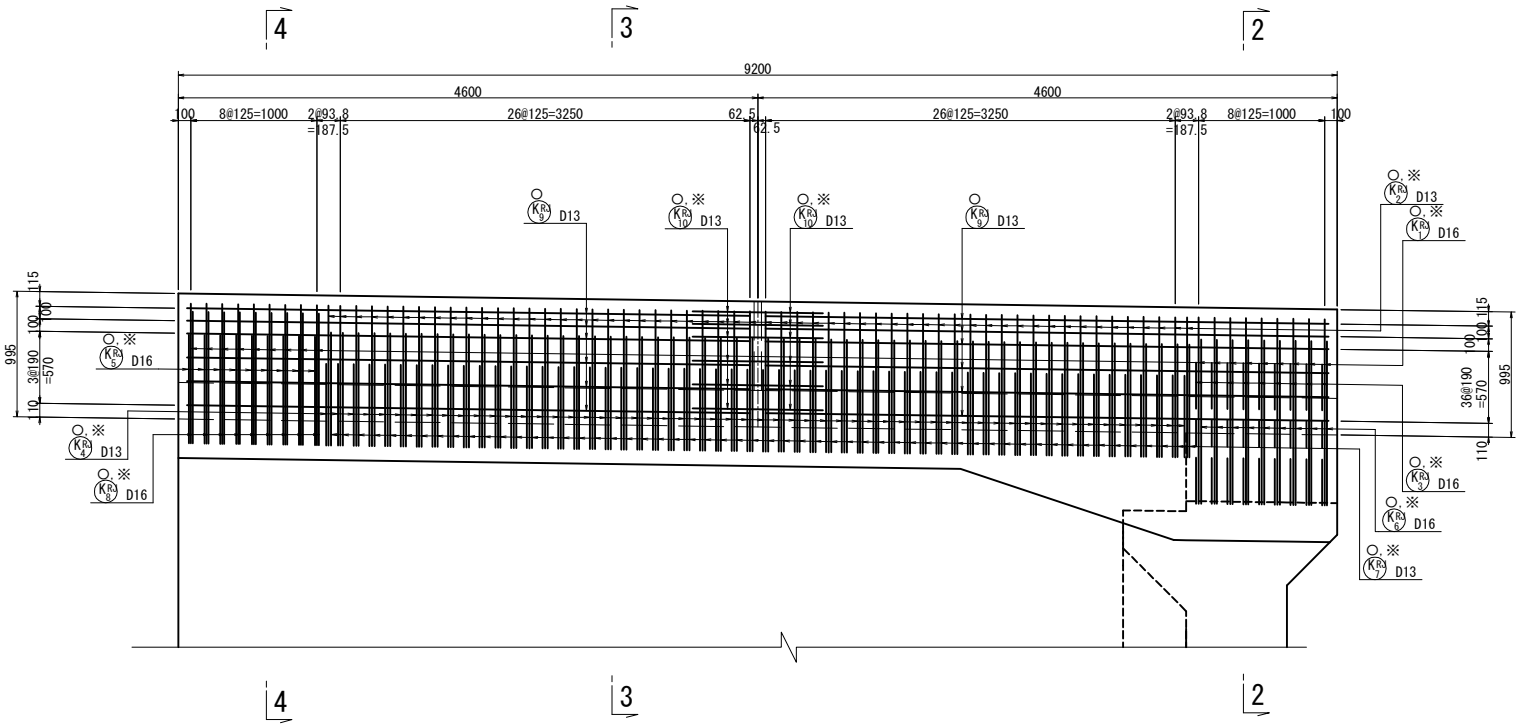
注5) ○鉄筋は上部工鉄筋を表す。

注6) 鉄筋長は切り出しの10mm丸めとする。

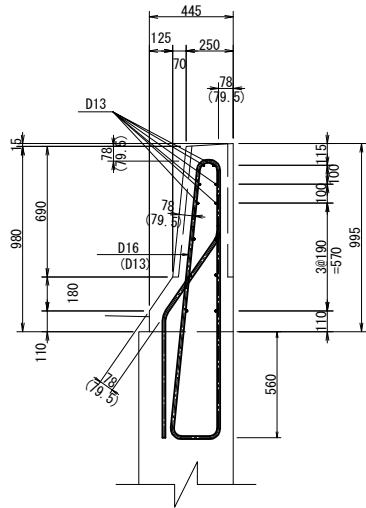
注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道 下トマム橋下部土工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A1 橋台配筋図（その19）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

右側壁高欄配筋図
1 - 1

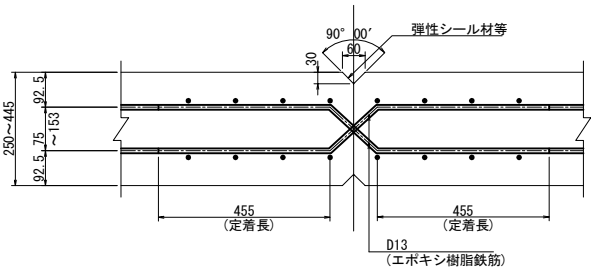


かぶり詳細図 S=1:40

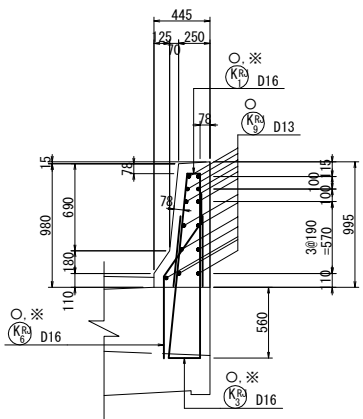


※()内数字はD13の場合を示す。

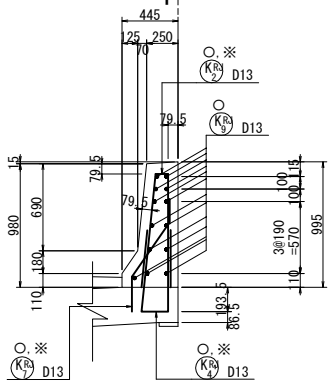
Vカット詳細図 S=1:20



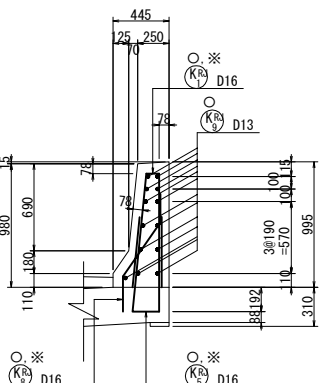
2 - 2



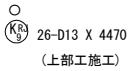
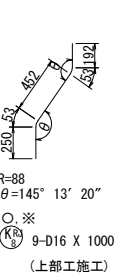
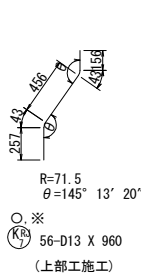
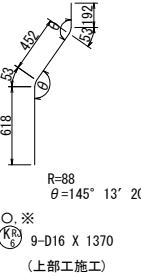
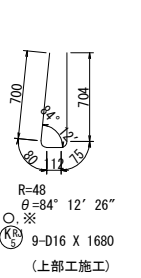
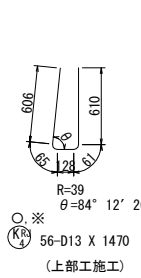
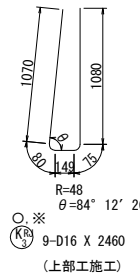
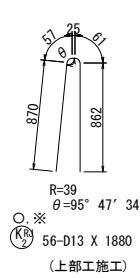
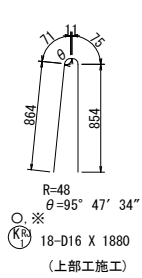
3 - 3



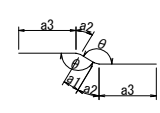
4 - 4



1



変化鉄筋表

変化鉄筋表						
						
○※ K13 12-D13 X 1080 (平均長) (上部工施工)						
種 別	径	本数	a1	a2	a3	L
K 10-1	D13	2	106	39	435	1054
-2	D13	2	107	43	433	1059
-3	D13	2	109	46	431	1063
-4	D13	2	114	53	427	1074
-5	D13	2	121	59	424	1087
-6	D13	2	130	63	421	1098
平均長		12				1073

- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路標示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づく。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 2 0）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋表 （SD345） （下部工施工 普通鉄筋）

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
A 1	D41	11730	61	10. 5	123	7503	(平均長)
A 2	"	11730	32	10. 5	123	3936	(平均長)
A 11	D16	11550	9	1. 56	18. 0	162	
A 12	"	11190	9	1. 56	17. 5	158	
11759 kg							
F 1	D35	11400	82	7. 51	85. 6	7019	┐
F 2	D32	4380	44	6. 23	27. 3	1201	┐
F 3	"	8100	76	6. 23	50. 5	3838	┐
F 4	D35	11100	76	7. 51	83. 4	6338	┐
F 5	"	11260	82	7. 51	84. 6	6937	┐
F 6	D29	10340	33	5. 04	52. 1	1719	┐
F 7	D19	10340	14	2. 25	23. 3	326	┐
F 8	D29	10340	26	5. 04	52. 1	1355	┐
F 9	"	10340	33	5. 04	52. 1	1719	┐
F 10	"	10340	32	5. 04	52. 1	1667	┐
F 11	D19	10320	20	2. 25	23. 2	464	┐
F 12-1	"	12000	20	2. 25	27. 0	540	┐
F 12-2	"	3500	20	2. 25	7. 88	158	┐
F 13	D16	2660	28	1. 56	4. 15	116	[
F 14	"	2650	66	1. 56	4. 13	273	[
F 15	"	3380	24	1. 56	5. 27	126	[
33796 kg							
◎ F 0 1	D25	2570	240	3. 98	10. 2	2448	[240] C
◎ F 0 2	D16	2440	56	1. 56	3. 81	213	[56] C
2661 kg							
鉄筋A 鉄筋B 鉄筋C (機械継手箇所) (機械式定着箇所)							
合 計	D41	11439 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D35	20294 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D32	5039 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D29	6460 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D25	- kg	- kg	2448 kg	- kg	- kg	[240]
	D19	1488 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D16	835 kg	- kg	213 kg	- kg	- kg	[56]
総質量		45555 kg	- kg	- kg	2661 kg	- kg	[296]

鉄筋表 （SD345） （下部工施工 エポキシ樹脂塗装鉄筋）

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
※ P 1	D32	4500	28	6. 23	28. 0	784	
※ P 2	"	2330	39	6. 23	14. 5	566	K (39) B
※ P 3	"	4500	12	6. 23	28. 0	336	
※ P 4	"	2340	20	6. 23	14. 6	292	K (20) B
※ P 5	D16	3200	4	1. 56	4. 99	20	
1998 kg							
※ A 3	D25	9890	58	3. 98	39. 4	2285	┐
※ A 4	"	6290	3	3. 98	25. 0	75	┐ (平均長)
※ A 5	"	9970	1	3. 98	39. 7	40	┐
※ A 6	"	9880	58	3. 98	39. 3	2279	┐
※ A 7	"	6220	3	3. 98	24. 8	74	┐ (平均長)
※ A 8	"	9730	1	3. 98	38. 7	39	┐
※ A 9	D16	4510	34	1. 56	7. 04	239	┐
※ A 10	"	10290	11	1. 56	16. 1	177	┐
5208 kg							
◎※ A 0 1	D25	3340	150	3. 98	13. 3	1995	┐ [150] C
◎※ A 0 2	D16	3210	32	1. 56	5. 01	160	┐ [32] C
2155 kg							
※ W 1	D32	9770	3	6. 23	60. 9	183	┐
※ W 2	"	11430	45	6. 23	71. 2	3204	┐
※ W 3	D19	8850	3	2. 25	19. 9	60	┐
※ W 4	"	11250	45	2. 25	25. 3	1139	┐
※ W 5	D38	12000	14	8. 95	107	1498	K (14) B
※ W 6	"	10500	13	8. 95	94. 0	1222	K (13) B
※ W 7	D22	10500	14	3. 04	31. 9	447	
※ W 8	"	12000	14	3. 04	36. 5	511	
※ W 9	D32	4460	3	6. 23	27. 8	83	┐
※ W 10	"	7850	45	6. 23	48. 9	2201	┐
※ W 11	D16	12000	3	1. 56	18. 7	56	
※ W 12	"	11000	2	1. 56	17. 2	34	
※ W 13-1	"	1790	27	1. 56	2. 81	76	[
※ W 13-2	"	1810	4	1. 56	2. 82	11	[
※ W 14	"	11840	2	1. 56	18. 5	37	
※ W 15	D13	1760	51	0. 995	1. 75	89	┐
※ W 16	"	1780	4	0. 995	1. 77	7	┐
◎※ W 17	D16	1630	95	1. 56	2. 54	241	┐ [95] C
※ W 18-1	D38	3370	13	8. 95	30. 2	393	K (13) B
※ W 18-2	"	11920	13	8. 95	107	1391	K (平均長) B
※ W 19-1	D22	3160	12	3. 04	9. 61	115	K (12) B
※ W 19-2	"	11910	12	3. 04	36. 2	434	K (平均長) B
◎※ W 20	D16	1650	3	1. 56	2. 57	8	┐ [3] C
13440 kg							

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
※ W 1	D32	9770	4	6. 23	60. 9	244	┐
※ W 2	"	11430	43	6. 23	71. 2	3062	┐
※ W 3	D19	8850	4	2. 25	19. 9	80	┐
※ W 4	"	11250	43	2. 25	25. 3	1088	┐
※ W 5	D38	12000	14	8. 95	107	1498	K (14) B
※ W 6	"	10500	13	8. 95	94. 0	1222	K (13) B
※ W 7	D22	10500	14	3. 04	31. 9	447	
※ W 8	"	12000	14	3. 04	36. 5	511	
※ W 9	D32	4460	4	6. 23	27. 8	111	┐
※ W 10	"	7850	43	6. 23	48. 9	2103	┐
※ W 11	D16	12000	3	1. 56	18. 7	56	
※ W 12	"	10500	2	1. 56	16. 4	33	
※ W 13-1	"	1800	27	1. 56	2. 81	76	[
※ W 13-2	"	1810	3	1. 56	2. 82	8	[
※ W 14	"	11760	2	1. 56	18. 3	37	
※ W 15	D13	1760	49	0. 995	1. 75	86	┐
◎※ W 16	D16	1630	95	1. 56	2. 54	241	┐ [95] C
※ W 17-1	D38	3370	13	8. 95	30. 2	393	K (13) B
※ W 17-2	"	11610	13	8. 95	104	1352	K (平均長) B
※ W 18-1	D22	3160	12	3. 04	9. 61	115	K (12) B
※ W 18-2	"	11590	12	3. 04	35. 2	422	K (平均長) B
◎※ W 19	D16	1650	3	1. 56	2. 57	8	┐ [3] C
13193 kg							
※ S 1	D16	2850	40	1. 56	4. 45	178	[
※ S 2	"	3240	8	1. 56	5. 05	40	[
218 kg							
鉄筋A 鉄筋B 鉄筋C (機械継手箇所) (機械式定着箇所)							
合 計	D38	- kg	8969 kg	- kg	- kg	- kg	(80)
	D32	12311 kg	858 kg	- kg	- kg	- kg	(59)
	D25	4792 kg	- kg	1995 kg	- kg	- kg	[150]
	D22	1916 kg	1086 kg	- kg	- kg	- kg	(24)
	D19	2367 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
	D16	1078 kg	- kg	658 kg	- kg	- kg	[228]
	D13	182 kg	- kg	- kg	- kg	- kg	
総質量		22646 kg	10913 kg	2653 kg	- kg	- kg	(163) [378]

注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を示す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) (┐)内は機械継手数を示す。
注7) []内は機械式定着体数を示す。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 2 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋表 (SD345)

		種 別		普通鉄筋			エポキシ樹脂塗装鉄筋			全合計 (kg)
				下部工施工			下部工施工			
				軀 体	底 版	小 計	軀 体	底 版	小 計	
(SD345)	A	D13	D13	-	-	-	182	-	182	182
		D16～D25	D16	320	515	835	1078	-	1078	1913
			D19	-	1488	1488	2367	-	2367	3855
			D22	-	-	-	1916	-	1916	1916
			D25	-	-	-	4792	-	4792	4792
			小計	320	2003	2323	10153	-	10153	12476
		D29～D32	D29	-	6460	6460	-	-	-	6460
			D32	-	5039	5039	12311	-	12311	17350
			小計	-	11499	11499	12311	-	12311	23810
		D35		-	20294	20294	-	-	-	20294
		D38		-	-	-	-	-	-	-
		D41		11439	-	11439	-	-	-	11439
		D51		-	-	-	-	-	-	-
		A の 合 計		11759	33796	45555	22646	-	22646	68201
	B	D22		-	-	-	1086	-	1086	1086
		D29		-	-	-	-	-	-	-
		D32		-	-	-	858	-	858	858
		D35		-	-	-	-	-	-	-
		D38		-	-	-	8969	-	8969	8969
		D41		-	-	-	-	-	-	-
		D51		-	-	-	-	-	-	-
		B の 合 計		-	-	-	10913	-	10913	10913
	C	D16		-	213	213	658	-	658	871
		D19		-	-	-	-	-	-	-
		D22		-	-	-	-	-	-	-
		D25		-	2448	2448	1995	-	1995	4443
		D29		-	-	-	-	-	-	-
		D32		-	-	-	-	-	-	-
		C の 合 計		-	2661	2661	2653	-	2653	5314
	(SD345) 合計			11759	36457	48216	36212	-	36212	84428
鉄筋総質量			11759	36457	48216	36212	-	36212	84428	

機械継手箇所数 (下部工施工)

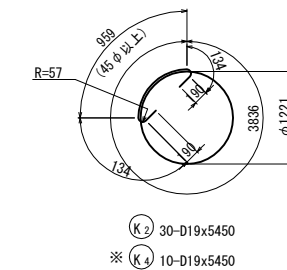
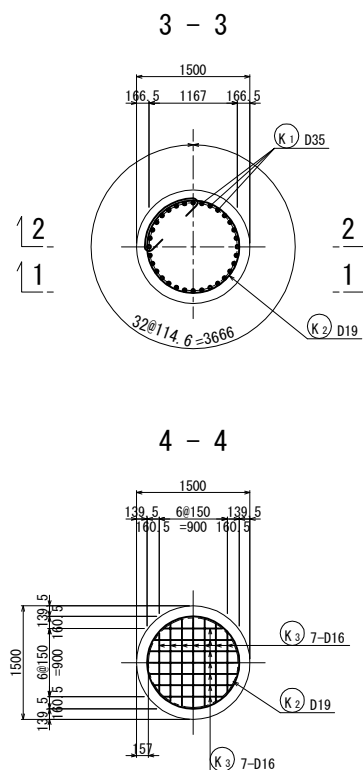
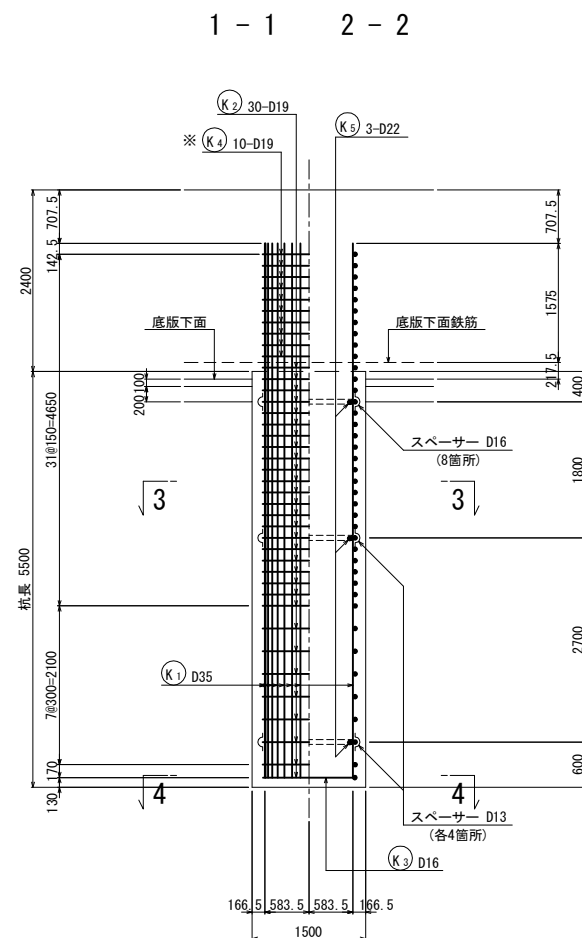
		普通鉄筋	エポキシ樹脂 塗装鉄筋	合 計
機械継手 箇所数	D22	-	24	24
	D29	-	-	-
	D32	-	59	59
	D35	-	-	-
	D38	-	80	80
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
合 計		-	163	163

機械式鉄筋定着工法数量表 (下部工施工)

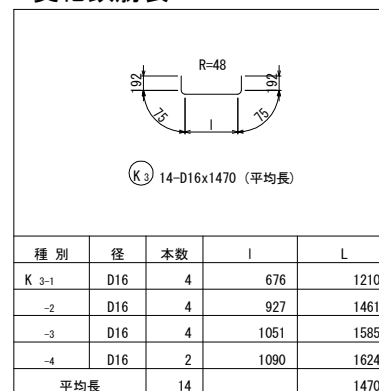
鉄筋径	箇 所 数			
	L ≦ 1m	1m < L ≦ 2m	2m < L ≦ 3m	3m < L ≦ 4m
D16	-	-	56	-
D25	-	-	240	-
合 計				296
D16 (エポキシ樹脂塗装鉄筋)	-	196	-	32
D25 (エポキシ樹脂塗装鉄筋)	-	-	-	150
合 計				378

注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路標示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台配筋図（その 2 2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

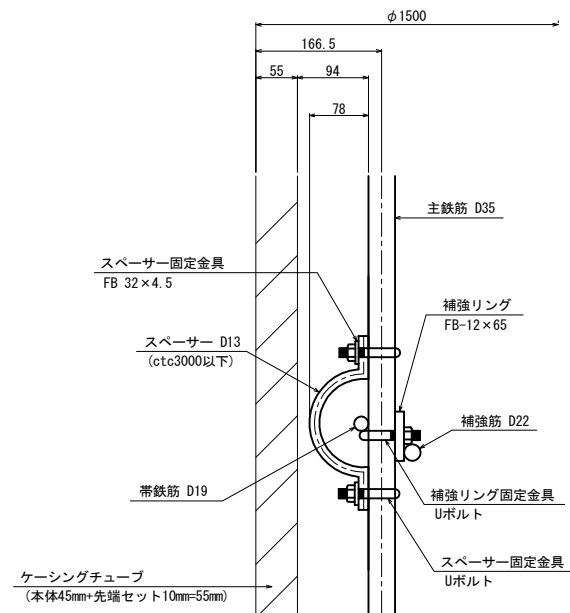


变化鉄筋表



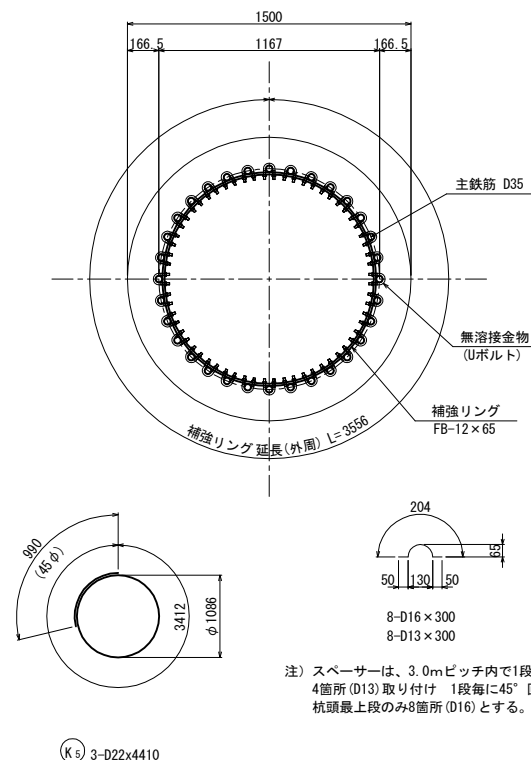
種 別	径	本数	I	L
K 3-1	D16	4	676	1210
-2	D16	4	927	1461
-3	D16	4	1051	1585
-4	D16	2	1090	1624
平均長		14		1470

スぺーサ一部詳細図 S=1:10



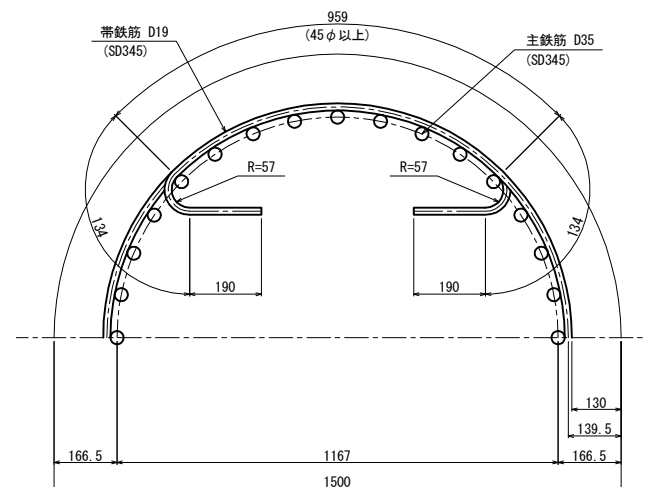
- 注) 1. スペーサーは1断面あたり4箇所(D13)を固定する。
但し枕頭最上段のみ8箇所(D16)を固定する。
1交差箇所につき、上・下ケーシング金具で固定。
2. この図のケーシングチューブの仕様は標準値である為、
これによらない場合は別途スペーサーの加工などを見直すこと。

補強リングと主筋金具詳細図 S=1:40

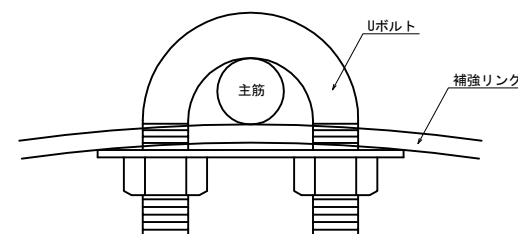


- 注) スペースは、3.0mピッチ内で1段当たり
4箇所(D13)取り付け 1段毎に45° 回転させる。
杭頭最上段のみ8箇所(D16)とする。

帶鉄筋継手部詳細図 S=1:20



Uボルト詳細図



※Uボルト又は同等品
主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

鉄筋表

(Y鉄筋)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
K 1	D35	7 070	32	7.51	53.1	1 699	┃
K 2	D19	5 450	30	2.25	12.3	369	○
K 3	D16	1 450	14	1.56	2.29	32	┃ (平口鉄)
K 5	D22	4 400	3	3.04	13.4	40	○ (補強リング)
K 6	D16	300	8	1.56	0.468	4	へ (スプーサー)
K 7	D13	300	8	0.995	0.299	2	へ (スプーサー)

鉄筋表

(A鉄筋)

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
K 4	D19	5 450	10	2 . 25	12 . 3	123	
						123 kg	

補強リング、固定金具

杭1本当り

種 別	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
FB-12×65	3556	3	6.12	21.76	65	補強リング用
Uボルト (D35用)	-	96	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

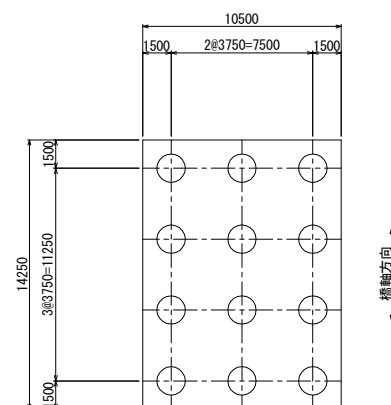
※Uボルト規格
D35用、SS400、変形時荷重30kN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋がご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

スペーサー固定金具

杭1本当り

種 別	長 さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
Uボルト (D35用)	-	32	-	-	-	スプーサーと主鉄筋の固定
FB-32×4.5	80	32	1.130	0.090	3	Uボルト固定用

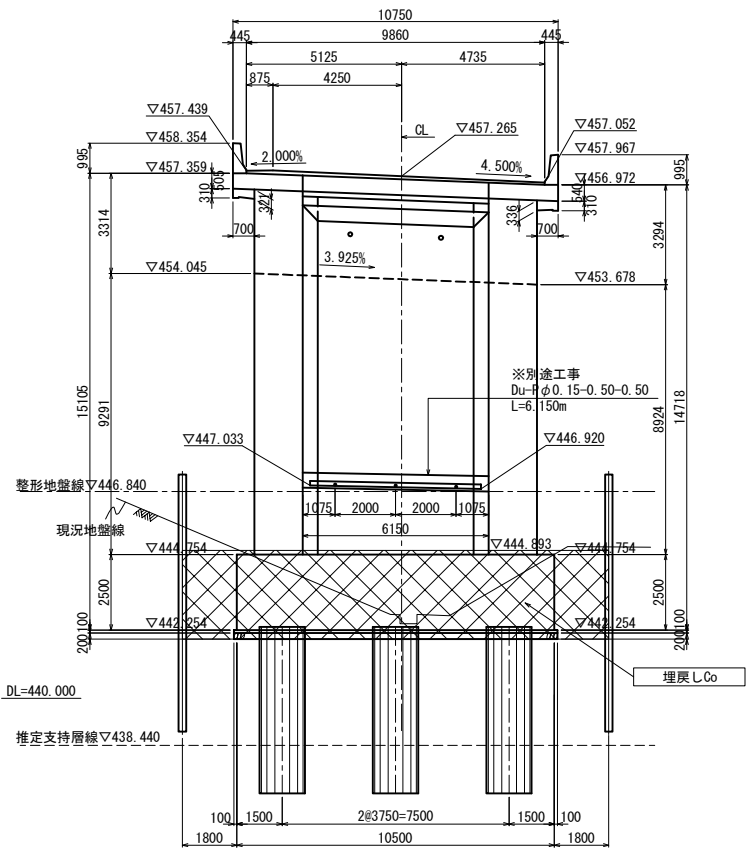
位置図



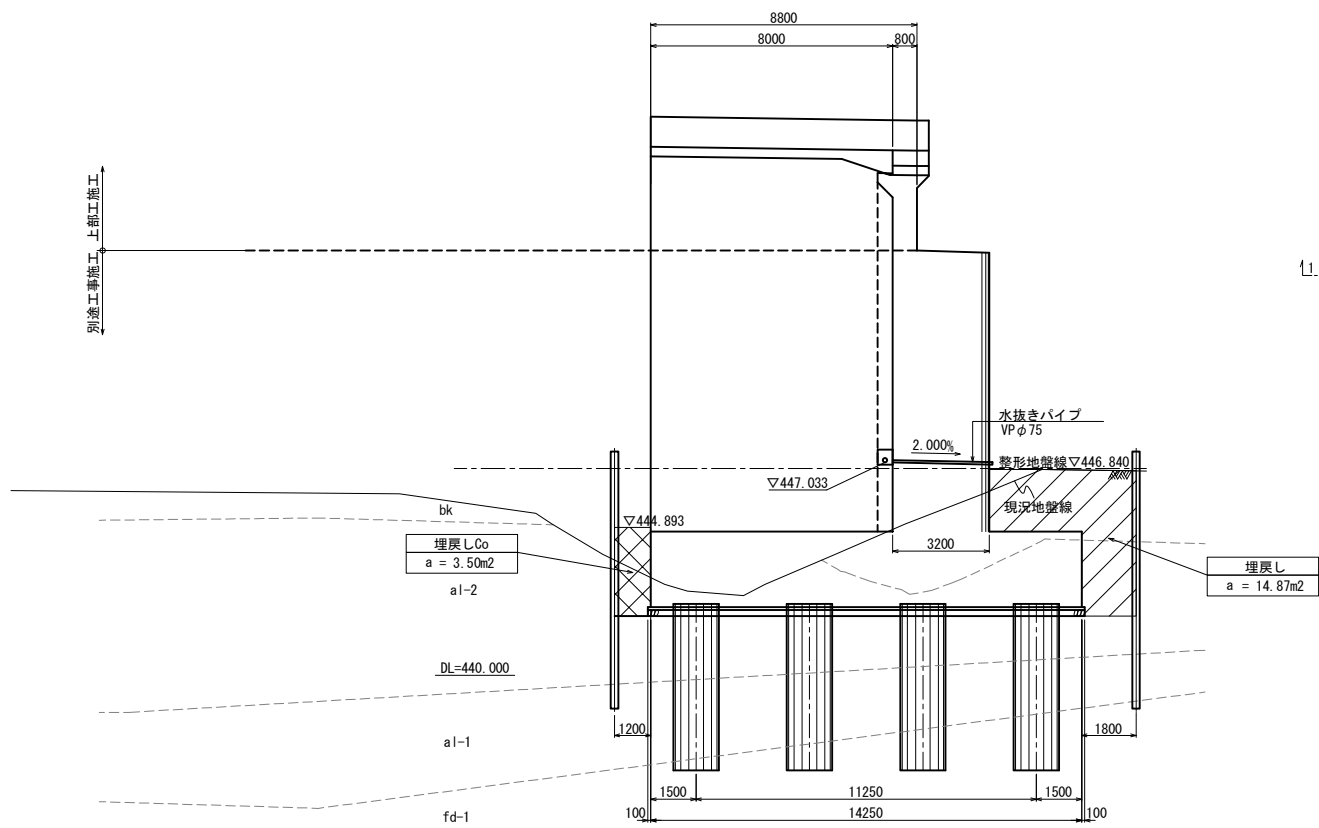
- 注) 1. 鉄筋長は切り上げとし10mm丸めとする。
2. 特記無き鉄筋の材質はSD345とする。
3. ※印はA鉄筋とし、それ以外はY鉄筋とする。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1橋台線所打ち杭筋図			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

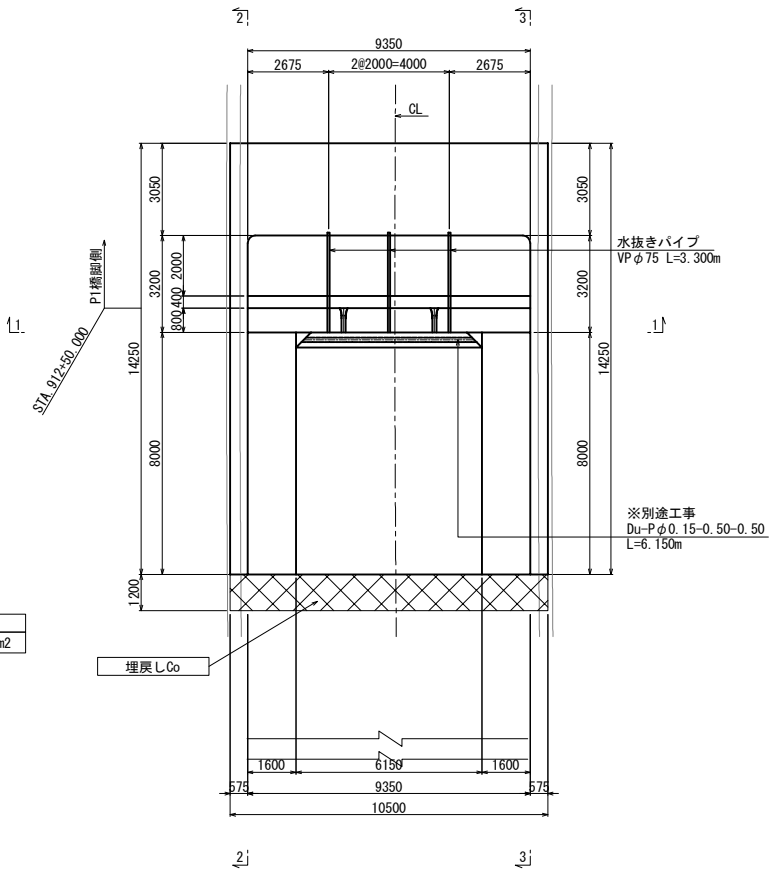
背面図
1-1



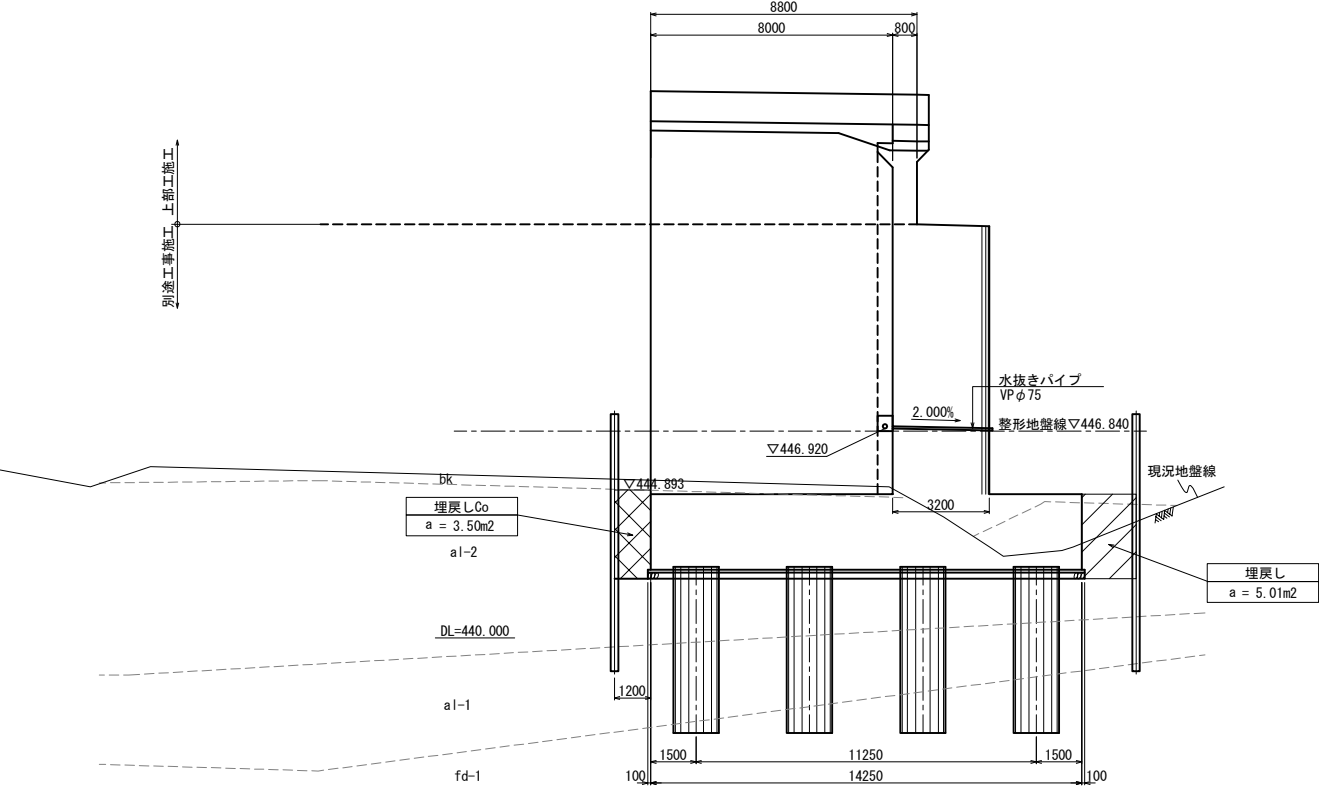
左側ウイング側面図
2-2



平面図

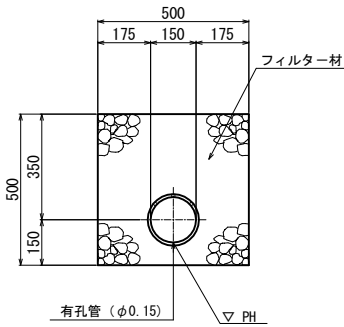


右側ウイング側面図
3-3



※別途工事
地下排水工 S=1:25

Du-P $\phi 0.15-0.50-0.50$

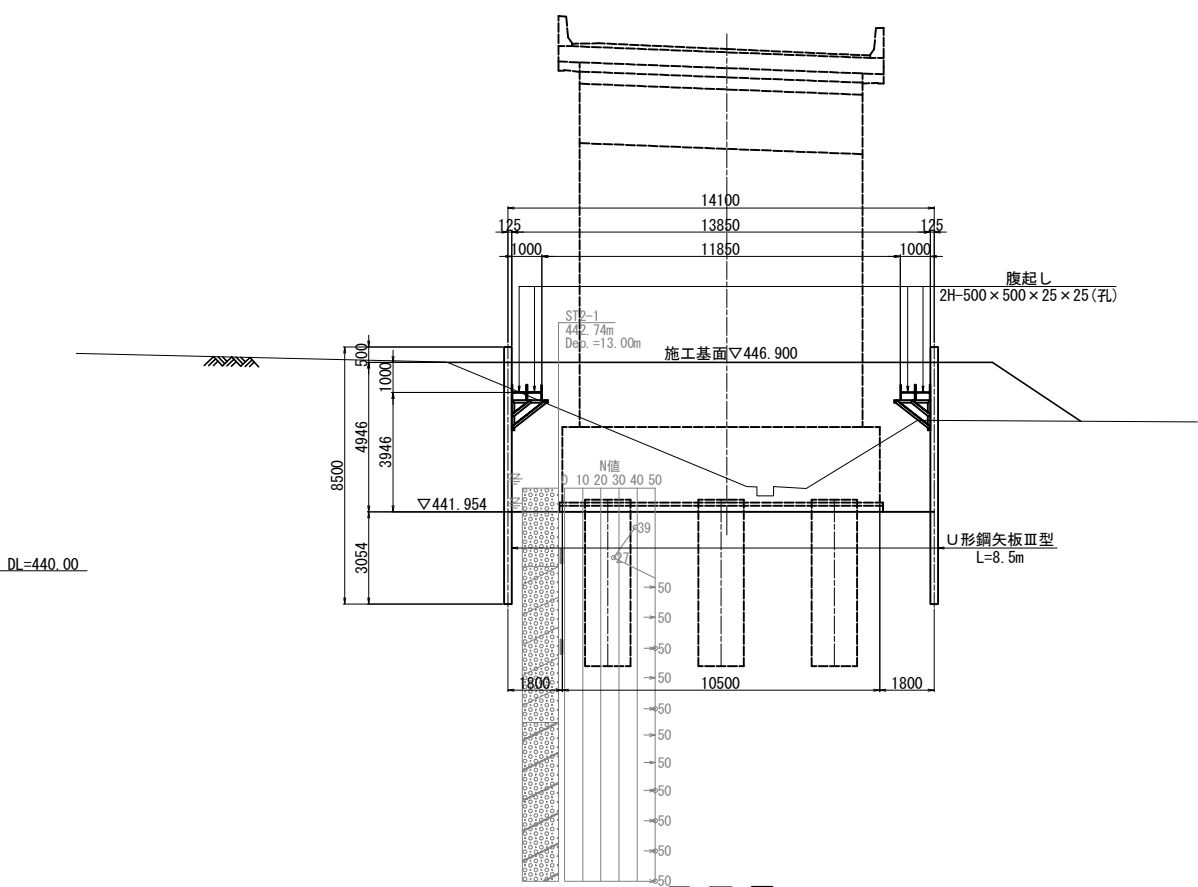


材 料 表

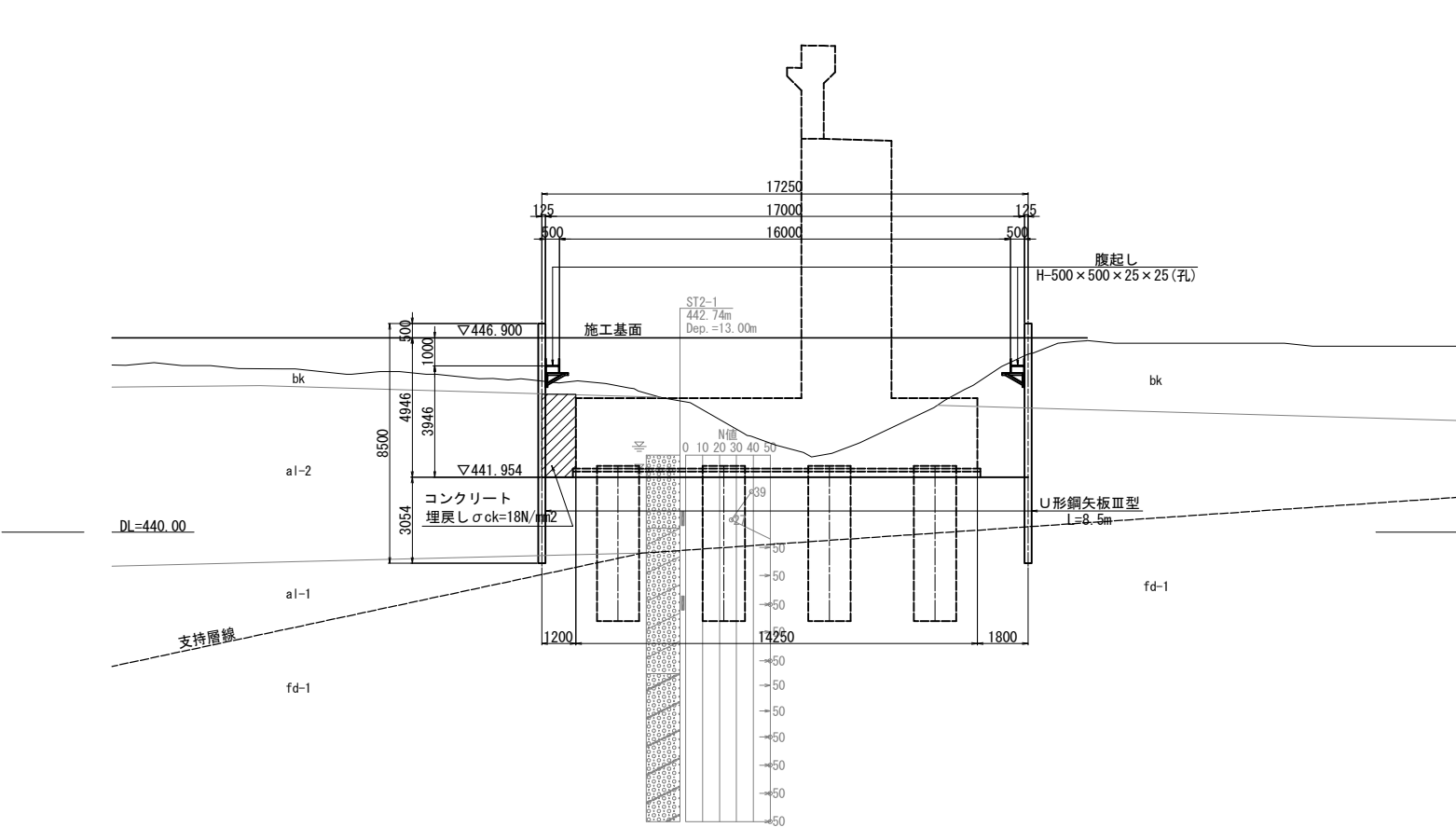
項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	D 1-1	m3	49.4	埋戻しCo
型わく	D	m2	10.6	
	R	m2	52.0	
地下排水工	Du-P $\phi 0.15-0.50-0.50$	m	6.2	※別途工事
水抜きパイプ	VP $\phi 75$	m	9.9	

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台裏込め工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

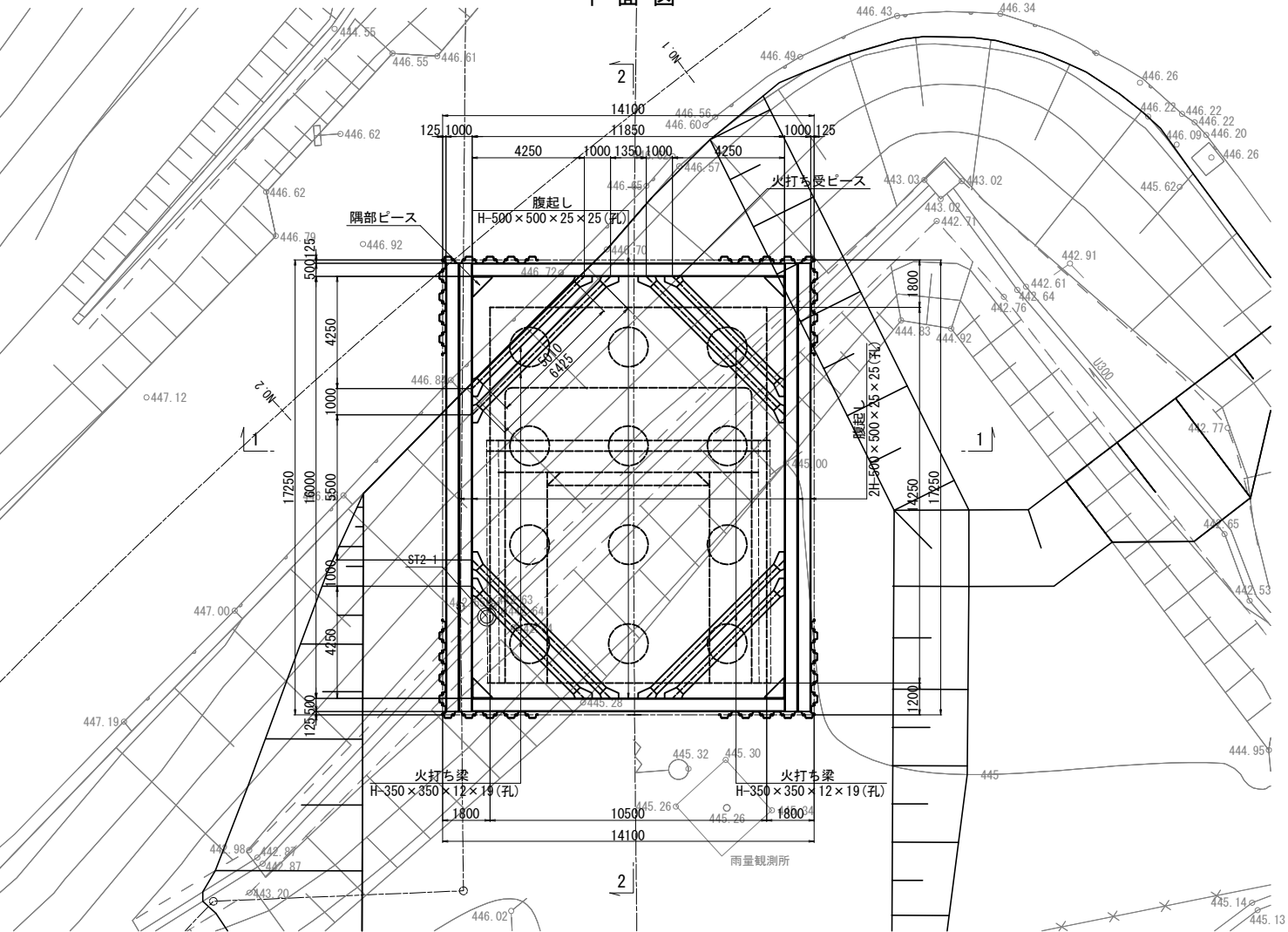
断面図(1-1)



断面図(2-2)



平面図

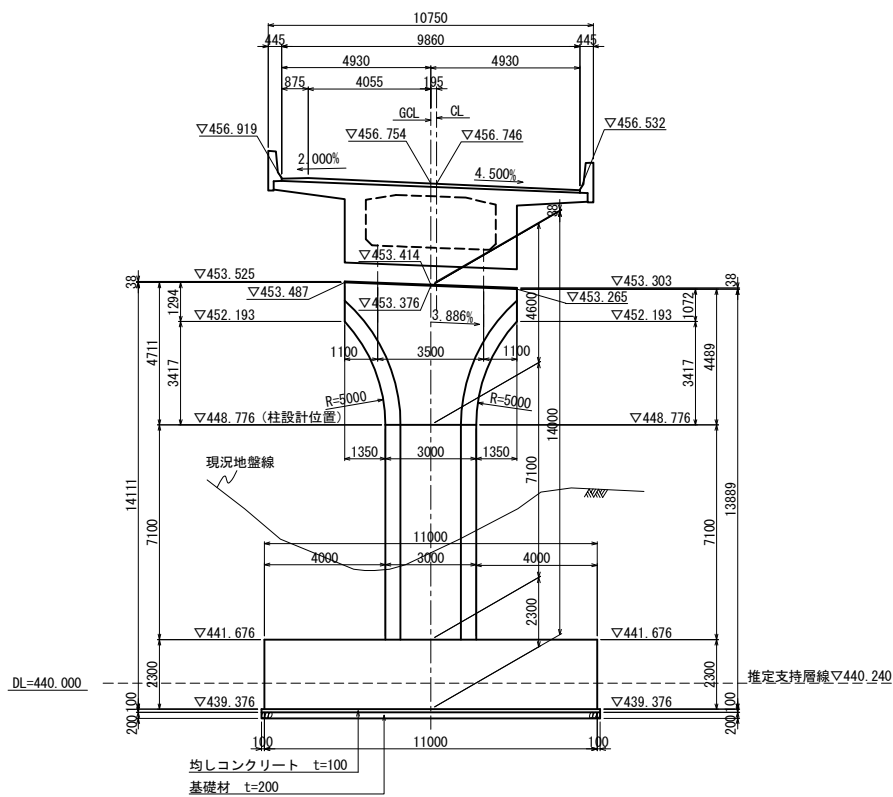


材料表

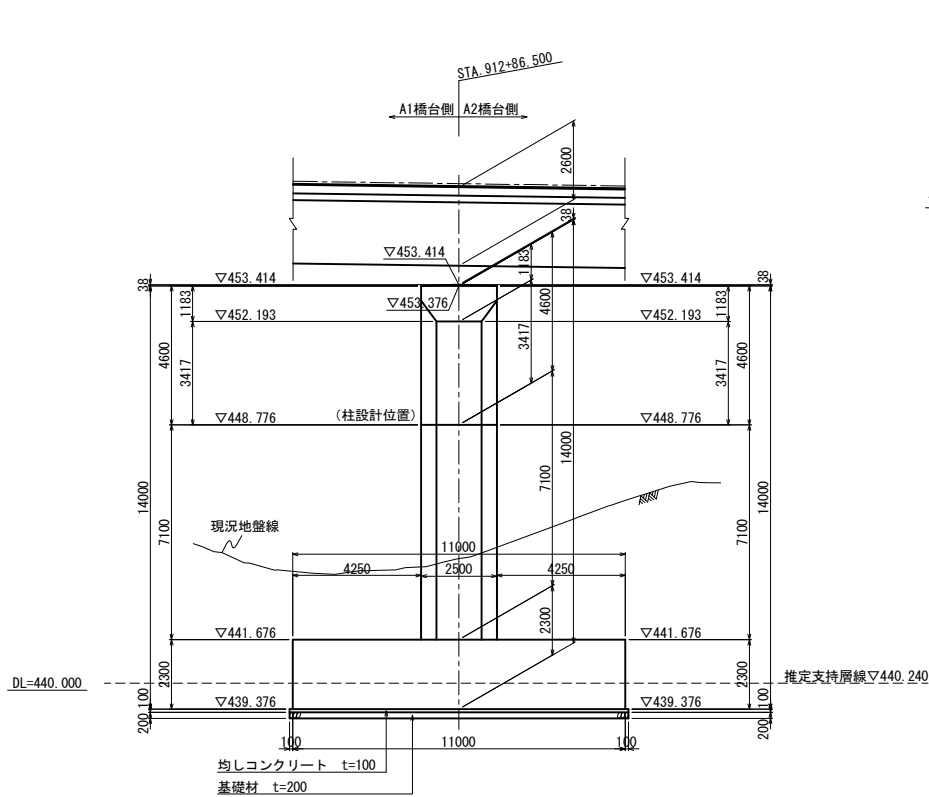
種 別	形状寸法	長さ (mm)	数量	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
普通鋼矢板 (リース材)								
鋼矢板	Ⅲ型	8 500	160	60.0	510.0	81 600	SY295	
仮設材鋼矢板合計						81 600 kg		
支保工 (リース材)								
腹 起 し	H-500×500×25×25	17 000	4	300	5 100.0	20 400	SS400	
〃	〃	11 850	2	300	3 555.0	7 110	〃	
火打ち梁	H-350×350×12×19	6 425	4	150	963.8	3 855	SS400	
〃	〃	5 010	4	150	751.5	3 006	〃	
主部材合計						34 371 kg		
カバープレート	H-500用		12		104.0	1 248	SS400	
隅部ピース	H-500用		4		171.0	684	〃	
火打受ピース	H-350用		16		60.0	960	〃	
副部材合計						2 892 kg		
合計						37 263 kg		
鋼製山留材 主部材合計					34.371	t		
鋼製山留材 副部材合計					2.892	t		
鋼製山留材 消耗部品合計 (主部材×0.04)					1.375	t		
鋼製山留材 合計					38.638	t		
※火打長は全長より火打ちピース長 (2×0.50m) を控除した長さとする。								
※カバープレートは1腹起し当り2個を想定する。								

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台土留工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

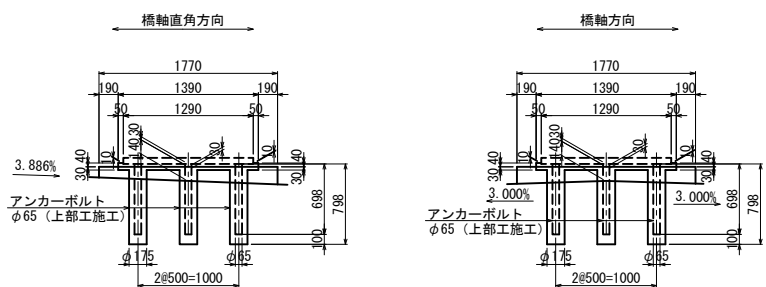
正面図



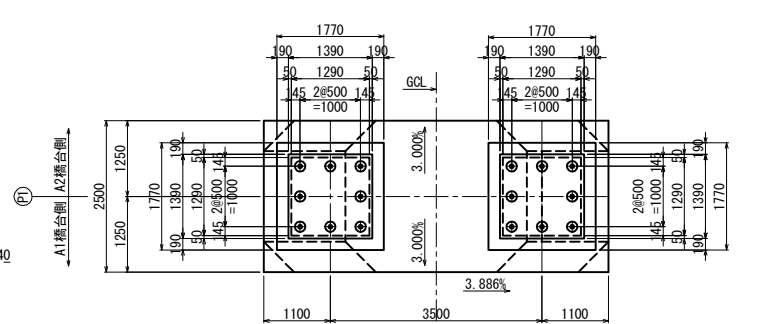
側面図



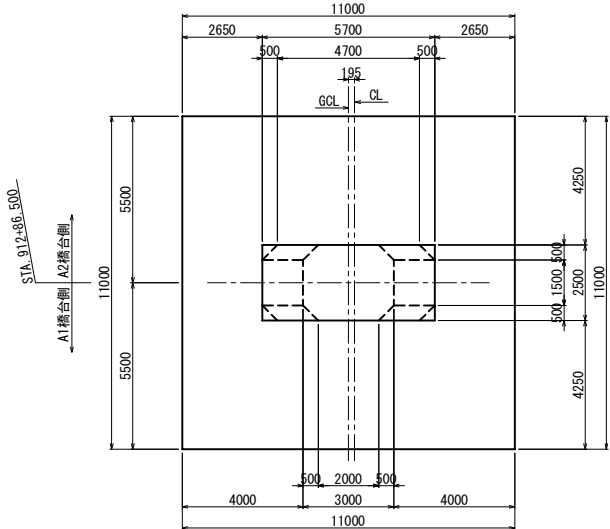
支承詳細図 S=1:75



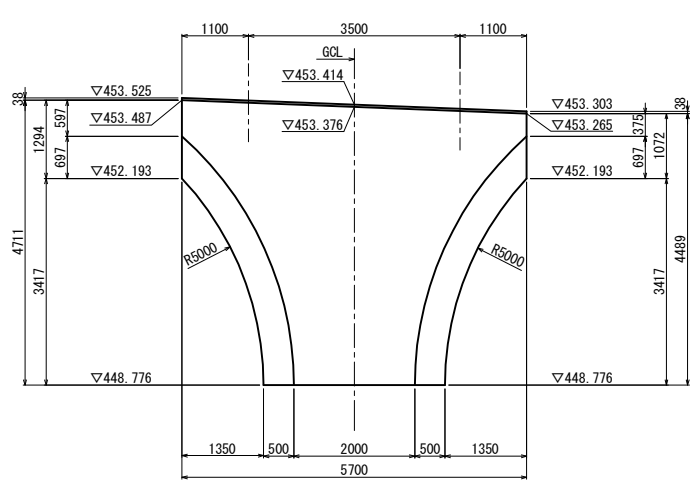
支承詳細平面図 S=1:125



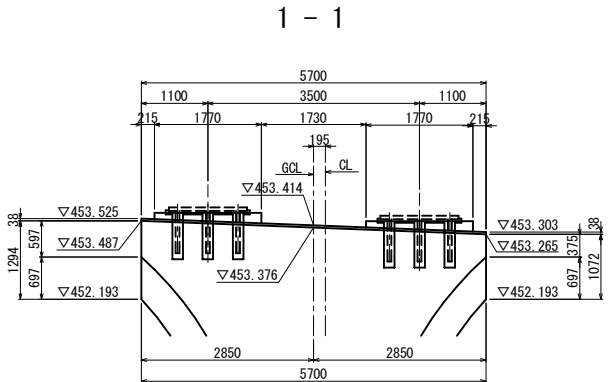
平面図



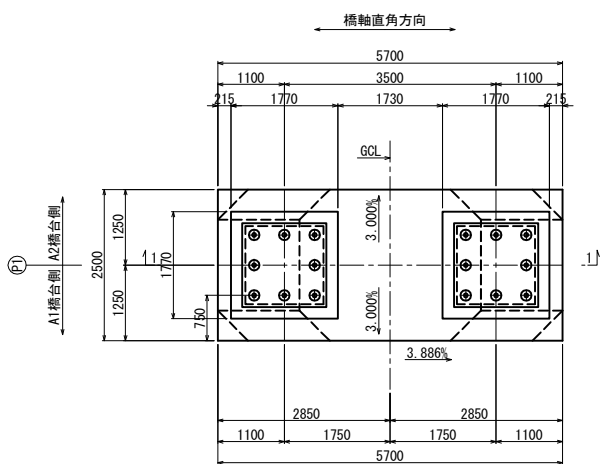
橋座部詳細図 S=1:125



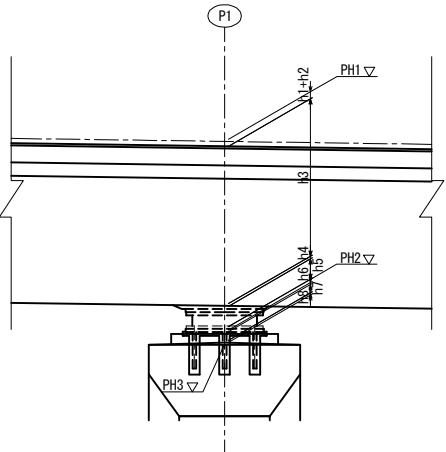
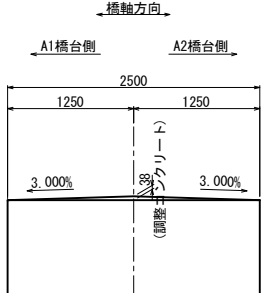
橋座面断面図 S=1:125



橋座面平面図 S=1:125



橋脚天端詳細図 S=1:75



構造高表（支承ライン）

		P1			
		SL	GCL	CL	SR
計 画 高	PH1	456.833	456.754	456.746	456.676
舗 装 厚	h1	0.080			0.080
調整コンクリート	h2	0.039			0.018
桁 高	h3	2.600			2.600
レ ア ー 厚	h4	0.070			0.070
支 承 高	h5	0.392			0.392
小 計	$\Sigma h1$	3.181			3.160
モルタル天端高	PH2	453.652			453.516
寄座モルタル高	h6	0.030			0.030
台 座 高	h7	0.140			0.140
調整コンクリート	h8	0.038			0.038
橋 座 高	PH3	453.444	453.376	453.368	453.308
横 断 勾 配(%)	i	-3.886%			
構 造 高 合 計	Σh	3.389	3.378	3.378	3.368

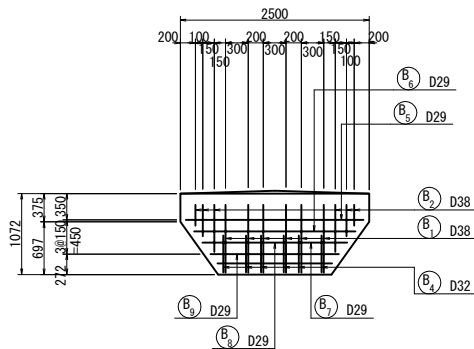
※調整コンクリートは主桁コンクリートと同時に打設する。

下部工施工材料基準強度

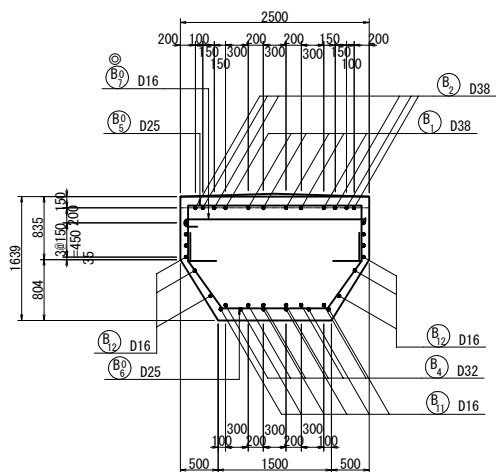
	コンクリート	鉄 筋
柱	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	主鉄筋: SD490 帯鉄筋: SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	-

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） P 1 橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

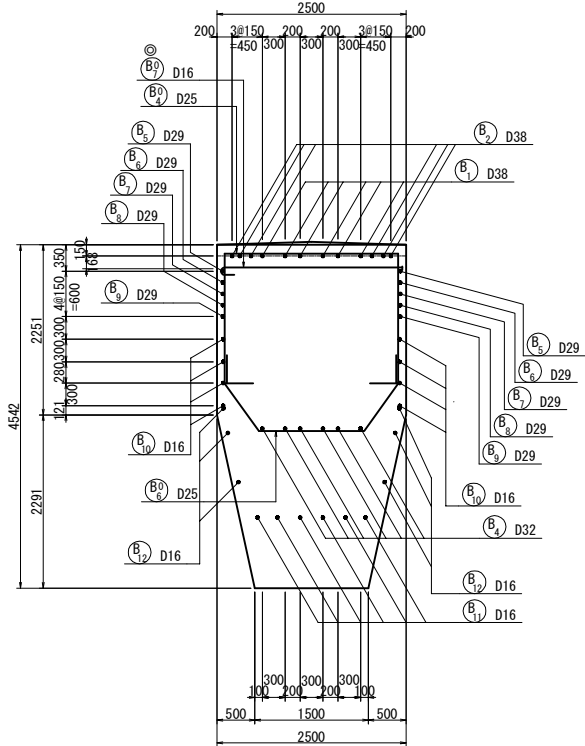
1 - 1



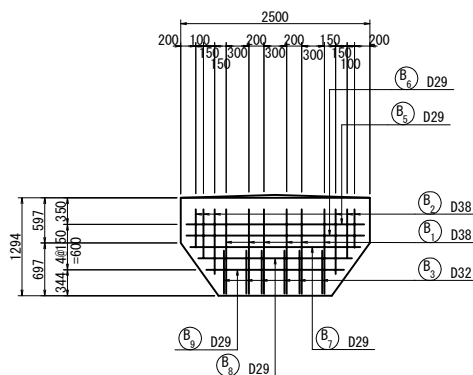
2 - 2



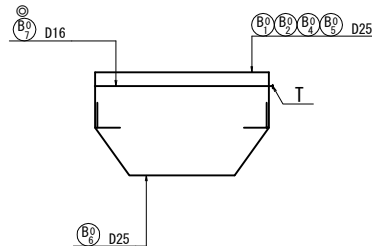
3 - 3



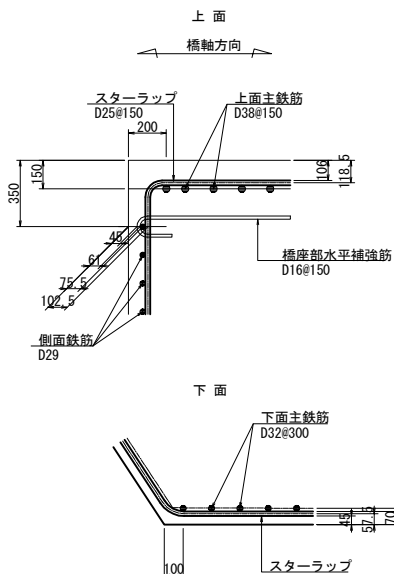
4 - 4



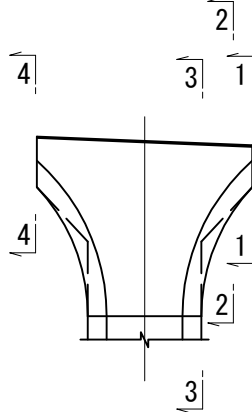
帯鉄筋組立図



梁端部かぶり詳細図 S=1:40

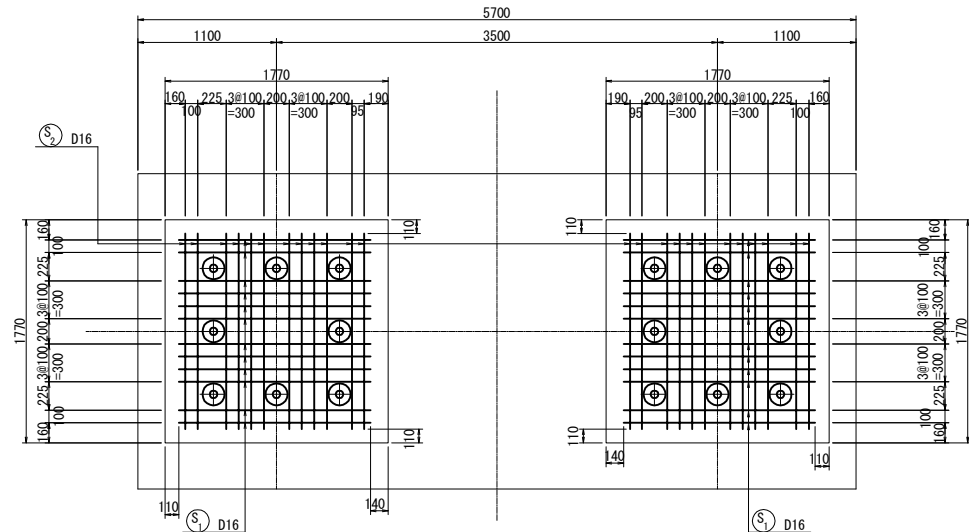


位置図

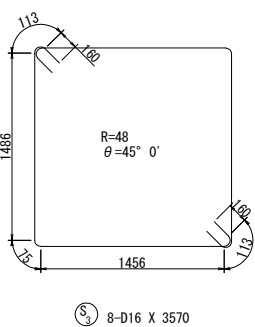
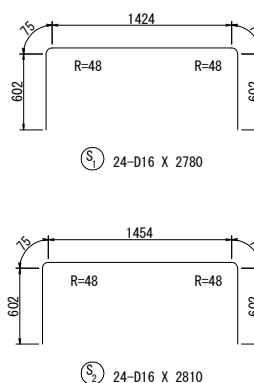
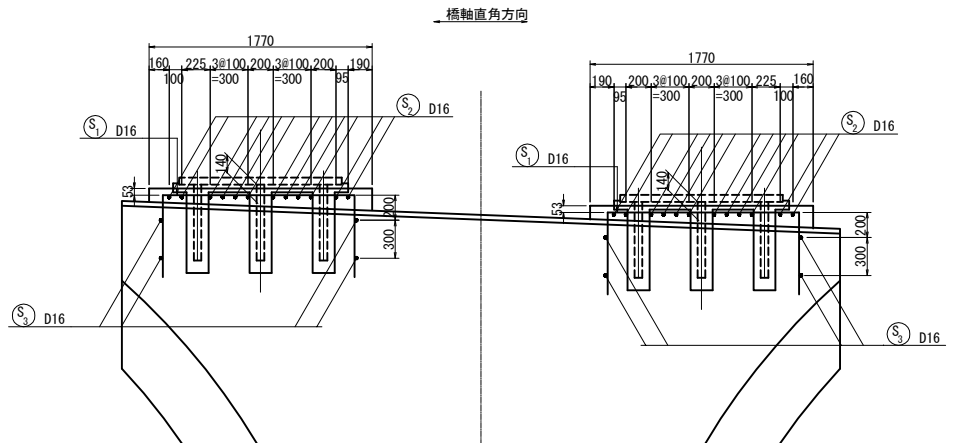


台座コンクリート詳細図 S=1:60

平面図

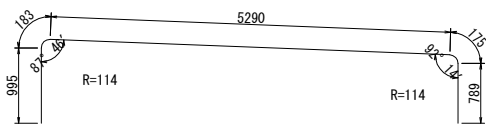


側面図



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



Ⓑ₁ 6-D38 X 7440

変化鉄筋表

Ⓑ ₂ 6-D38 X 6530 (平均長)					
種 別	径	本数	I 1	I 2	L
B 2-1	D38	2	387	166	6201
-2	D38	2	526	305	6479
-3	D38	2	734	513	6895
平均長		6			6525

変化鉄筋表

Ⓑ₁₀

10-D16 X 3460 (平均長)

種 別	径	本数	I	L
B 10-1	D16	2	2846	2846
-2	D16	2	3078	3078
-3	D16	2	3399	3399
-4	D16	2	3770	3770
-5	D16	2	4197	4197
平均長		10		3458

変化鉄筋表

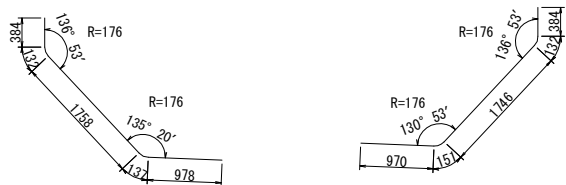
Ⓑ ₁₂ 12-D16 X 4830 (平均長)					
種 別	径	本数	I	R	L
B 12-1	D16	4	3943	5192	4498
-2	D16	4	4321	5404	4876
-3	D16	4	4551	5535	5106
平均長		12			4827

変化鉄筋表

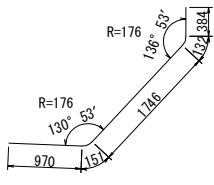
Ⓑ ₇ 7-D25 X 5550 (平均長)					
種 別	径	本数	I 1	I 2	L
B 7-1	D25	1	604	604	4425
-2	D25	1	759	759	4735
-3	D25	1	1043	1043	5303
-4	D25	1	1173	1173	5563
-5	D25	1	1302	1302	5821
-6	D25	1	1560	1560	6337
-7	D25	1	1690	1690	6597
平均長		7			5541

変化鉄筋表

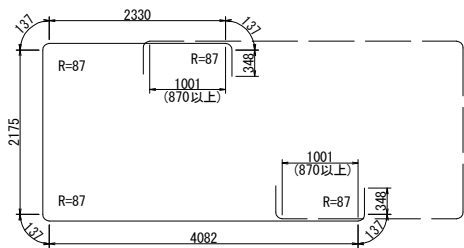
Ⓑ ₇ 7-D25 X 5240 (平均長)					
種 別	径	本数	I 1	I 2	L
B 7-1	D25	1	405	405	4027
-2	D25	1	572	572	4361
-3	D25	1	885	885	4987
-4	D25	1	1023	1023	5263
-5	D25	1	1161	1161	5539
-6	D25	1	1436	1436	6089
-7	D25	1	1574	1574	6365
平均長		7			5233



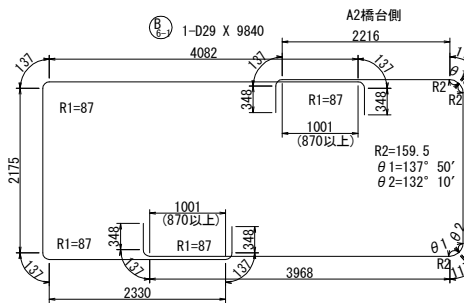
Ⓑ₃ 6-D32 X 3390



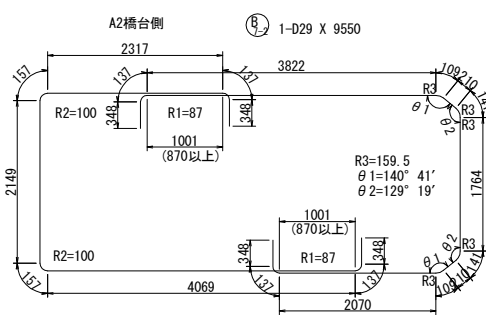
Ⓑ₆ 6-D32 X 3390



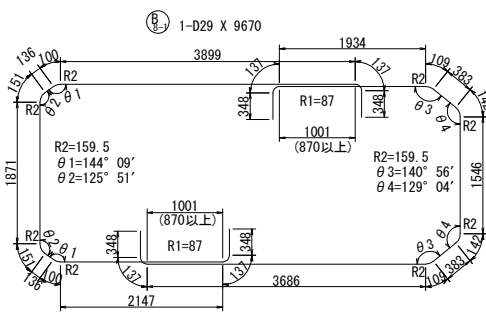
Ⓑ₅ 2-D29 X 9840



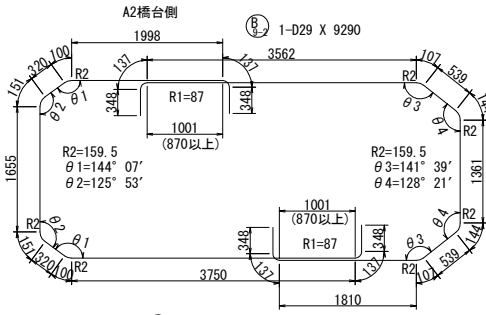
Ⓑ₁ 1-D29 X 9840



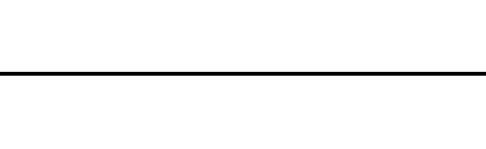
Ⓑ₁ 1-D29 X 9820



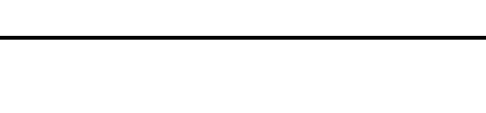
Ⓑ₁ 1-D29 X 9670



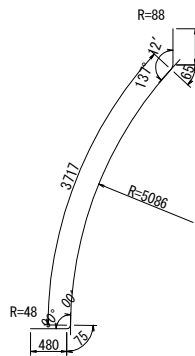
Ⓑ₁ 1-D29 X 9410



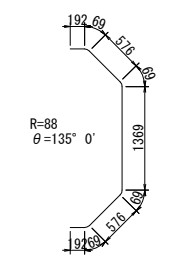
Ⓑ₁ 1-D29 X 9290



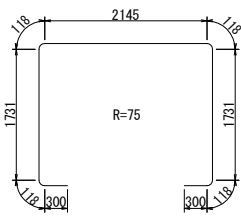
Ⓑ₁ 1-D29 X 9520



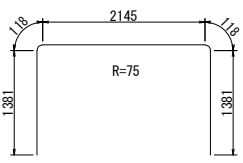
Ⓑ₁₂ 12-D16 X 4820



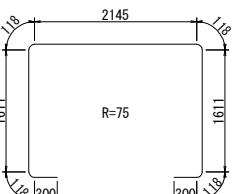
Ⓑ₁₂ 22-D16 X 3190



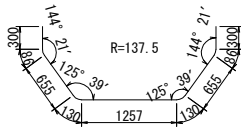
Ⓑ₇ 6-D25 X 6680



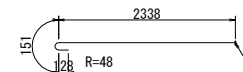
Ⓑ₇ 6-D25 X 5150



Ⓑ₇ 6-D25 X 6440



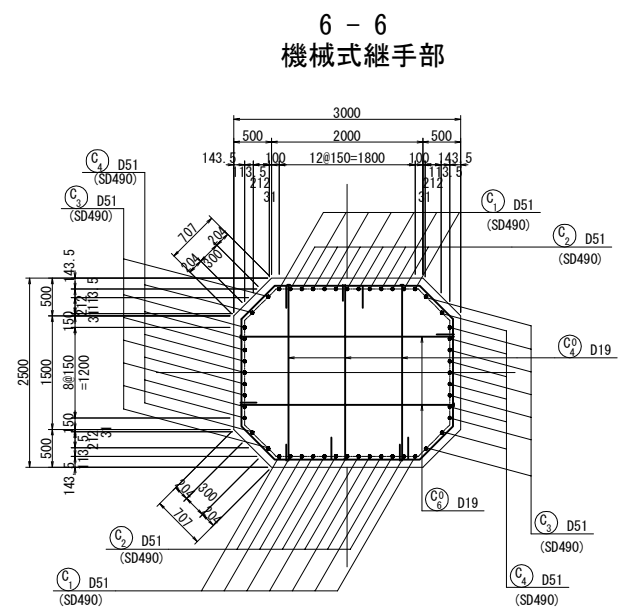
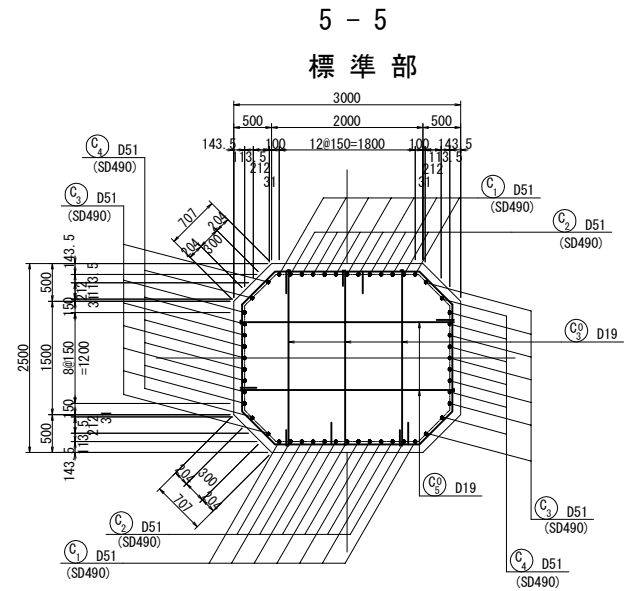
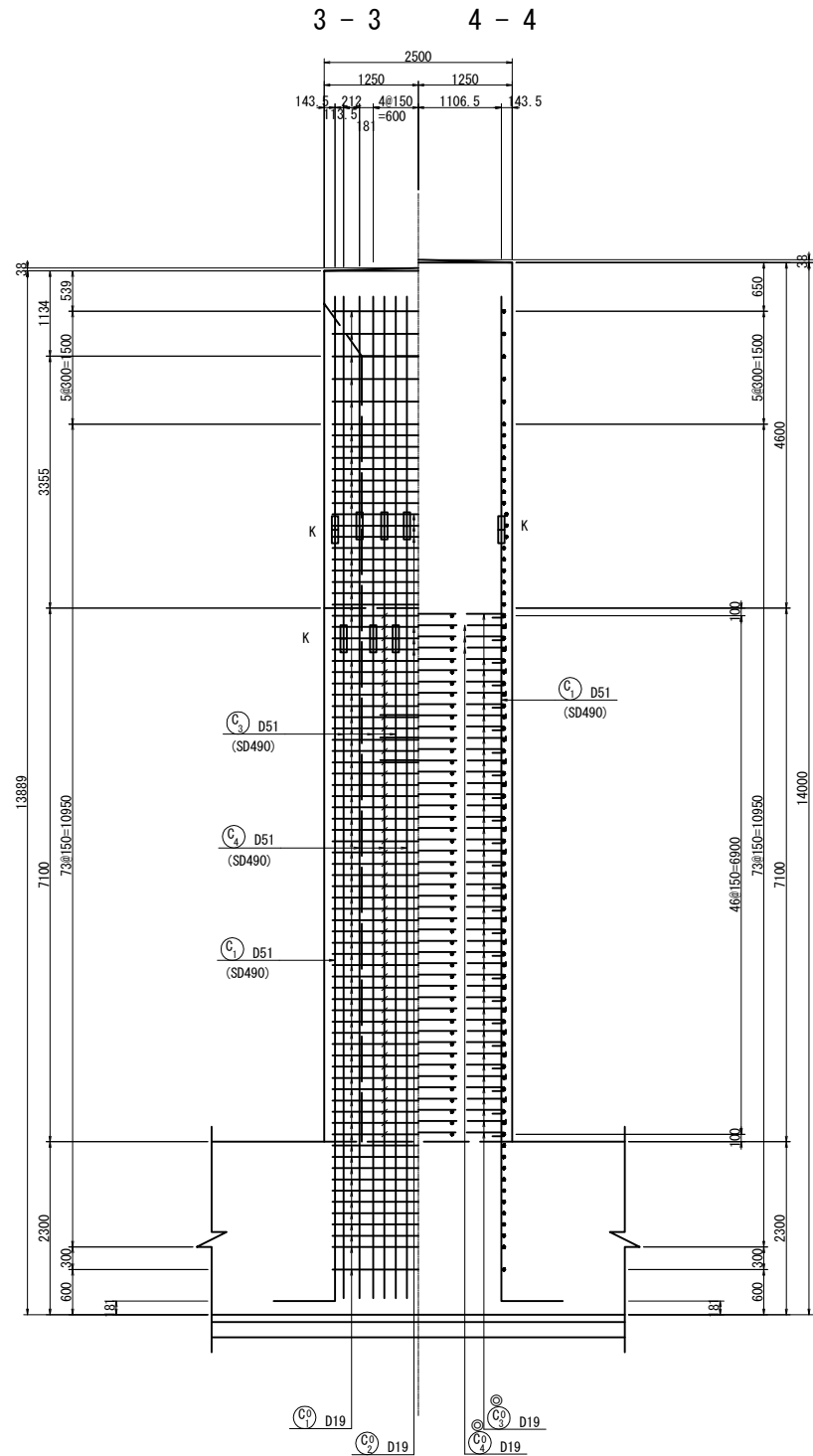
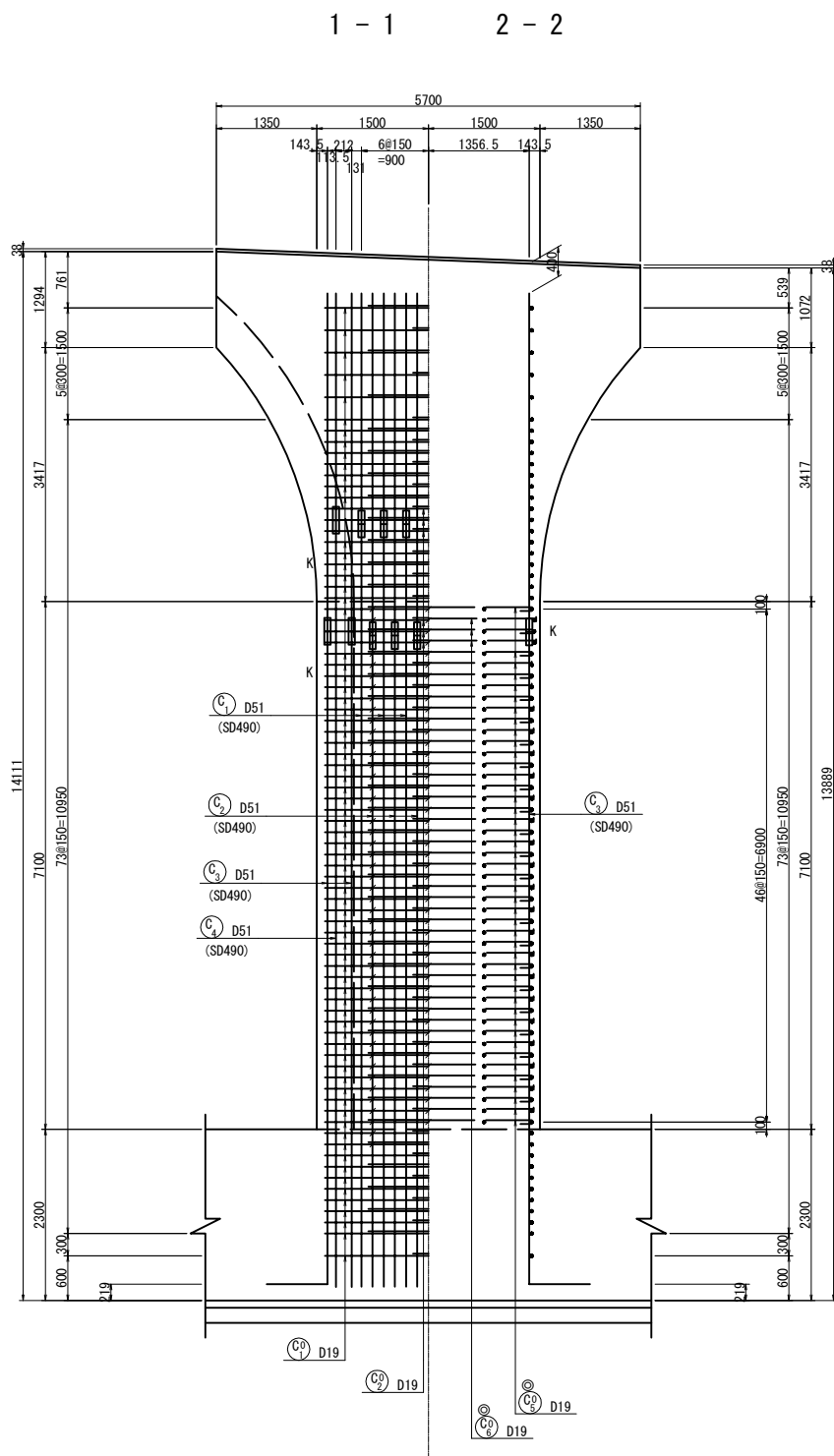
Ⓑ₇ 26-D25 X 3600



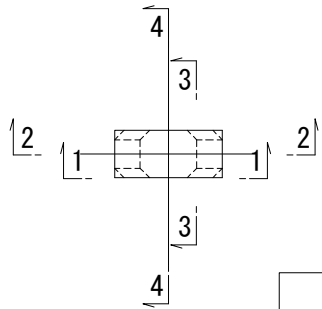
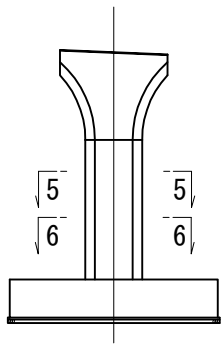
Ⓑ₇ 24-D16 X 2620

注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その3）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



位置図

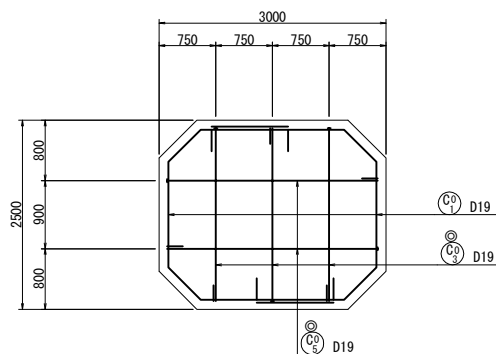


注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

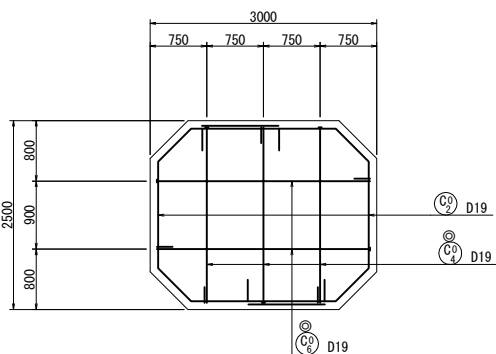
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

帯鉄筋組立図

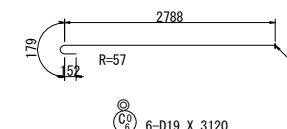
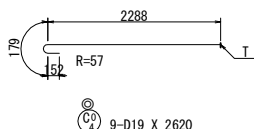
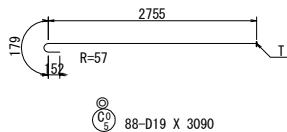
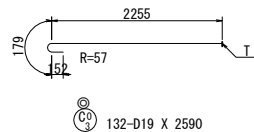
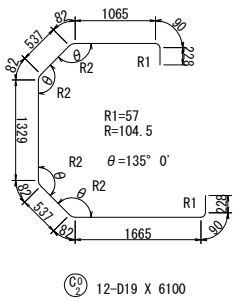
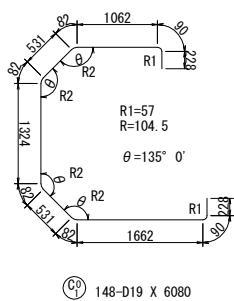
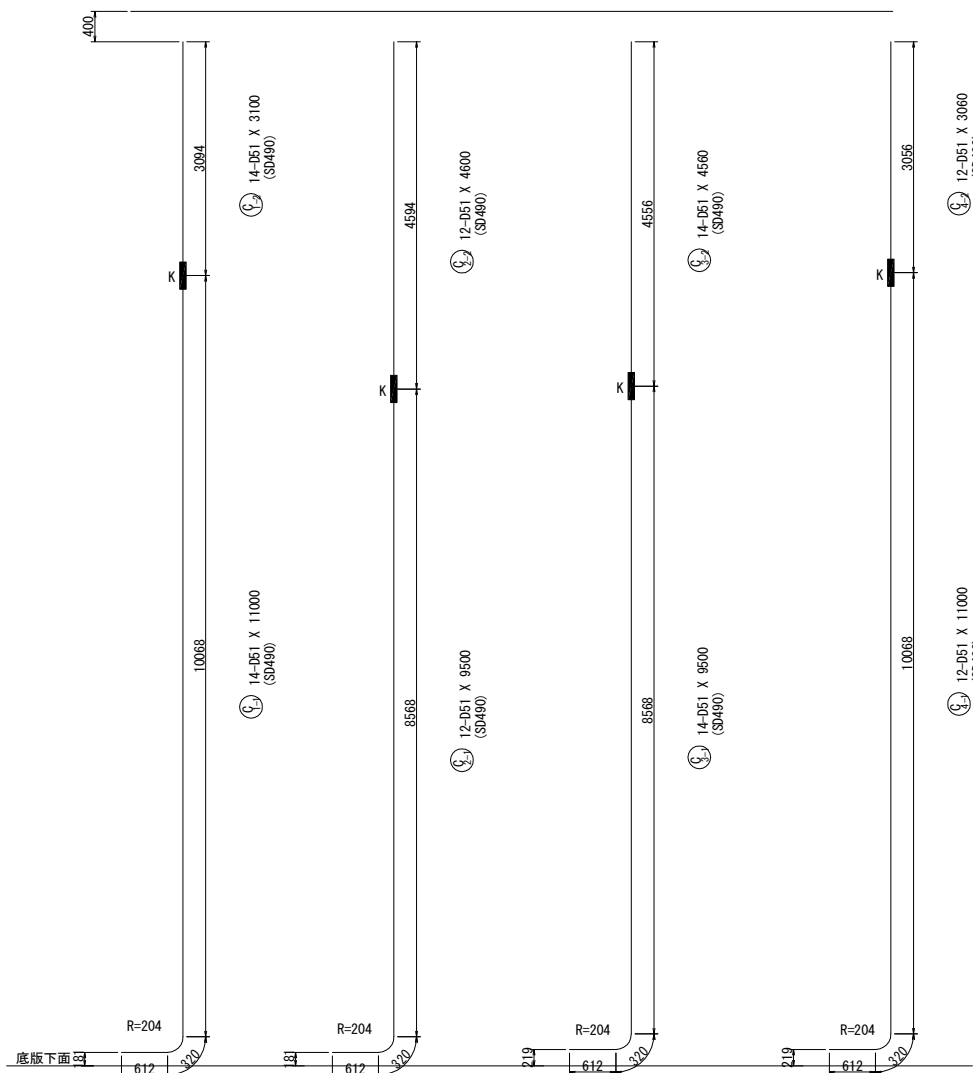
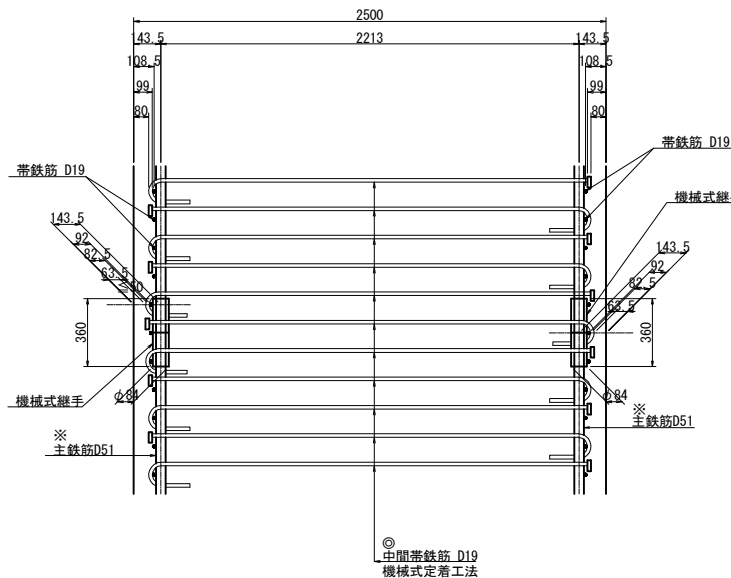
標準部



機械式継手部

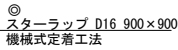
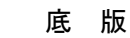
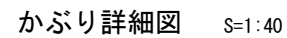


かぶり詳細図 S=1:40



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

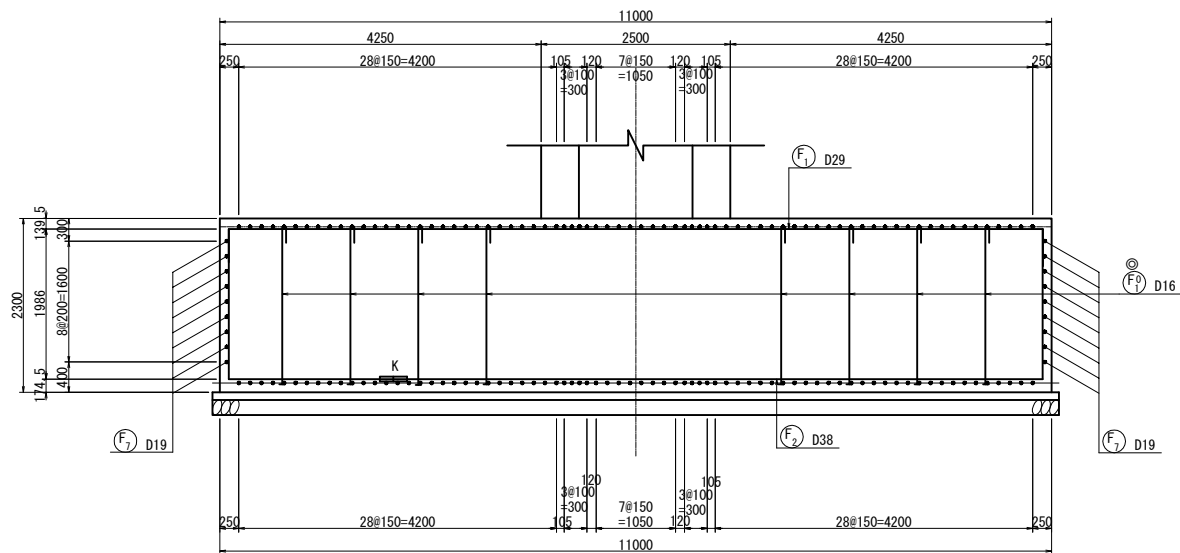
道東自動車道			
下トママ地区下部工工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



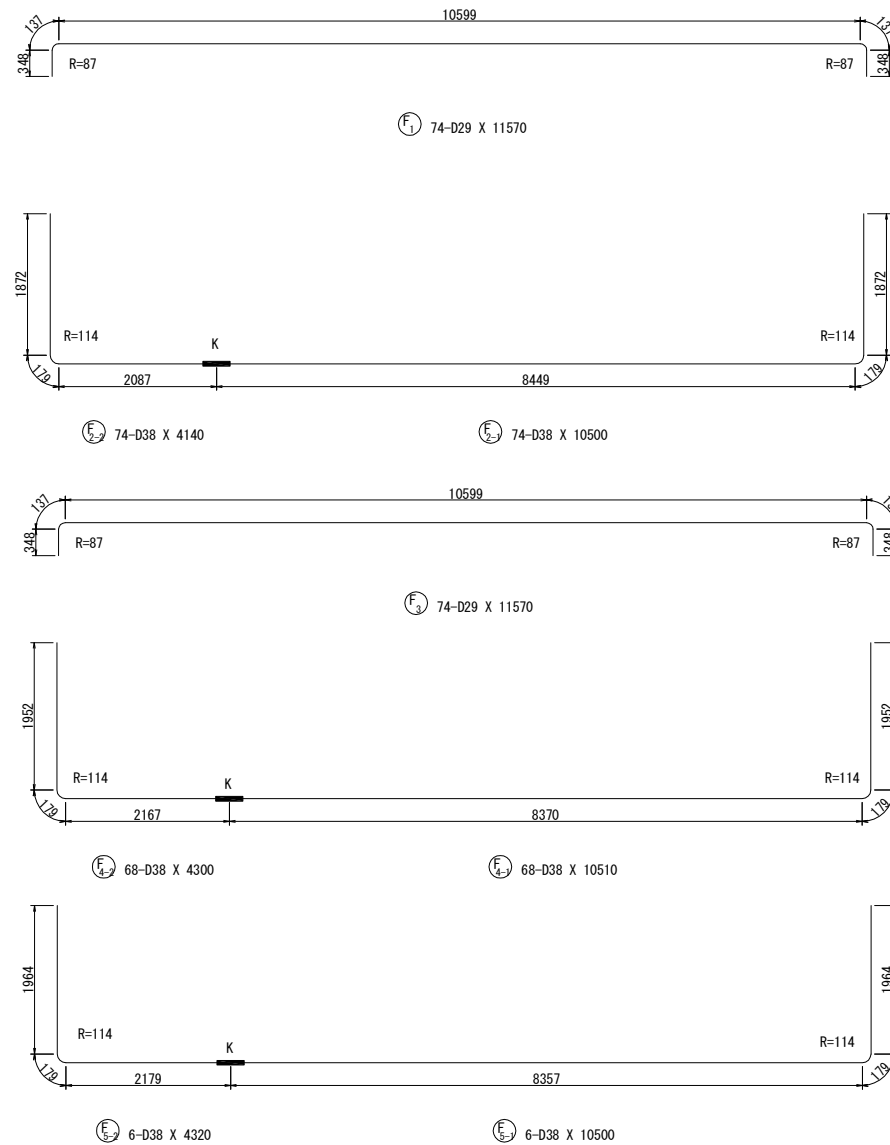
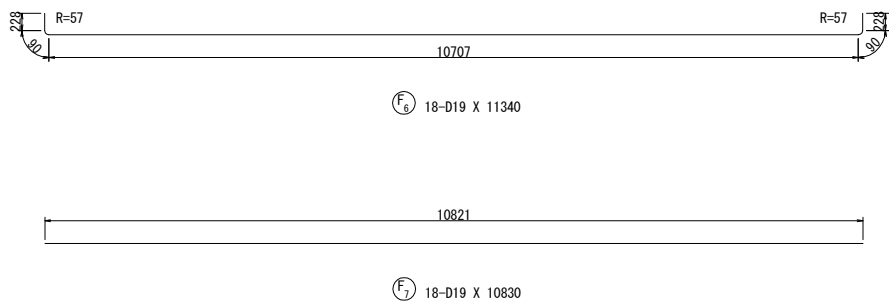
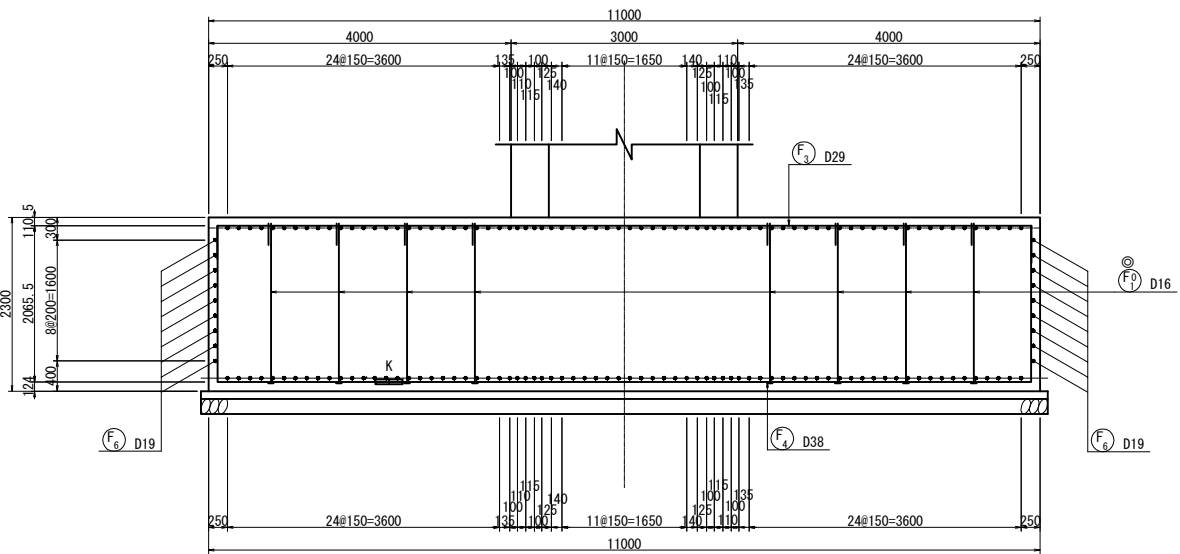
- 注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その6）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

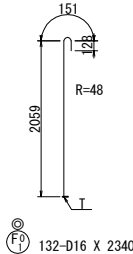
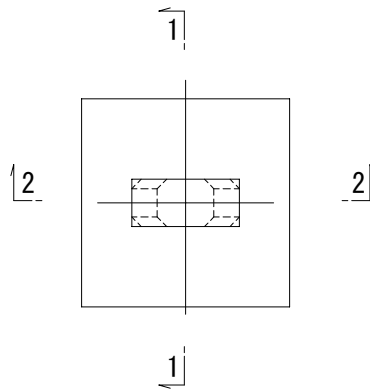
1 - 1



2 - 2



位置図



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K 印は機械継手位置を表す。
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） P 1 橋脚配筋図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋表 (SD345) (普通鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
B 1	D38	7440	6	8.95	66.5	400	
B 2	〃	6530	6	8.95	58.4	350	(平均長)
B 3	D32	3390	6	6.23	21.1	127	
B 4	〃	3390	6	6.23	21.1	127	
B 5	D29	9840	2	5.04	49.5	99	
B 6-1	〃	9840	1	5.04	49.5	50	
B 6-2	〃	9690	1	5.04	48.8	49	
B 7-1	〃	9820	1	5.04	49.5	50	
B 7-2	〃	9550	1	5.04	48.1	48	
B 8-1	〃	9670	1	5.04	48.7	49	
B 8-2	〃	9410	1	5.04	47.4	47	(平均長)
B 9-1	〃	9520	1	5.04	48.0	48	
B 9-2	〃	9290	1	5.04	46.8	47	
B 10	D16	3460	10	1.56	5.40	54	(平均長)
B 11	〃	4820	12	1.56	7.52	90	(平均長)
B 12	〃	4830	12	1.56	7.53	90	(平均長)
B 13	〃	3190	22	1.56	4.98	110	
1835 kg							
B ⁰ ₁	D25	5550	7	3.98	22.1	155	(平均長)
B ⁰ ₂	〃	6680	6	3.98	26.6	160	
B ⁰ ₃	〃	5150	6	3.98	20.5	123	
B ⁰ ₄	〃	6440	6	3.98	25.6	154	
B ⁰ ₅	〃	5240	7	3.98	20.9	146	(平均長)
B ⁰ ₆	〃	3600	26	3.98	14.3	372	
◎ B ⁰ ₇	D16	2620	24	1.56	4.09	98	[24] C
1208 kg							
C ⁰ ₁	D19	6080	148	2.25	13.7	2028	
C ⁰ ₂	〃	6100	12	2.25	13.7	164	
◎ C ⁰ ₃	〃	2590	132	2.25	5.83	770	[132] C
◎ C ⁰ ₄	〃	2620	9	2.25	5.90	53	[9] C
◎ C ⁰ ₅	〃	3090	88	2.25	6.95	612	[88] C
◎ C ⁰ ₆	〃	3120	6	2.25	7.02	42	[6] C
3669 kg							
F 1	D29	11570	74	5.04	58.3	4314	
F 2-1	D38	10500	74	8.95	94.0	6956	K (74) B
F 2-2	〃	4140	74	8.95	37.1	2745	K L B
F 3	D29	11570	74	5.04	58.3	4314	
F 4-1	D38	10510	68	8.95	94.1	6399	K (68) B
F 4-2	〃	4300	68	8.95	38.5	2618	K L B
F 5-1	〃	10500	6	8.95	94.0	564	K (6) B
F 5-2	〃	4330	6	8.95	38.8	233	K L B
F 6	D19	11350	18	2.25	25.5	459	
F 7	〃	10830	18	2.25	24.4	439	
29041 kg							
◎ F ⁰ ₁	D16	2340	132	1.56	3.65	482	[132] C
482 kg							
S 1	D16	2780	24	1.56	4.34	104	
S 2	〃	2810	24	1.56	4.38	105	
S 3	〃	3570	8	1.56	5.57	45	
254 kg							
鉄筋A 鉄筋B 鉄筋C (機械継手箇所) (機械式定着箇所)							
合 計	D38	750 kg	19515 kg	- kg	- kg	(148)	
	D32	254 kg	- kg	- kg	- kg		
	D29	9115 kg	- kg	- kg	- kg		
	D25	1110 kg	- kg	- kg	- kg		
	D19	3090 kg	- kg	1477 kg			[235]
	D16	598 kg	- kg	580 kg			[156]
総質量		14917 kg	19515 kg	2057 kg	(148)	[391]	

鉄筋表 (SD490) (普通鉄筋)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 1-1	D51	11000	14	15.9	175	2450	K (14) B
C 1-2	〃	3100	14	15.9	49.3	690	B
C 2-1	〃	9500	12	15.9	151	1812	K (12) B
C 2-2	〃	4600	12	15.9	73.1	877	B
C 3-1	〃	9500	14	15.9	151	2114	K (14) B
C 3-2	〃	4560	14	15.9	72.5	1015	B
C 4-1	〃	11000	12	15.9	175	2100	K (12) B
C 4-2	〃	3060	12	15.9	48.7	584	B
11642 kg							
鉄筋A 鉄筋B 鉄筋C (機械継手箇所) (機械式定着箇所)							
合 計	D51	- kg	11642 kg	- kg	- kg	(52)	
総質量		- kg	11642 kg	- kg	- kg	(52)	

機械継手箇所数 (普通鉄筋)

		下部工施工
機械継手 箇所数	D29	-
	D32	-
	D35	-
	D38	148
	D41	-
	D51	52
合 計		200

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇 所 数				計 (箇所)
	L ≤ 1m	1m < L ≤ 2m	2m < L ≤ 3m	3m < L ≤ 4m	
D16	-	-	156	-	156
D19	-	-	141	94	235
D22	-	-	-	-	-
D25	-	-	-	-	-
合 計	-	-	297	94	391

鉄筋曲げ加工表 (SD345)

注) 曲げ半径 (R=3φ、5.5φ) は鉄筋中心までの長さとする。

径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta=45^\circ$		$\theta=60^\circ$		$\theta=90^\circ$		$\theta=135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

鉄筋集計表

		種 別		普通鉄筋		
				下部工施工		
				軀 体	底 版	計
(SD345)	A	D13	D13	-	-	-
		D16～D25	D16	598	-	598
			D19	2192	898	3090
			D22	-	-	-
			D25	1110	-	1110
			小計	3900	898	4798
		D29～D32	D29	487	8628	9115
			D32	254	-	254
			小計	741	8628	9369
		D35	-	-	-	
		D38	750	-	750	
		D41	-	-	-	
		D51	-	-	-	
		A の 合 計	5391	9526	14917	
	B	D29	-	-	-	
		D32	-	-	-	
		D35	-	-	-	
		D38	-	19515	19515	
		D41	-	-	-	
		D51	-	-	-	
	B の 合 計	-	19515	19515		
	C	D16	98	482	580	
		D19	1477	-	1477	
		D22	-	-	-	
		D25	-	-	-	
		D29	-	-	-	
		D32	-	-	-	
		C の 合 計	1575	482	2057	
	(SD345) 合計			6966	29523	36489
(SD490)	A	D35	-	-	-	
		D38	-	-	-	
		D41	-	-	-	
		D51	-	-	-	
		A の 合 計	-	-	-	
	B	D29	-	-	-	
		D32	-	-	-	
		D35	-	-	-	
		D38	-	-	-	
		D41	-	-	-	
		D51	11642	-	11642	
		B の 合 計	-	-	-	
	(SD490) 合計			11642	-	11642
鉄筋総質量			18609	29523	48131	

- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路標示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注5) K 印は機械継手位置を表す。

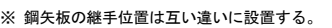
注6) 鉄筋の材質について柱の主鉄筋以外はSD345とする。
注7) ()内は機械継手数を示す。
注8) []内は機械式定着体数を示す。

道東自動車道			
下トナム橋（下り線）			
P 1 橋脚配筋図（その8）			
図面の種類	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	縮 尺	図 示	-
施工会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

断面図(2-2)



継手配置図



Technical drawing of a cross-section of a reinforced concrete beam with a central web opening. The drawing shows the beam's profile with dimensions: total width 400, opening width 190, and total height 560. Reinforcement includes top and bottom longitudinal bars (SM490A), vertical stirrups, and horizontal bars at the opening. Labels indicate "突合せ溶接" (lap weld) for the longitudinal bars and "外側補強板" (outer reinforcement plate) for the top and bottom plates. Dimensions for the reinforcement plates are given as PL-190 x 80 x 19 and PL-560 x 140 x 19.

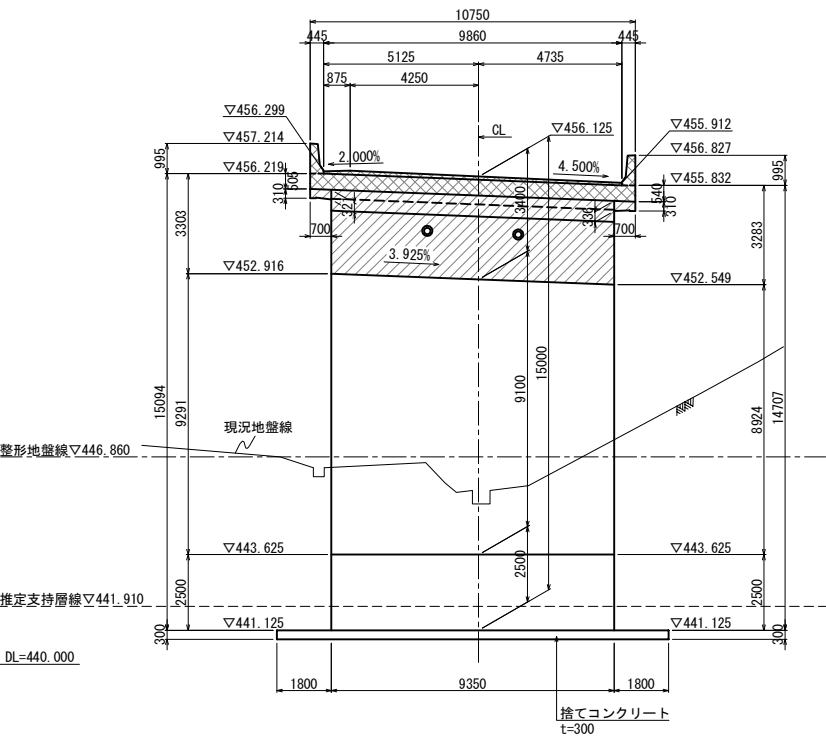


種 別	形状寸法	長さ (mm)	数量	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
普通鋼矢板 (リース材)								
鋼矢板	IV型	12 500	37	76.1	951.3	35 198	SY295	
"	"	11 500	111	76.1	875.2	97 147	"	
仮設材鋼矢板合計						132 345 kg		
鋼矢板継手工								
鋼矢板	PL-140×19	560	37	20.9	11.7	433	SM490A	
"	PL-80×19	190	74	11.9	2.3	170	"	
鋼矢板継手工合計						603 kg		
支保工 (リース材)								
腹 起 し	H-500×500×25×25	14 260	4	300	4 278.0	17 112	SS400	
"	"	13 260	4	300	3 978.0	15 912	"	
火打ち梁	H-300×300×10×15	6 778	8	100	677.8	5 422	SS400	
"	"	4 657	8	100	465.7	3 726	"	
"	"	2 536	8	100	253.6	2 029	"	
主部材合計						44 201 kg		
カバークレーン								
カバークレーン	H-500用		16		104.0	1 664	SS400	
隅部ピース	H-500用		8		171.0	1 368	"	
火打受ピース	H-300用		48		50.0	2 400	"	
副部材合計						5 432 kg		
合 計						49 633 kg		
鋼製山留材								
鋼製山留材 主部材合計					44.201 t			
鋼製山留材 副部材合計					5.432 t			
鋼製山留材 消耗部品合計 (主部材×0.04)					1.768 t			
鋼製山留材 合計					51.401 t			
※火打長は全長より火打ちピース長 (2×0.50m) を控除した長さとする。								
※カバークレーンは1腹起し当り2個を想定する。								

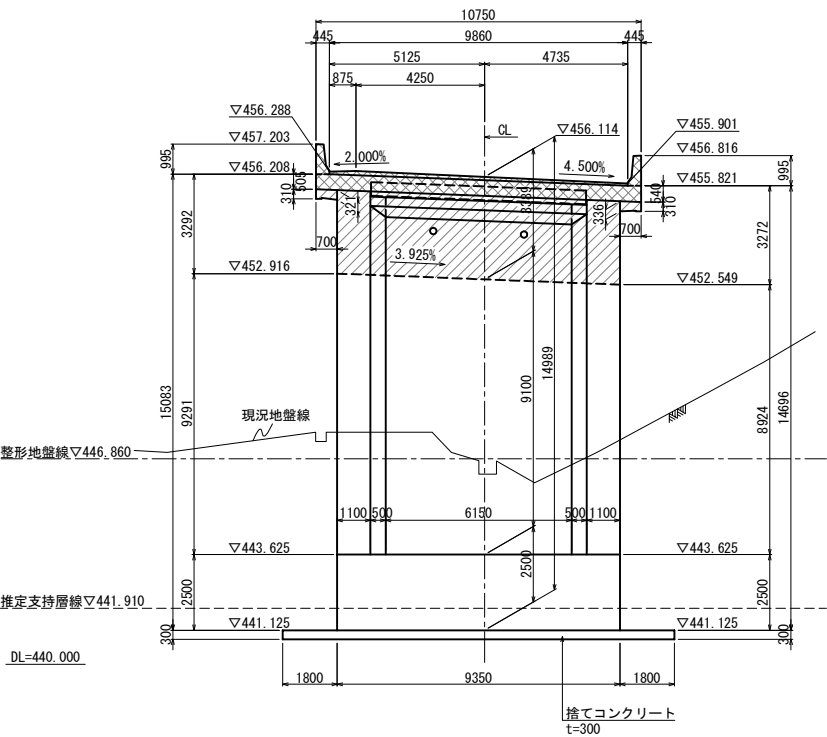
種 別	形状寸法	長さ (mm)	数量	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
普通鋼矢板 (リース材)								
鋼矢板	IV型	12 500	37	76.1	951.3	35 198	SY295	
"	"	11 500	111	76.1	875.2	97 147	"	
仮設材鋼矢板合計						132 345 kg		
鋼矢板継手工								
鋼矢板	PL-140×19	560	37	20.9	11.7	433	SM490A	
"	PL-80×19	190	74	11.9	2.3	170	"	
鋼矢板継手工合計						603 kg		
支保工 (リース材)								
腹 起 し	H-500×500×25×25	14 260	4	300	4 278.0	17 112	SS400	
"	"	13 260	4	300	3 978.0	15 912	"	
火打ち梁	H-300×300×10×15	6 778	8	100	677.8	5 422	SS400	
"	"	4 657	8	100	465.7	3 726	"	
"	"	2 536	8	100	253.6	2 029	"	
主部材合計						44 201 kg		
カバークレーン								
カバークレーン	H-500用		16		104.0	1 664	SS400	
隅部ピース	H-500用		8		171.0	1 368	"	
火打受ピース	H-300用		48		50.0	2 400	"	
副部材合計						5 432 kg		
合 計						49 633 kg		
鋼製山留材								
鋼製山留材 主部材合計					44.201 t			
鋼製山留材 副部材合計					5.432 t			
鋼製山留材 消耗部品合計 (主部材×0.04)					1.768 t			
鋼製山留材 合計					51.401 t			
※火打長は全長より火打ちピース長 (2×0.50m) を控除した長さとする。								
※カバークレーンは1腹起し当り2個を想定する。								

道東自動車道			
下トムム地区下部工工事			
図面の種類	下トムム橋（下り線）		
	P 1 橋脚土工留詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

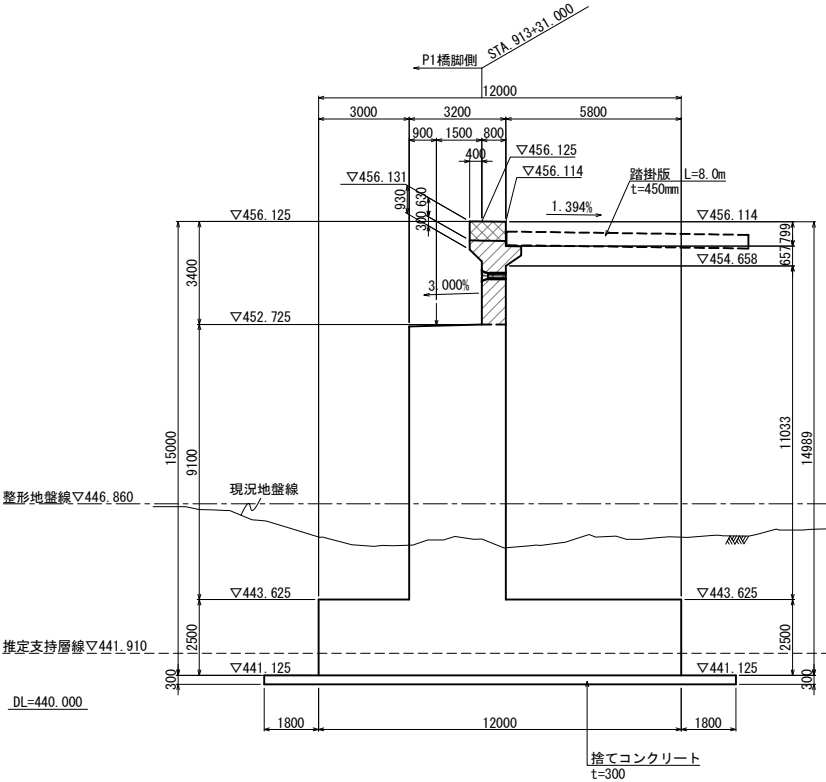
正面図
1-1



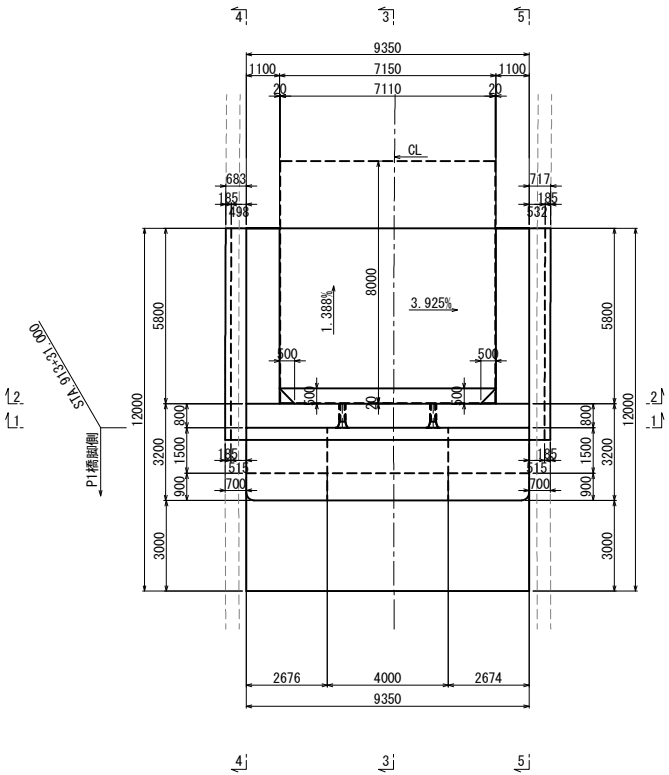
背面図
2-2



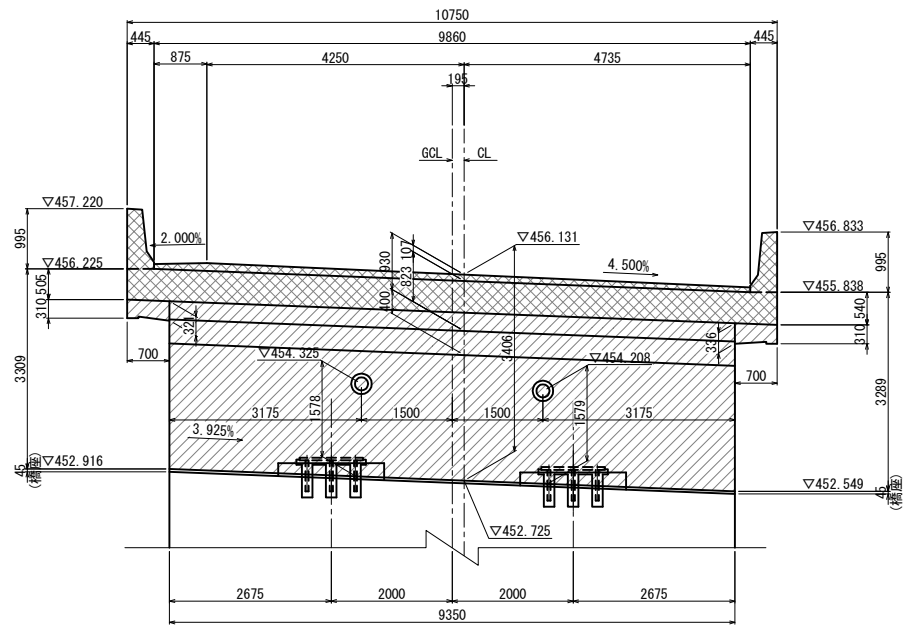
側面図
3-3



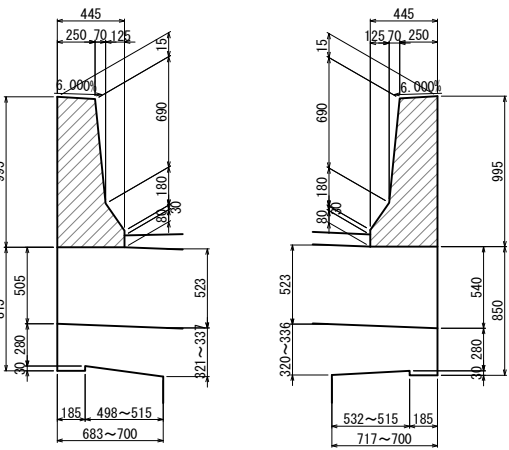
平面図





アゴ部前面図 S=1:125



張出し部及び壁高欄詳細図 S=1:50



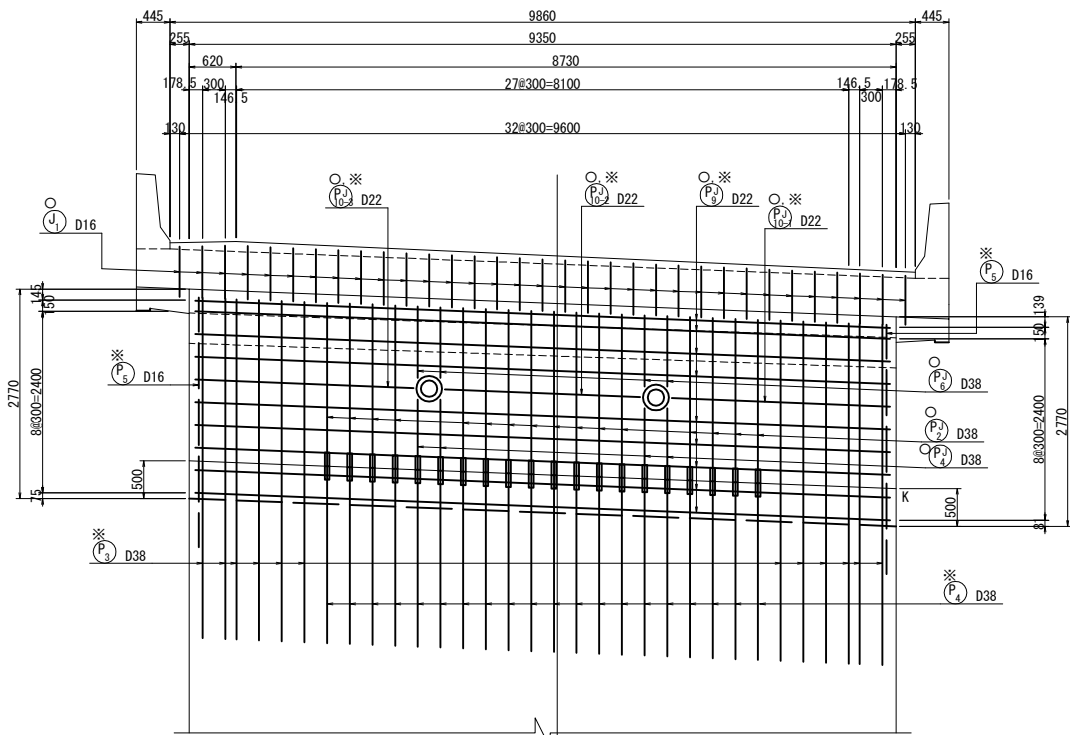
※ ハッチング部  は伸縮装置後打ち部を示す。
※ ハッチング部  は上部工施工を示す。

下部工施工材料基準強度

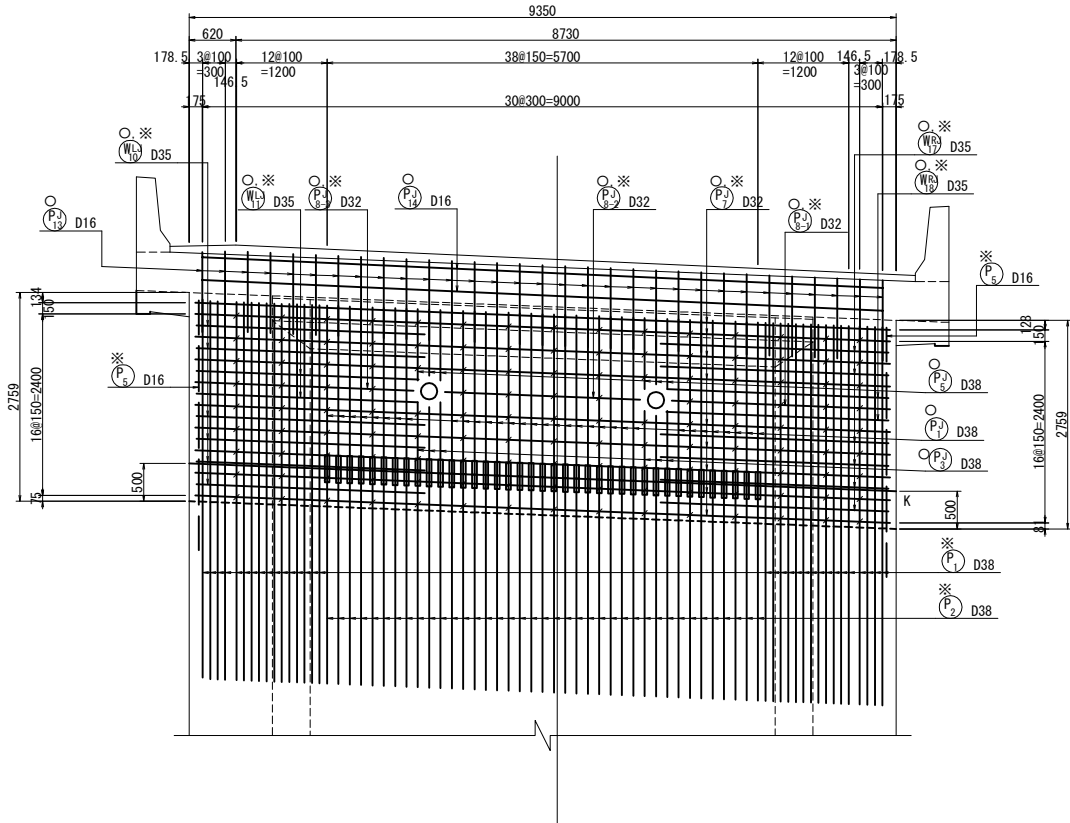
	コンクリート	鉄 筋
躯体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	SD345
捨てコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	-

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2 橋台構造一般図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

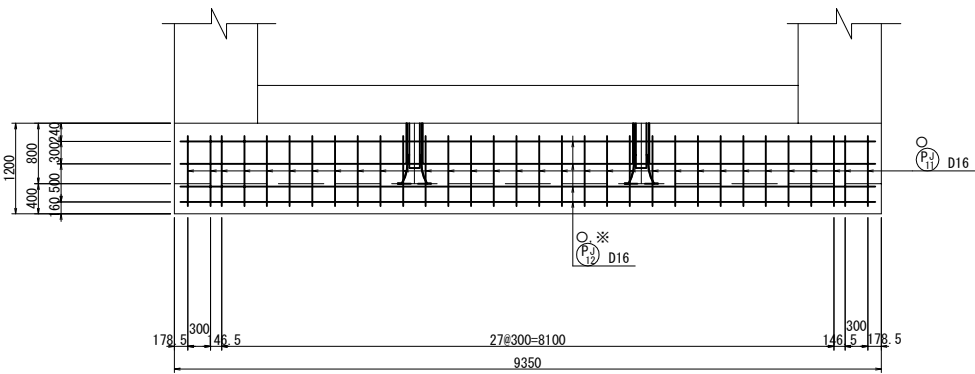
1 - 1



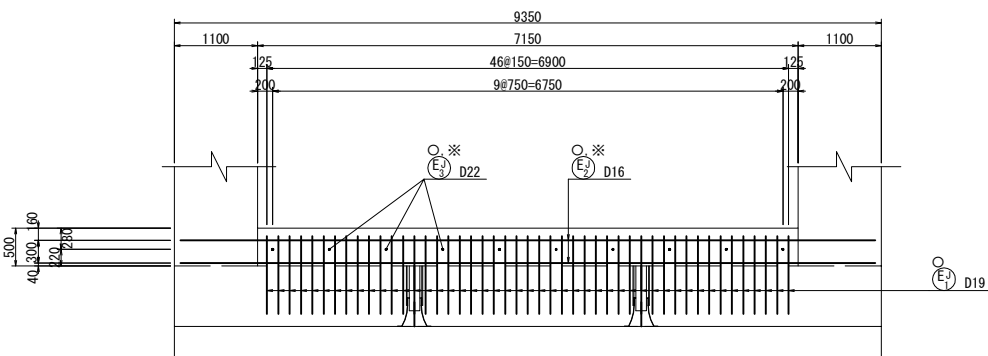
2 - 2



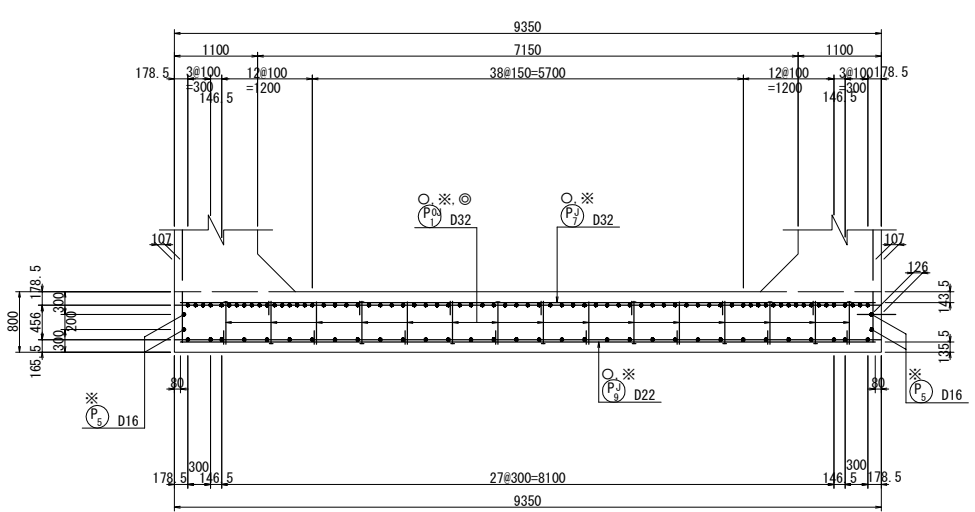
3 - 3



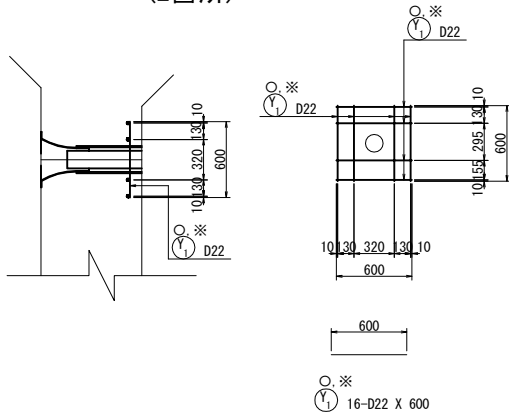
4 - 4



5 - 5

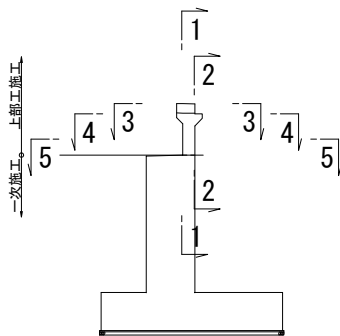


落橋防止装置用心鉄筋詳細図 S=1:60
(2箇所)



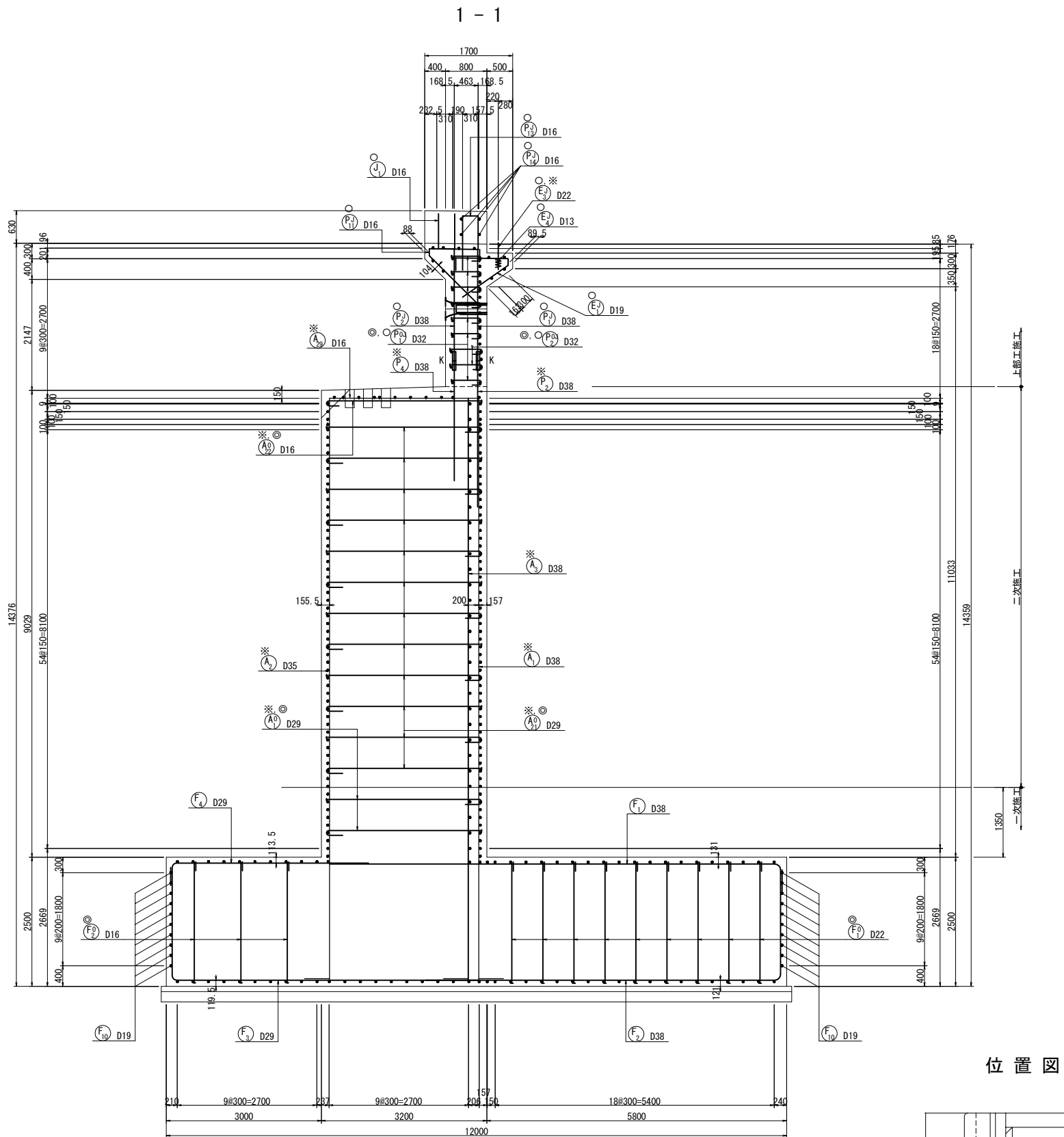
注1) 用心鉄筋はコンクリート打設前にセットすること。
注2) 主鉄筋の内側に設置すること。

位置図

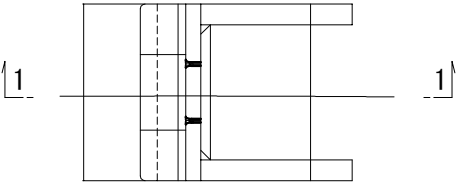


注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づく。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

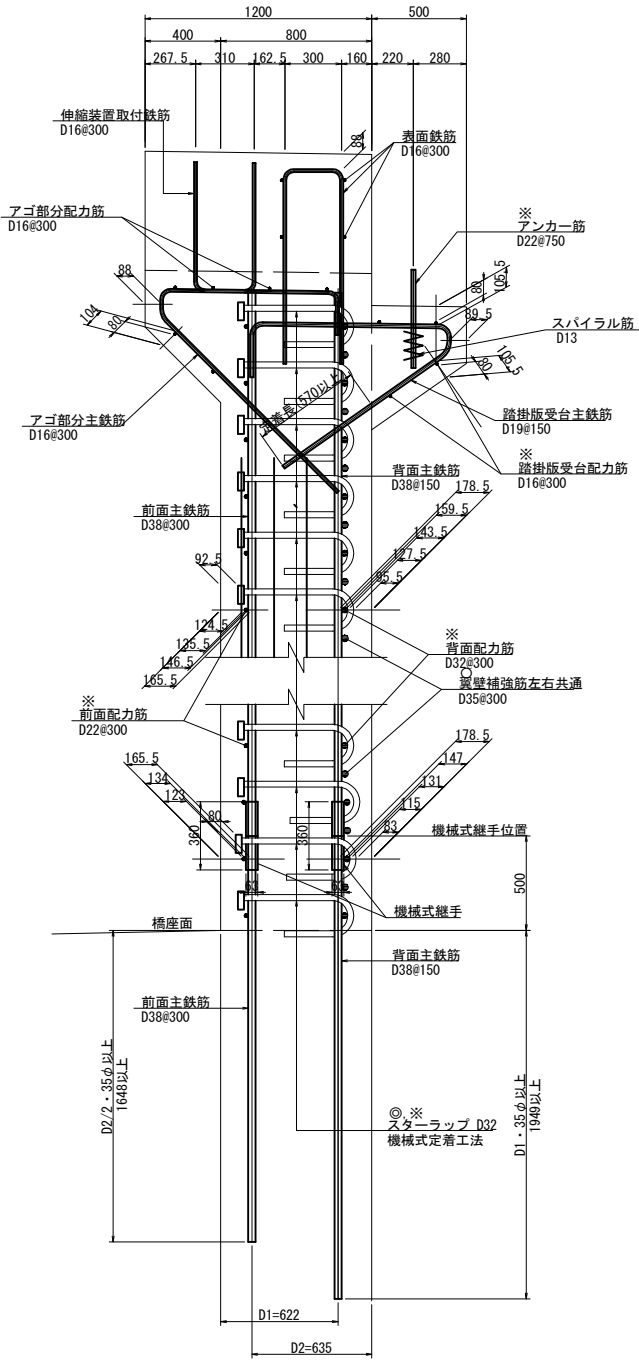
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



位置図

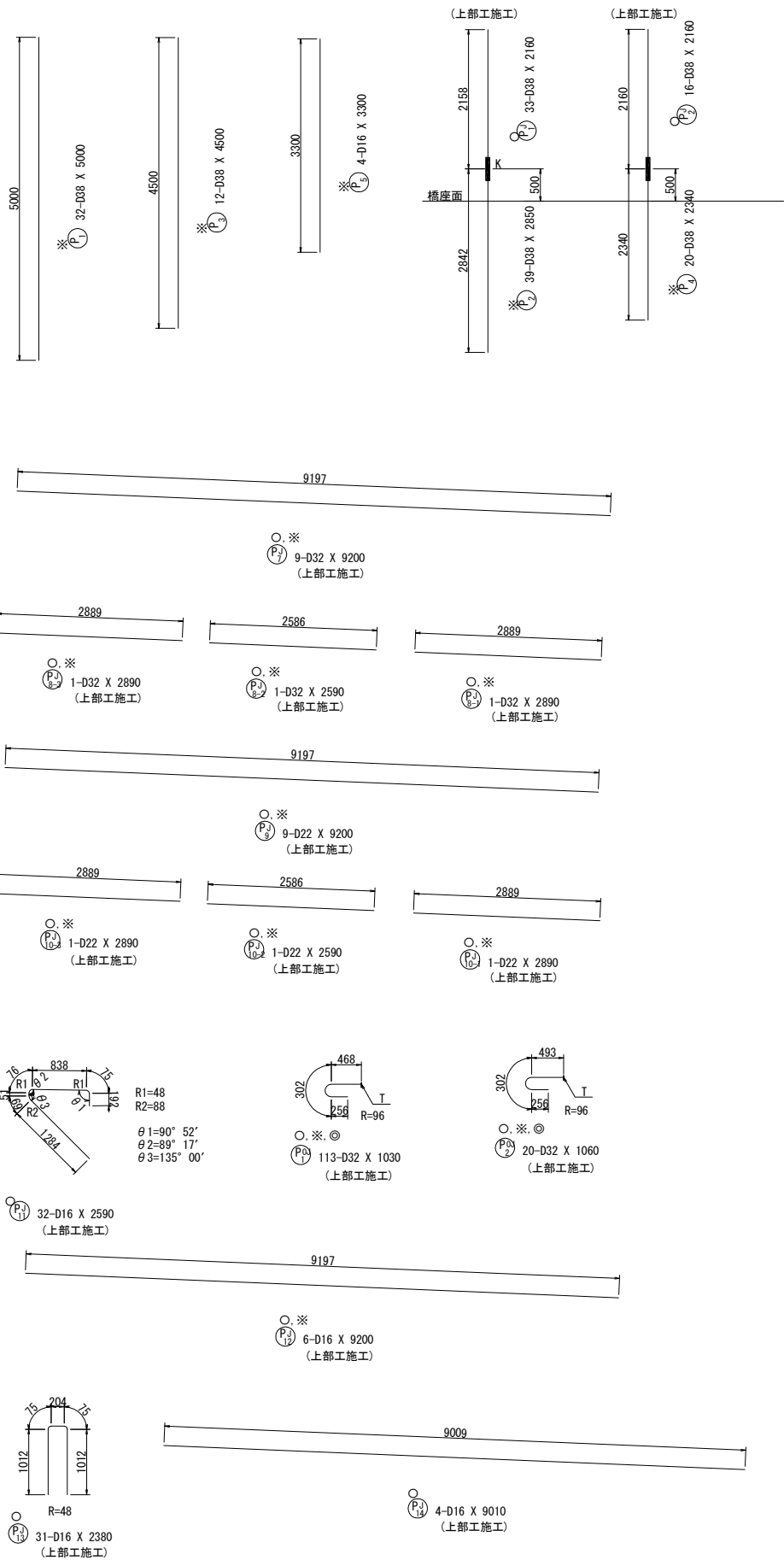


かぶり詳細図 S=1:40
パラペット

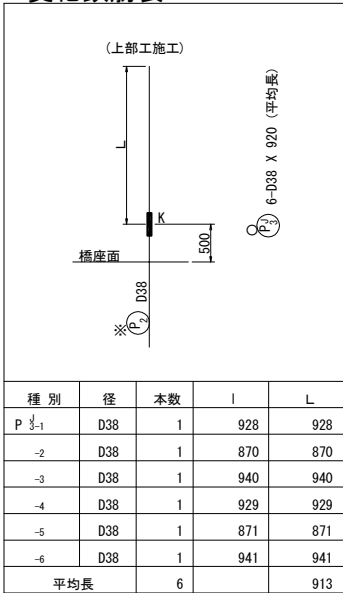


注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

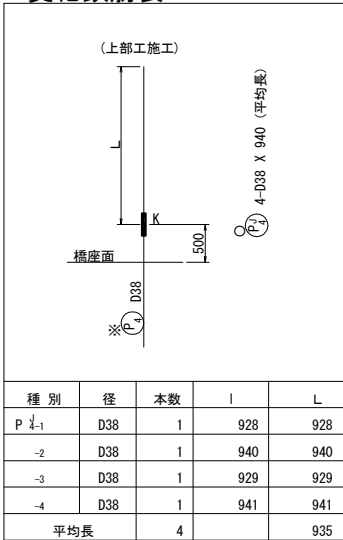
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



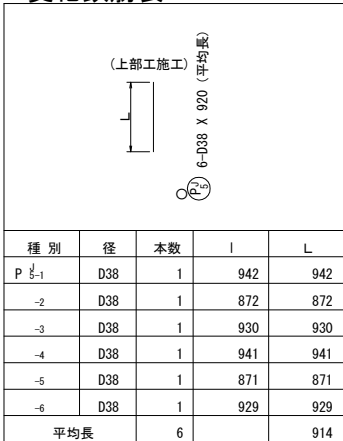
变化鉄筋表



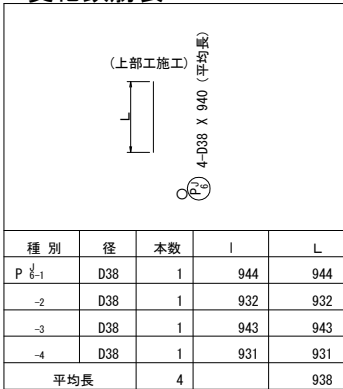
变化鉄筋表



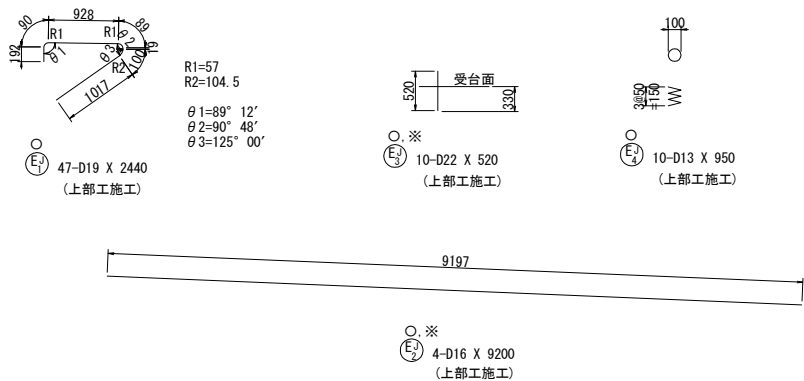
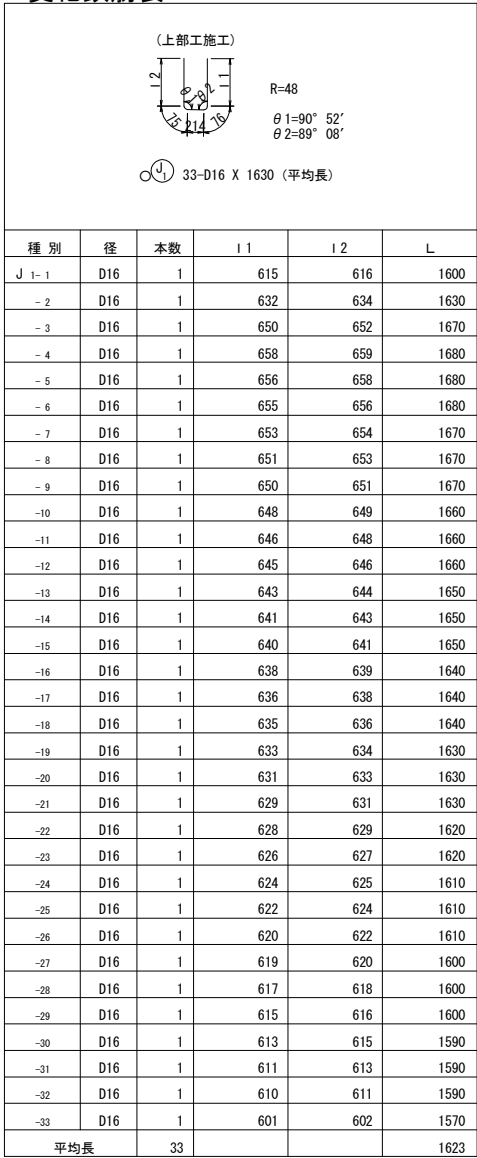
变化鉄筋表



变化鉄筋表



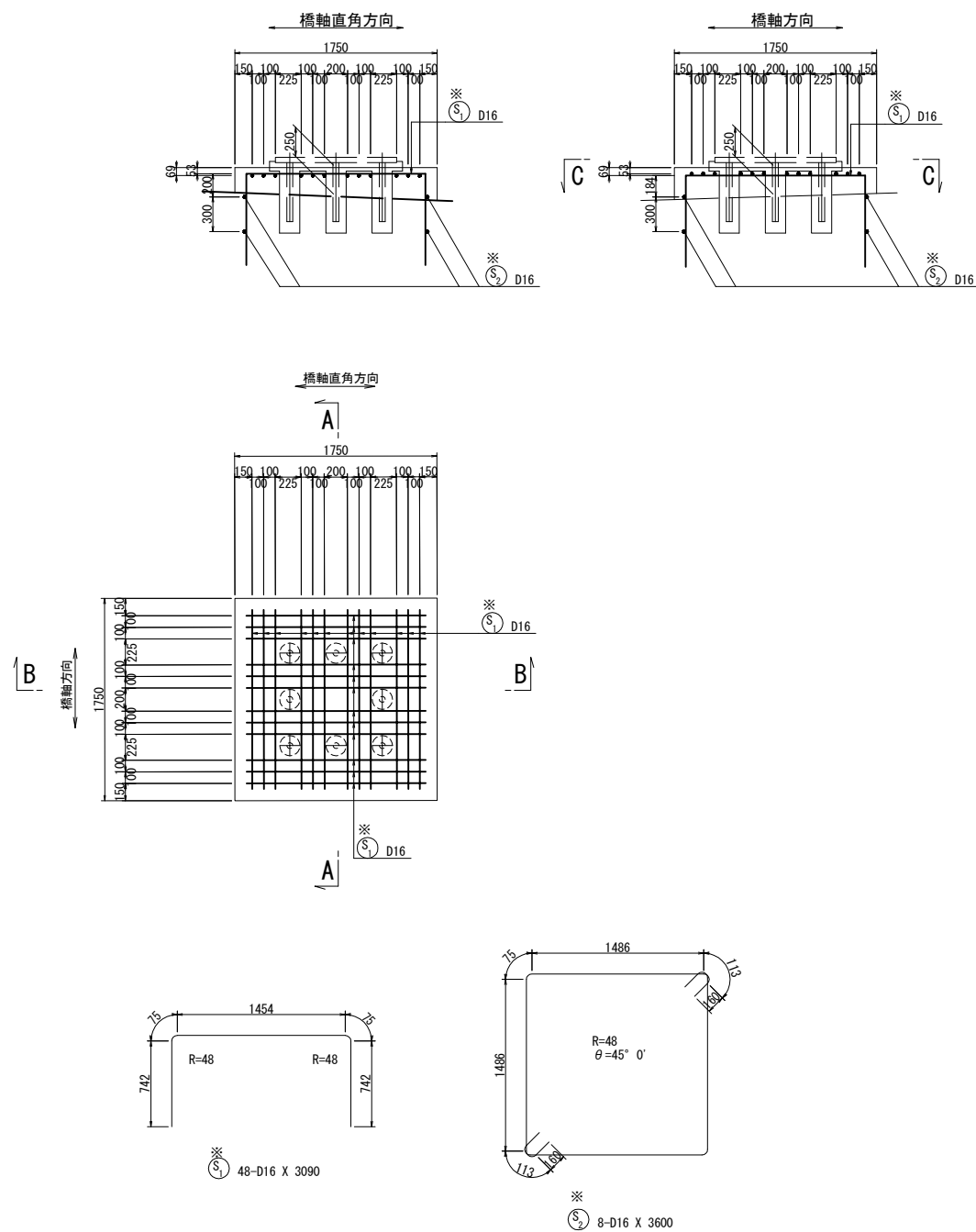
变化鉄筋表



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
- 機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
- 注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
- 注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
- 注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注7) K 印は機械継手位置を表す。

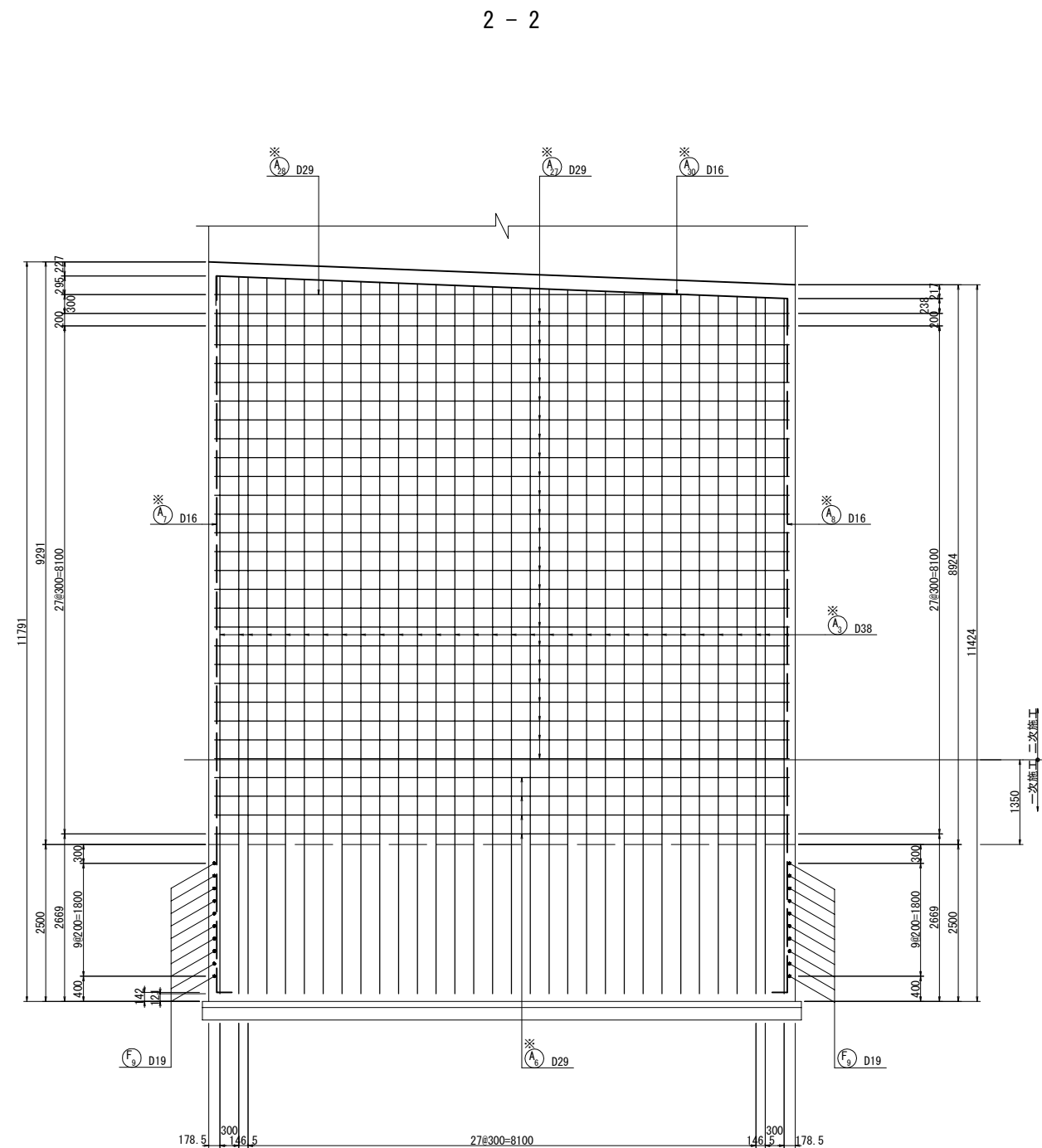
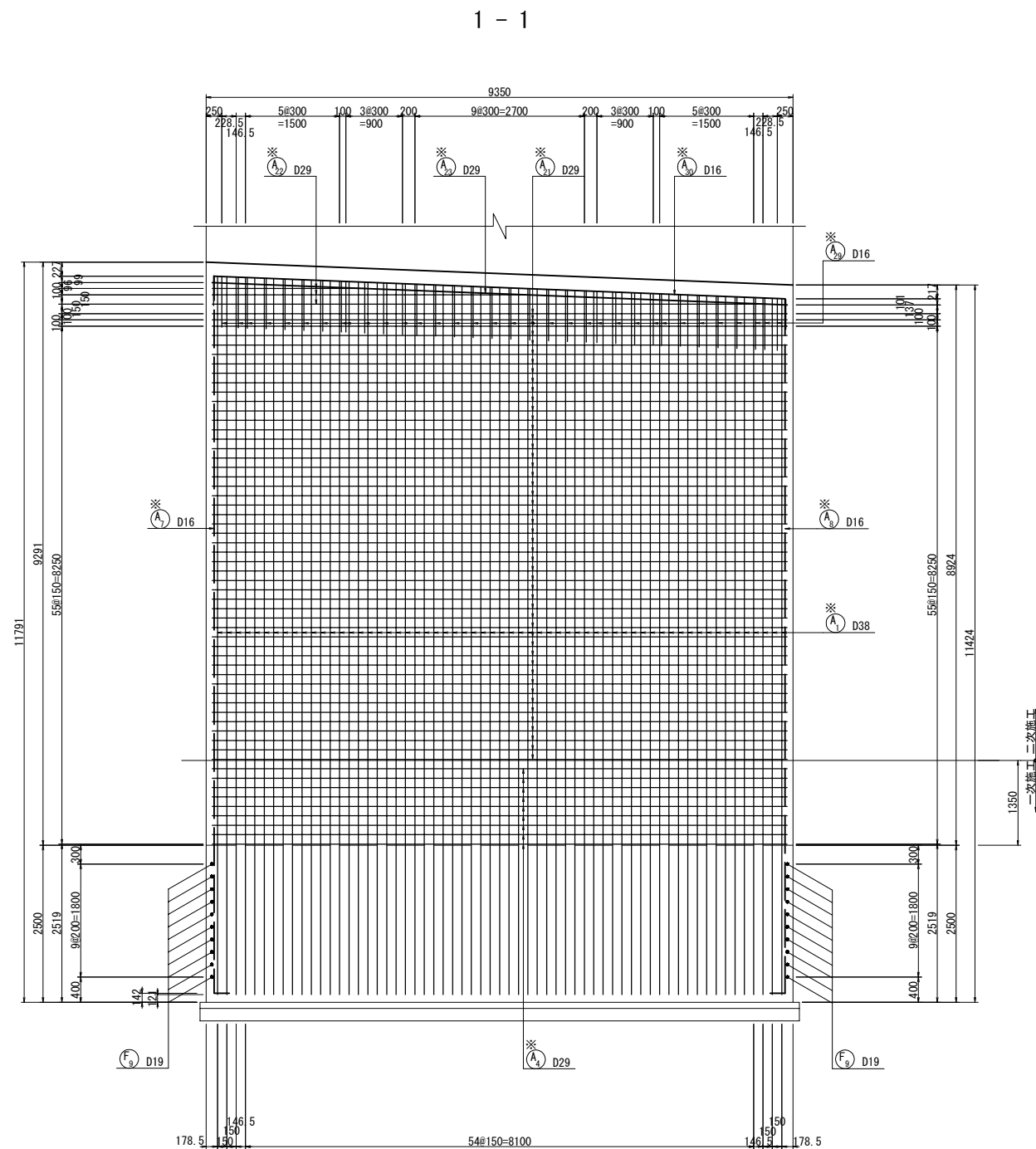
道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その3）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名		八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

台座コンクリート詳細図 S=1:60
(2箇所)



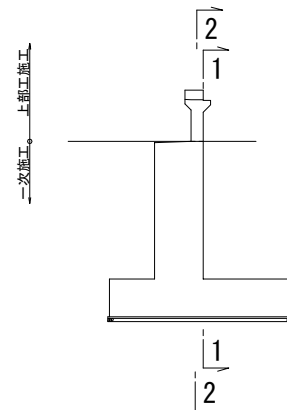
注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説(R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



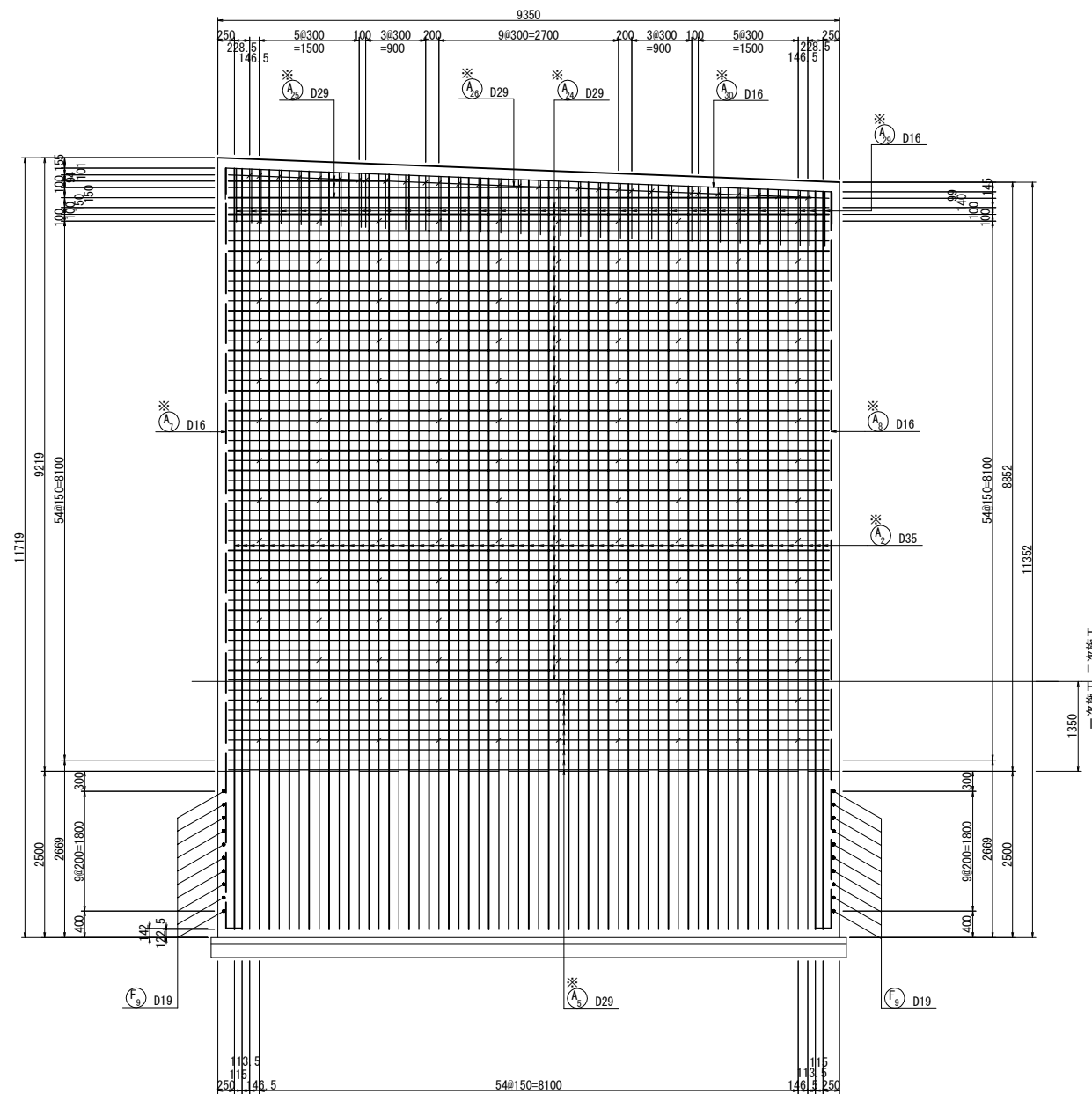
位置図

- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K印は機械継手位置を表す。

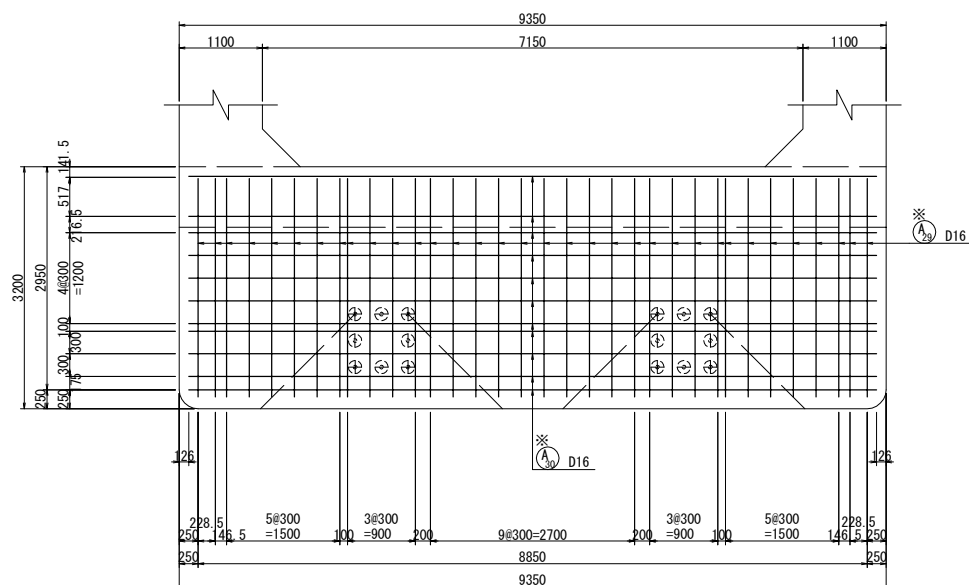


道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

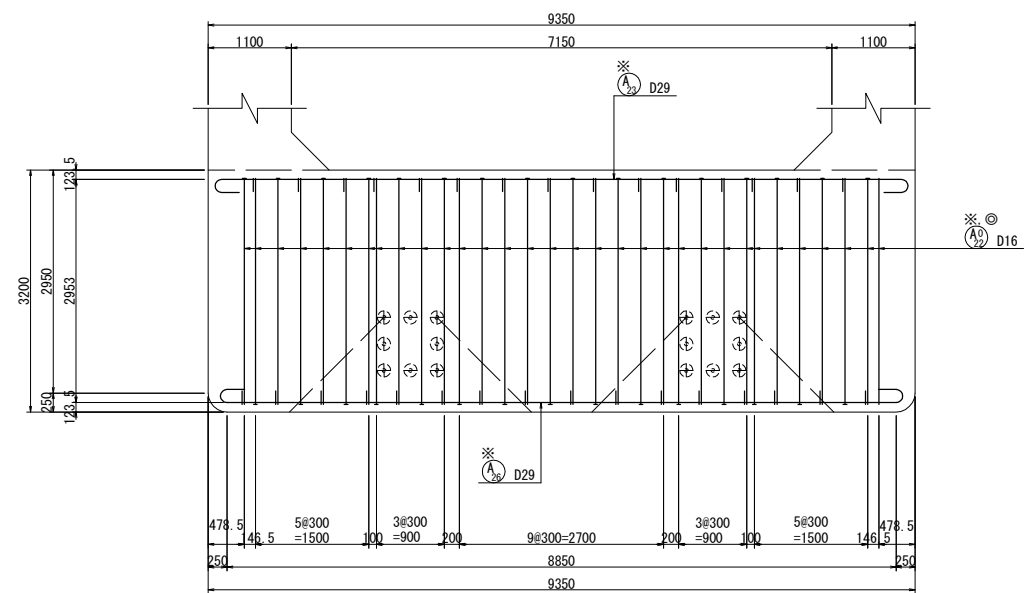
1 - 1



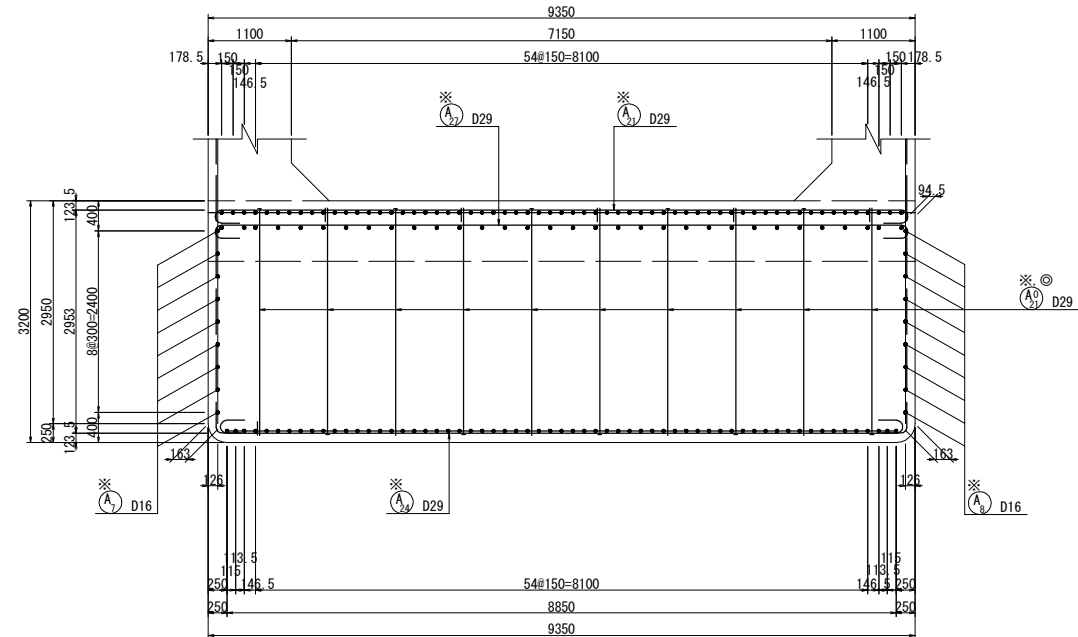
2 - 2



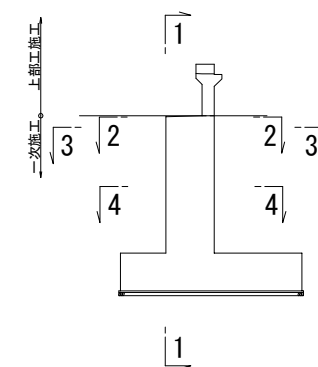
3 - 3



4 - 4



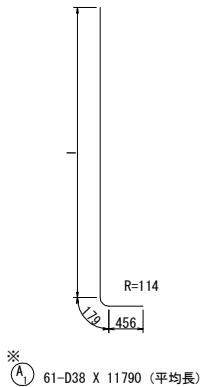
位置図



- 注1) ◎印表記は機械式鉄釘定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
① 道路標示方向・向解説 (R7、10日本道路協会)
② 機械式鉄釘定着工法の配筋設計ガイドライン (R28、7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄釘は、被拘束鉄筋には拘束するよう配置すること。
機械式定着鉄釘は、主鉄筋に可能な限り近づける。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
※鉄釘はエポキシ塗装鉄釘を示す。
- 注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注6) K 印は機械継手位置を表す。

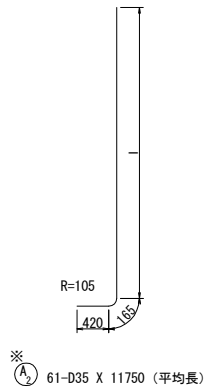
道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台配筋図（その6）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所			

変化鉄筋表



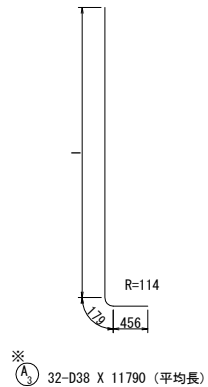
種 別	径	本数	I	L	種 別	径	本数	I	L
A 1-1	D38	1	10974	11609	A 1-32	D38	1	11157	11792
- 2	D38	1	10980	11615	-33	D38	1	11162	11797
- 3	D38	1	10986	11621	-34	D38	1	11168	11803
- 4	D38	1	10992	11627	-35	D38	1	11174	11809
- 5	D38	1	10998	11633	-36	D38	1	11180	11815
- 6	D38	1	11003	11638	-37	D38	1	11186	11821
- 7	D38	1	11009	11644	-38	D38	1	11192	11827
- 8	D38	1	11015	11650	-39	D38	1	11198	11833
- 9	D38	1	11021	11656	-40	D38	1	11204	11839
-10	D38	1	11027	11662	-41	D38	1	11210	11845
-11	D38	1	11033	11668	-42	D38	1	11215	11850
-12	D38	1	11039	11674	-43	D38	1	11221	11856
-13	D38	1	11045	11680	-44	D38	1	11227	11862
-14	D38	1	11051	11686	-45	D38	1	11233	11868
-15	D38	1	11056	11691	-46	D38	1	11239	11874
-16	D38	1	11062	11697	-47	D38	1	11245	11880
-17	D38	1	11068	11703	-48	D38	1	11251	11886
-18	D38	1	11074	11709	-49	D38	1	11257	11892
-19	D38	1	11080	11715	-50	D38	1	11263	11898
-20	D38	1	11086	11721	-51	D38	1	11268	11903
-21	D38	1	11092	11727	-52	D38	1	11274	11909
-22	D38	1	11098	11733	-53	D38	1	11280	11915
-23	D38	1	11104	11739	-54	D38	1	11286	11921
-24	D38	1	11109	11744	-55	D38	1	11292	11927
-25	D38	1	11115	11750	-56	D38	1	11298	11933
-26	D38	1	11121	11756	-57	D38	1	11304	11939
-27	D38	1	11127	11762	-58	D38	1	11310	11945
-28	D38	1	11133	11768	-59	D38	1	11315	11950
-29	D38	1	11139	11774	-60	D38	1	11321	11956
-30	D38	1	11145	11780	-61	D38	1	11327	11962
-31	D38	1	11151	11786	平均長		61		11786

変化鉄筋表

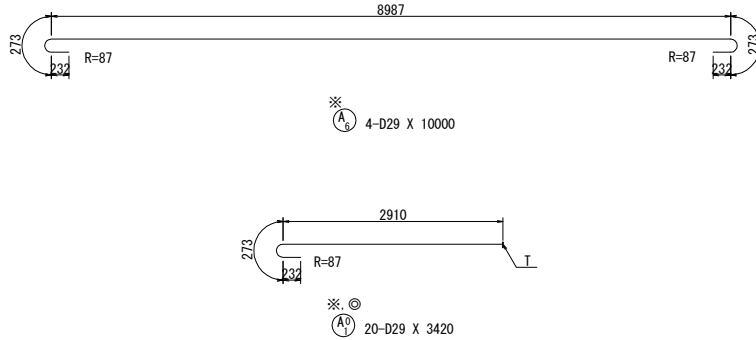
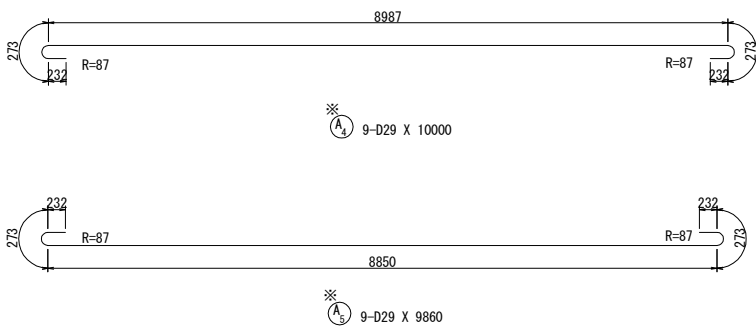
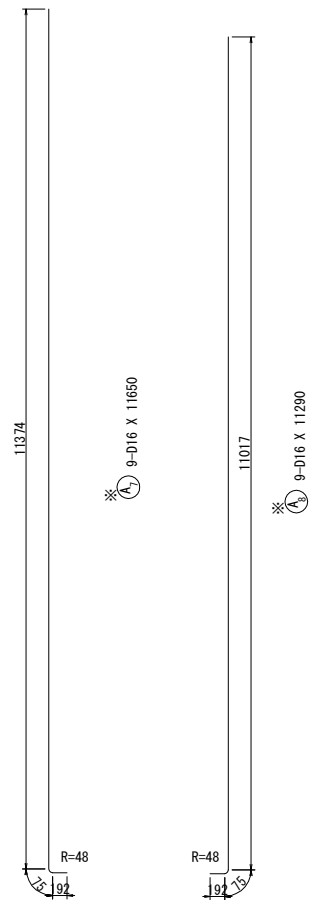


種 別	径	本数	I	L	種 別	径	本数	I	L
A 2-1	D35	1	10984	11569	A 2-32	D35	1	11164	11749
- 2	D35	1	10989	11574	-33	D35	1	11170	11755
- 3	D35	1	10993	11578	-34	D35	1	11176	11761
- 4	D35	1	10999	11584	-35	D35	1	11182	11767
- 5	D35	1	11005	11590	-36	D35	1	11188	11773
- 6	D35	1	11011	11596	-37	D35	1	11193	11778
- 7	D35	1	11017	11602	-38	D35	1	11199	11784
- 8	D35	1	11023	11608	-39	D35	1	11205	11790
- 9	D35	1	11029	11614	-40	D35	1	11211	11796
-10	D35	1	11035	11620	-41	D35	1	11217	11802
-11	D35	1	11040	11625	-42	D35	1	11223	11808
-12	D35	1	11046	11631	-43	D35	1	11229	11814
-13	D35	1	11052	11637	-44	D35	1	11235	11820
-14	D35	1	11058	11643	-45	D35	1	11241	11826
-15	D35	1	11064	11649	-46	D35	1	11246	11831
-16	D35	1	11070	11655	-47	D35	1	11252	11837
-17	D35	1	11076	11661	-48	D35	1	11258	11843
-18	D35	1	11082	11667	-49	D35	1	11264	11849
-19	D35	1	11088	11673	-50	D35	1	11270	11855
-20	D35	1	11093	11678	-51	D35	1	11276	11861
-21	D35	1	11099	11684	-52	D35	1	11282	11867
-22	D35	1	11105	11690	-53	D35	1	11288	11873
-23	D35	1	11111	11696	-54	D35	1	11294	11879
-24	D35	1	11117	11702	-55	D35	1	11299	11884
-25	D35	1	11123	11708	-56	D35	1	11305	11890
-26	D35	1	11129	11714	-57	D35	1	11311	11896
-27	D35	1	11135	11720	-58	D35	1	11317	11902
-28	D35	1	11140	11725	-59	D35	1	11323	11908
-29	D35	1	11146	11731	-60	D35	1	11327	11912
-30	D35	1	11152	11737	-61	D35	1	11332	11917
-31	D35	1	11158	11743	平均長		61		11743

変化鉄筋表

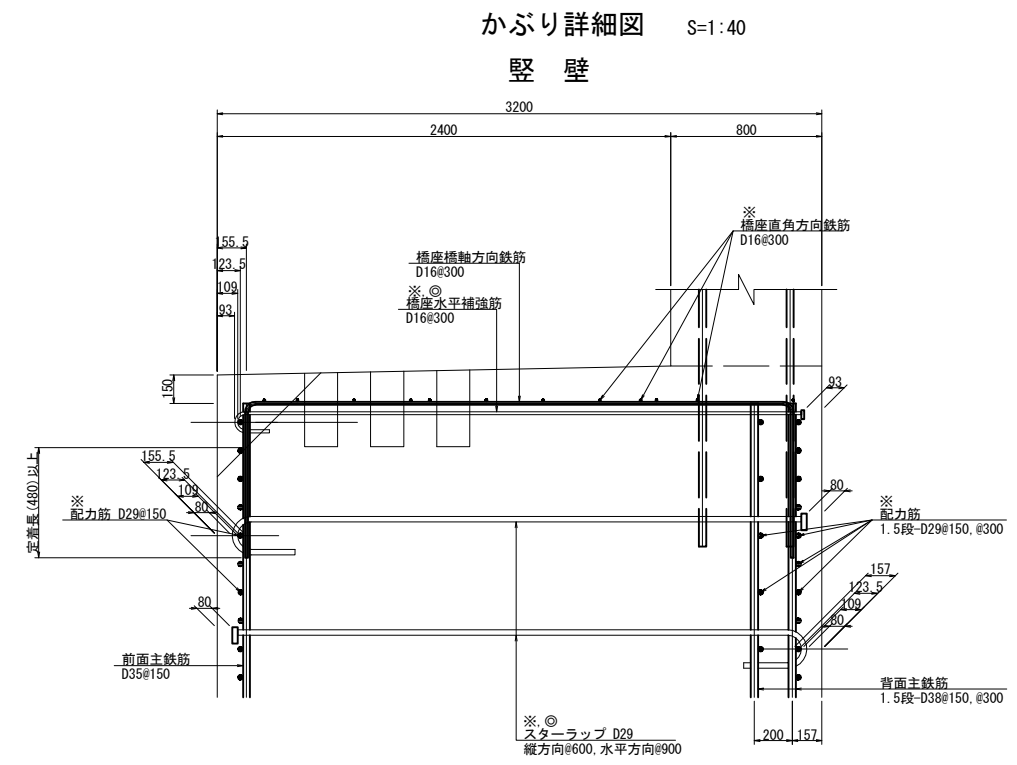
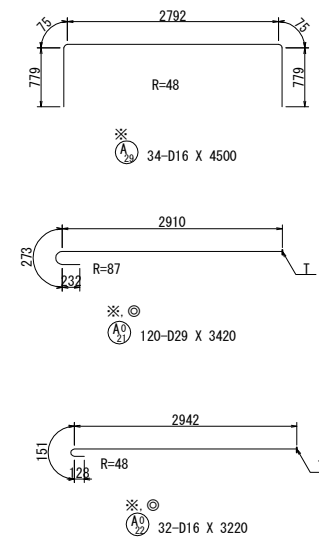
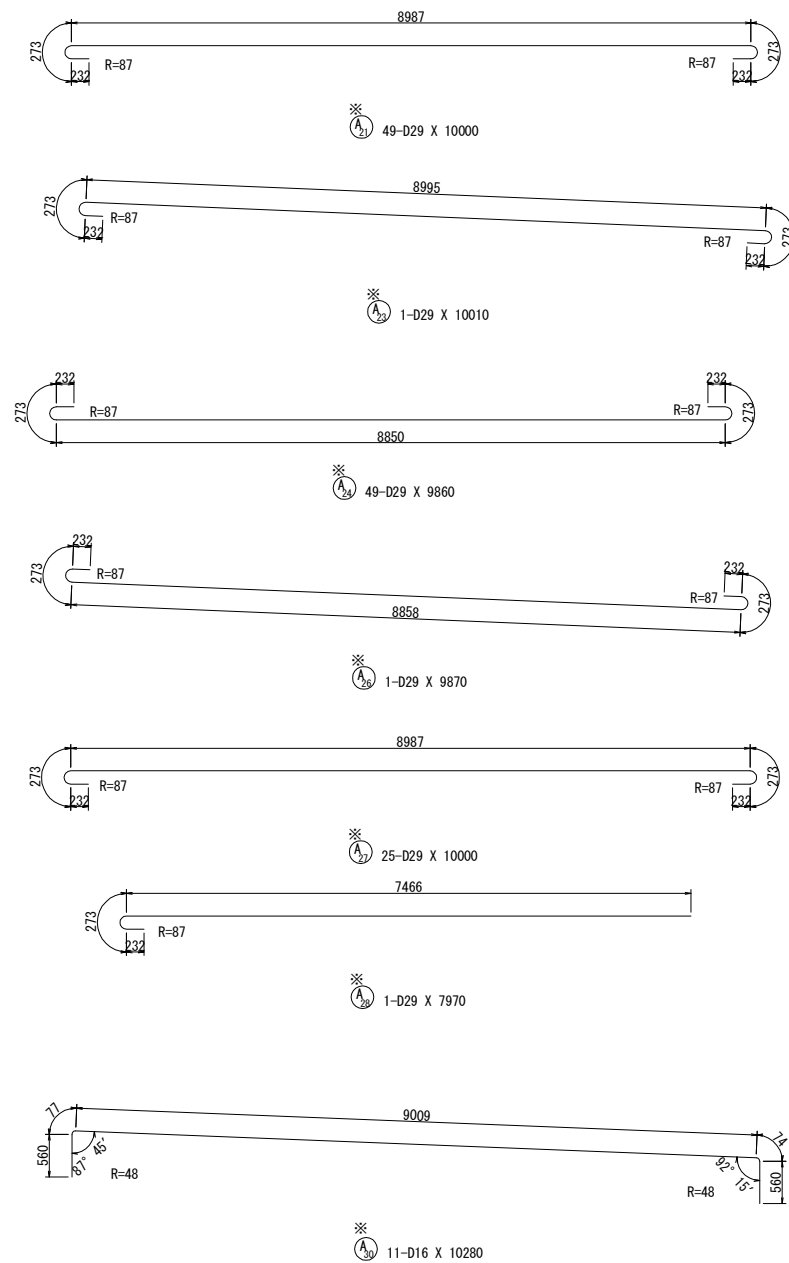


種 別	径	本数	I	L
A 3-1	D38	1	10974	11609
- 2	D38	1	10986	11621
- 3	D38	1	10992	11627
- 4	D38	1	11003	11638
- 5	D38	1	11015	11650
- 6	D38	1	11027	11662
- 7	D38	1	11039	11674
- 8	D38	1	11051	11686
- 9	D38	1	11062	11697
-10	D38	1	11074	11709
-11	D38	1	11086	11721
-12	D38	1	11098	11733
-13	D38	1	11109	11744
-14	D38	1	11121	11756
-15	D38	1	11133	11768
-16	D38	1	11145	11780
-17	D38	1	11157	11792
-18	D38	1	11168	11803
-19	D38	1	11180	11815
-20	D38	1	11192	11827
-21	D38	1	11204	11839
-22	D38	1	11215	11850
-23	D38	1	11227	11862
-24	D38	1	11239	11874
-25	D38	1	11251	11886
-26	D38	1	11263	11898
-27	D38	1	11274	11909
-28	D38	1	11286	11921
-29	D38	1	11298	11933
-30	D38	1	11310	11945
-31	D38	1	11315	11950
-32	D38	1	11327	11962
平均長		32		11786

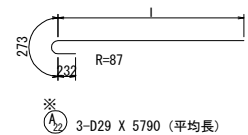


- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

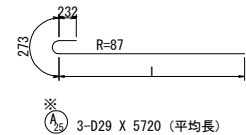


变化鉄筋表



種 別	径	本数	I	L
A 22-1	D29	1	2425	2930
-2	D29	1	4905	5410
-3	D29	1	8518	9023
平均長		3		5788

变化鉄筋表



種 別	径	本数	I	L
A 25-1	D29	1	2356	2861
-2	D29	1	4837	5342
-3	D29	1	8449	8954
平均長		3		5719

注1) ①印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下路の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)

注2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と平円形フックの設置方向を変更しても良い。

注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主筋間に可能な限り近づける。

注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。

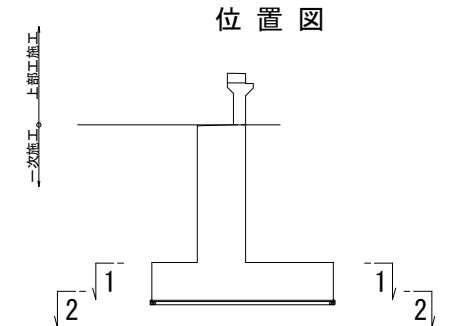
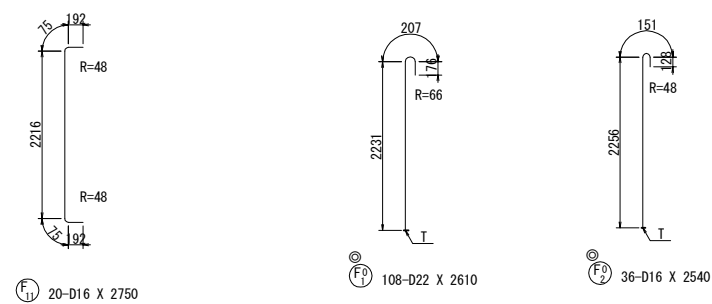
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。

注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。

注6) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線）			
	A 2 橋台配筋図（その 8）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

2 - 2



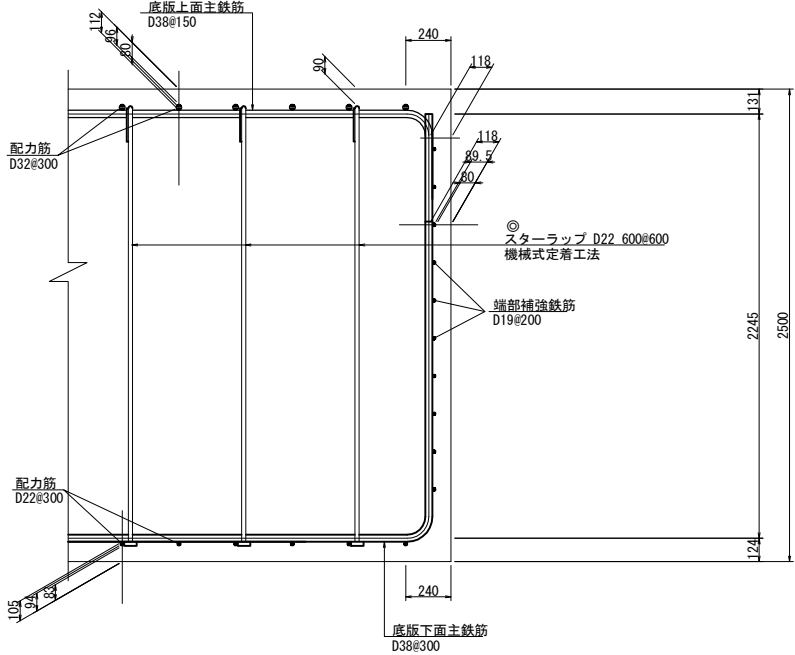
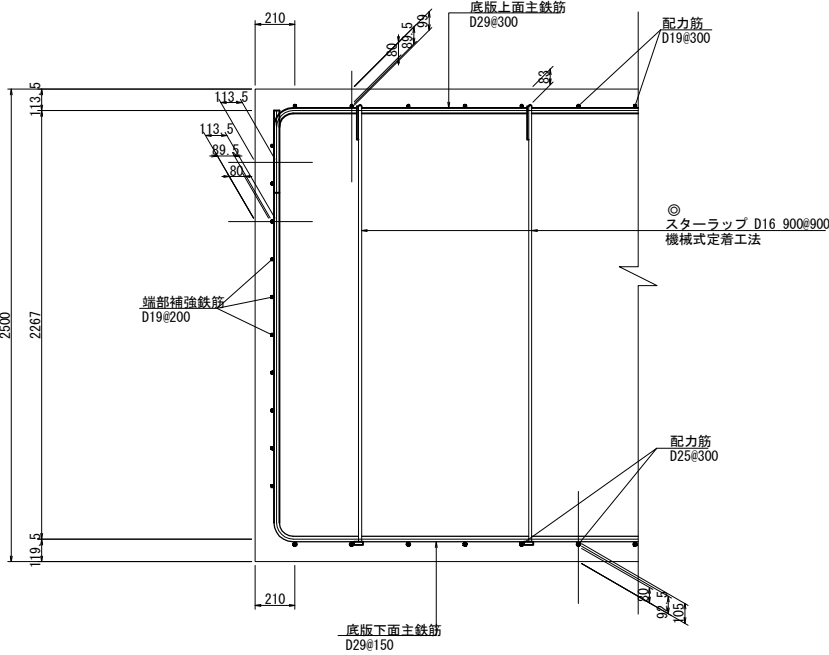
道東自動車道 下トマ地区下部工工事			
図面の種類		下トマ橋 (下り線) A 2橋台配筋図 (その9)	
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

かぶり詳細図 S=1:40

底 版

前 趾

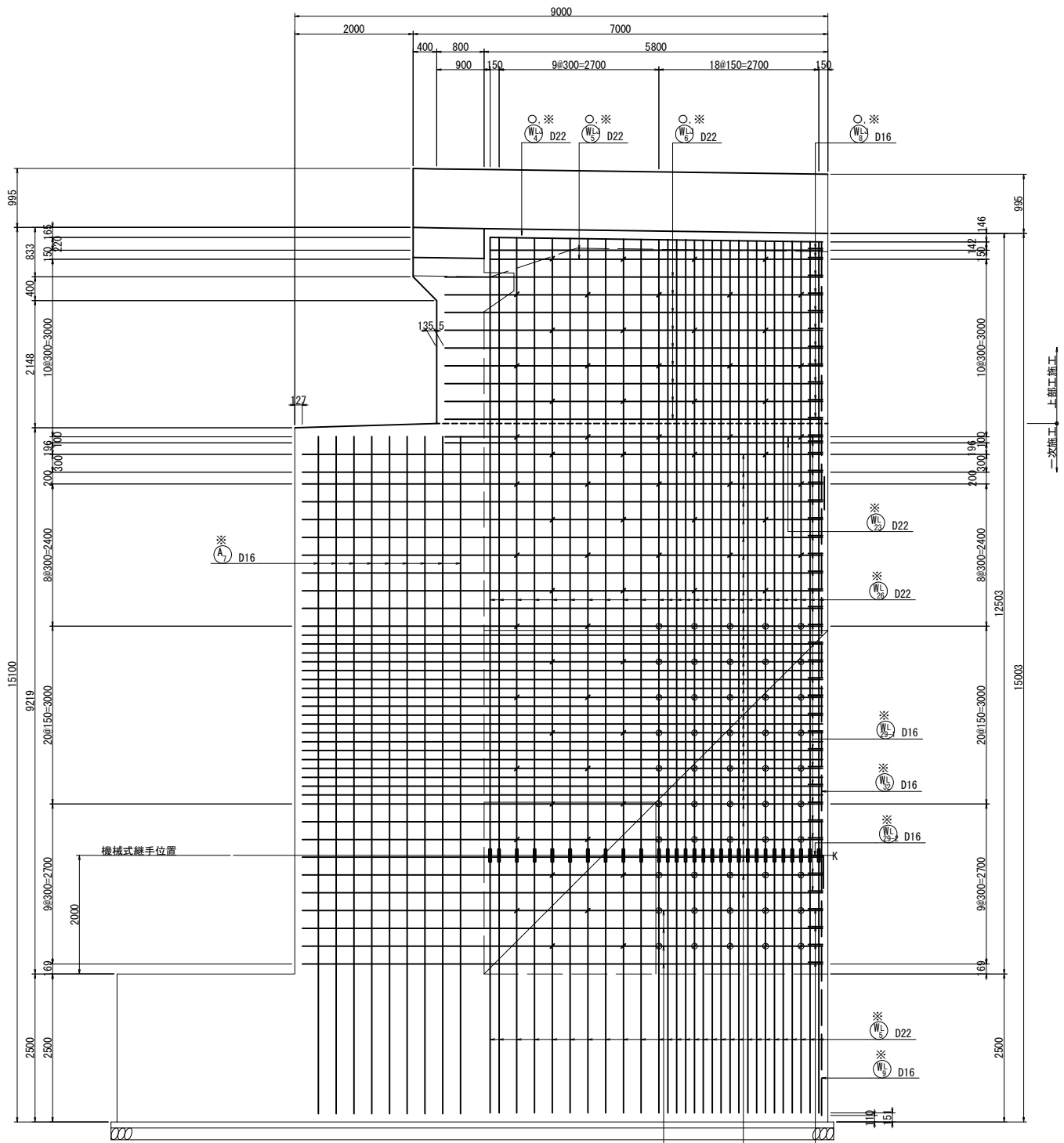
後 趾



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K印は機械継手位置を表す。

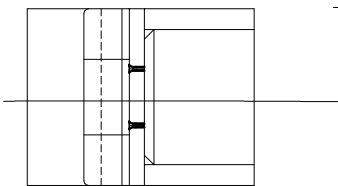
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 0）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

1 - 1

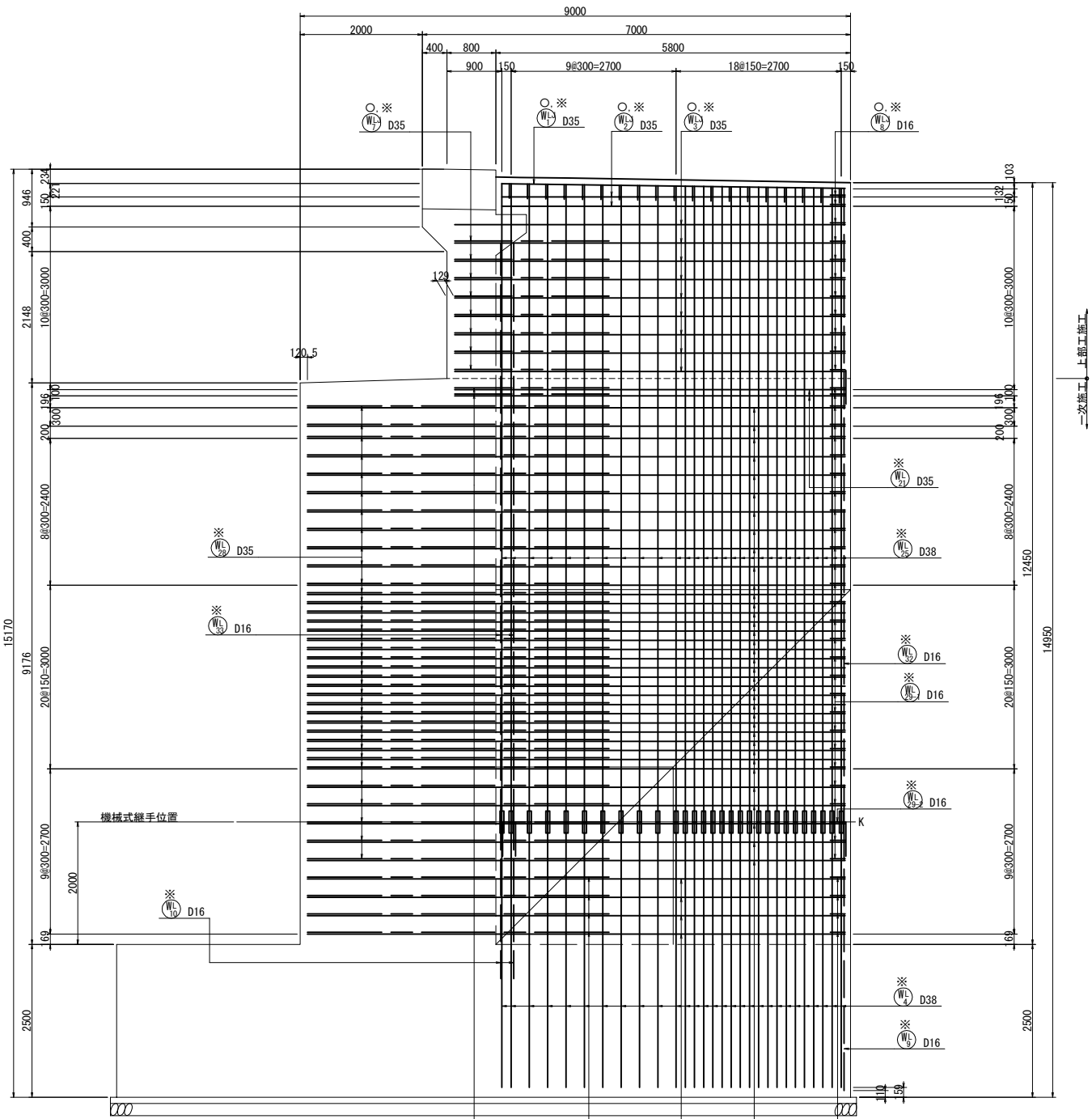


注1: ● はWLJ8, WLJ31-D16を示す。

位置図

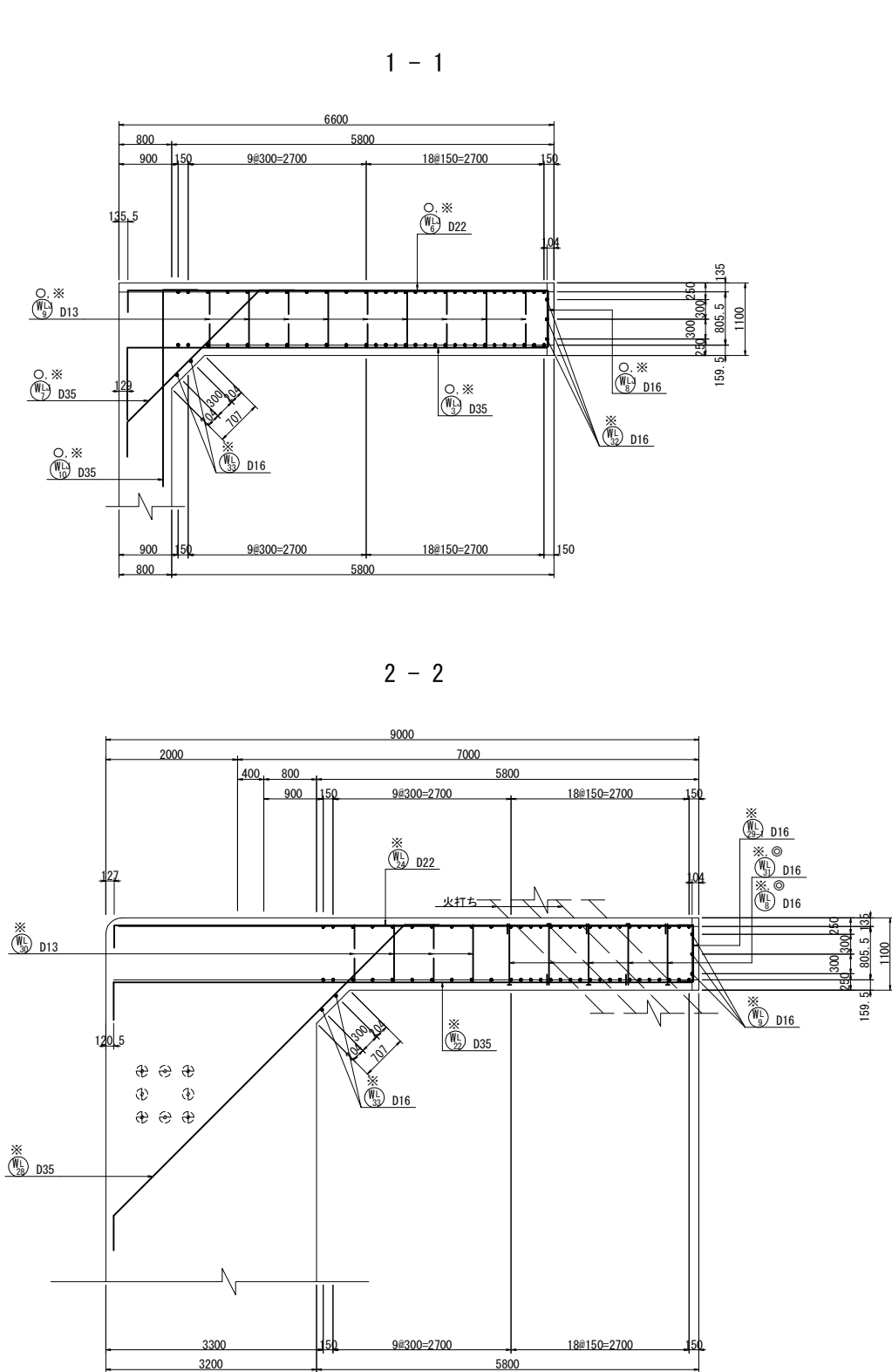


2 - 2



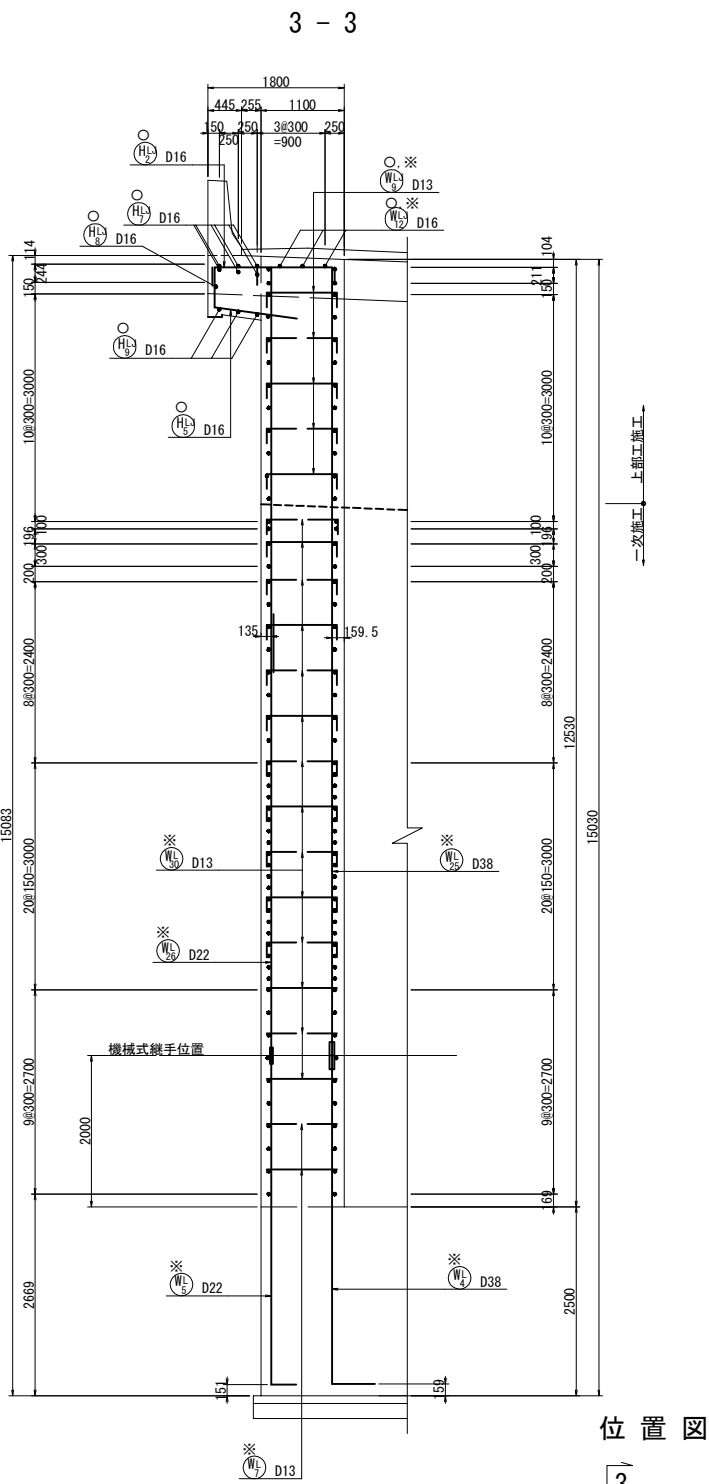
注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

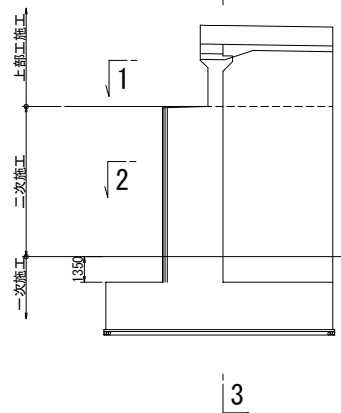


※下段の鉄筋番号は一次施工時の組立筋とする。

- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K印は機械継手位置を表す。



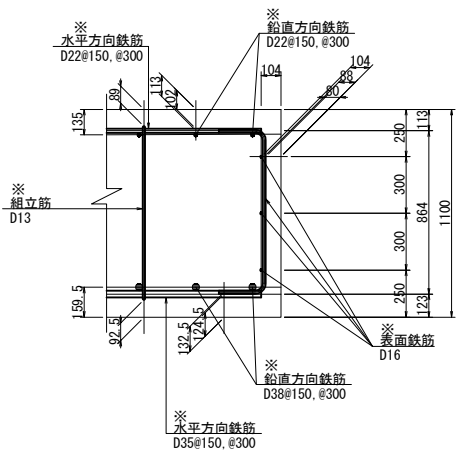
位置図



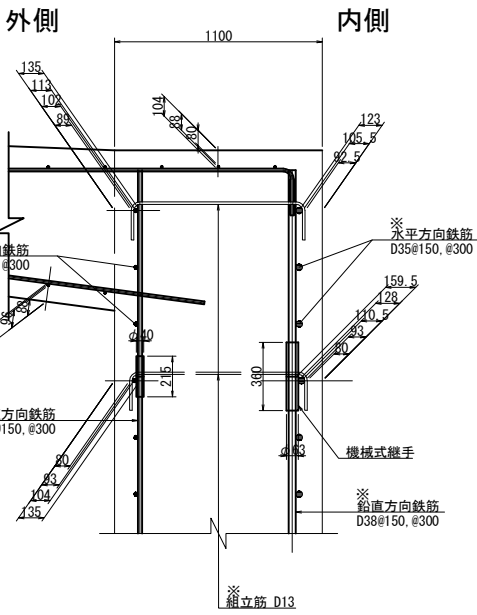
かぶり詳細図 S=1:40

(左翼壁)

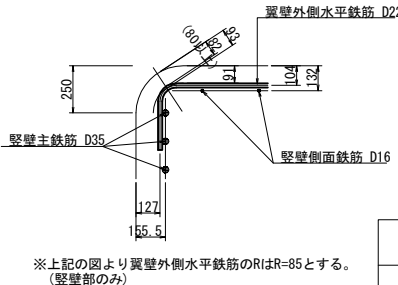
端部



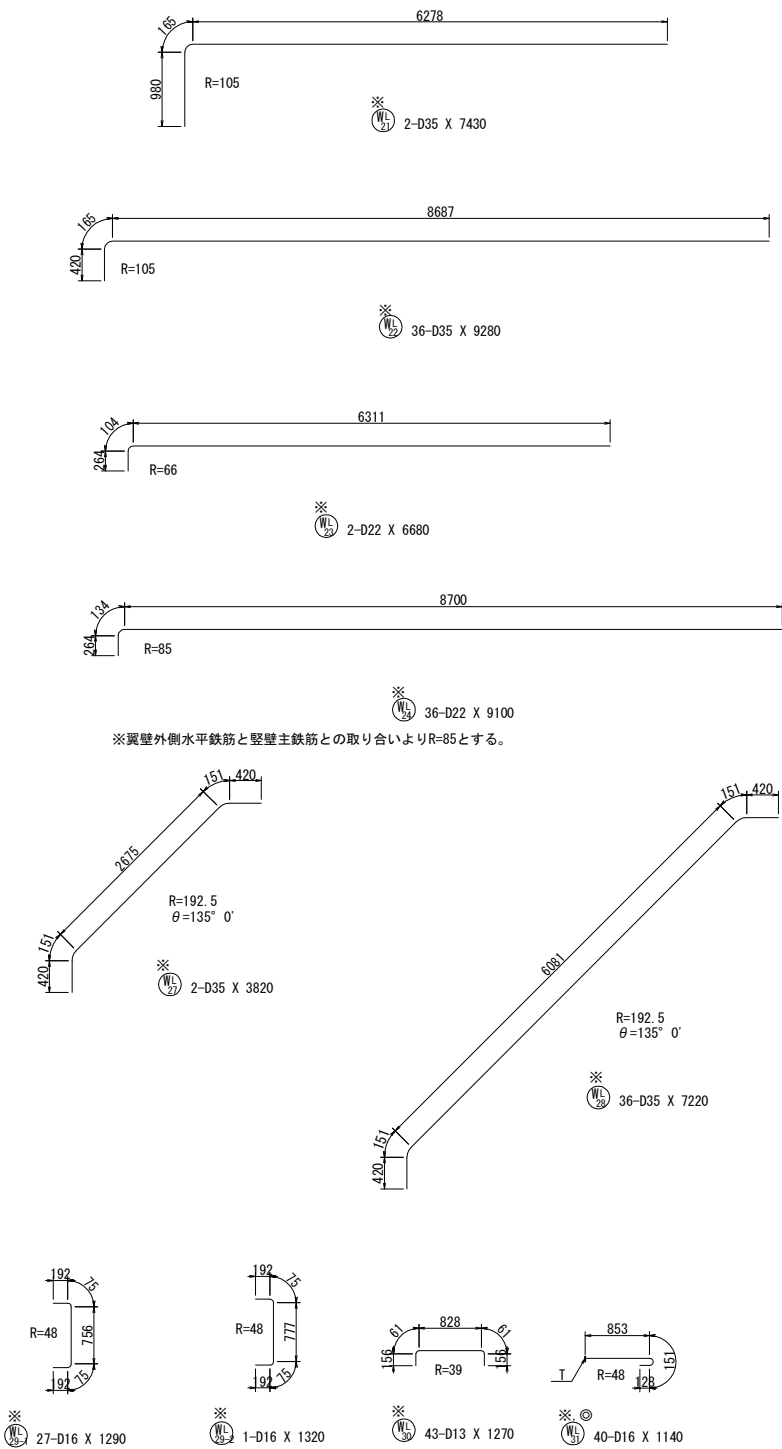
翼壁部



翼壁外側水平鉄筋と豎壁主鉄筋との取り合い



道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 2）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

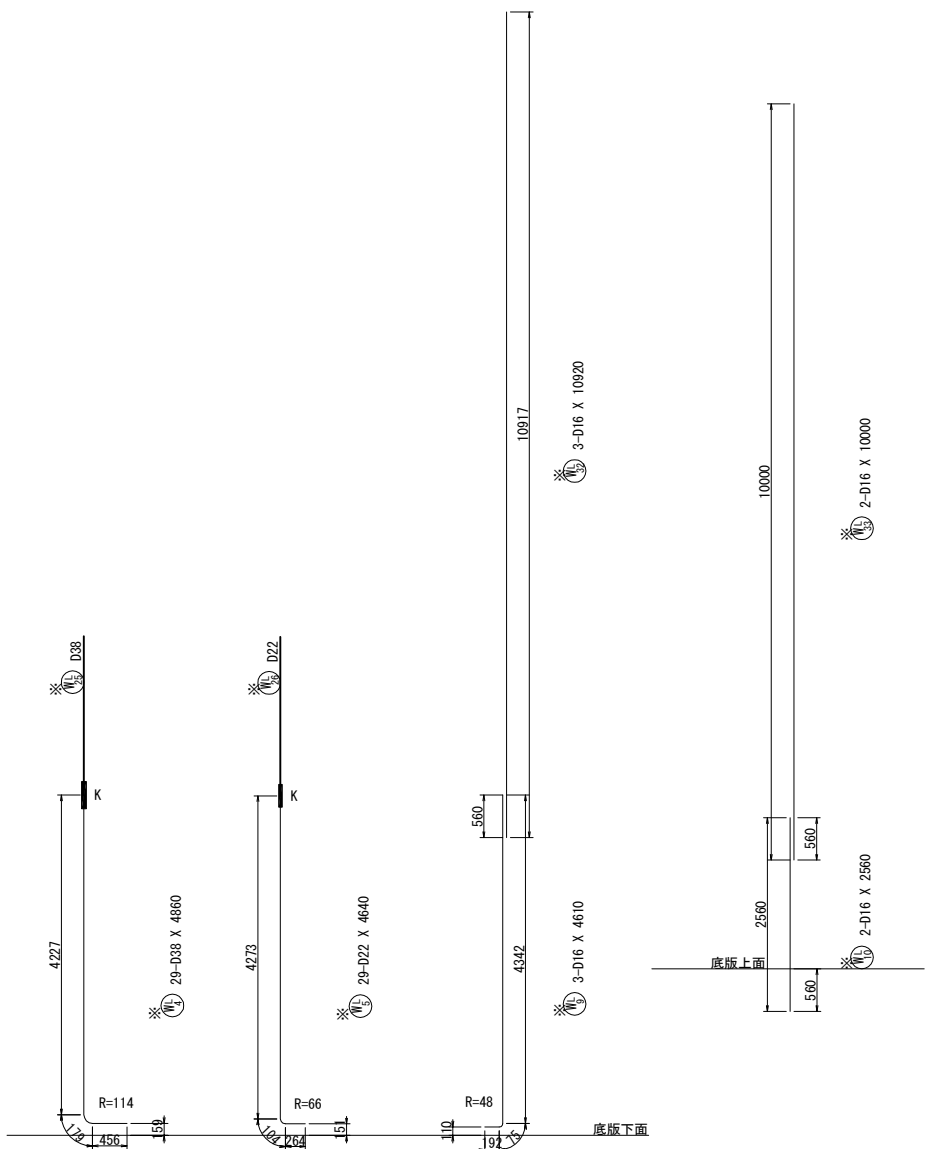
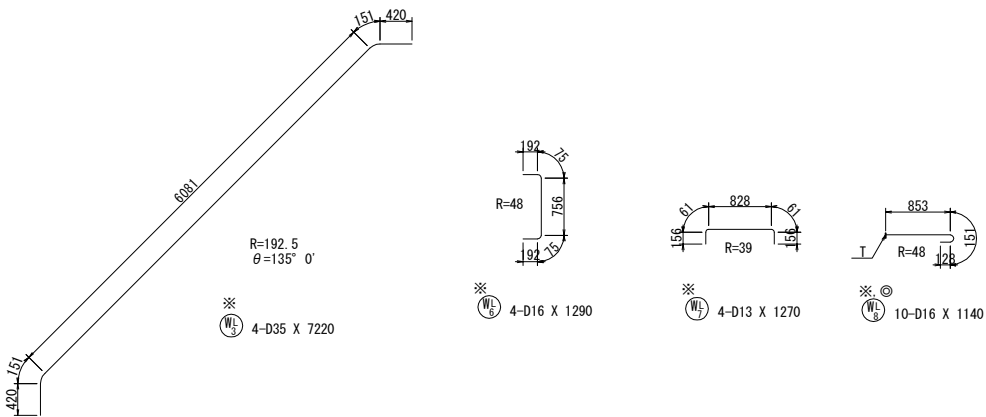


変化鉄筋表

種 別	径	本数	I	L	
W 25- 1	D38	1	10358	10358	
- 2	D38	1	10360	10360	
- 3	D38	1	10362	10362	
- 4	D38	1	10364	10364	
- 5	D38	1	10366	10366	
- 6	D38	1	10368	10368	
- 7	D38	1	10370	10370	
- 8	D38	1	10372	10372	
- 9	D38	1	10374	10374	
-10	D38	1	10376	10376	
-11	D38	1	10378	10378	
-12	D38	1	10380	10380	
-13	D38	1	10383	10383	
-14	D38	1	10385	10385	
-15	D38	1	10387	10387	
-16	D38	1	10389	10389	
-17	D38	1	10391	10391	
-18	D38	1	10393	10393	
-19	D38	1	10395	10395	
-20	D38	1	10399	10399	
-21	D38	1	10403	10403	
-22	D38	1	10408	10408	
-23	D38	1	10412	10412	
-24	D38	1	10416	10416	
-25	D38	1	10420	10420	
-26	D38	1	10424	10424	
-27	D38	1	10428	10428	
-28	D38	1	10432	10432	
-29	D38	1	10436	10436	
平均長		29		10391	

変化鉄筋表

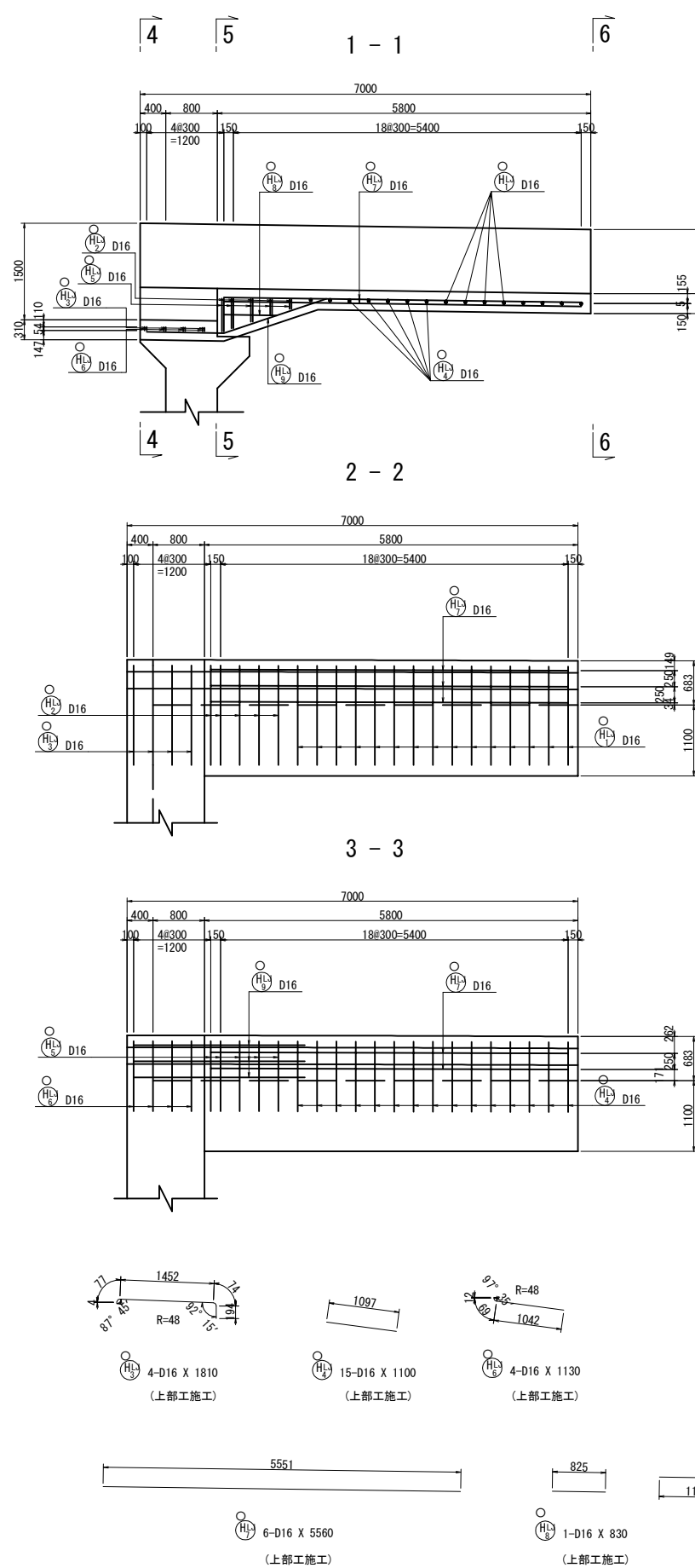
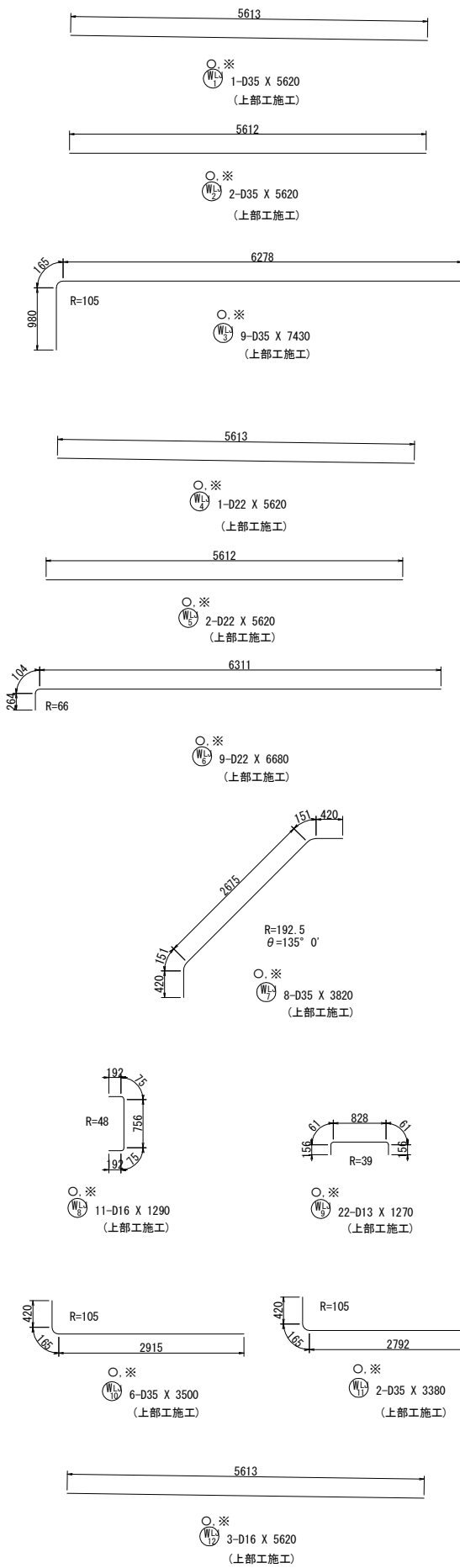
種 別	径	本数	I	L	
W 26- 1	D22	1	10368	10368	
- 2	D22	1	10370	10370	
- 3	D22	1	10372	10372	
- 4	D22	1	10374	10374	
- 5	D22	1	10376	10376	
- 6	D22	1	10378	10378	
- 7	D22	1	10380	10380	
- 8	D22	1	10382	10382	
- 9	D22	1	10384	10384	
-10	D22	1	10386	10386	
-11	D22	1	10388	10388	
-12	D22	1	10390	10390	
-13	D22	1	10393	10393	
-14	D22	1	10395	10395	
-15	D22	1	10397	10397	
-16	D22	1	10399	10399	
-17	D22	1	10401	10401	
-18	D22	1	10403	10403	
-19	D22	1	10405	10405	
-20	D22	1	10409	10409	
-21	D22	1	10413	10413	
-22	D22	1	10418	10418	
-23	D22	1	10422	10422	
-24	D22	1	10426	10426	
-25	D22	1	10430	10430	
-26	D22	1	10434	10434	
-27	D22	1	10438	10438	
-28	D22	1	10442	10442	
-29	D22	1	10445	10445	
平均長		29		10401	



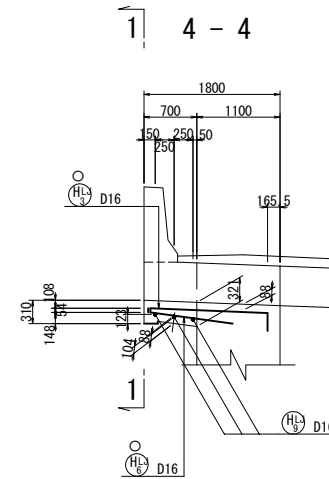
- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
- 機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
- 注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
- 注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注6) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 3）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

左張出部詳細図

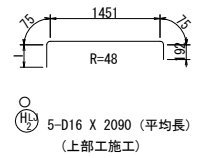


変化鉄筋表



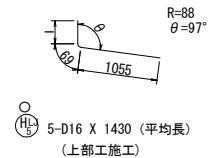
種 別	径	本数	I	L
H $\frac{1}{2}$ 1	D16	1	1483	1750
- 2	D16	1	1483	1750
- 3	D16	1	1484	1751
- 4	D16	1	1485	1752
- 5	D16	1	1486	1753
- 6	D16	1	1487	1754
- 7	D16	1	1488	1755
- 8	D16	1	1488	1755
- 9	D16	1	1489	1756
-10	D16	1	1490	1757
-11	D16	1	1491	1758
-12	D16	1	1492	1759
-13	D16	1	1493	1760
-14	D16	1	1494	1761
-15	D16	1	1494	1761
平均長		15		1756

变化鉄筋表



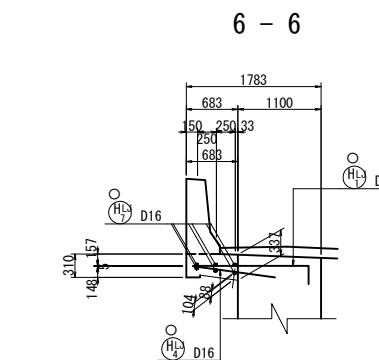
種 別	径	本数	I	L
H $\frac{1}{2}$ -1	D16	1	99	1892
-2	D16	1	203	1996
-3	D16	1	307	2100
-4	D16	1	411	2204
-5	D16	1	463	2256
平均長		5		2090

变化鉄筋表



種 別	径	本数	I	L
H ¹ ₅₋₁	D16	1	105	1229
-2	D16	1	209	1333
-3	D16	1	313	1437
-4	D16	1	417	1541
-5	D16	1	469	1593
平均長		5		1427

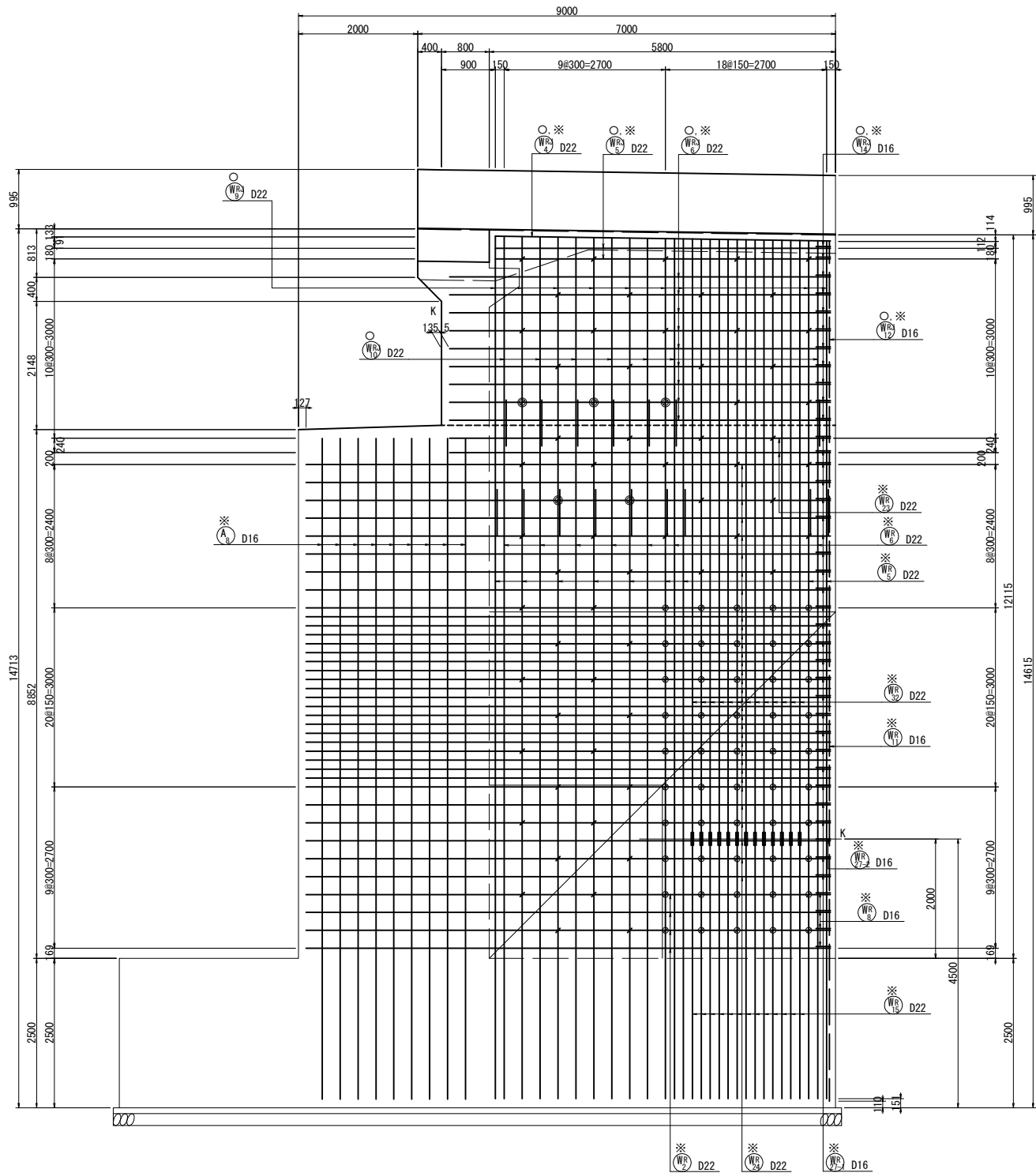
6 - 6



- 注1) ①印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
下路橋示方書・解説(R7、10日本道路協会)
- 2) 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28、7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
- 注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
- 注5) O鉄筋は上部工鉄筋を表す。
- 注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注7) K 印は機械継手位置を表す。

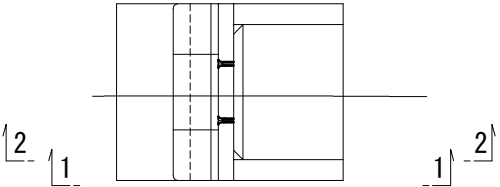
道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A2橋台配筋図（その14）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

1 - 1

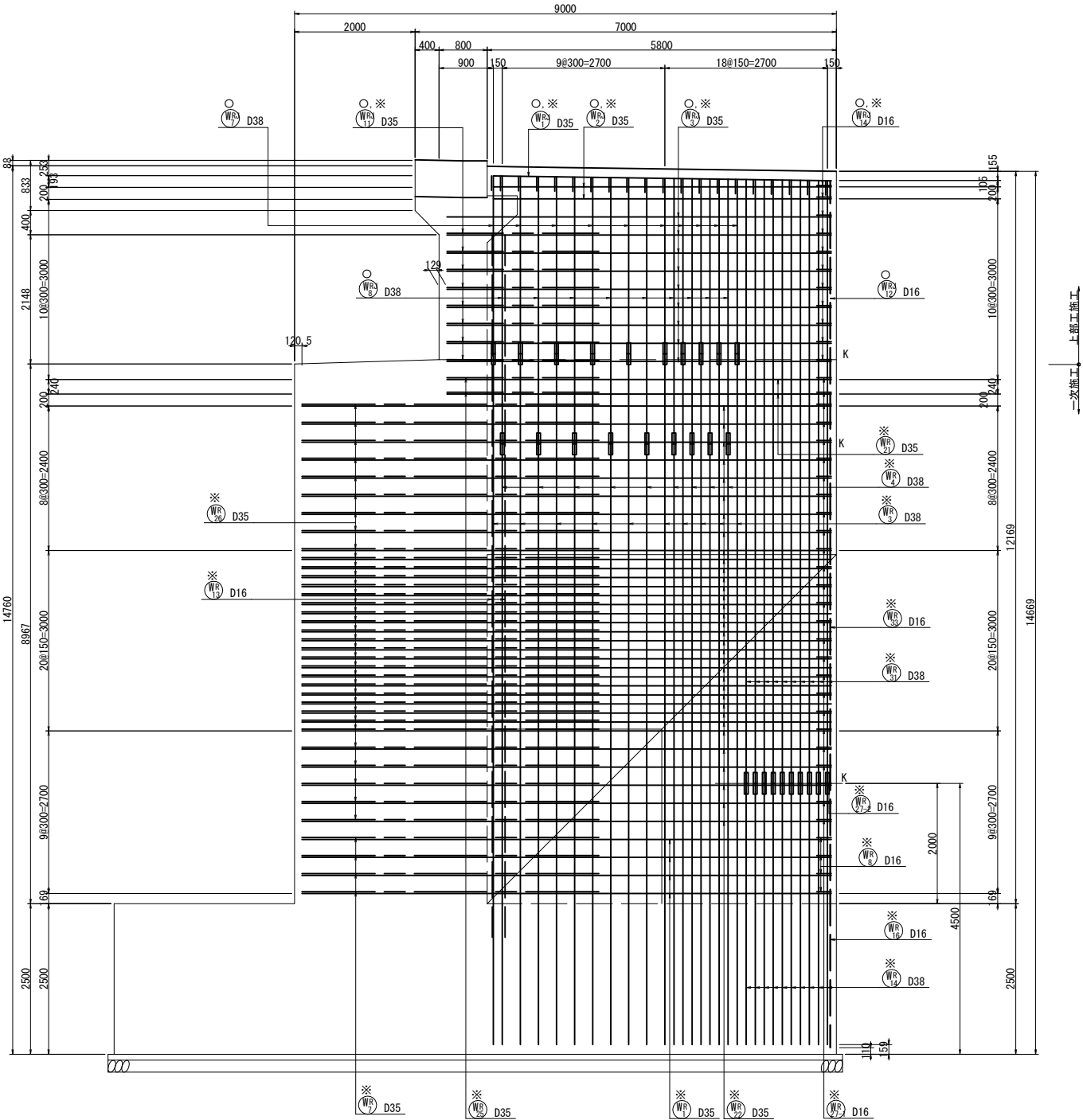


注1 ◎ はWR29, WRJ15-D13を示す。
○ はWR10, WR30-D16を示す。

位置図

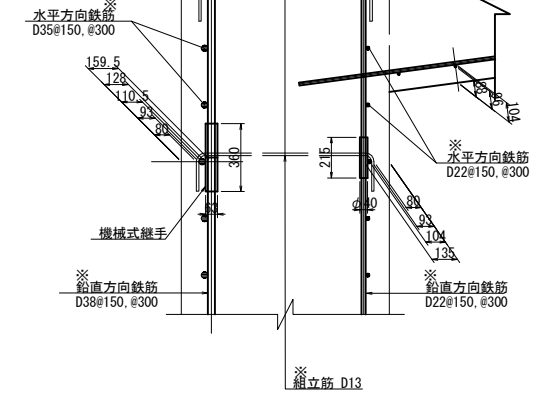
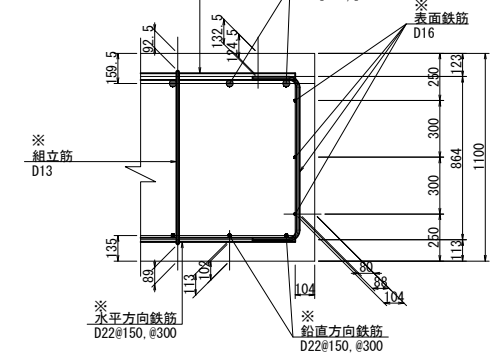


2 - 2

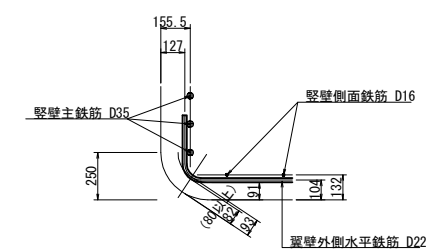


注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

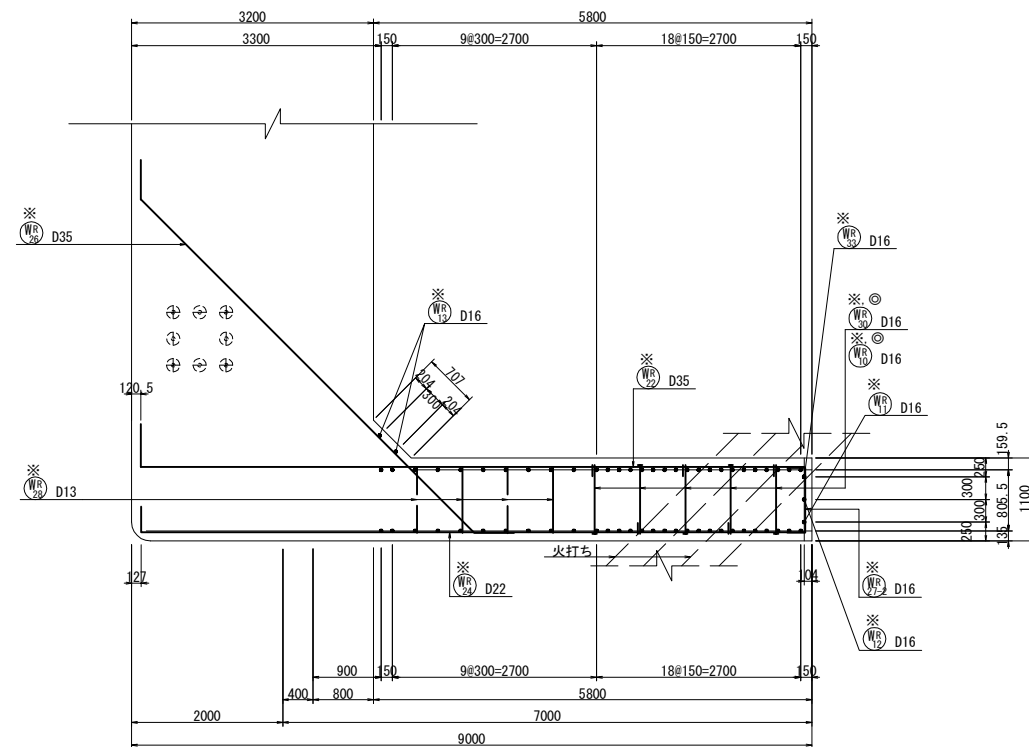
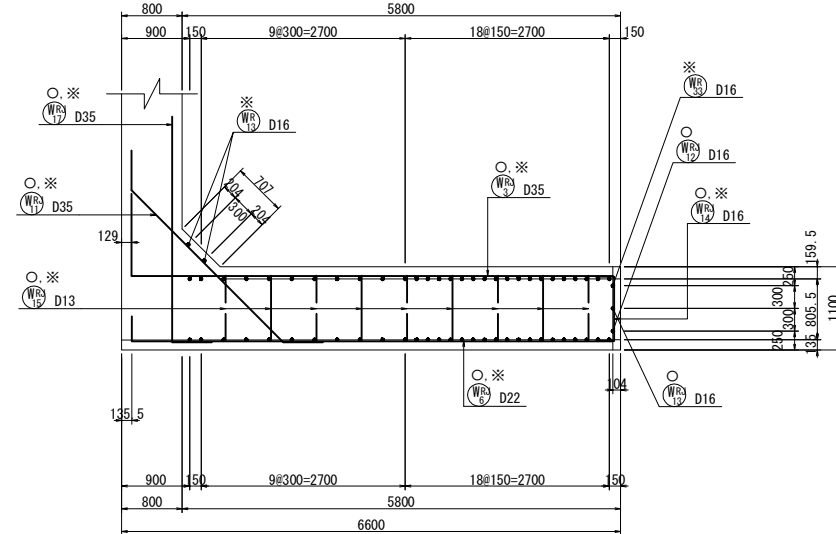
道東自動車道				
下トナム地区下部工工事				
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 5）			
	縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社			
	帯広工事事務所			



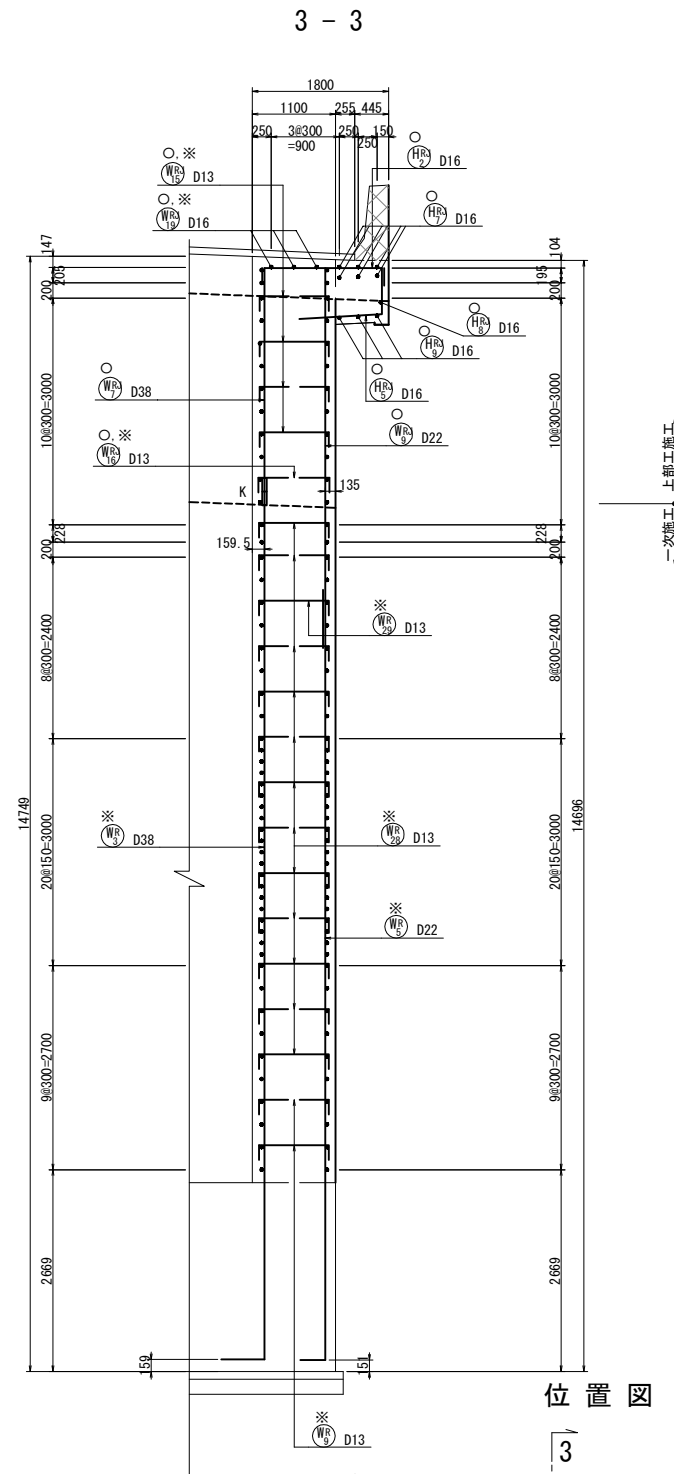
翼壁外側水平鉄筋と豎壁主鉄筋との取り合い



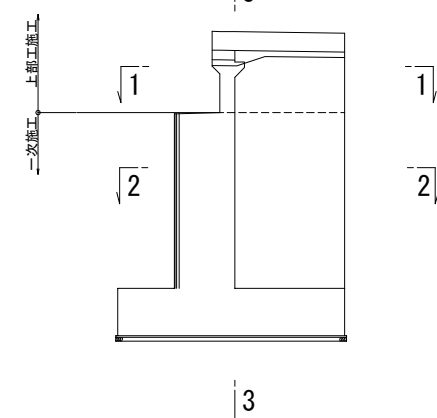
※上記の図より翼壁外側水平鉄筋のRはR=85とする。
(縦壁部のみ)



※下段の鉄筋番号は一次施工時の組立筋とする。

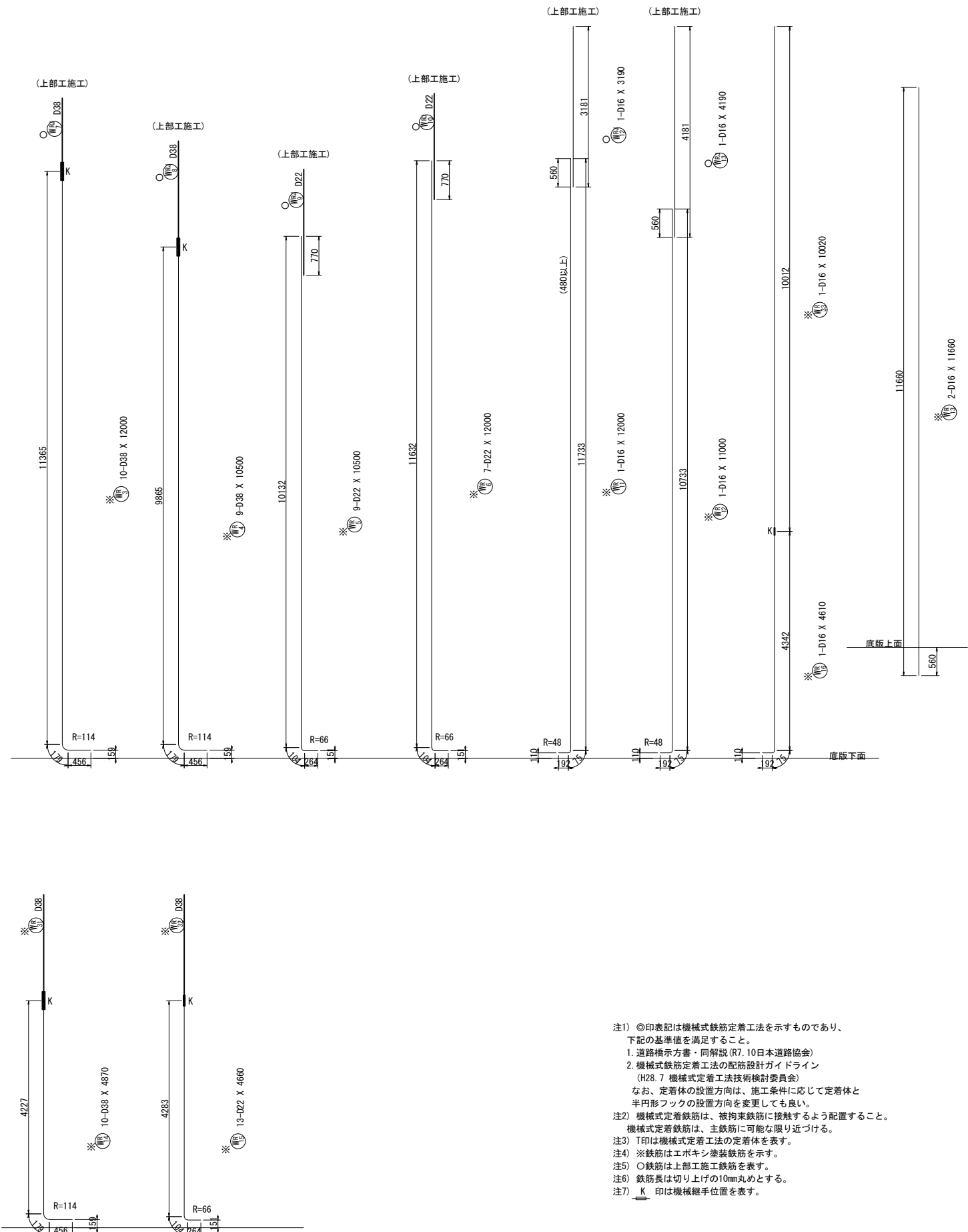
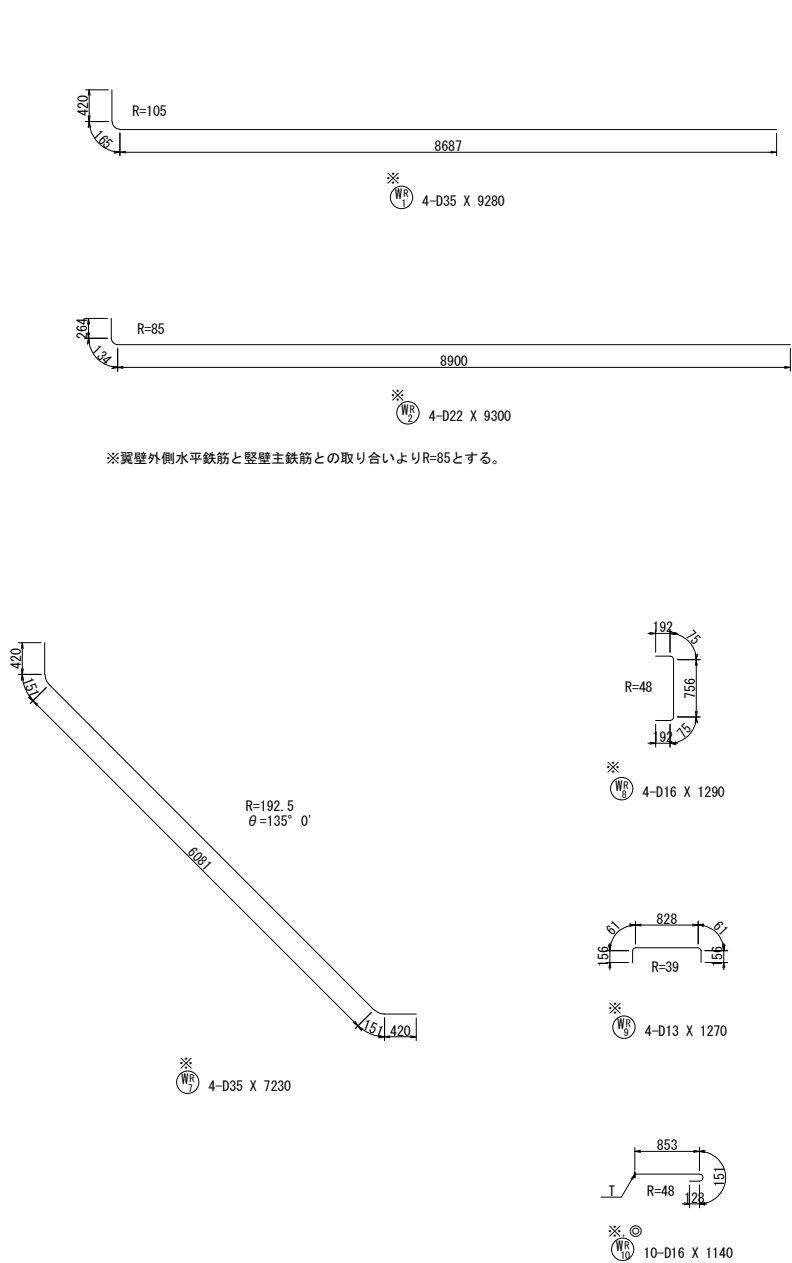


位置図



- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
- ① 道幅構方式・同解説(7、10日本道路協会)
- ② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28)「機械式定着工法技術検討委員会」
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
- 機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づく。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
- 注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
- 注5) ○鉄筋は上部施工鉄筋を表す。
- 注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注7) K印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台配筋図（その１６）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7, 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するように配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注7) K 印は機械継手位置を表す。

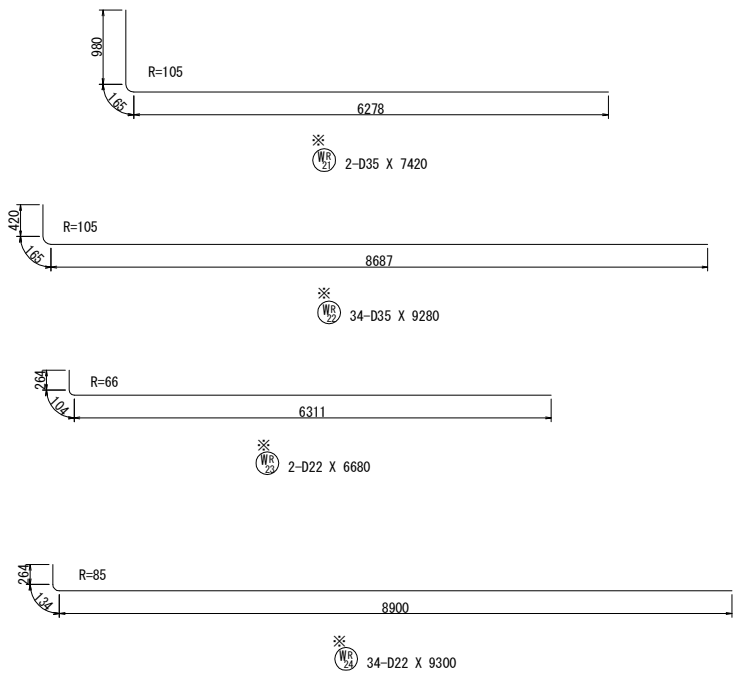
変化鉄筋表

(上部工施工)				
種 別	径	本数	I	L
W 82-1	D38	1	10013	10013
- 2	D38	1	10015	10015
- 3	D38	1	10017	10017
- 4	D38	1	10019	10019
- 5	D38	1	10021	10021
- 6	D38	1	10023	10023
- 7	D38	1	10025	10025
- 8	D38	1	10028	10028
- 9	D38	1	10030	10030
-10	D38	1	10032	10032
平均長		10		10023

変化鉄筋表

種 別	径	本数	I	L
W 82-1	D22	1	10019	10019
- 2	D22	1	10021	10021
- 3	D22	1	10023	10023
- 4	D22	1	10025	10025
- 5	D22	1	10028	10028
- 6	D22	1	10030	10030
- 7	D22	1	10032	10032
- 8	D22	1	10034	10034
- 9	D22	1	10036	10036
-10	D22	1	10038	10038
-11	D22	1	10040	10040
-12	D22	1	10042	10042
-13	D22	1	10044	10044
平均長		13		10032

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

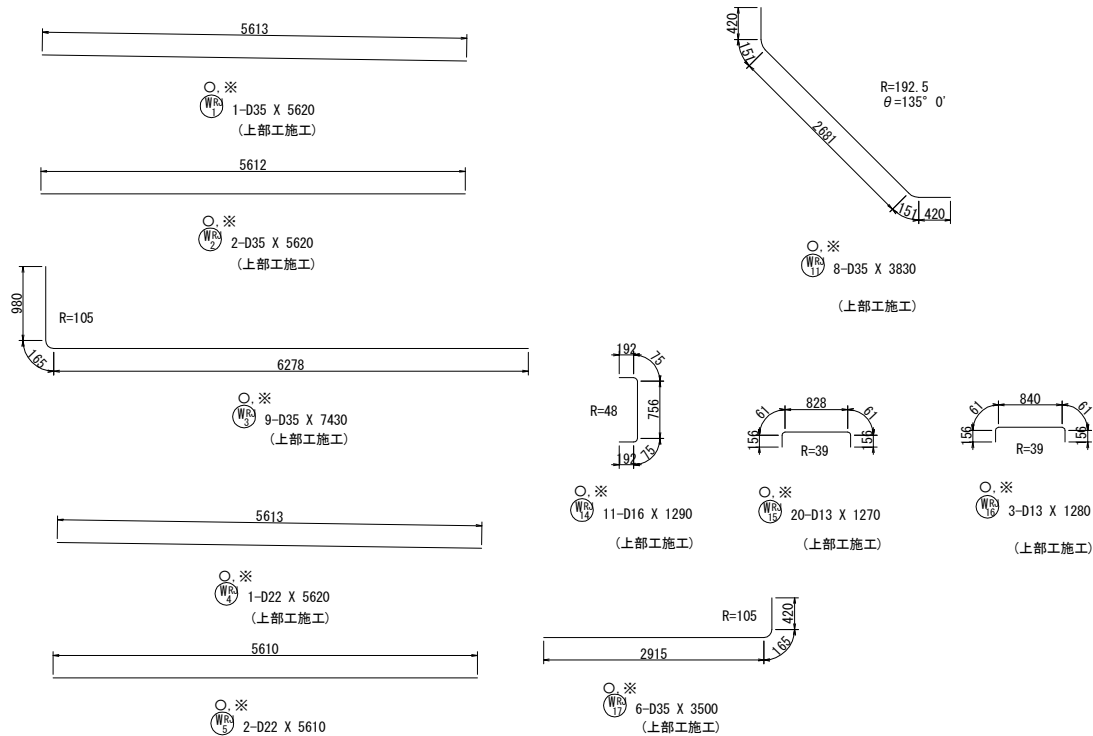


変化鉄筋表

(上部工施工)					
種 別	径	本数	l	L	
W 8J-1	D38	1	2896	2896	
- 2	D38	1	2900	2900	
- 3	D38	1	2904	2904	
- 4	D38	1	2908	2908	
- 5	D38	1	2913	2913	
- 6	D38	1	2921	2921	
- 7	D38	1	2929	2929	
- 8	D38	1	2938	2938	
- 9	D38	1	2946	2946	
- 10	D38	1	2953	2953	
平均長		10		2921	

変化鉄筋表

(上部工施工)					
種 別	径	本数	l	L	
W 8J-1	D38	1	4398	4398	
- 2	D38	1	4402	4402	
- 3	D38	1	4406	4406	
- 4	D38	1	4411	4411	
- 5	D38	1	4417	4417	
- 6	D38	1	4425	4425	
- 7	D38	1	4434	4434	
- 8	D38	1	4442	4442	
- 9	D38	1	4450	4450	
平均長		9		4421	

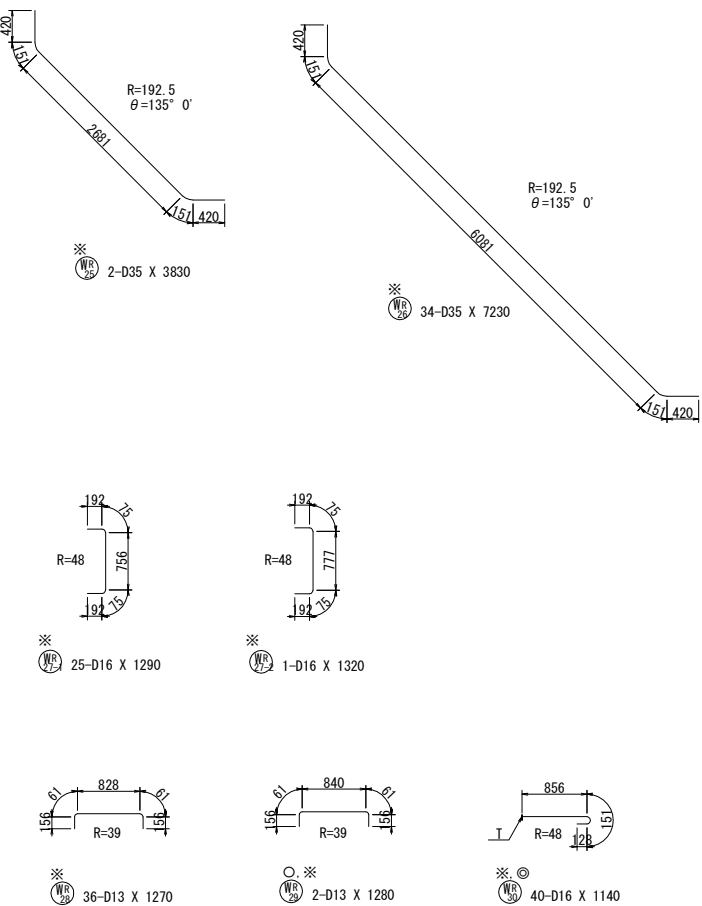


変化鉄筋表

(上部工施工)					
種 別	径	本数	l	L	
W 8J-1	D22	1	4934	4934	
- 2	D22	1	4938	4938	
- 3	D22	1	4967	4967	
- 4	D22	1	4972	4972	
- 5	D22	1	4980	4980	
- 6	D22	1	4988	4988	
- 7	D22	1	4997	4997	
- 8	D22	1	5005	5005	
- 9	D22	1	5012	5012	
平均長		9		4977	

変化鉄筋表

(上部工施工)					
種 別	径	本数	l	L	
W 8J-1	D22	1	3436	3436	
- 2	D22	1	3470	3470	
- 3	D22	1	3476	3476	
- 4	D22	1	3484	3484	
- 5	D22	1	3493	3493	
- 6	D22	1	3501	3501	
- 7	D22	1	3509	3509	
平均長		7		3481	



変化鉄筋表

(上部工施工)					
種 別	径	本数	l	L	
W 8J-1	D35	1	2824	3409	
- 2	D35	1	2838	3423	
平均長		2		3416	

- 注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7.10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
- 注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
- 注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
- 注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
- 注5) ○鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。
- 注6) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
- 注7) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類		下トマム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 1 8）		
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

下トナム橋（下り線）A 2 橋台配筋図（その１９）

鉄筋表（SD345）（下部工施工 普通鉄筋）

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
F 1	D38	9250	63	8.95	82.8	5216	┐
F 2	〃	9070	33	8.95	81.2	2680	┐
F 3	D29	8160	63	5.04	41.1	2589	┐
F 4	〃	4200	33	5.04	21.2	700	┐
F 5	D32	9190	21	6.23	57.3	1203	┐
F 6	D22	9190	21	3.04	27.9	586	┐
F 7	D25	9190	20	3.98	36.6	732	┐
F 8	D19	9190	11	2.25	20.7	228	┐
F 9-1	〃	9500	20	2.25	21.4	428	┐
F 9-2	〃	3500	20	2.25	7.88	158	┐
F 10	〃	9180	20	2.25	20.7	414	┐
F 11	D16	2750	20	1.56	4.29	86	┐
15020 kg							
◎ F 〇 ₁	D22	2620	108	3.04	7.96	860	┐ [108] C
◎ F 〇 ₂	D16	2540	36	1.56	3.96	143	┐ [36] C
1003 kg							
		鉄筋A	鉄筋B	鉄筋C	(機械継手箇所)	(機械式定着箇所)	
合 計	D38	7896 kg	- kg	- kg			
	D32	1203 kg	- kg	- kg			
	D29	3289 kg	- kg	- kg			
	D25	732 kg	- kg	- kg			
	D22	586 kg	- kg	860 kg			[108]
	D19	1228 kg	- kg	- kg			
	D16	86 kg	- kg	143 kg			[36]
総質量		15020 kg	- kg	1003 kg			[144]

鉄筋曲げ加工表 (SD345)

図解は鉄筋の曲げ加工に関する寸法を示しています。左側の図は90度曲げで、曲げ半径が $R=5.5\phi$ 、直線部が 12ϕ の場合を示しています。中央の図は90度曲げで、曲げ半径が $R=3\phi$ 、直線部が 12ϕ の場合を示しています。右側の図は135度曲げで、曲げ半径が $R=3\phi$ 、直線部が 10ϕ の場合を示しています。また、右側の図には 8ϕ 以上 12cm 以上の寸法も示されています。

注) 曲げ半径 ($R=3\phi$ 、 5.5ϕ) は鉄筋中心までの長さとする。

径	$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$	$\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$		
	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3	
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4	
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5	
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5	
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6	
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7	
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8	
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8	
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9	
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10	
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12	

鉄筋表 (SD345)（下部工施工 エポキシ樹脂塗装鉄筋）

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
※ A 1	D38	11790	61	8.95	106	6466	┐ (平均長)
※ A 2	D35	11750	61	7.51	88.2	5380	┐ (平均長)
※ A 3	D38	11790	32	8.95	106	3392	┐ (平均長)
※ A 4	D29	10000	9	5.04	50.4	454	┐
※ A 5	〃	9860	9	5.04	49.7	447	┐
※ A 6	〃	10000	4	5.04	50.4	202	┐
※ A 7	D16	11650	9	1.56	18.2	164	┐
※ A 8	〃	11290	9	1.56	17.6	158	┐
◎※ A 〇 ₁	D29	3420	20	5.04	17.2	344	┐ [20] C
17007 kg							
※ W 〇 ₁	D35	9280	4	7.51	69.7	279	┐
※ W 〇 ₂	D22	9100	4	3.04	27.7	111	┐
※ W 〇 ₃	D35	7230	4	7.51	54.3	217	┐
※ W 〇 ₄	D38	4870	29	8.95	43.6	1264	┐ (29) B
※ W 〇 ₅	D22	4650	29	3.04	14.1	409	┐ (29) B
※ W 〇 ₆	D16	1290	4	1.56	2.01	8	┐
※ W 〇 ₇	D13	1270	4	0.995	1.26	5	┐
◎※ W 〇 ₈	D16	1140	10	1.56	1.78	18	┐ [10] C
※ W 〇 ₉	〃	4610	3	1.56	7.19	22	┐
※ W 〇 ₁₀	〃	2560	2	1.56	3.99	8	┐
2341 kg							
※ W 〇 ₁₁	D35	9280	4	7.51	69.7	279	┐
※ W 〇 ₁₂	D22	9300	4	3.04	28.3	113	┐
※ W 〇 ₁₃	D38	12000	10	8.95	107	1070	┐ (10) B
※ W 〇 ₁₄	〃	10500	9	8.95	94.0	846	┐ (9) B
※ W 〇 ₁₅	D22	10500	9	3.04	31.9	287	┐
※ W 〇 ₁₆	〃	12000	7	3.04	36.5	256	┐
※ W 〇 ₁₇	D35	7230	4	7.51	54.3	217	┐
※ W 〇 ₁₈	D16	1290	4	1.56	2.01	8	┐
※ W 〇 ₁₉	D13	1270	4	0.995	1.26	5	┐
◎※ W 〇 ₂₀	D16	1140	10	1.56	1.78	18	┐ [10] C
※ W 〇 ₂₁	〃	12000	1	1.56	18.7	19	┐
※ W 〇 ₂₂	〃	11000	1	1.56	17.2	17	┐
※ W 〇 ₂₃	〃	11660	2	1.56	18.2	36	┐
※ W 〇 ₂₄	D38	4870	10	8.95	43.6	436	┐ (10) B
※ W 〇 ₂₅	D22	4660	13	3.04	14.2	185	┐ (13) B
※ W 〇 ₂₆	D16	4610	1	1.56	7.19	7	┐ (1) B
3799 kg							
		鉄筋A	鉄筋B	鉄筋C	(機械継手箇所)	(機械式定着箇所)	
合 計	D38	9858 kg	3616 kg	- kg	(58)		
	D35	6372 kg	- kg	- kg			
	D29	1103 kg	- kg	344 kg			[20]
	D22	767 kg	594 kg	- kg	(42)		
	D16	440 kg	7 kg	36 kg	(1)		[20]
	D13	10 kg	- kg	- kg			
総質量		18550 kg	4217 kg	380 kg	(101)		[40]

注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K 印は機械継手位置を表す。

鉄筋表 (SD345)（下部工施工 エポキシ樹脂塗装鉄筋）

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
※ P 1	D38	5000	32	8.95	44.8	1434	
※ P 2	〃	2850	39	8.95	25.5	995	K (39) B
※ P 3	〃	4500	12	8.95	40.3	484	
※ P 4	〃	2340	20	8.95	20.9	418	K (20) B
※ P 5	D16	3300	4	1.56	5.15	21	
3352 kg							
※ A 21	D29	10000	49	5.04	50.4	2470	┐
※ A 22	〃	5790	3	5.04	29.2	88	┐ (平均長)
※ A 23	〃	10010	1	5.04	50.5	51	┐
※ A 24	〃	9860	49	5.04	49.7	2435	┐
※ A 25	〃	5720	3	5.04	28.8	86	┐ (平均長)
※ A 26	〃	9870	1	5.04	49.7	50	┐
※ A 27	〃	10000	25	5.04	50.4	1260	┐
※ A 28	〃	7980	1	5.04	40.2	40	┐
※ A 29	D16	4500	34	1.56	7.02	239	┐
※ A 30	〃	10280	11	1.56	16.0	176	┐
6895 kg							
◎※ A 〇 ₂₁	D29	3420	120	5.04	17.2	2064	┐ [120] C
◎※ A 〇 ₂₂	D16	3230	32	1.56	5.04	161	┐ [32] C
2225 kg							
※ W 〇 ₂₁	D35	7430	2	7.51	55.8	112	┐
※ W 〇 ₂₂	〃	9280	36	7.51	69.7	2509	┐
※ W 〇 ₂₃	D22	6680	2	3.04	20.3	41	┐
※ W 〇 ₂₄	〃	9100	36	3.04	27.7	997	┐
※ W 〇 ₂₅	D38	10400	29	8.95	93.1	2700	K' (平均長B)
※ W 〇 ₂₆	D22	10410	29	3.04	31.6	916	K' (平均長B)
※ W 〇 ₂₇	D35	3820	2	7.51	28.7	57	/
※ W 〇 ₂₈	〃	7230	36	7.51	54.3	1955	/
※ W 〇 ₂₉₋₁	D16	1290	27	1.56	2.01	54	┐
※ W 〇 ₂₉₋₂	〃	1320	1	1.56	2.00	2	┐
※ W 〇 ₃₀	D13	1270	43	0.995	1.26	54	┐
◎※ W 〇 ₃₁	D16	1140	40	1.56	1.78	71	┐ [40] C
※ W 〇 ₃₂	〃	10920	3	1.56	17.0	51	
※ W 〇 ₃₃	〃	10000	2	1.56	15.6	31	
9550 kg							
※ W 〇 ₃₁	D35	7430	2	7.51	55.8	112	┐
※ W 〇 ₃₂	〃	9280	34	7.51	69.7	2370	┐
※ W 〇 ₃₃	D22	6680	2	3.04	20.3	41	┐
※ W 〇 ₃₄	〃	9300	34	3.04	28.3	962	┐
※ W 〇 ₃₅	D35	3830	2	7.51	28.8	58	┐
※ W 〇 ₃₆	〃	7230	34	7.51	54.3	1846	┐
※ W 〇 ₃₇₋₁	D16	1290	25	1.56	2.01	50	┐
※ W 〇 ₃₇₋₂	〃	1320	1	1.56	2.06	2	┐
※ W 〇 ₃₈	D13	1270	36	0.995	1.26	45	┐
※ W 〇 ₃₉	〃	1280	2	0.995	1.27	3	┐
◎※ W 〇 ₃₀	D16	1140	40	1.56	1.78	71	┐ [40] C
※ W 〇 ₃₁	D38	10030	10	8.95	89.8	898	K (平均長B)
※ W 〇 ₃₂	D22	10040	13	3.04	30.5	397	K (平均長B)
※ W 〇 ₃₃	D16	10020	1	1.56	15.6	16	K B
6871 kg							
※ S 1	D16	3090	48	1.56	4.82	231	┐
※ S 2	〃	3600	8	1.56	5.62	45	┐
276 kg							
		鉄筋A	鉄筋B	鉄筋C	(機械継手箇所)	(機械式定着箇所)	
合 計		D38	1918 kg	5011 kg	- kg	(59)	
		D35	9019 kg	- kg	- kg		
		D29	6480 kg	- kg	2064 kg		[120]
		D22	2041 kg	1313 kg	- kg		
		D16	902 kg	16 kg	303 kg		[112]
		D13	102 kg	- kg	- kg		
総質量			20462 kg	6340 kg	2367 kg	(59)	[232]

鉄筋表 (SD345)

種 別		普通鉄筋								エポキシ樹脂塗装鉄筋							全合計 (kg)	
		下部工施工			下部工施工			合計 (kg)	下部工施工			下部工施工			合計 (kg)			
		軀 体	底 版	小 計	軀 体	底 版	小 計		軀 体	底 版	小 計	軀 体	底 版	小 計				
(SD345)	A	D13	D13	-	-	-	-	-	-	10	-	10	102	-	102	112	112	
		D16～D25	D16	-	86	86	-	-	-	86	440	-	440	902	-	902	1342	1428
			D19	-	1228	1228	-	-	-	1228	-	-	-	-	-	-	1228	
			D22	-	586	586	-	-	-	586	767	-	767	2041	-	2041	2808	3394
			D25	-	732	732	-	-	-	732	-	-	-	-	-	-	732	
			小計	-	2632	2632	-	-	-	2632	1207	-	1207	2943	-	2943	4150	6782
		D29～D32	D29	-	3289	3289	-	-	-	3289	1103	-	1103	6480	-	6480	7583	10872
			D32	-	1203	1203	-	-	-	1203	-	-	-	-	-	-	1203	
			小計	-	4492	4492	-	-	-	4492	1103	-	1103	6480	-	6480	7583	12075
		D35	-	-	-	-	-	-	-	6372	-	6372	9019	-	9019	15391	15391	
		D38	-	7896	7896	-	-	-	7896	9858	-	9858	1918	-	1918	11776	19672	
		D41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		A の 合 計		-	15020	15020	-	-	-	15020	18550	-	18550	20462	-	20462	39012	54032
	B	D16	-	-	-	-	-	-	-	7	-	7	16	-	16	23	23	
		D22	-	-	-	-	-	-	-	594	-	594	1313	-	1313	1907	1907	
		D29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D38	-	-	-	-	-	-	-	3616	-	3616	5011	-	5011	8627	8627	
		D41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		B の 合 計		-	-	-	-	-	-	-	4217	-	4217	6340	-	6340	10557	10557
	C	D16	-	143	143	-	-	-	143	36	-	36	303	-	303	339	482	
		D19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D22	-	860	860	-	-	-	860	-	-	-	-	-	-	-	860	
		D25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		D29	-	-	-	-	-	-	-	344	-	344	2064	-	2064	2408	2408	
		D32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		C の 合 計		-	1003	1003	-	-	-	1003	380	-	380	2367	-	2367	2747	3750
(SD345) 合計		-	16023	16023	-	-	-	16023	23147	-	23147	29169	-	29169	52316	68339		
鉄筋総質量		-	16023	16023	-	-	-	16023	23147	-	23147	29169	-	29169	52316	68339		

機械継手箇所数 (エポキシ樹脂塗装鉄筋)

		下部工施工		合 計
		一次施工	二次施工	
機械継手 箇所数	D16	1	-	1
	D22	42	-	42
	D25	-	-	-
	D29	-	-	-
	D32	-	-	-
	D35	-	-	-
	D38	58	59	117
	D41	-	-	-
	D51	-	-	-
合 計		101	59	160

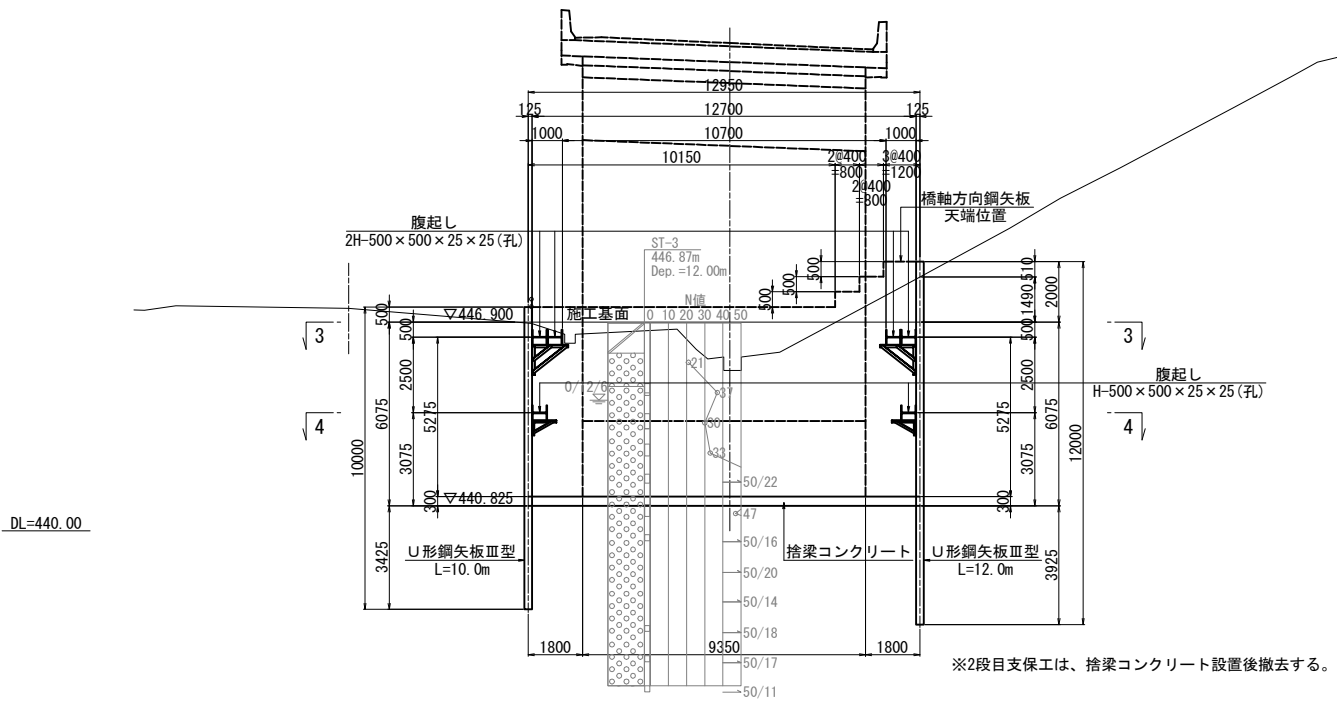
機械式鉄筋定着工法数量表 (下部工施工)

鉄筋径		箇 所 数			
		L ≦ 1m	1m < L ≦ 2m	2m < L ≦ 3m	3m < L ≦ 4m
一次施工	D16	-	-	36	-
	D22	-	-	108	-
合 計					144
一次施工					
D16(エポキシ樹脂塗装鉄筋)		-	20	-	-
D29(エポキシ樹脂塗装鉄筋)		-	-	-	20
合 計					40
二次施工					
D16(エポキシ樹脂塗装鉄筋)		-	80	-	32
D29(エポキシ樹脂塗装鉄筋)		-	-	-	120
合 計					232

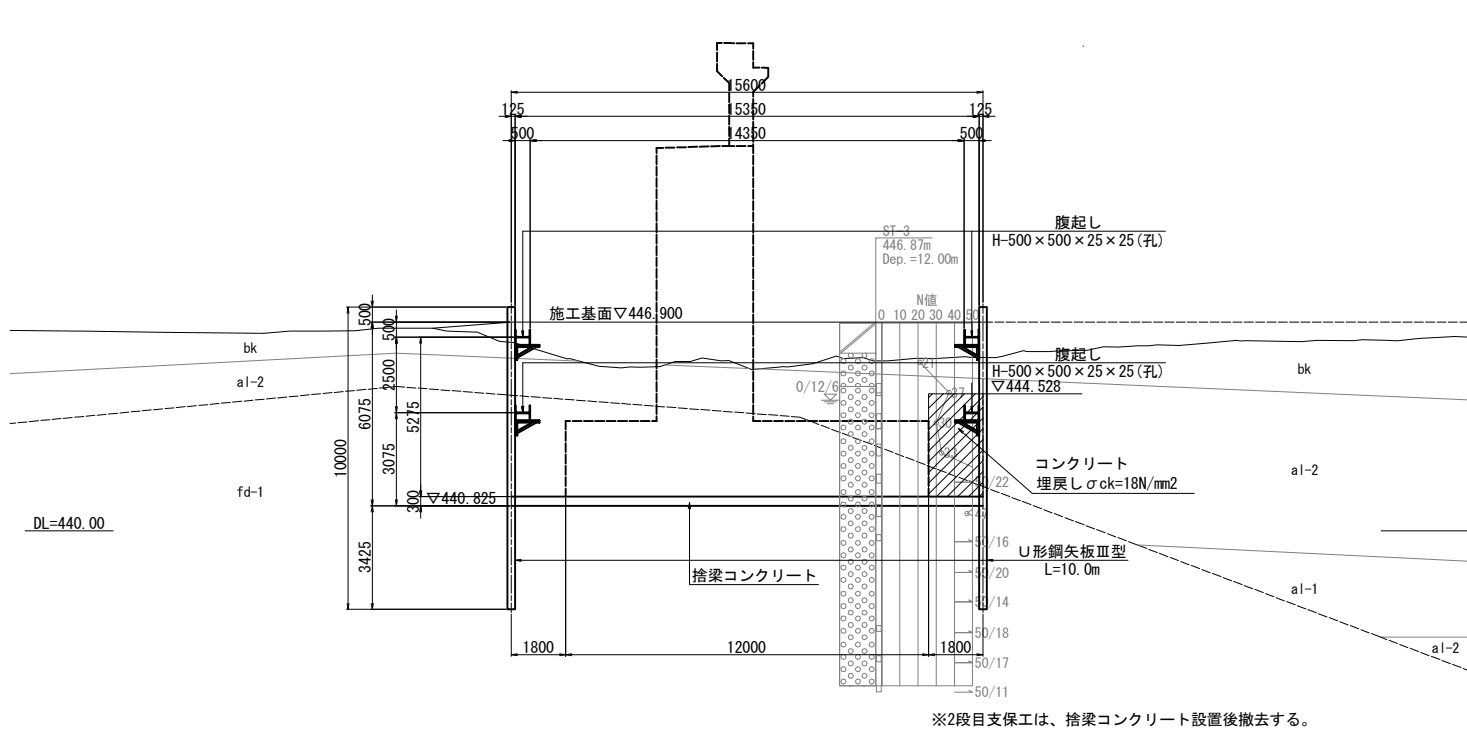
注1) ◎印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準値を満足すること。
1. 道路橋示方書・同解説 (R7. 10日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更しても良い。
注2) 機械式定着鉄筋は、被拘束鉄筋に接触するよう配置すること。
機械式定着鉄筋は、主鉄筋に可能な限り近づける。
注3) T印は機械式定着工法の定着体を表す。
注4) ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を示す。
注5) 鉄筋長は切り上げの10mm丸めとする。
注6) K 印は機械継手位置を表す。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2 橋台配筋図（その 2 0）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

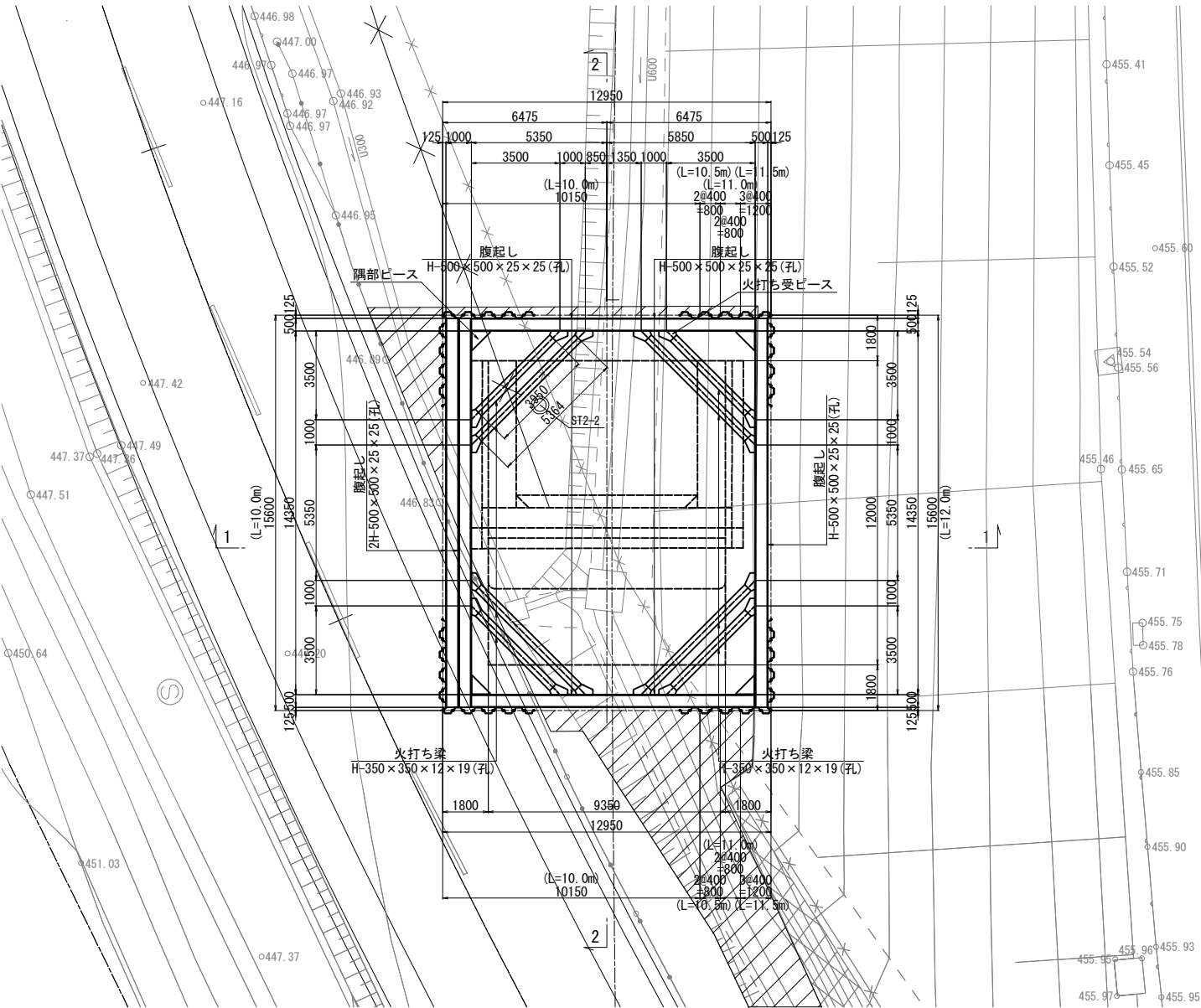
断面図 (1-1)



断面図 (2-2)



平面図 (3-3) 平面図 (4-4)



材料表

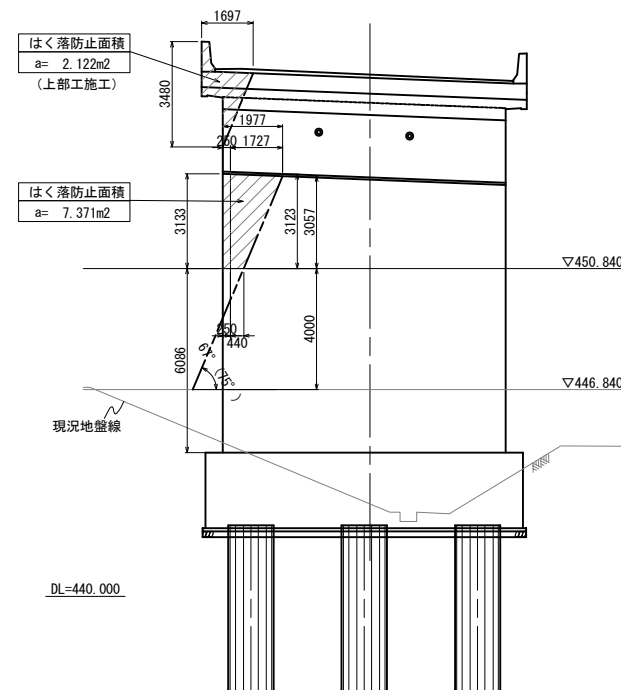
種 別	形状寸法	長さ (mm)	数量	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	材質	摘要
普通鋼矢板 (リース材)								
鋼矢板	Ⅲ型	12 000	39	60.0	720.0	28 080	SY295	
〃	〃	11 500	6	60.0	690.0	4 140	〃	
〃	〃	11 000	4	60.0	660.0	2 640	〃	
〃	〃	10 500	4	60.0	630.0	2 520	〃	
〃	〃	10 000	91	60.0	600.0	54 600	〃	
仮設材鋼矢板合計						91 980 kg		
支保工 (リース材)								
腹 起 し	H-500×500×25×25	15 350	6	300	4 605.0	27 630	SS400	
〃	〃	11 700	2	300	3 510.0	7 020	〃	
〃	〃	10 700	2	300	3 210.0	6 420	〃	
火打ち梁	H-350×350×12×19	5 364	8	150	804.6	6 437	SS400	
〃	〃	3 950	8	150	592.5	4 740	〃	
主部材合計						52 247 kg		
カバープレート								
隅部ピース	H-500用		20		104.0	2 080	SS400	
火打受ピース	H-350用		8		171.0	1 368	〃	
副部材合計						5 368 kg		
合 計						57 615 kg		
鋼製山留材 主部材合計 52.247 t								
鋼製山留材 副部材合計						5.368 t		
鋼製山留材 消耗部品合計 (主部材×0.04)						2.090 t		
鋼製山留材 合計						59.705 t		
※火打ち長は全長より火打ちピース長 (2×0.50m) を控除した長さとする。								
※カバープレートは1腹起し当り2個を想定する。								

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台土留工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

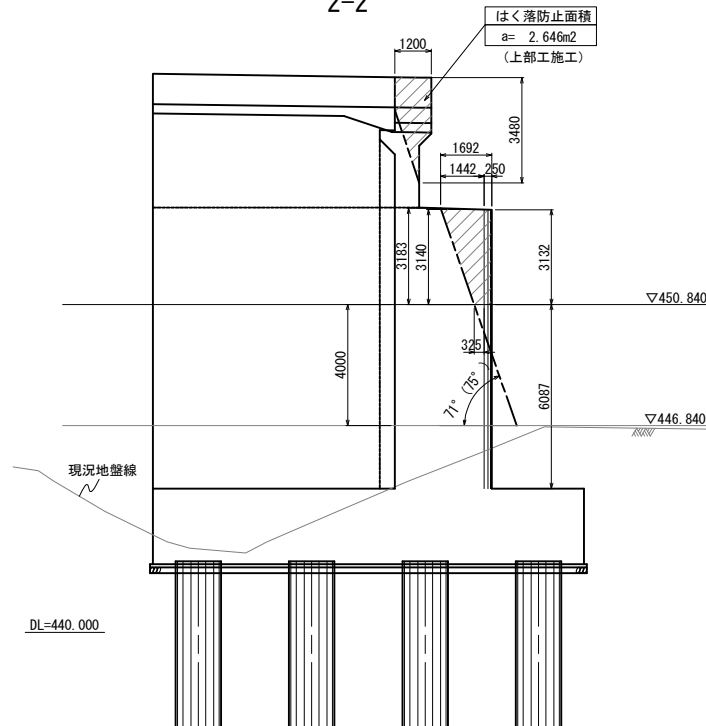
A1橋台

A2橋台

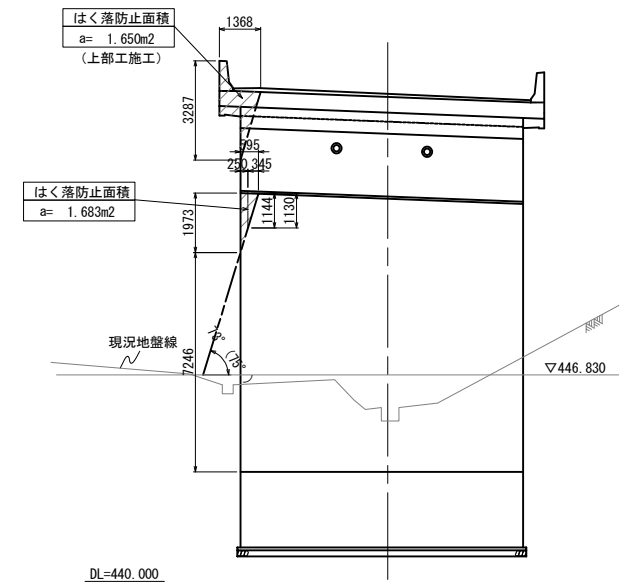
正 面 图
1-1



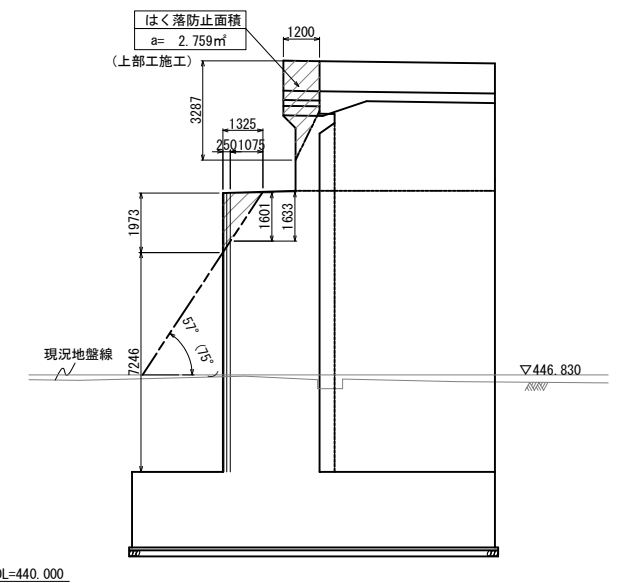
左側ウイング側面図
2-2



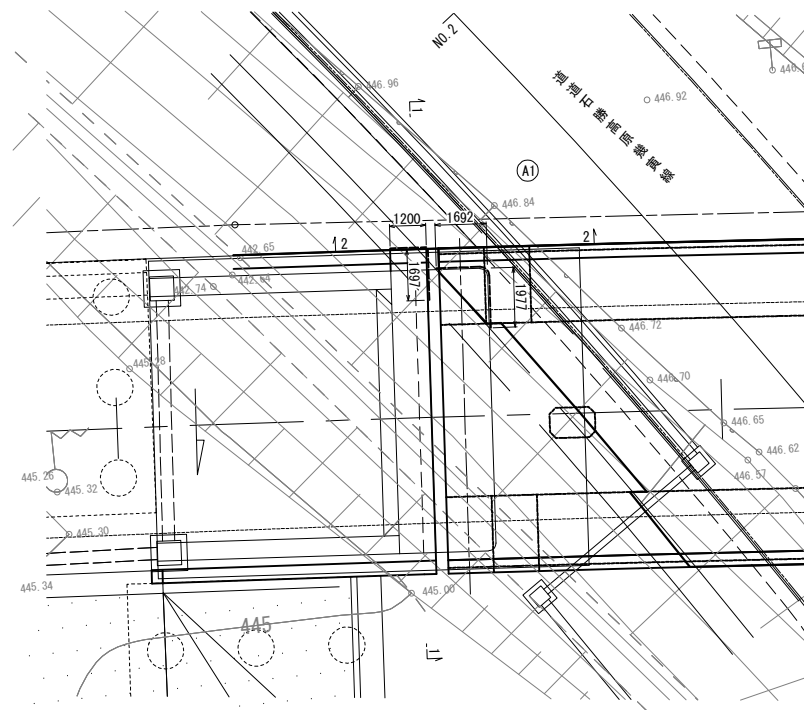
正 面 图
1-1



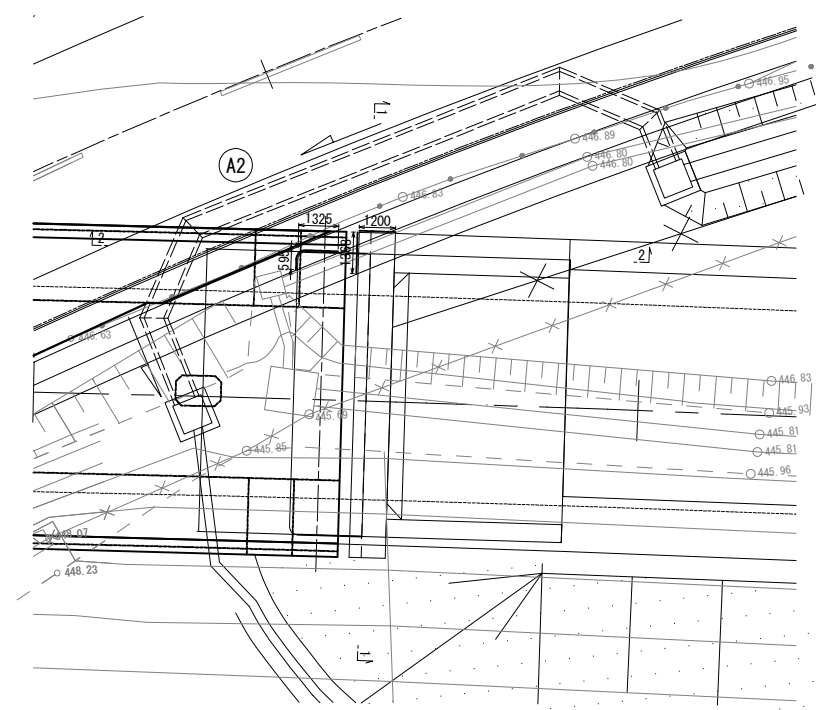
左側ウイング側面図
2-2



平面図




平面図



数量表

はく落防止対策工(連続繊維シート)		単位	下部工
はく落防止面積	A1橋台	m2	7.4
	A2橋台	〃	1.7

注記)

※ ハッチング部  ははく落対策範囲を示す。

※()は道路から直角に見た角度を示す。

道東自動車道 下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） はく落防止対策工図			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

数量総括表（A 1 側 U 型擁壁・A 2 側 L 型擁壁）

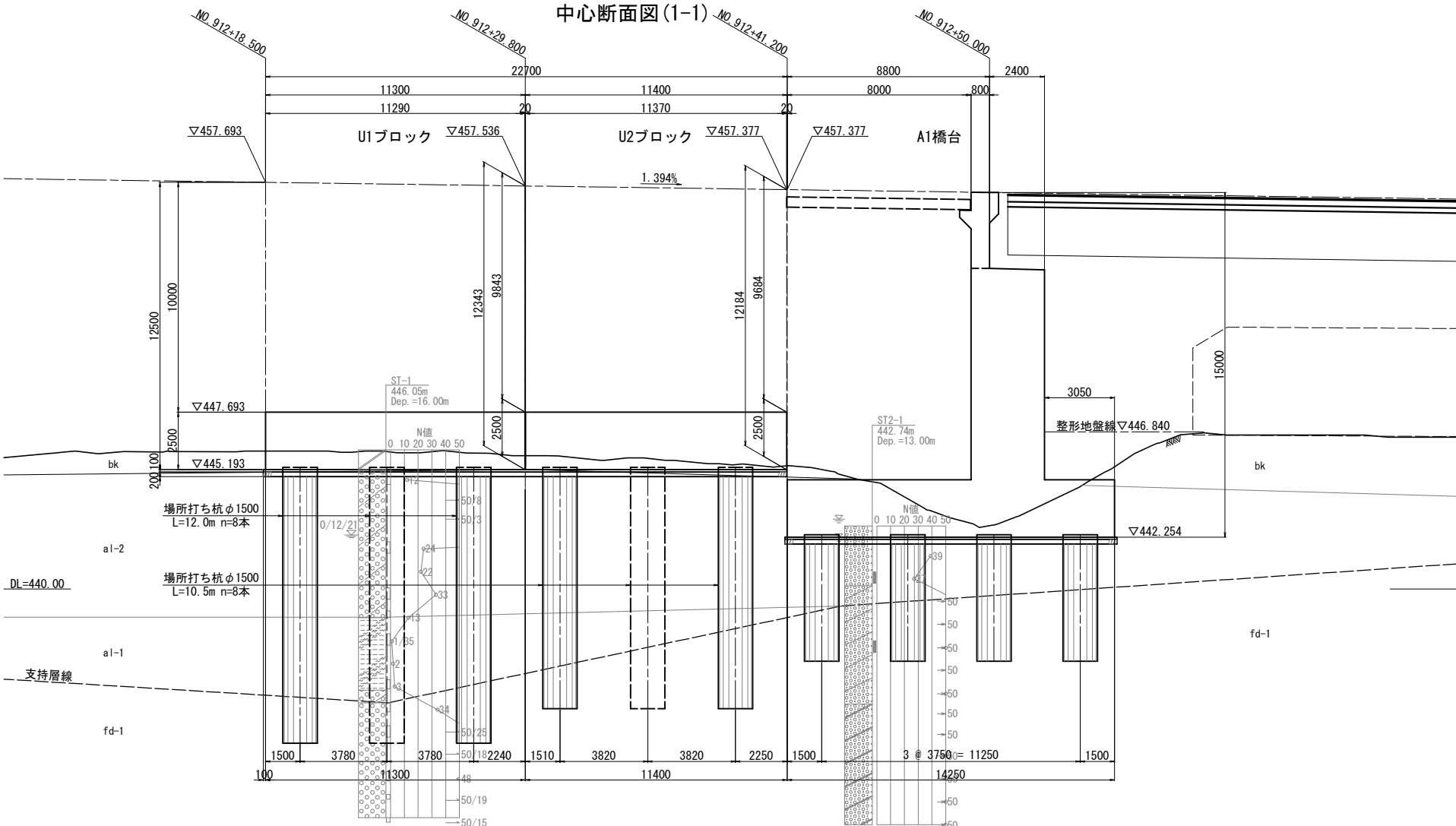
項目	種 別			単位	A 1 側 U 型擁壁			A 2 側 L 型擁壁					合計	摘要
					U1ブロック	U2ブロック	計	L1ブロック	L2ブロック	L3ブロック	L4ブロック	計		
客土掘削	土砂 A 1			m3	284. 7		284. 7	343. 1					343. 1	627. 8
構造物掘削	普通部			m3	675. 9		675. 9	-					-	675. 9
	特殊部			m3	-		-	1, 831. 0					1, 831. 0	1, 831. 0
置換工				m3	-		-	-	252. 7			252. 7	252. 7	
地下排水工	Du-P φ 0. 15~0. 50~0. 50			m	43. 0	57. 4	100. 4	32. 6	20. 0	20. 0	16. 4	89. 0	189. 4	※別途工事
基礎材	B 1（RC-80）			m3	22. 1	22. 1	44. 2	47. 9	26. 4	18. 4	11. 5	104. 2	148. 4	
基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1500）			m	96. 0	84. 0	180. 0						180. 0	
コンクリート	A 1ー3			m3	296. 8	296. 6	593. 4	210. 7	114. 6	71. 9	39. 2	436. 4	1, 029. 8	σ ck=30N/mm2
	B 2ー1			m3	303. 7	306. 5	610. 2	376. 8	208. 0	99. 0	39. 1	722. 9	1, 333. 1	σ ck=24N/mm2
	D 1ー1			m3	11. 1	11. 1	22. 2	23. 9	13. 2	9. 2	5. 8	52. 1	74. 3	σ ck=18N/mm2
型わく	C			m2	748. 9	780. 8	1, 529. 7	391. 5	265. 4	173. 1	138. 1	968. 1	2, 497. 8	
	D			m2	3. 4	3. 4	6. 8	4. 7	4. 6	2. 9	2. 4	14. 6	21. 4	
鉄筋	擁壁部	A	D13	t	0. 543	0. 551	1. 094	1. 493	0. 804	0. 438	0. 194	2. 929	4. 023	SD345 普通鉄筋
			D16～D25	t	27. 871	28. 212	56. 083	4. 296	2. 569	1. 866	1. 711	10. 442	66. 525	
			D29～D32	t	4. 152	4. 181	8. 333	13. 106	9. 116	13. 215	8. 558	43. 995	52. 328	
			D35	t	15. 136	15. 391	30. 527	-	-	-	-	-	30. 527	
			計	t	47. 702	48. 335	96. 037	18. 895	12. 489	15. 519	10. 463	57. 366	153. 403	
		B	D29～D32	t	6. 871〔 75〕	6. 962〔 76〕	13. 833〔151〕	18. 392〔246〕	7. 216〔101〕	-	-	25. 608〔347〕	39. 441〔498〕	SD345、普通鉄筋
		A（E）	D13	t	0. 480	0. 484	0. 964	0. 498	-	-	-	0. 498	1. 462	SD345 エポキシ鉄筋
			D16～D25	t	0. 216	0. 216	0. 432	0. 108	-	-	-	0. 108	0. 540	
			計	t	0. 696	0. 700	1. 396	0. 606	-	-	-	0. 606	2. 002	
		A	D16～D25	t	0. 888	0. 888	1. 776	-	-	-	-	-	1. 776	SD345、普通鉄筋
	基礎杭	Y	D16～D25	t	5. 968	5. 376	11. 344	-	-	-	-	-	11. 344	SD345、普通鉄筋
			D29～D32	t	14. 152	11. 440	25. 592	-	-	-	-	-	25. 592	
			計	t	20. 120	16. 816	36. 936	-	-	-	-	-	36. 936	
			合計	t	21. 008	17. 704	38. 712	-	-	-	-	-	38. 712	

注1）〔 〕内は鉄筋の機械継手箇所数を示す。

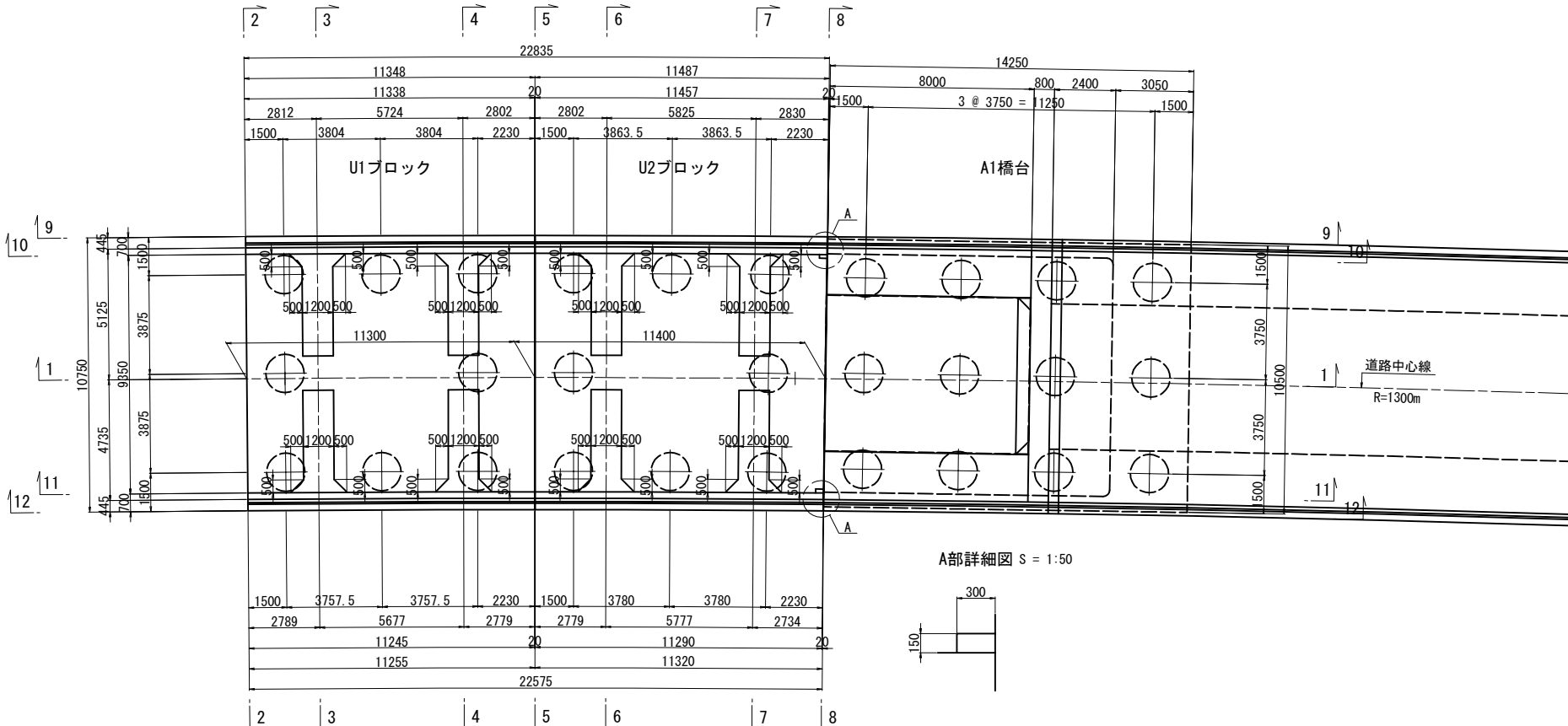
道東自動車道 下トナム地区下部工工事			
図面の種類	擁壁工		
	数量総括表 下トナム橋（下り線）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

下トマム橋（下り線） A 1 橋台側 U 型擁壁構造一般図（その 1）

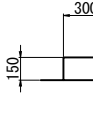
$S = 1:250$



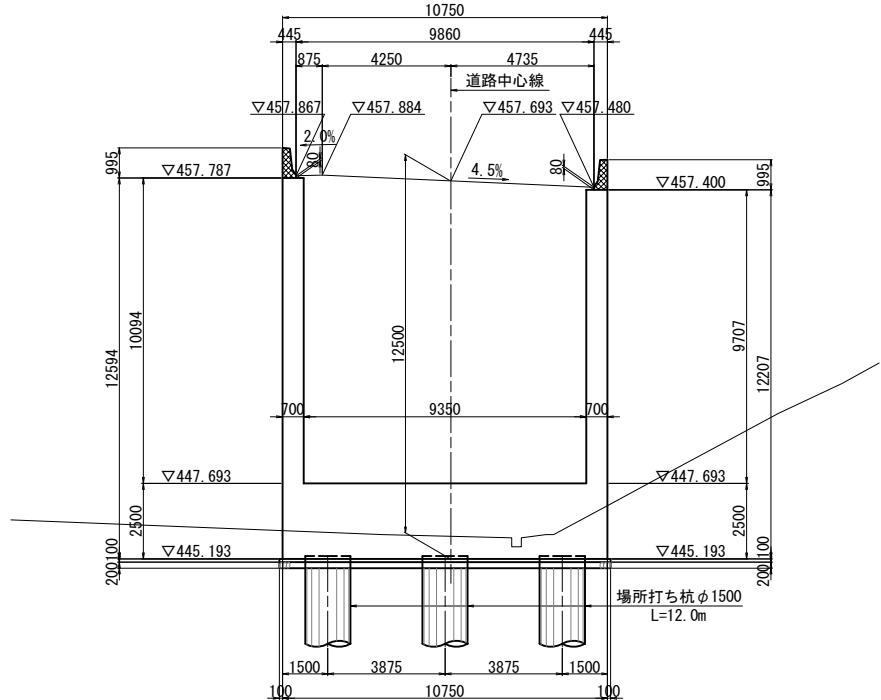
平面图



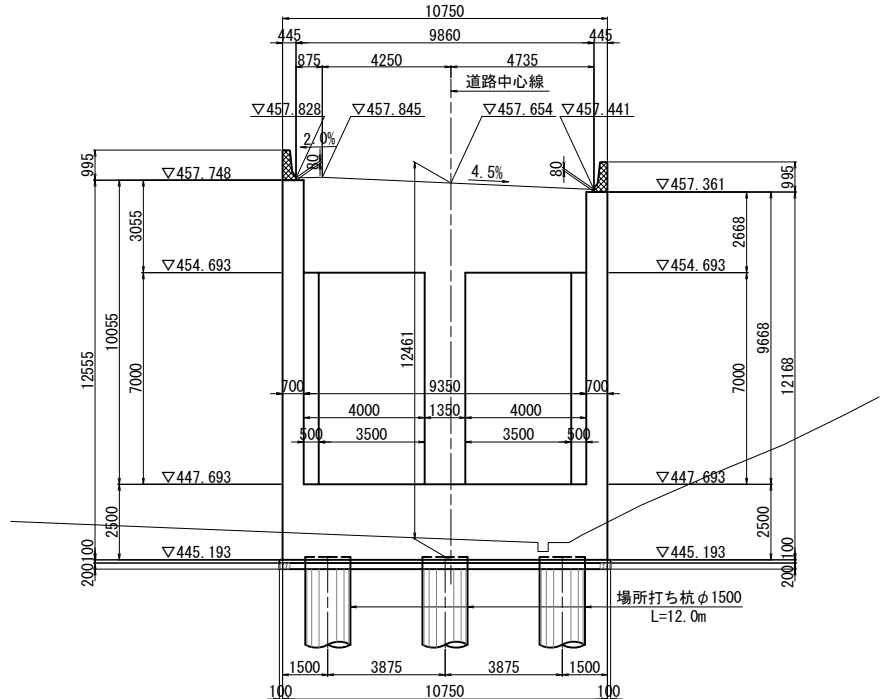
A部詳細図 S = 1:5



断面图 (2-2)



断面图 (3-3)



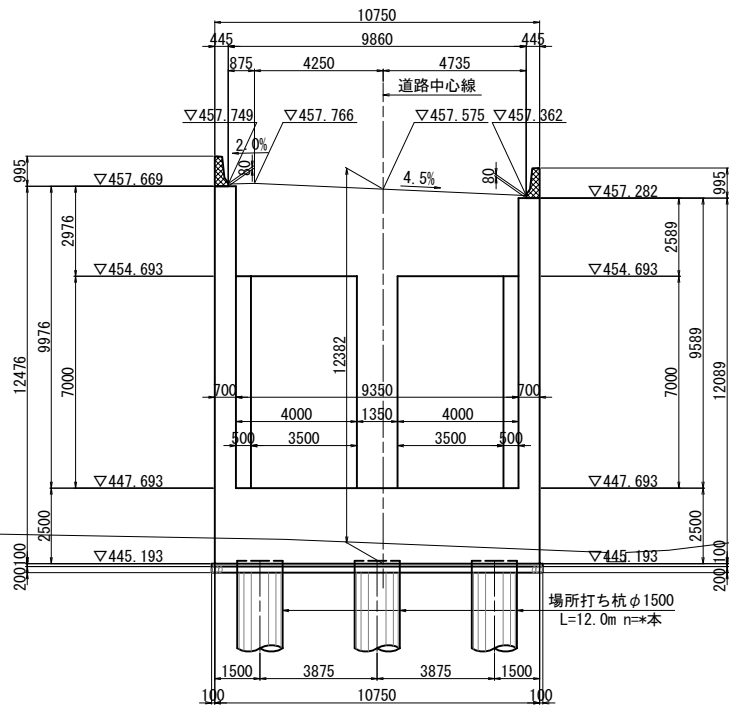
材料基準強度

	コンクリート	鉄筋
躯体	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	SD345
壁高欄	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	SD345
場所打ち杭	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (呼び強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)	SD345

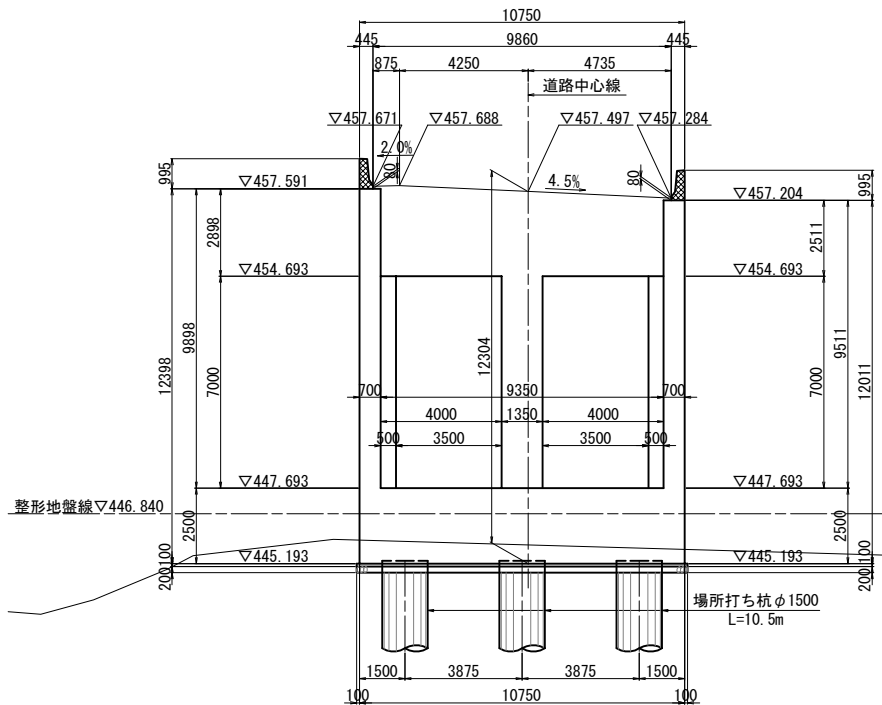
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1橋台側U型擁壁構造一般図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

※ハッチング部  は別途工事を示す。

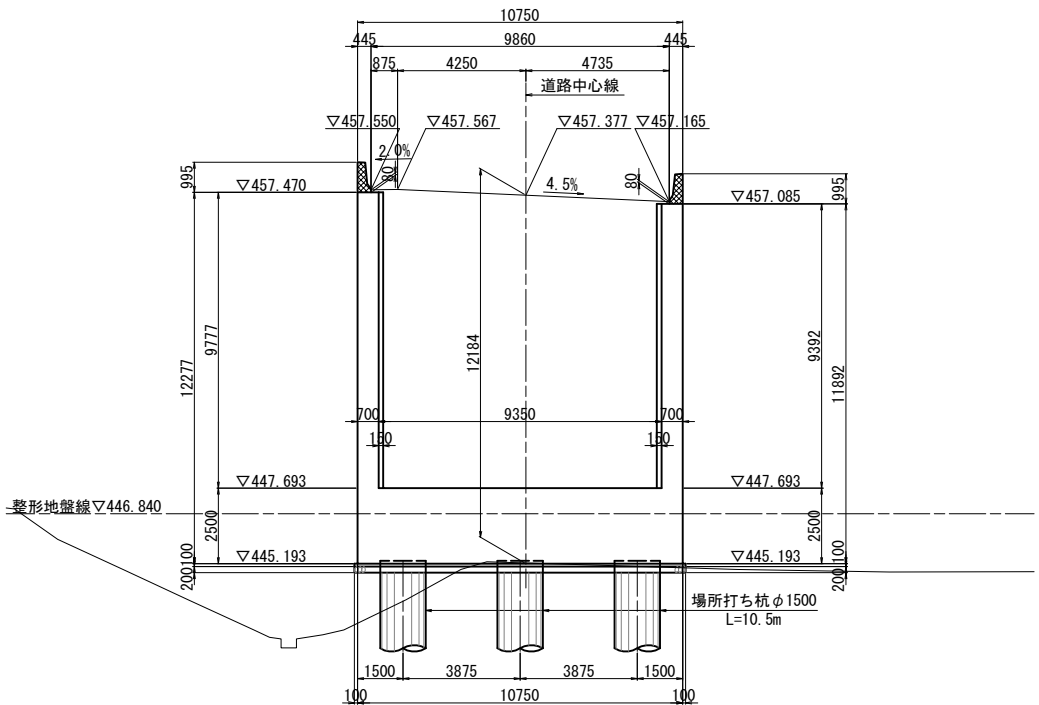
断面図(4-4)



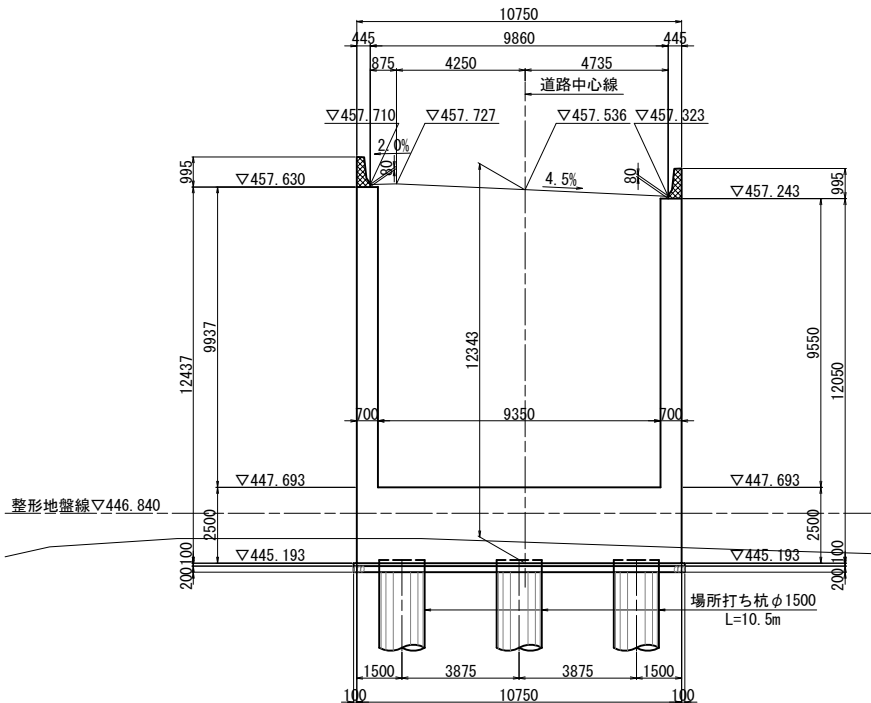
断面図(6-6)



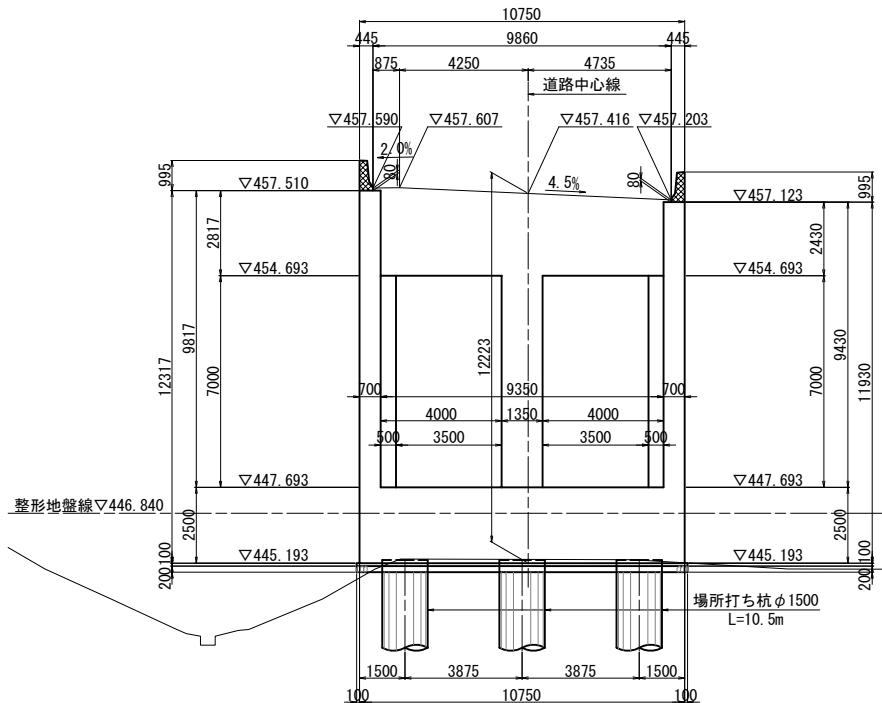
断面図(8-8)



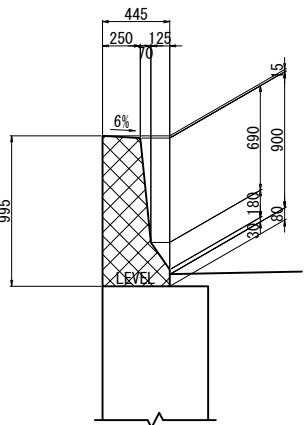
断面図(5-5)



断面図(7-7)



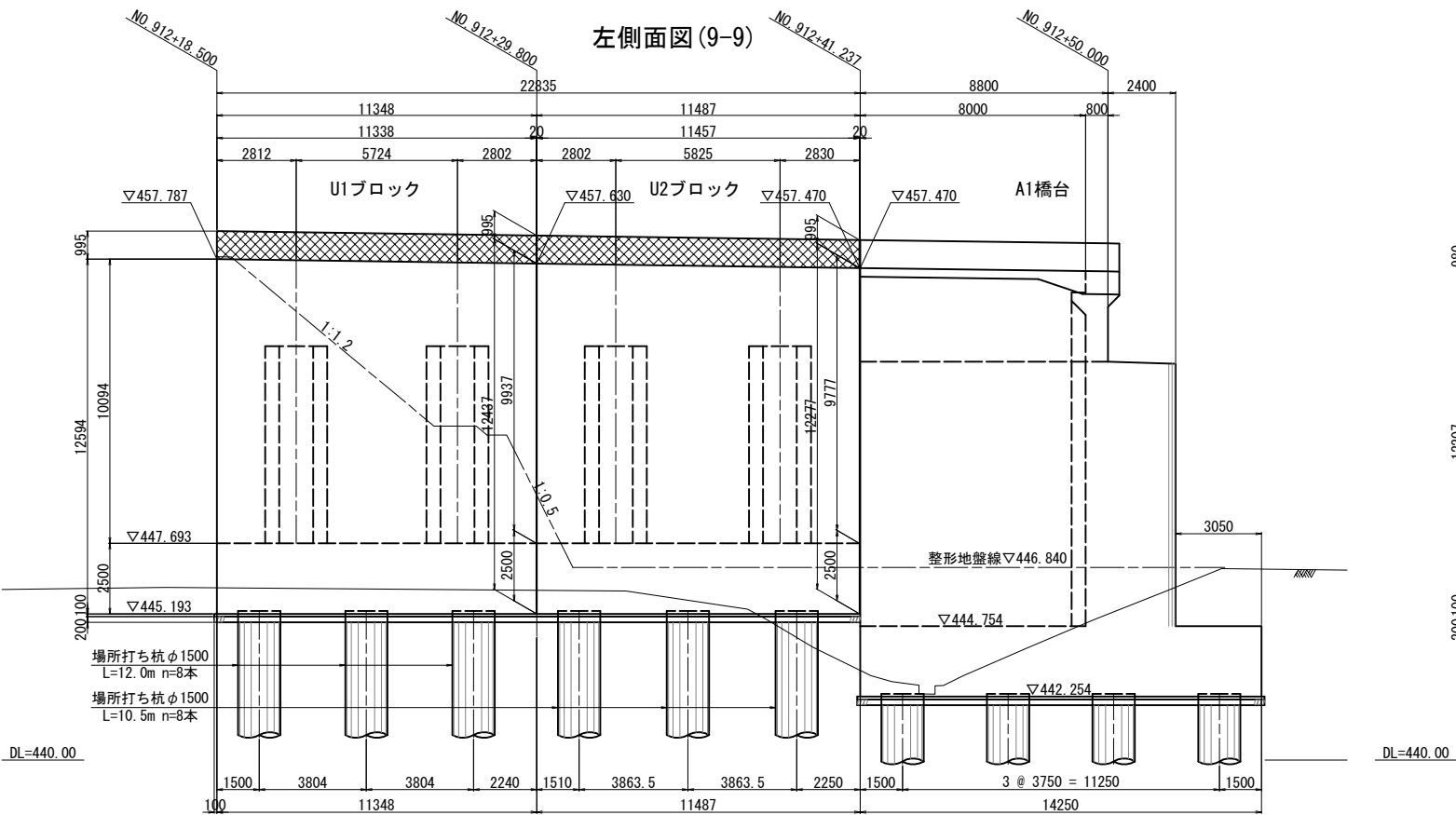
地覆壁高欄詳細図 S = 1:50



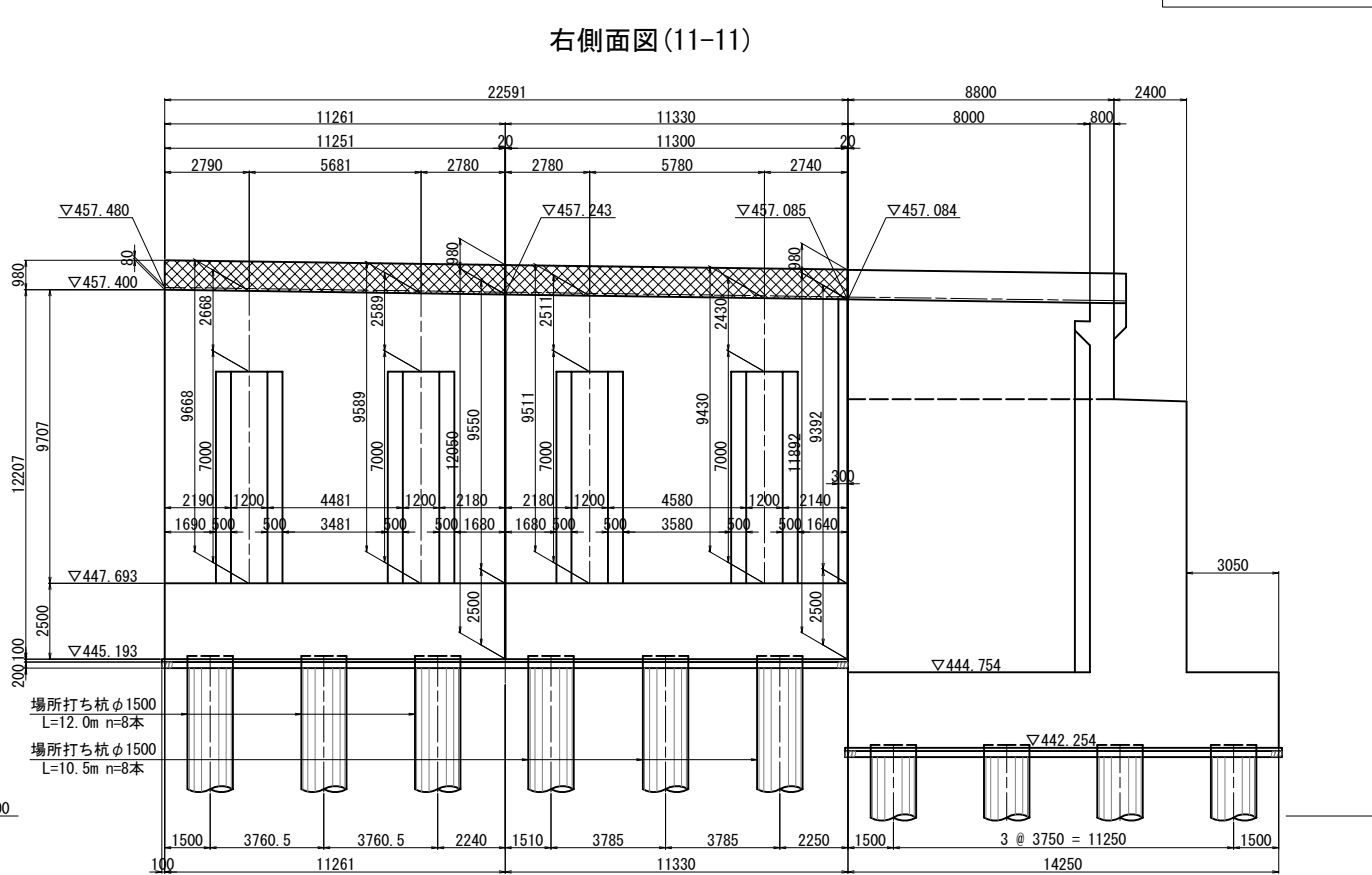
※ハッチング部  は別途工事を示す。

道東自動車道			
下トママ地区下部工工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 1 橋台側U型擁壁構造一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

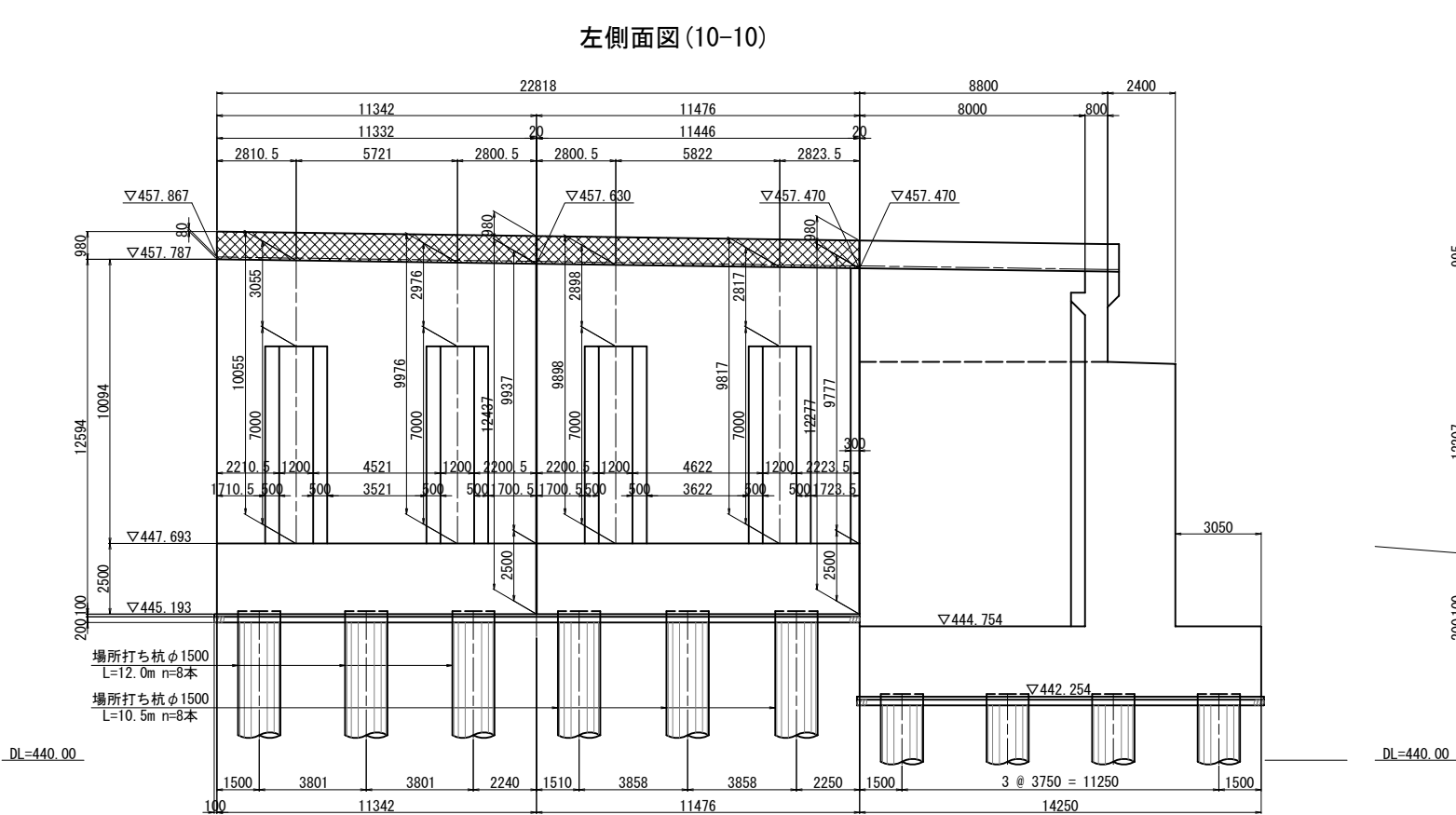
左側面図 (9-9)



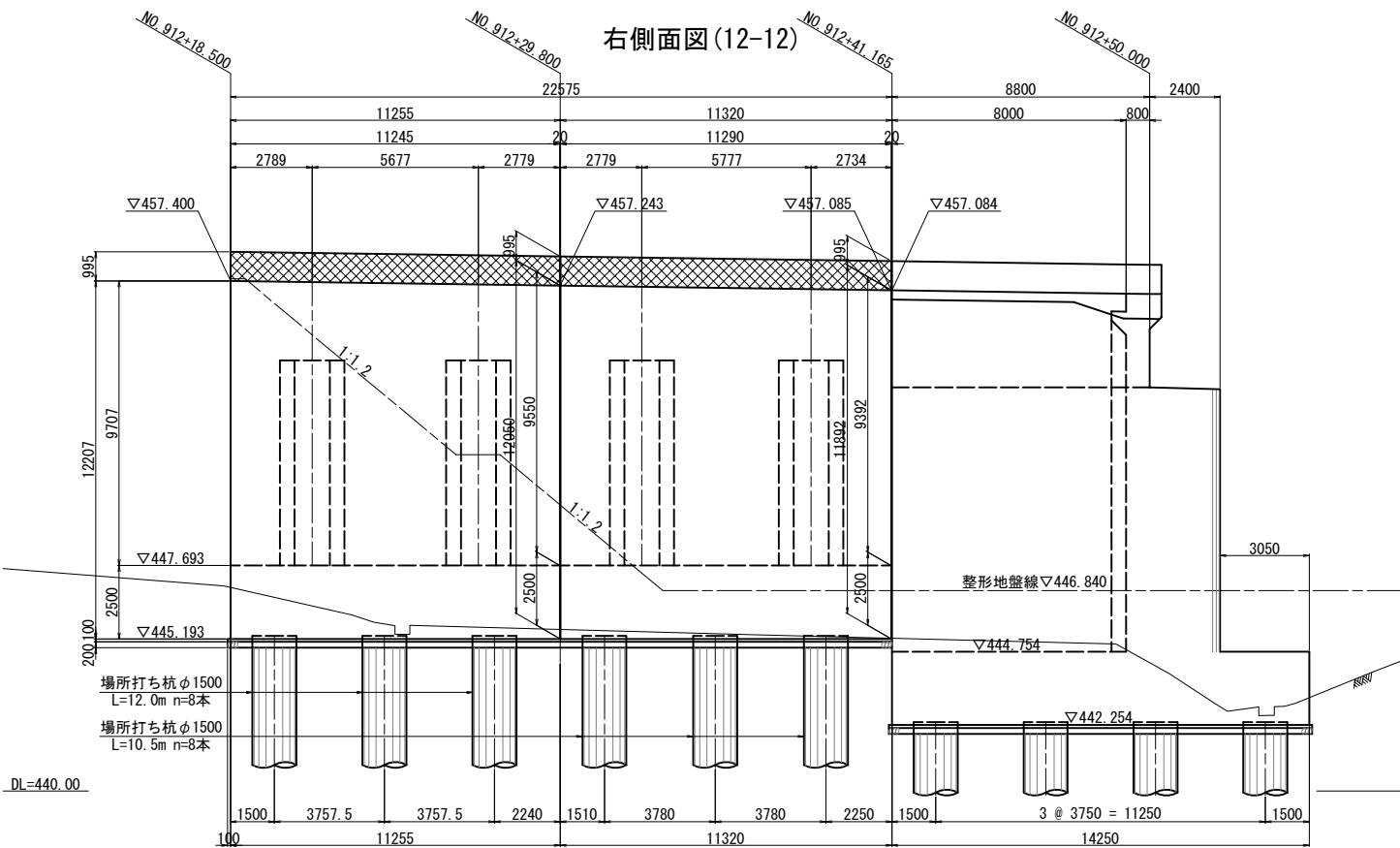
右側面図 (11-11)



左側面図 (10-10)



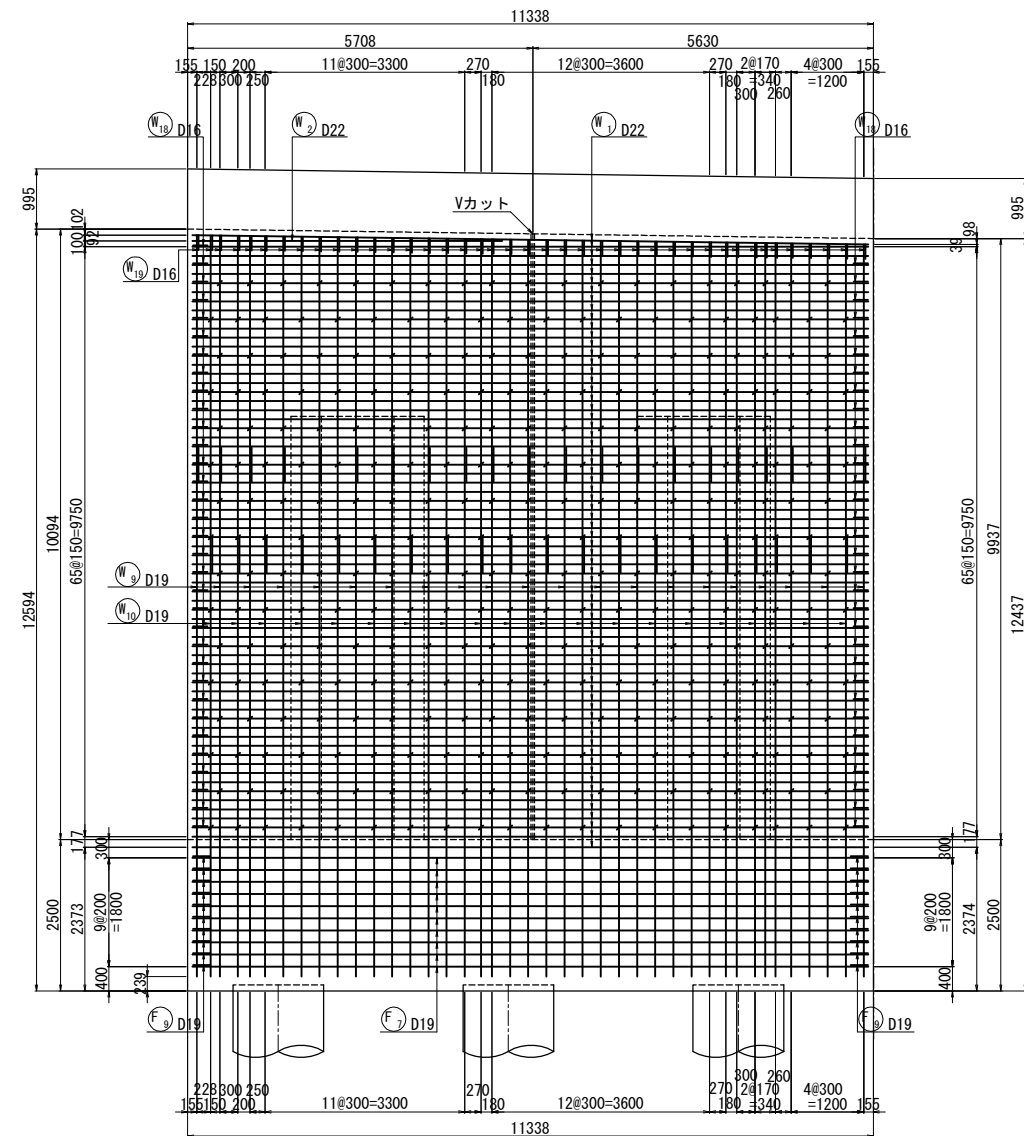
右側面図 (12-12)



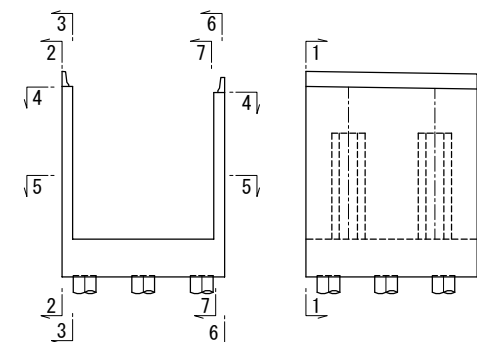
※ハッチング部  は別途工事を示す。

道東自動車道			
下トママ地区下部工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 1 橋台側 U 型擁壁構造一般図（その 3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

左側壁外面図(2-2)

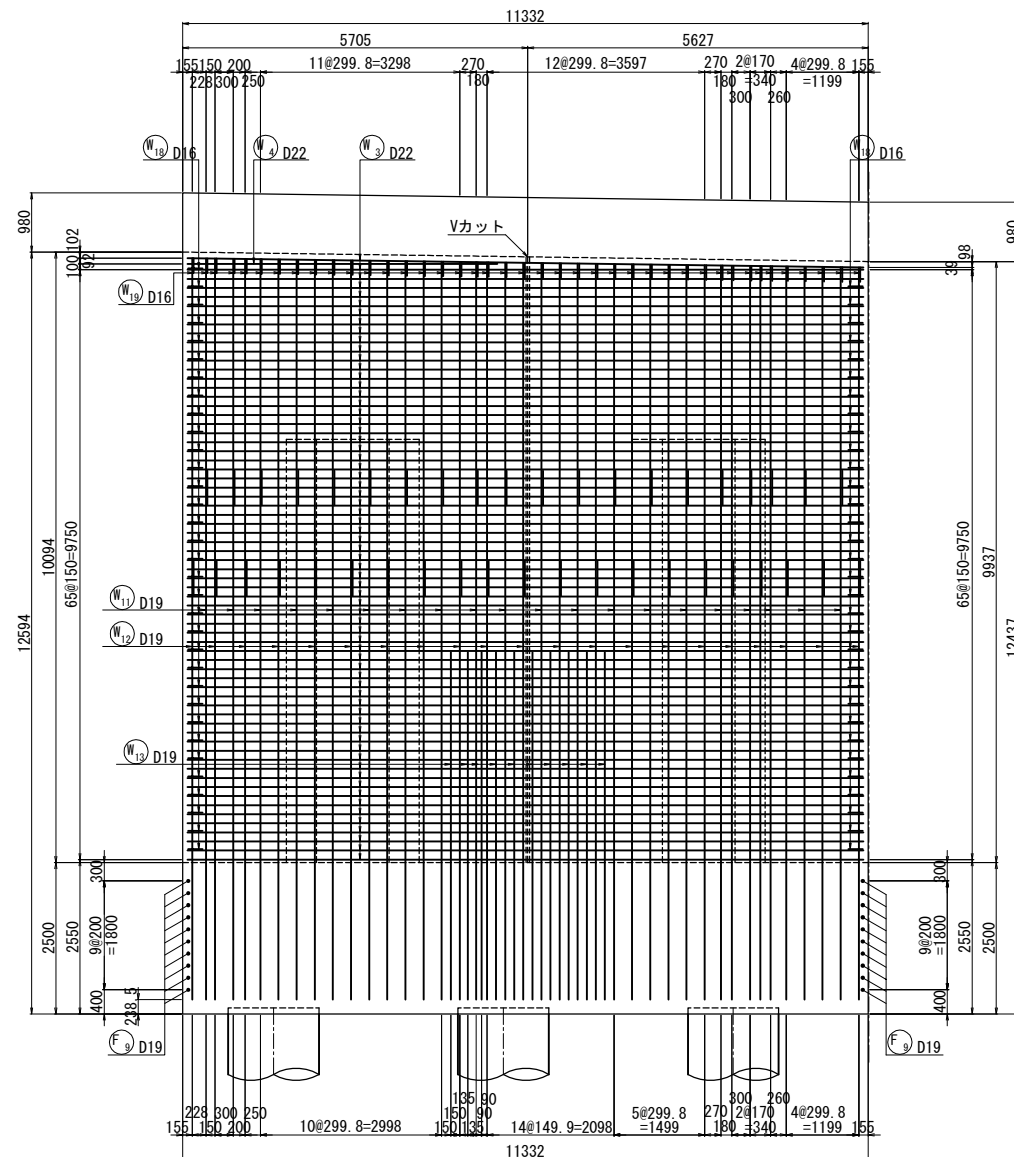


位置図

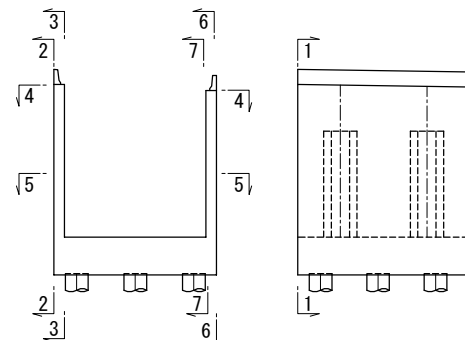


- | | | | |
|------------|------------------------------------|------|---|
| 道東自動車道 | | | |
| 下トマ地区下部工工事 | | | |
| 図面の種類 | 下トマ橋（下り線）
A1橋台側U1ブロック擁壁配筋図（その1） | | |
| 縮 尺 | 図 示 | 図面番号 | - |
| 設計会社名 | 八千代エンジニアリング株式会社 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所 | | |

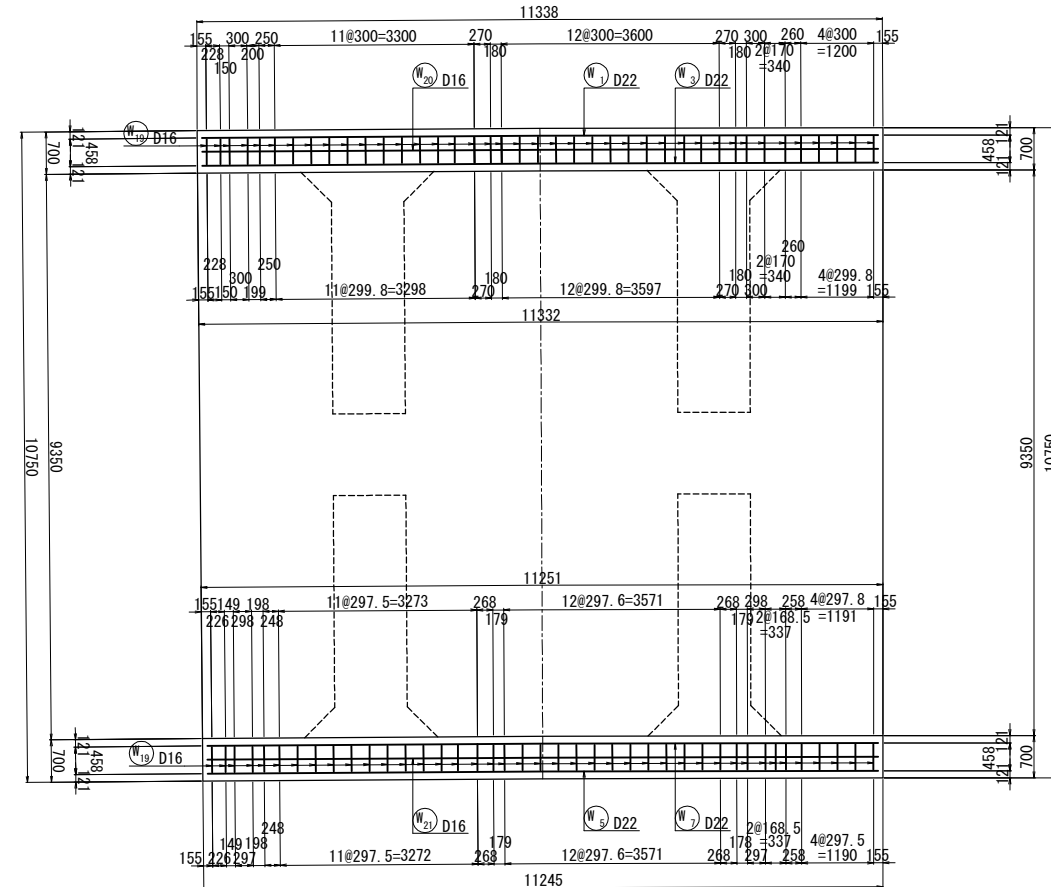
左側壁内面図(3-3)



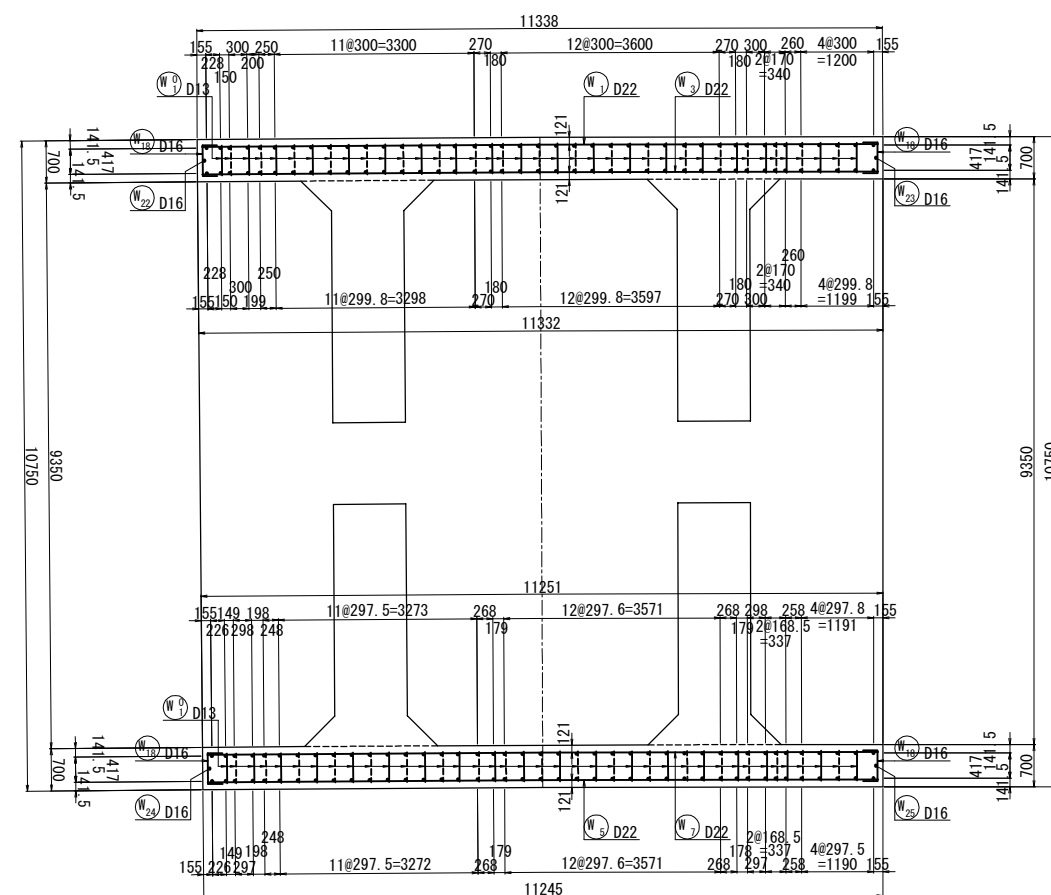
位置図



天端平面図(4-4)



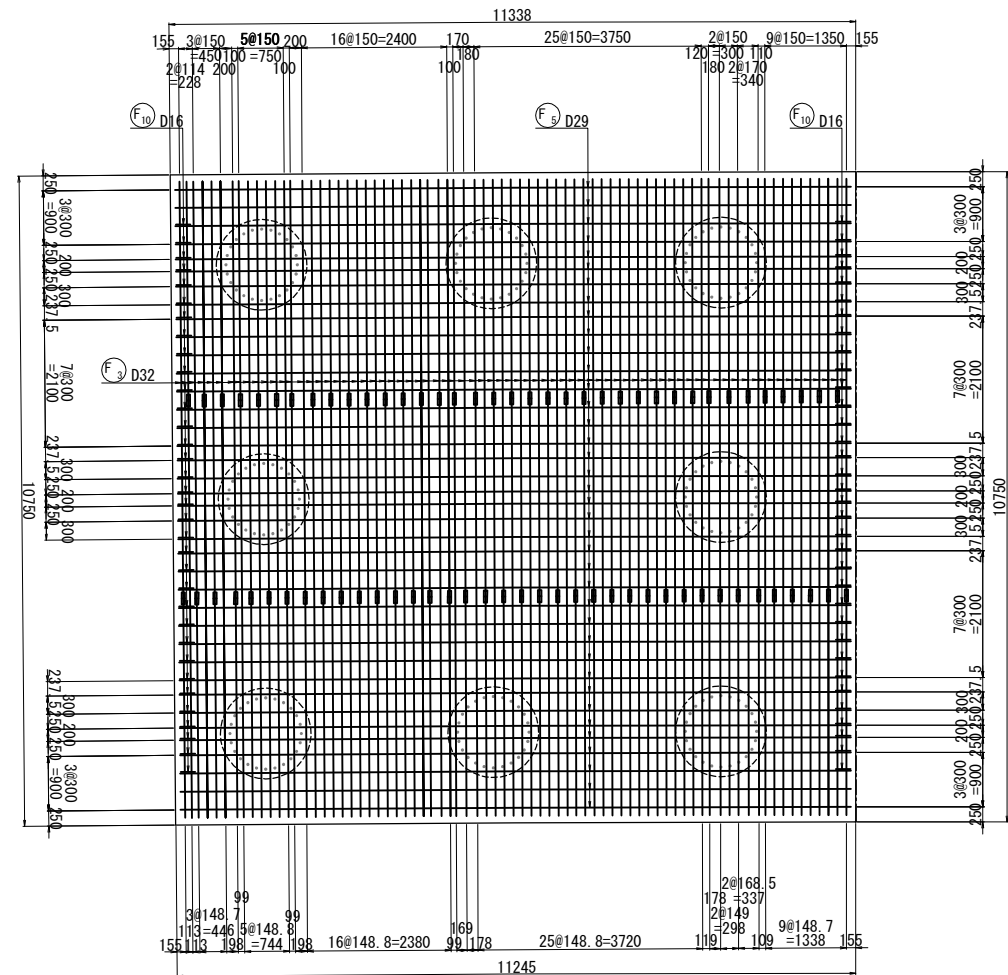
断面図(5-5)



- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

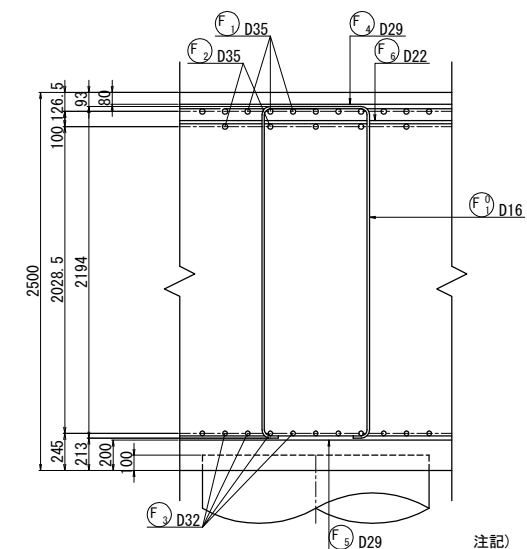
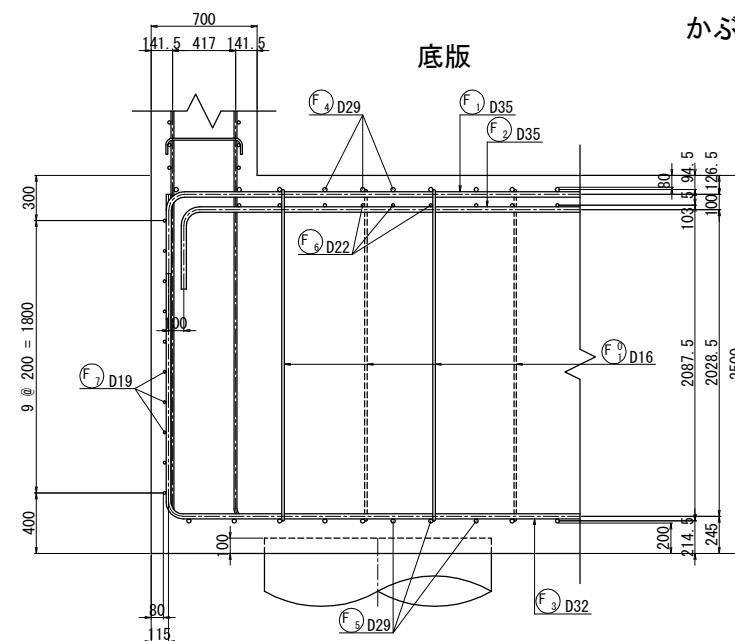
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側U 1 ブロック擁壁配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

底版下面図(10-10)

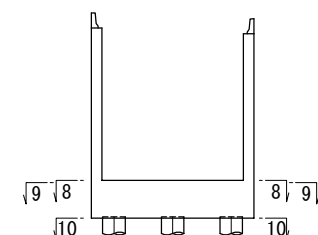


かぶり詳細図 S = 1:50

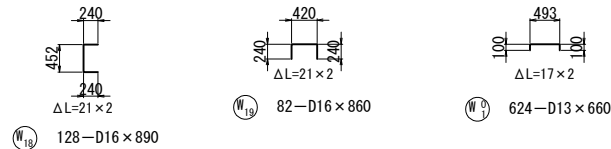
底版(直角方向)

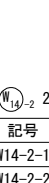


注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。



道東自動車道 下トマム地区下土工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A1橋台側U1ブロック横壁配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		





570


a

21-D19 x 3620 (平均長)

記号	径	本数	a
W14-2-1	D19	1	3696
W14-2-2	D19	1	3691
W14-2-3	D19	1	3684
W14-2-4	D19	1	3677
W14-2-5	D19	1	3668
W14-2-6	D19	1	3660
W14-2-7	D19	1	3652
W14-2-8	D19	1	3643
W14-2-9	D19	1	3635
W14-2-10	D19	1	3629
W14-2-11	D19	1	3621
W14-2-12	D19	1	3612
W14-2-13	D19	1	3604
W14-2-14	D19	1	3596
W14-2-15	D19	1	3587
W14-2-16	D19	1	3579
W14-2-17	D19	1	3573
W14-2-18	D19	1	3566
W14-2-19	D19	1	3560
W14-2-20	D19	1	3552
W14-2-21	D19	1	3544
平均長	D19	21	3620

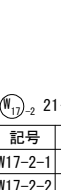



記号	径	本数	a
W15-2-1	D19	1	5193
W15-2-2	D19	1	5187
W15-2-3	D19	1	5181
W15-2-4	D19	1	5172
W15-2-5	D19	1	5164
W15-2-6	D19	1	5156
W15-2-7	D19	1	5148
W15-2-8	D19	1	5139
W15-2-9	D19	1	5131
W15-2-10	D19	1	5125
W15-2-11	D19	1	5116
W15-2-12	D19	1	5108
W15-2-13	D19	1	5100
W15-2-14	D19	1	5092
W15-2-15	D19	1	5083
W15-2-16	D19	1	5075
W15-2-17	D19	1	5069
W15-2-18	D19	1	5064
W15-2-19	D19	1	5056
W15-2-20	D19	1	5048
平均長	D19	20	5120



Technical drawing showing a bolt and nut assembly. The bolt is labeled D19-1 and the nut is labeled 20-D19 x 3620. The plate thickness is indicated as 57.0.

記号	径	本数	a
W16-2-1	D19	1	3693
W16-2-2	D19	1	3687
W16-2-3	D19	1	3681
W16-2-4	D19	1	3672
W16-2-5	D19	1	3664
W16-2-6	D19	1	3656
W16-2-7	D19	1	3648
W16-2-8	D19	1	3639
W16-2-9	D19	1	3631
W16-2-10	D19	1	3625
W16-2-11	D19	1	3616
W16-2-12	D19	1	3608
W16-2-13	D19	1	3600
W16-2-14	D19	1	3591
W16-2-15	D19	1	3583
W16-2-16	D19	1	3575
W16-2-17	D19	1	3569
W16-2-18	D19	1	3564
W16-2-19	D19	1	3556
W16-2-20	D19	1	3548
平均長	D19	20	3620



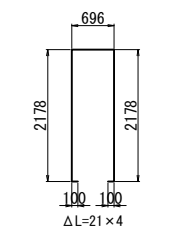
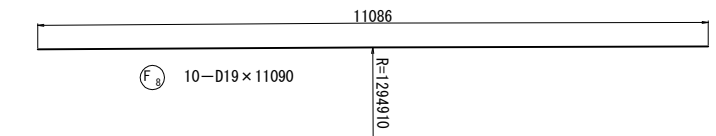
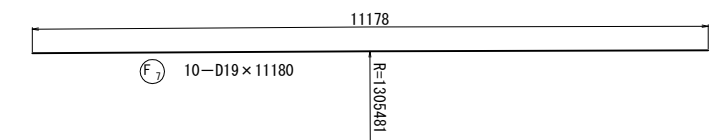
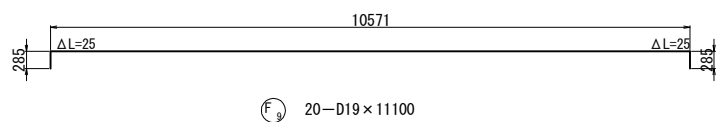
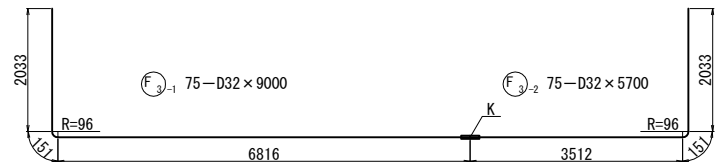
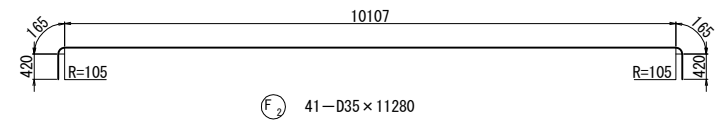
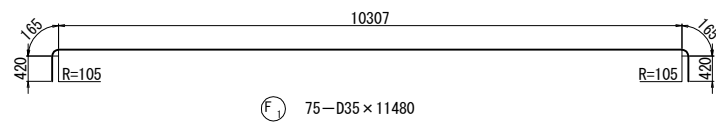


記号	径	本数	a
W17-2-1	D19	1	5196
W17-2-2	D19	1	5191
W17-2-3	D19	1	5184
W17-2-4	D19	1	5177
W17-2-5	D19	1	5168
W17-2-6	D19	1	5160
W17-2-7	D19	1	5152
W17-2-8	D19	1	5143
W17-2-9	D19	1	5135
W17-2-10	D19	1	5129
W17-2-11	D19	1	5121
W17-2-12	D19	1	5112
W17-2-13	D19	1	5104
W17-2-14	D19	1	5096
W17-2-15	D19	1	5087
W17-2-16	D19	1	5079
W17-2-17	D19	1	5073
W17-2-18	D19	1	5064
W17-2-19	D19	1	5060
W17-2-20	D19	1	5052
W17-2-21	D19	1	5044
平均長	D19	21	5120

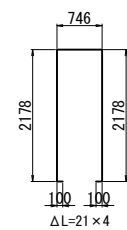
注記)

1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

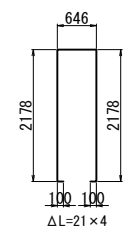
道東自動車道				
下トムム地区下部工工事				
図面の種類	下トムム橋（下り線） A1橋台側U1ブロック擁壁筋節図（その5）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



F7 127-D16 x 5170



F8 8-D16 x 5220



F9 9-D16 x 5120



F10 68-D16 x 2620

F4 36-D29 x 11140 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F4- 1	D29	1	1304988	11173	
F4- 2	D29	1	1304720	11171	
F4- 3	D29	1	1304420	11168	
F4- 4	D29	1	1304170	11166	
F4- 5	D29	1	1303970	11165	
F4- 6	D29	1	1303720	11162	
F4- 7	D29	1	1303420	11160	
F4- 8	D29	1	1303183	11158	
F4- 9	D29	1	1302883	11155	
F4-10	D29	1	1302583	11152	
F4-11	D29	1	1302283	11150	
F4-12	D29	1	1301983	11147	
F4-13	D29	1	1301683	11145	
F4-14	D29	1	1301383	11142	
F4-15	D29	1	1301083	11139	
F4-16	D29	1	1300845	11137	
F4-17	D29	1	1300545	11135	
F4-18	D29	1	1300295	11133	
F4-19	D29	1	1300095	11131	
F4-20	D29	1	1299845	11129	
F4-21	D29	1	1299545	11126	
F4-22	D29	1	1299308	11124	
F4-23	D29	1	1299008	11121	
F4-24	D29	1	1298708	11119	
F4-25	D29	1	1298408	11116	
F4-26	D29	1	1298108	11114	
F4-27	D29	1	1297808	11111	
F4-28	D29	1	1297508	11108	
F4-29	D29	1	1297208	11106	
F4-30	D29	1	1296970	11104	
F4-31	D29	1	1296670	11101	
F4-32	D29	1	1296420	11099	
F4-33	D29	1	1296220	11097	
F4-34	D29	1	1295970	11095	
F4-35	D29	1	1295670	11092	
F4-36	D29	1	1295403	11090	
平均長	D29	36		11132	

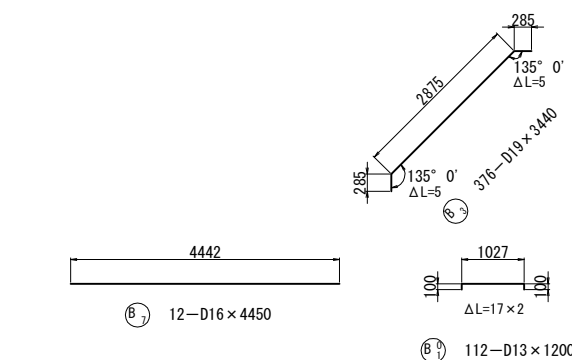
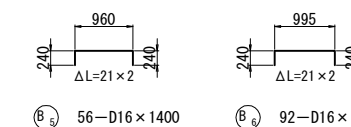
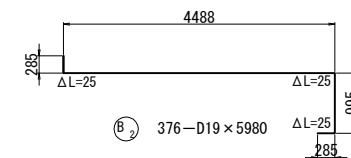
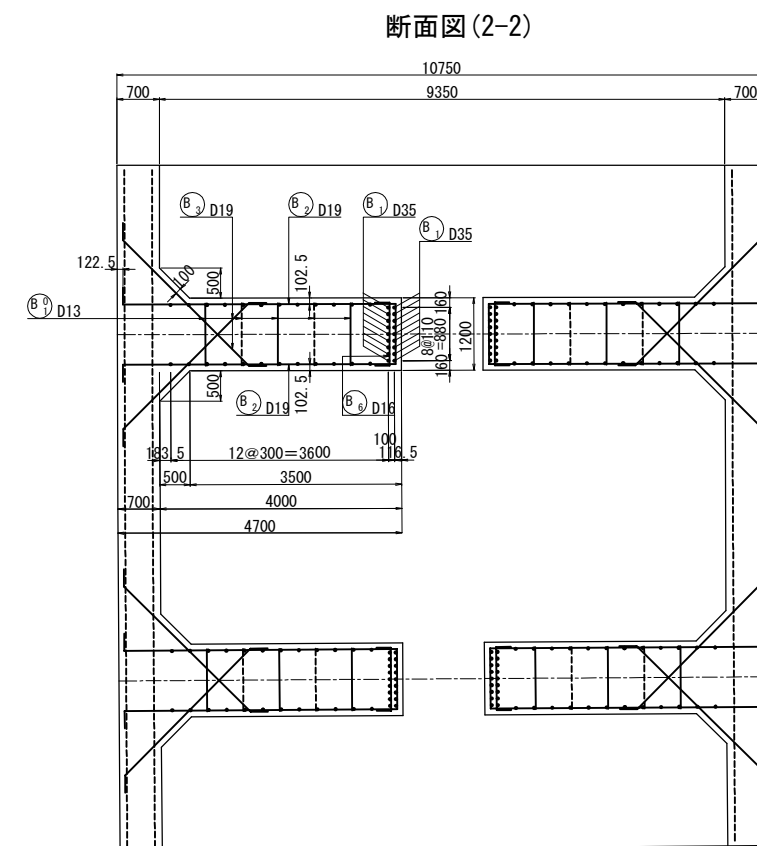
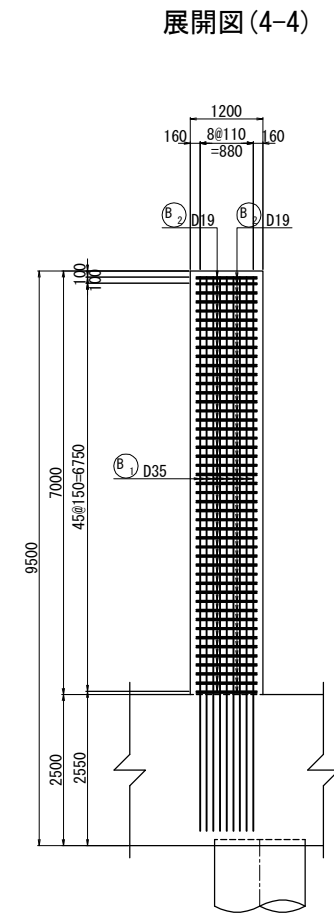
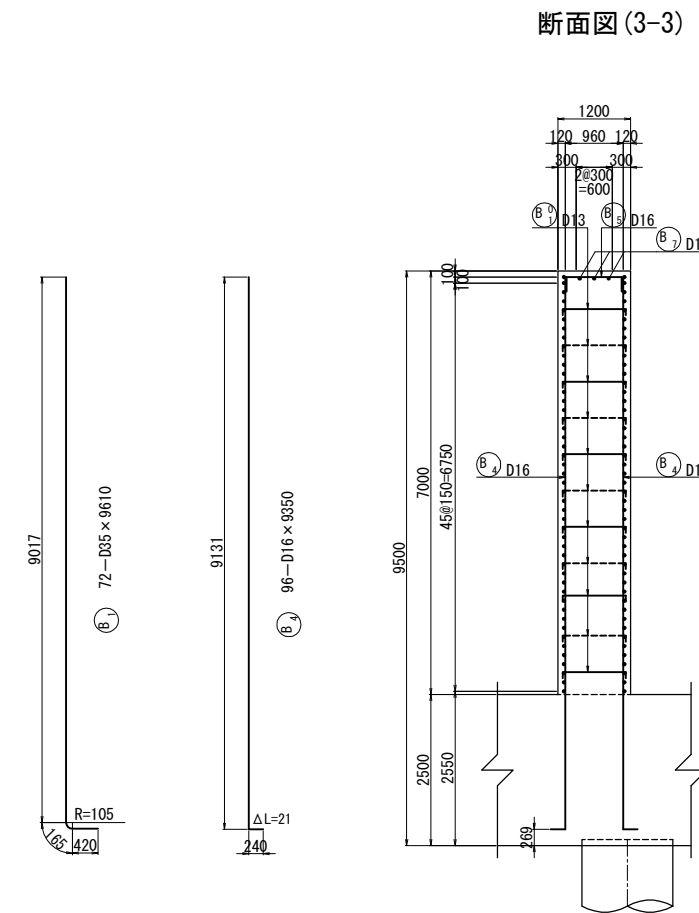
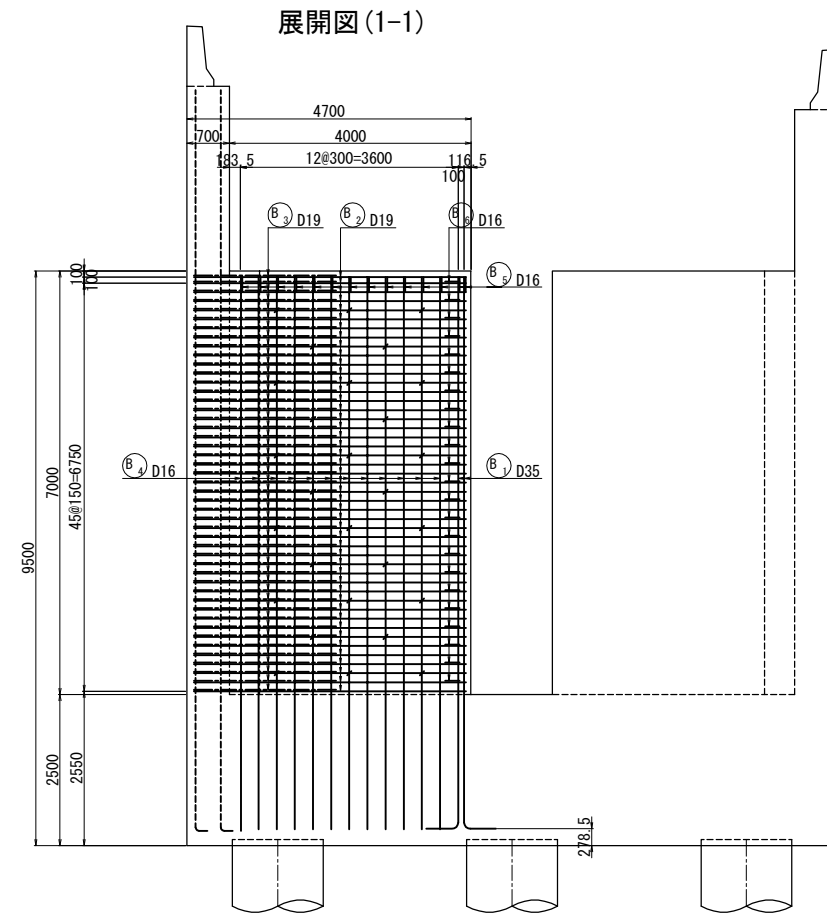
F5 38-D29 x 11140 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F5- 1	D29	1	1305320	11176	
F5- 2	D29	1	1305020	11174	
F5- 3	D29	1	1304720	11171	
F5- 4	D29	1	1304420	11168	
F5- 5	D29	1	1304170	11166	
F5- 6	D29	1	1303970	11165	
F5- 7	D29	1	1303720	11162	
F5- 8	D29	1	1303420	11160	
F5- 9	D29	1	1303183	11158	
F5-10	D29	1	1302883	11155	
F5-11	D29	1	1302583	11152	
F5-12	D29	1	1302283	11150	
F5-13	D29	1	1301983	11147	
F5-14	D29	1	1301683	11145	
F5-15	D29	1	1301383	11142	
F5-16	D29	1	1301083	11139	
F5-17	D29	1	1300845	11137	
F5-18	D29	1	1300545	11135	
F5-19	D29	1	1300295	11133	
F5-20	D29	1	1300095	11131	
F5-21	D29	1	1299845	11129	
F5-22	D29	1	1299545	11126	
F5-23	D29	1	1299308	11124	
F5-24	D29	1	1299008	11121	
F5-25	D29	1	1298708	11119	
F5-26	D29	1	1298408	11116	
F5-27	D29	1	1298108	11114	
F5-28	D29	1	1297808	11111	
F5-29	D29	1	1297508	11108	
F5-30	D29	1	1297208	11106	
F5-31	D29	1	1296970	11104	
F5-32	D29	1	1296670	11101	
F5-33	D29	1	1296420	11099	
F5-34	D29	1	1296220	11097	
F5-35	D29	1	1295970	11095	
F5-36	D29	1	1295670	11092	
F5-37	D29	1	1295370	11090	
F5-38	D29	1	1295070	11087	
平均長	D29	38		11132	

F6 36-D22 x 11140 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F6- 1	D22	1	1304991	11173	
F6- 2	D22	1	1304720	11171	
F6- 3	D22	1	1304420	11168	
F6- 4	D22	1	1304170	11166	
F6- 5	D22	1	1303970	11165	
F6- 6	D22	1	1303720	11162	
F6- 7	D22	1	1303420	11160	
F6- 8	D22	1	1303183	11158	
F6- 9	D22	1	1302883	11155	
F6-10	D22	1	1302583	11152	
F6-11	D22	1	1302283	11150	
F6-12	D22	1	1301983	11147	
F6-13	D22	1	1301683	11145	
F6-14	D22	1	1301383	11142	
F6-15	D22	1	1301083	11139	
F6-16	D22	1	1300845	11137	
F6-17	D22	1	1300545	11135	
F6-18	D22	1	1300295	11133	
F6-19	D22	1	1300095	11131	
F6-20	D22	1	1299845	11129	
F6-21	D22	1	1299545	11126	
F6-22	D22	1	1299308	11124	
F6-23	D22	1	1299008	11121	
F6-24	D22	1	1298708	11119	
F6-25	D22	1	1298408	11116	
F6-26	D22	1	1298108	11114	
F6-27	D22	1	1297808	11111	
F6-28	D22	1	1297508	11108	
F6-29	D22	1	1297208	11106	
F6-30	D22	1	1296970	11104	
F6-31	D22	1	1296670	11101	
F6-32	D22	1	1296420	11099	
F6-33	D22	1	1296220	11097	
F6-34	D22	1	1295970	11095	
F6-35	D22	1	1295670	11092	
F6-36	D22	1	1295399	11090	
平均長	D22	36		11132	

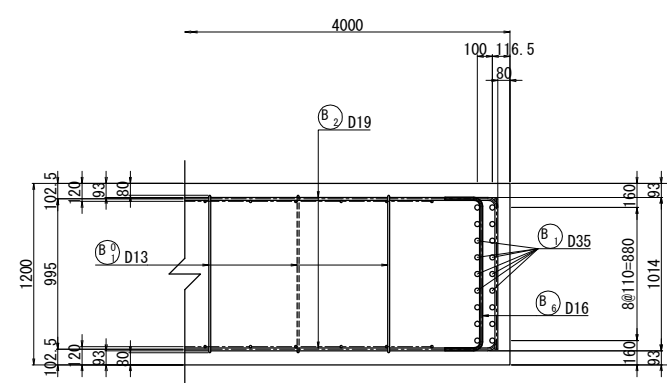
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U 1 ブロック擁壁配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

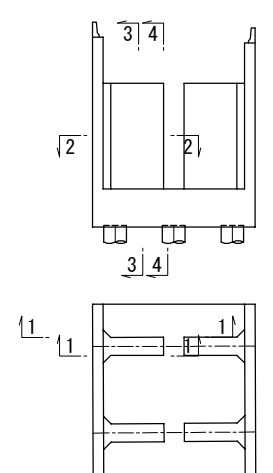
控壁配筋図



かぶり詳細図 S = 1:50



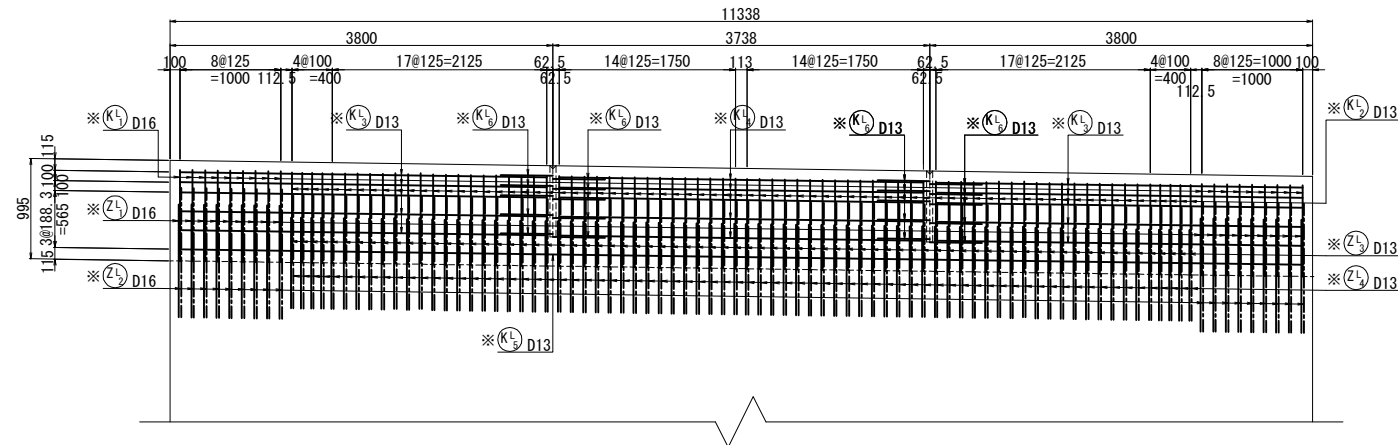
位置図



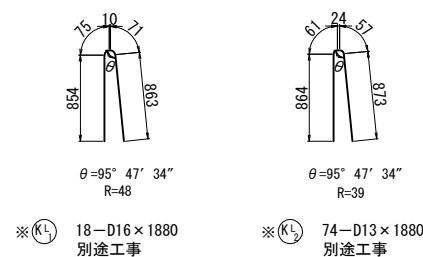
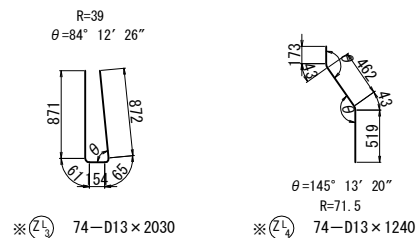
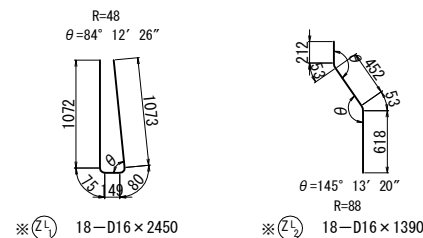
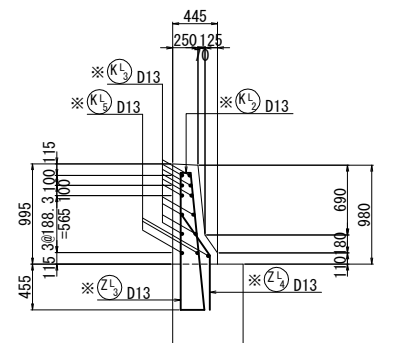
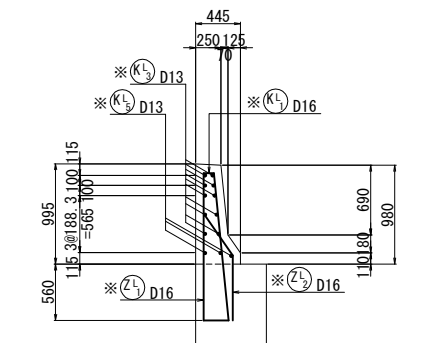
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 下トマム地区下部工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U 1 ブロック擁壁配筋図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

側面図(1-1)

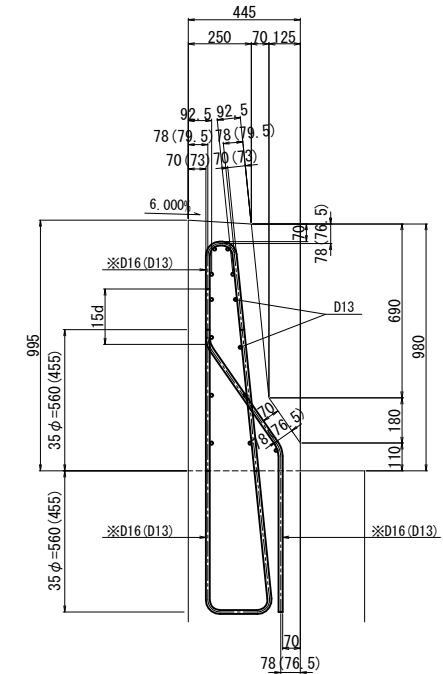


断面図(3-3)



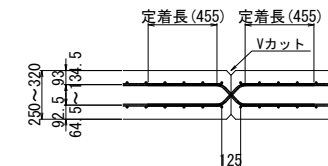
壁高欄

端部 (中央部)

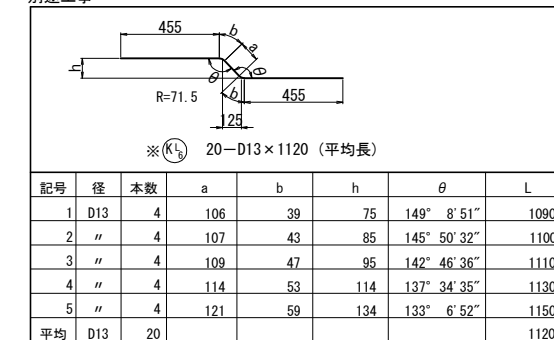


Technical drawing of a mechanical part (Fig. 10) showing a cross-section with dimensions: 445, 250, 125, 90, 995, 690, 980, 110, 180, and a V-cut feature.

壁高欄部



別途工事



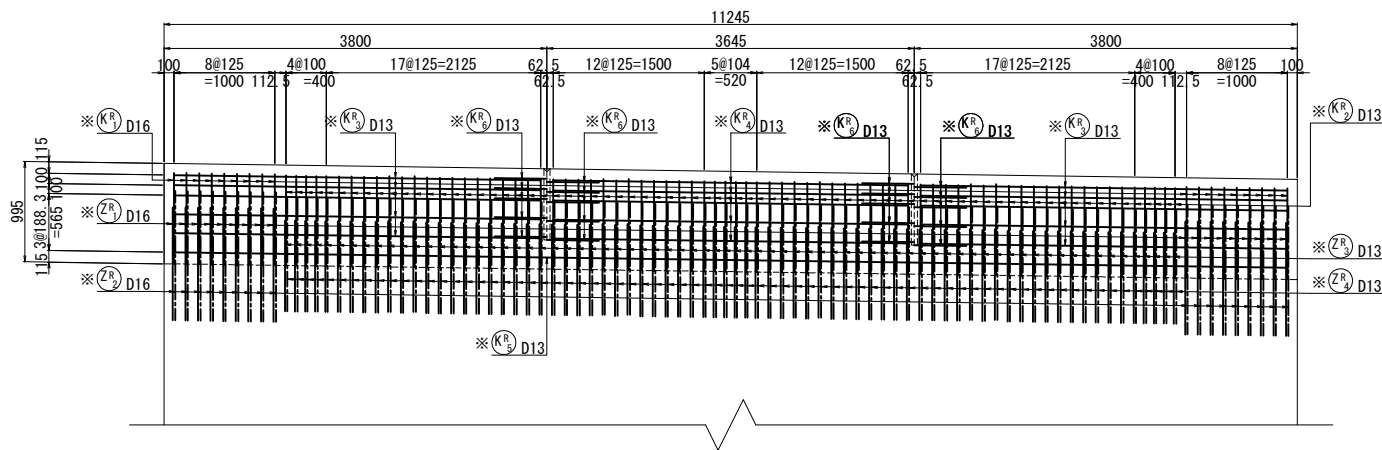
Technical drawing of a rectangular object, likely a mold or container, shown in two views. The top view is a rectangle with a grid of dashed lines. Dimensions are indicated by arrows and numbers: '1' for the overall width, '2' for the width of the central section, and '3' for the width of the side sections. The bottom view shows the object's profile, which is U-shaped with a central vertical slot. Dimensions '1' and '1' are indicated for the height of the side walls. The drawing is labeled 'Fig. 1' in the bottom right corner.

1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

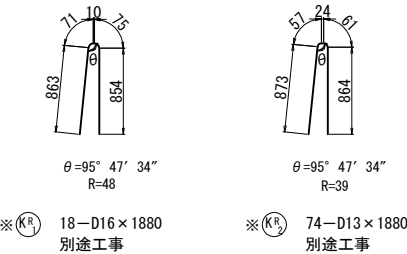
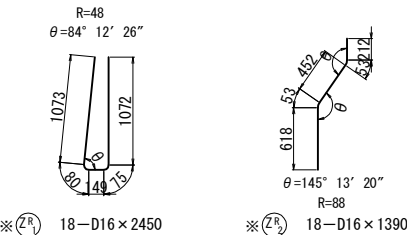
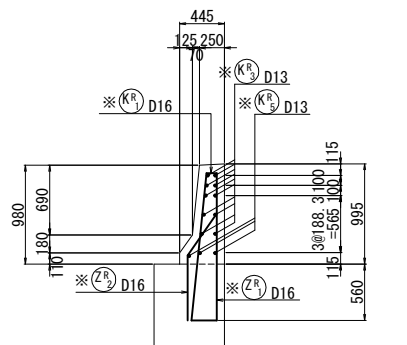
道東自動車道 下トマム地区下郷工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り橋） A1橋台側U1ブロック擁壁配筋図（その8）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

壁高配筋図(その2)

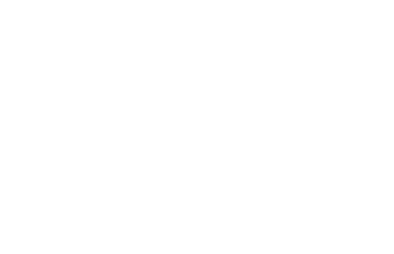
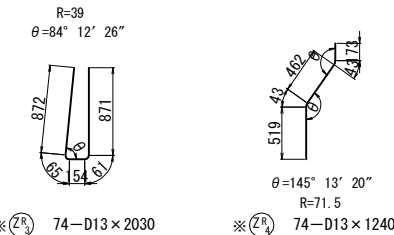
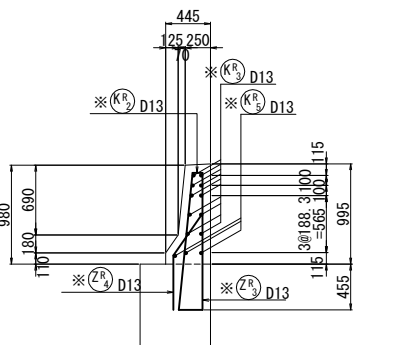
側面図(1-1)



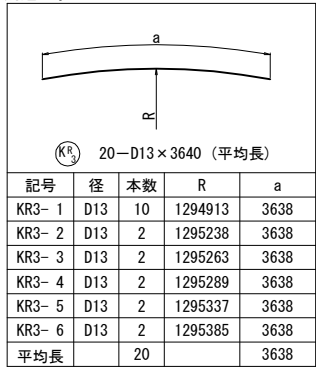
断面図(2-2)



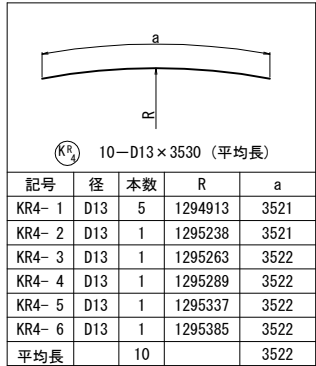
断面図(3-3)



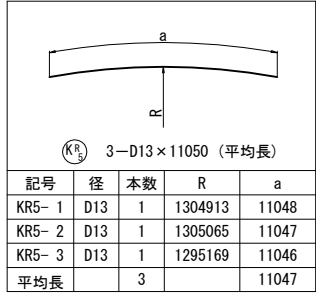
別途工事



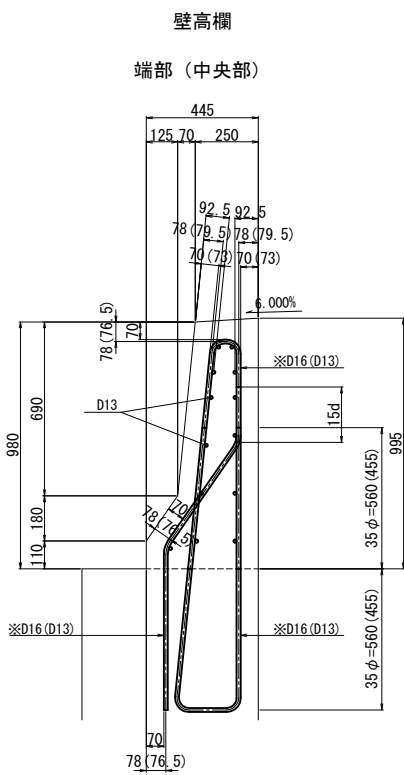
別途工事



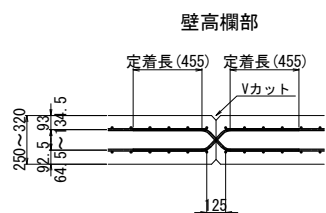
別途工事



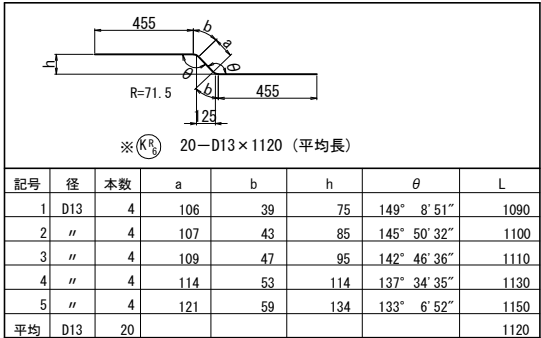
かぶり詳細図 S=1:30



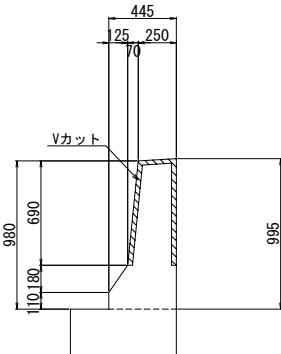
Vカット詳細図 S=1:50



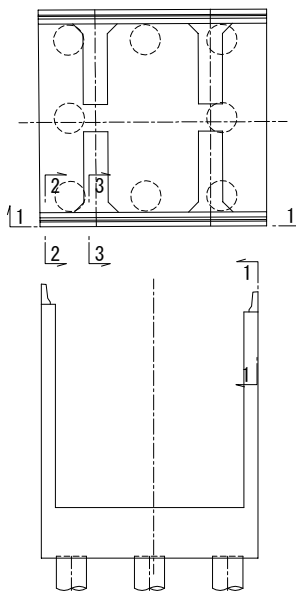
別途工事



Vカット詳細図 S=1:50



位置図



- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トママ地区下部工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 1 橋台側U 1 ブロック擁壁配筋図（その9）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W1	D22	11180	68	3.04	34.0	2312	—
W2	D22	5130	1	3.04	15.6	16	—
W3	D22	11170	67	3.04	34.0	2278	—
W4	D22	5120	1	3.04	15.6	16	—
W5	D22	11090	65	3.04	33.7	2191	—
W6	D22	5040	1	3.04	15.3	15	—
W7	D22	11090	64	3.04	33.7	2157	—
W8	D22	6020	1	3.04	18.3	18	—
W9-1	D19	9000	21	2.25	20.3	426	└
W9-2	D19	4010	21	2.25	9.02	189	└ (平均長)
W10-1	D19	7500	20	2.25	16.9	338	└
W10-2	D19	5510	20	2.25	12.4	248	└ (平均長)
W11-1	D19	9000	20	2.25	20.3	406	└
W11-2	D19	4010	20	2.25	9.02	180	└ (平均長)
W12-1	D19	7500	21	2.25	16.9	355	└
W12-2	D19	5510	21	2.25	12.4	260	└ (平均長)
W13	D19	6000	20	2.25	13.5	270	└
W14-1	D19	9000	21	2.25	20.3	426	└
W14-2	D19	3620	21	2.25	8.15	171	└ (平均長)
W15-1	D19	7500	20	2.25	16.9	338	└
W15-2	D19	5120	20	2.25	11.5	230	└ (平均長)
W16-1	D19	9000	20	2.25	20.3	406	└
W16-2	D19	3620	20	2.25	8.15	163	└ (平均長)
W17-1	D19	7500	21	2.25	16.9	355	└
W17-2	D19	5120	21	2.25	11.5	242	└ (平均長)
W18	D16	890	128	1.56	1.39	178	┐
W19	D16	860	82	1.56	1.34	110	┐
W20	D16	11180	1	1.56	17.4	17	—
W21	D16	11090	1	1.56	17.3	17	—
W22-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W22-2	D16	2930	1	1.56	4.56	5	└
W23-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W23-2	D16	2770	1	1.56	4.32	4	└
W24-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W24-2	D16	2540	1	1.56	3.96	4	└
W25-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W25-2	D16	2390	1	1.56	3.71	4	└
W01	D13	660	624	0.995	0.657	410	┐
小計						14819 kg	

F1	D35	11480	75	7.51	86.2	6465	┐
F2	D35	11280	41	7.51	84.7	3473	┐
F3-1	D32	9000	75	6.23	56.1	4208	└
F3-2	D32	5700	75	6.23	35.5	2663	┐ (75)
F4	D29	11140	36	5.04	56.1	2020	— (平均長)
F5	D29	11140	38	5.04	56.1	2132	— (平均長)
F6	D22	11140	36	3.04	33.9	1220	— (平均長)
F7	D19	11180	10	2.25	25.2	252	—
F8	D19	11090	10	2.25	25.0	250	—
F9	D19	11100	20	2.25	25.0	500	—
F10	D16	2620	68	1.56	4.09	278	└
F01	D16	5170	127	1.56	8.07	1025	┐
F02	D16	5220	8	1.56	8.14	65	┐
F03	D16	5120	9	1.56	7.99	72	┐
小計						24623 kg	(75)

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
B1	D35	9610	72	7.51	72.2	5198	└
B2	D19	5980	376	2.25	13.5	5076	┐
B3	D19	3440	376	2.25	7.76	2910	┐
B4	D16	9350	96	1.56	14.6	1402	└
B5	D16	1400	56	1.56	2.18	122	┐
B6	D16	1440	92	1.56	2.25	207	┐
B7	D16	4450	12	1.56	6.94	83	—
B01	D13	1200	112	0.995	1.19	133	┐
小計						15131 kg	

※ ZL1	D16	2450	18	1.56	3.82	69	┐
※ ZL2	D16	1390	18	1.56	2.17	39	┐
※ ZL3	D13	2030	74	0.995	2.02	149	┐
※ ZL4	D13	1240	74	0.995	1.23	91	┐
※ ZR1	D16	2450	18	1.56	3.82	69	┐
※ ZR2	D16	1390	18	1.56	2.17	39	┐
※ ZR3	D13	2030	74	0.995	2.02	149	┐
※ ZR4	D13	1240	74	0.995	1.23	91	┐
小計						696 kg	

鉄筋質量合計 (SD345)	鉄筋 (A)	鉄筋 (B)	合計
D35	15136	—	15136 kg
D32	—	6871 (75)	6871 kg
D29	4152	—	4152 kg
D22	10223	—	10223 kg
D19	13991	—	13991 kg
D16	3657	—	3657 kg
D13	543	—	543 kg
合計	47702	6871 (75)	54573 kg

鉄筋質量合計 (SD345)	鉄筋 (A)	合計	エポキシ鉄筋
D16	216 kg	216 kg	
D13	480 kg	480 kg	
合計	696 kg	696 kg	

注1) ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
注2) ()内は、機械継手箇所数を示す。

鉄筋質量表 (SD345)

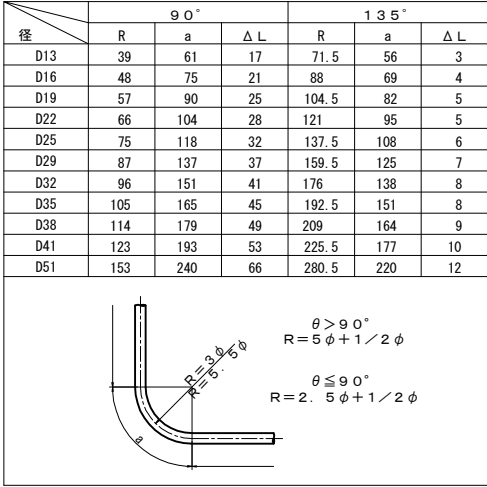
種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)	合 計 (Kg)
A	D13	D13	543
	D16	D16	3 657
		D19	13 991
		D22	10 223
		D25	—
	D29	D29	4 152
		D32	—
		D35	15 136
	合 計		47 702
B	D16	D16	—
	D19	D19	—
		D22	—
		D25	—
	D29	D29	—
		D32	6 871
		D35	—
A (E)	D13	D13	480
	D16	D16	216
		D19	—
		D22	—
		D25	—
ガス圧接	合 計		6 871
	箇所数	D16	—
		D19	—
		D22	—
		D25	—
		D29	—
		D32	75
		D35	—
	合 計		75

鉄筋継手箇所数

継手の種類		径	箇所数
機械継手	D16 ～ D25	D16	—
		D19	—
		D22	—
		D25	—
		計	—
	D29 ～ D32	D29	—
		D32	75
		計	—
		D35	—
		D38	—
		D41	—
		D51	—
合 計		75	

鉄筋加工寸法表

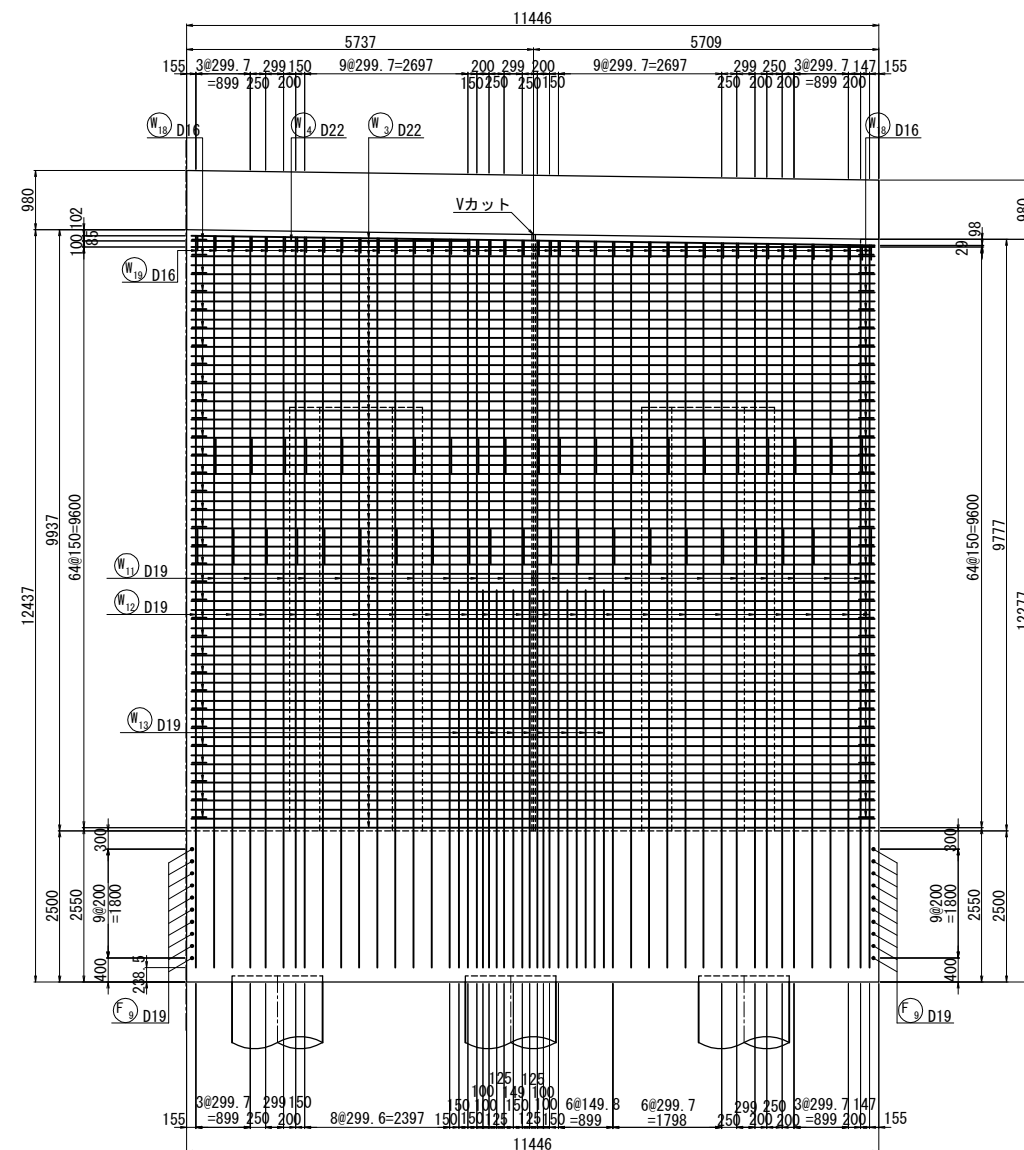
曲げ加工時の減長



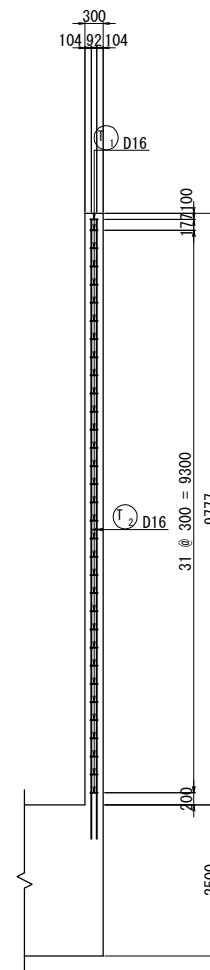
注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側 U 1 ブロック擁壁配筋図（その 1 0）		
縮 尺	図 示	図面番号	—
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

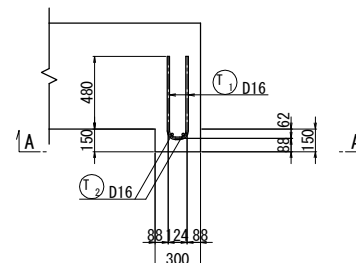
左側壁内面図(3-3)



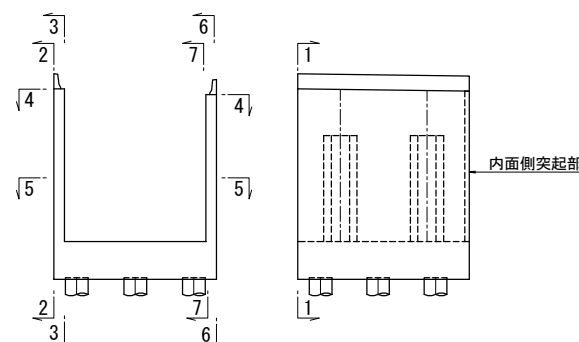
左側壁内面側突起部(A-A)



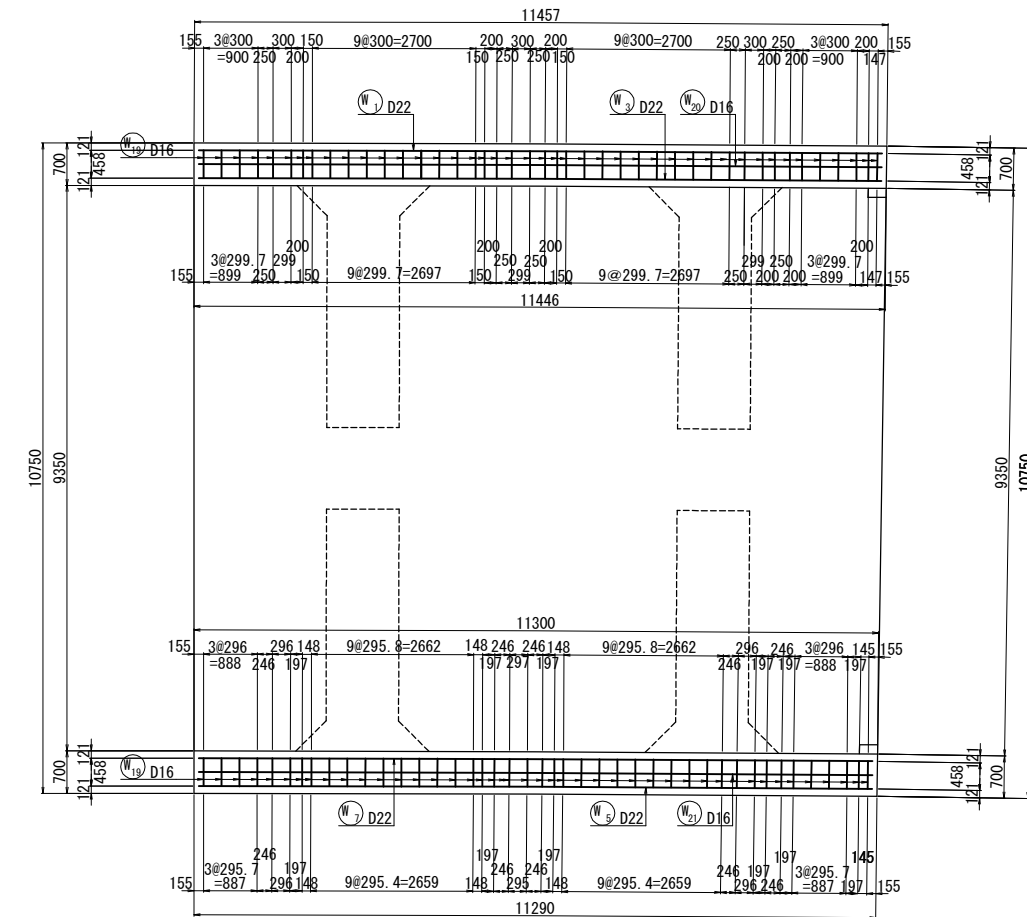
左側壁内面側突起部 S = 1:50



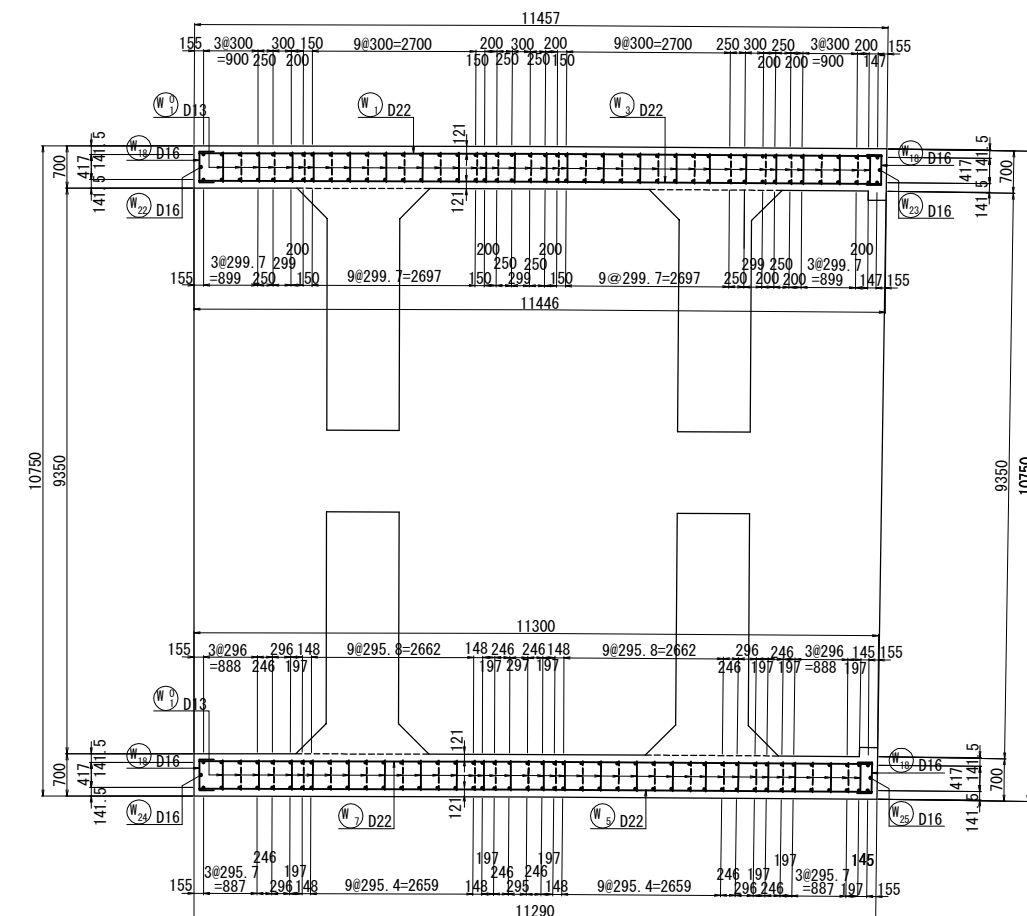
位置図



天端平面図(4-4)



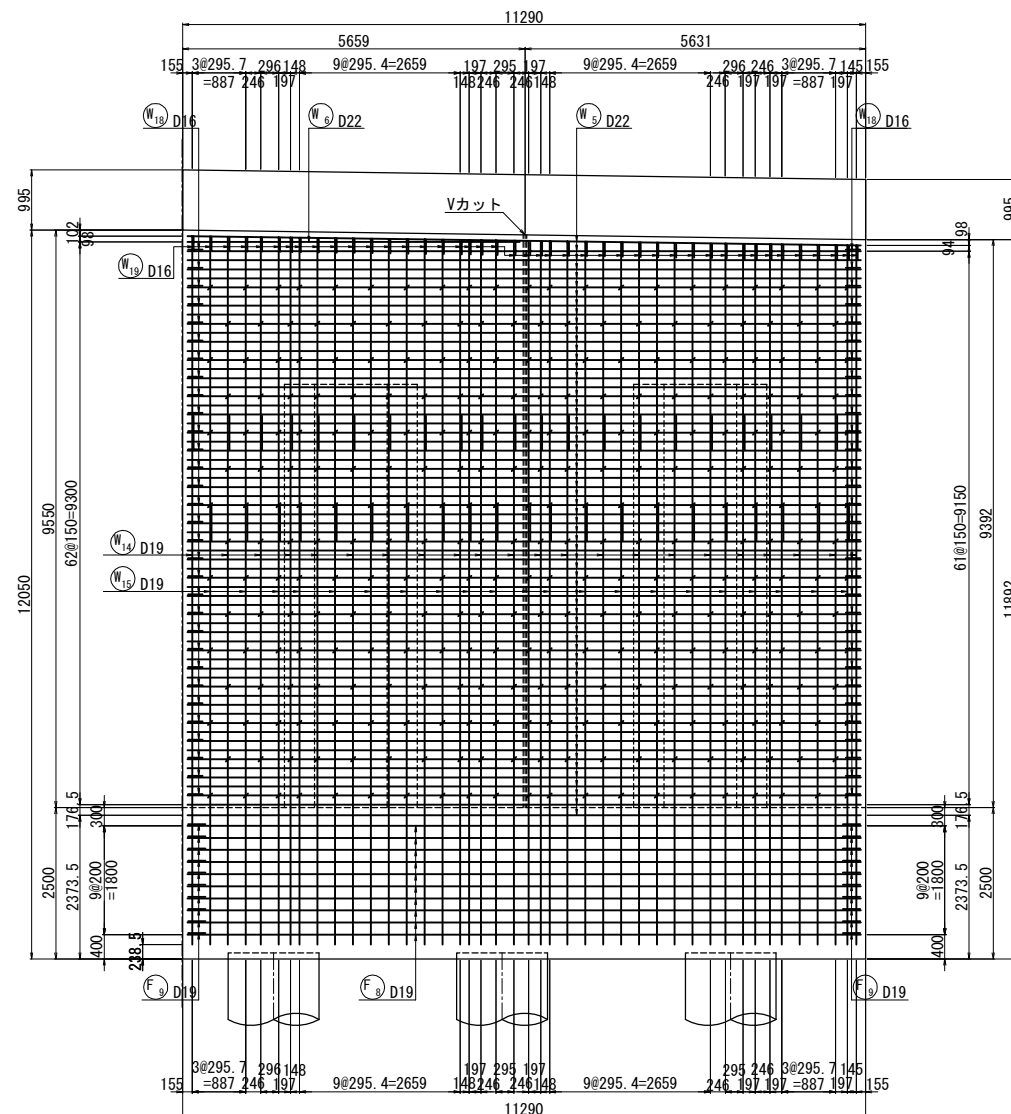
断面図(5-5)



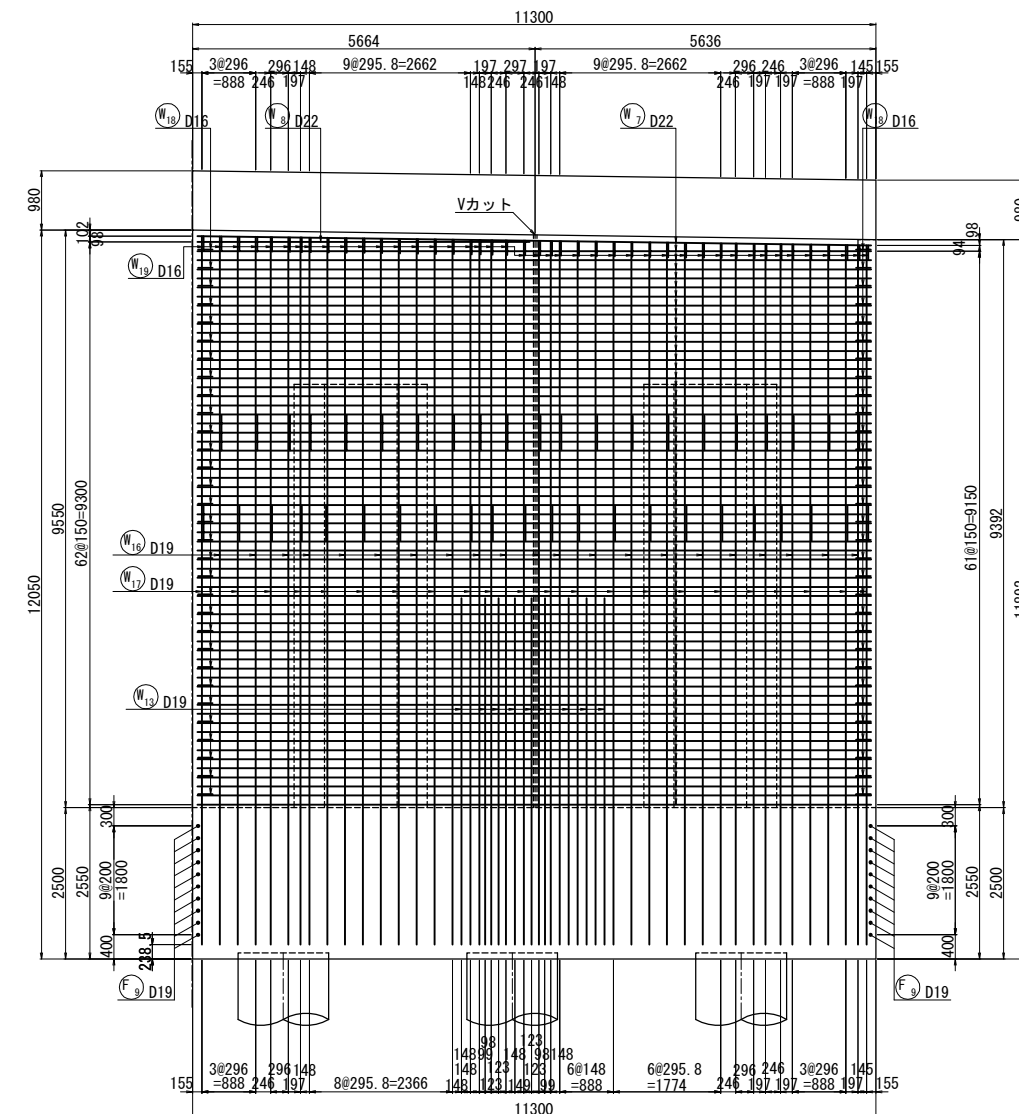
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側U 2 ブロック擁壁配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

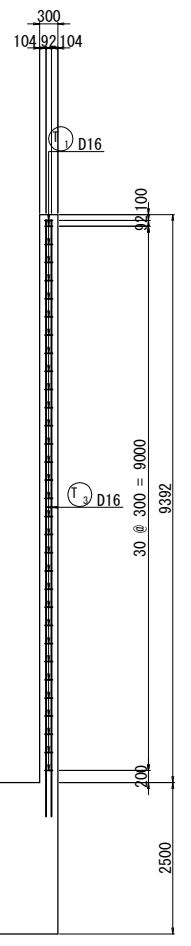
右側壁外面図(6-6)



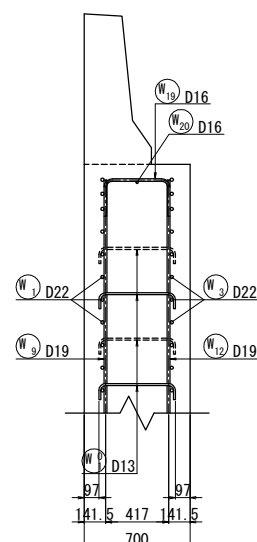
右側壁内面図(7-7)



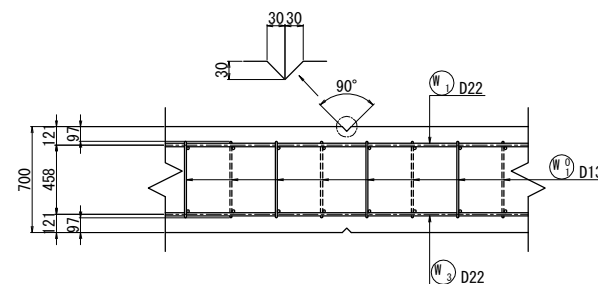
右側壁内面側突起部(B-B)



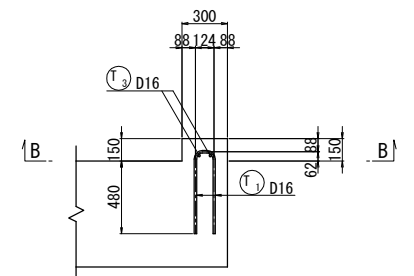
かぶり詳細図 S = 1:50
たて壁



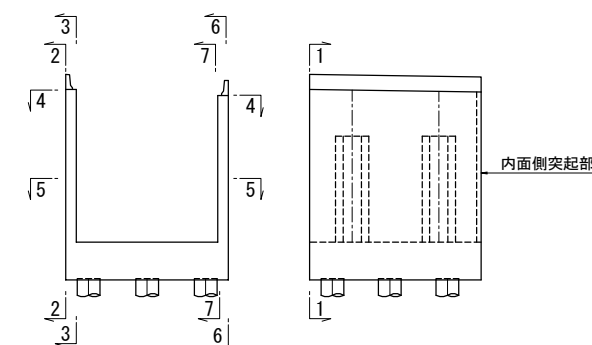
Vカット詳細図



右側壁内面側突起部 S = 1:50



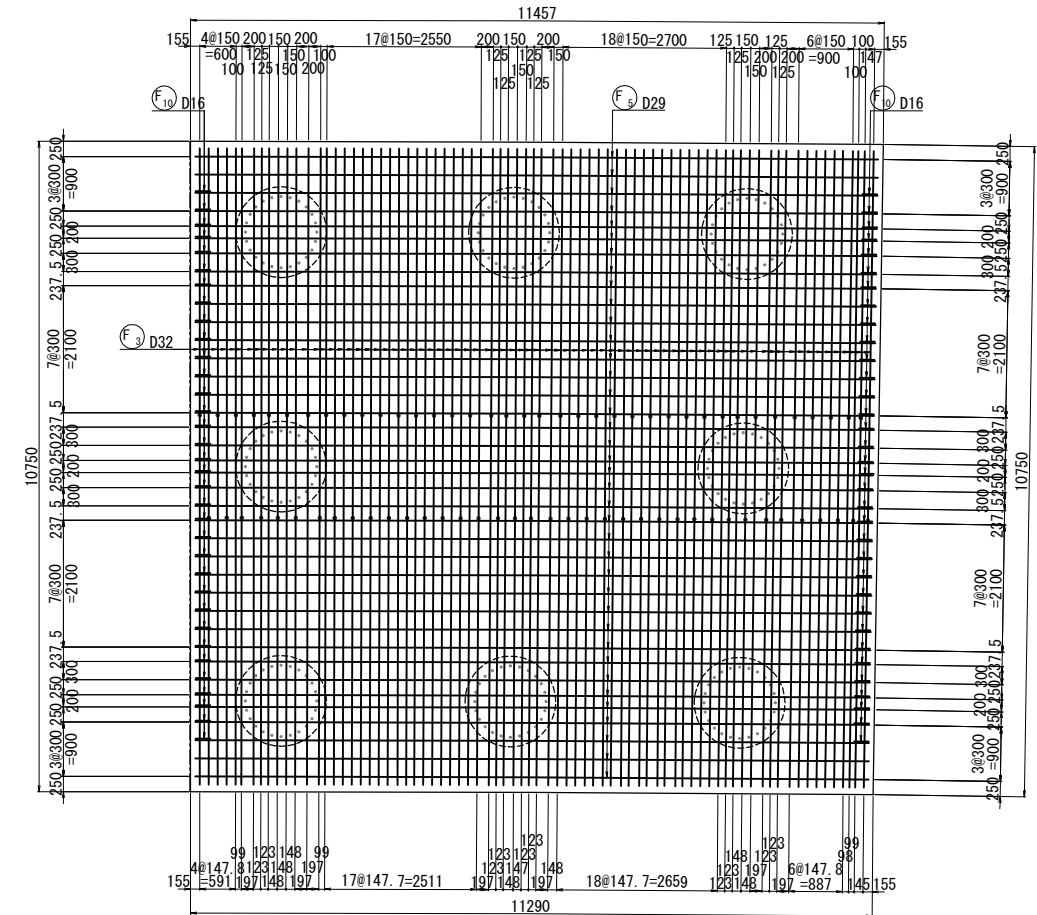
位置図



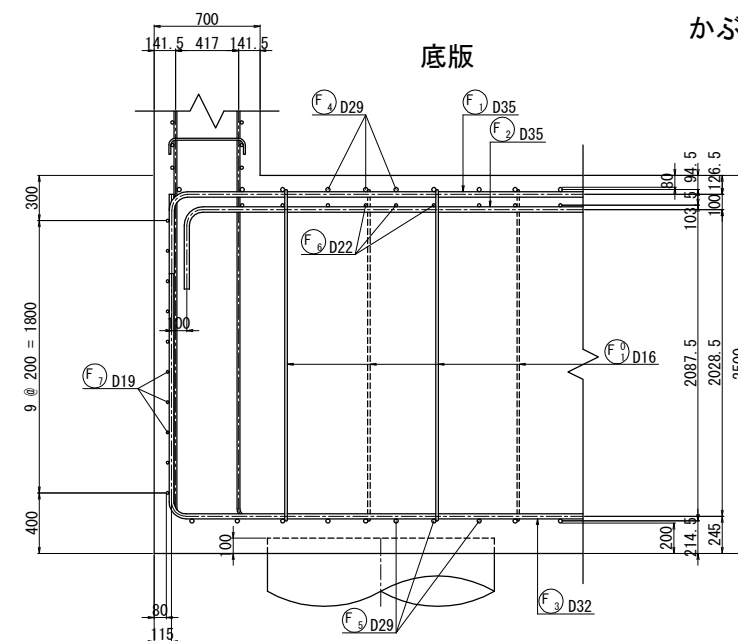
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側U 2 ブロック擁壁配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

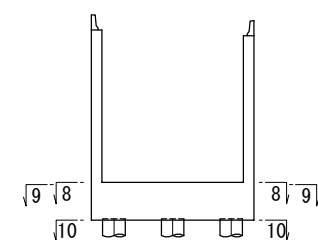
底版下面図(10-10)



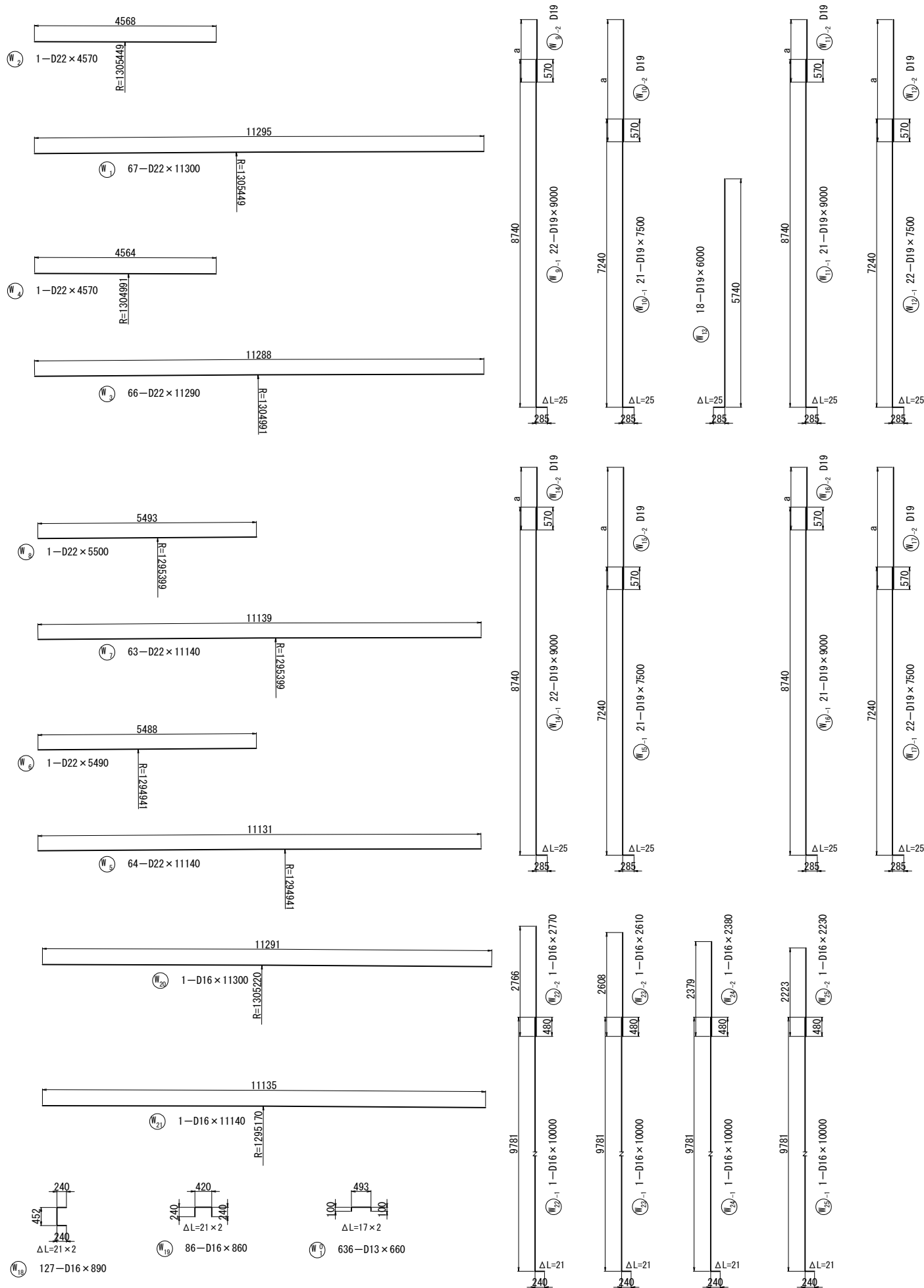
かぶり詳細図 S = 1:50



位置図



- | | | | |
|------------|------------------------------------|------|---|
| 道東自動車道 | | | |
| 下トマム地区下土工事 | | | |
| 図面の種類 | 下トマム橋（下り線）
A 1橋台側U2橋脚機壁設筋図（その4） | | |
| 縮 尺 | 図 示 | 図面番号 | - |
| 設計会社名 | 八千代エンジニアリング株式会社 | | |
| 施工会社名 | | | |
| 事務所名 | 東日本高速道路株式会社 北海道支社
帯広工事事務所 | | |



Reinforcement details for section W₉₋₂-22-D19 x 3850 (average length)

記号	径	本数	a
W9-2-1	D19	1	3926
W9-2-2	D19	1	3918
W9-2-3	D19	1	3910
W9-2-4	D19	1	3903
W9-2-5	D19	1	3897
W9-2-6	D19	1	3889
W9-2-7	D19	1	3880
W9-2-8	D19	1	3872
W9-2-9	D19	1	3863
W9-2-10	D19	1	3859
W9-2-11	D19	1	3851
W9-2-12	D19	1	3845
W9-2-13	D19	1	3838
W9-2-14	D19	1	3830
W9-2-15	D19	1	3822
W9-2-16	D19	1	3813
W9-2-17	D19	1	3805
W9-2-18	D19	1	3797
W9-2-19	D19	1	3791
W9-2-20	D19	1	3784
W9-2-21	D19	1	3776
W9-2-22	D19	1	3771
平均長	D19	22	3847

Reinforcement details for section W₁₀₋₂-21-D19 x 5350 (average length)

記号	径	本数	a
W10-2-1	D19	1	5422
W10-2-2	D19	1	5414
W10-2-3	D19	1	5406
W10-2-4	D19	1	5401
W10-2-5	D19	1	5393
W10-2-6	D19	1	5384
W10-2-7	D19	1	5376
W10-2-8	D19	1	5368
W10-2-9	D19	1	5361
W10-2-10	D19	1	5355
W10-2-11	D19	1	5347
W10-2-12	D19	1	5342
W10-2-13	D19	1	5334
W10-2-14	D19	1	5326
W10-2-15	D19	1	5317
W10-2-16	D19	1	5309
W10-2-17	D19	1	5301
W10-2-18	D19	1	5294
W10-2-19	D19	1	5288
W10-2-20	D19	1	5280
W10-2-21	D19	1	5273
平均長	D19	21	5347

Reinforcement details for section W₁₁₋₂-21-D19 x 3850 (average length)

記号	径	本数	a
W11-2-1	D19	1	3922
W11-2-2	D19	1	3914
W11-2-3	D19	1	3906
W11-2-4	D19	1	3901
W11-2-5	D19	1	3893
W11-2-6	D19	1	3884
W11-2-7	D19	1	3876
W11-2-8	D19	1	3868
W11-2-9	D19	1	3861
W11-2-10	D19	1	3855
W11-2-11	D19	1	3847
W11-2-12	D19	1	3842
W11-2-13	D19	1	3834
W11-2-14	D19	1	3826
W11-2-15	D19	1	3817
W11-2-16	D19	1	3809
W11-2-17	D19	1	3801
W11-2-18	D19	1	3794
W11-2-19	D19	1	3788
W11-2-20	D19	1	3780
W11-2-21	D19	1	3773
平均長	D19	21	3847

Reinforcement details for section W₁₂₋₂-22-D19 x 5350 (average length)

記号	径	本数	a
W12-2-1	D19	1	5426
W12-2-2	D19	1	5418
W12-2-3	D19	1	5410
W12-2-4	D19	1	5403
W12-2-5	D19	1	5397
W12-2-6	D19	1	5389
W12-2-7	D19	1	5380
W12-2-8	D19	1	5372
W12-2-9	D19	1	5363
W12-2-10	D19	1	5359
W12-2-11	D19	1	5351
W12-2-12	D19	1	5345
W12-2-13	D19	1	5338
W12-2-14	D19	1	5330
W12-2-15	D19	1	5322
W12-2-16	D19	1	5313
W12-2-17	D19	1	5305
W12-2-18	D19	1	5297
W12-2-19	D19	1	5291
W12-2-20	D19	1	5284
W12-2-21	D19	1	5276
W12-2-22	D19	1	5271
平均長	D19	22	5347

Reinforcement details for section W₁₄₋₂-22-D19 x 3470 (average length)

記号	径	本数	a
W14-2-1	D19	1	3539
W14-2-2	D19	1	3531
W14-2-3	D19	1	3523
W14-2-4	D19	1	3516
W14-2-5	D19	1	3510
W14-2-6	D19	1	3502
W14-2-7	D19	1	3494
W14-2-8	D19	1	3485
W14-2-9	D19	1	3477
W14-2-10	D19	1	3472
W14-2-11	D19	1	3464
W14-2-12	D19	1	3459
W14-2-13	D19	1	3452
W14-2-14	D19	1	3444
W14-2-15	D19	1	3436
W14-2-16	D19	1	3428
W14-2-17	D19	1	3419
W14-2-18	D19	1	3410
W14-2-19	D19	1	3406
W14-2-20	D19	1	3399
W14-2-21	D19	1	3390
W14-2-22	D19	1	3386
平均長	D19	22	3461

Reinforcement details for section W₁₅₋₂-21-D19 x 4970 (average length)

記号	径	本数	a
W15-2-1	D19	1	5035
W15-2-2	D19	1	5027
W15-2-3	D19	1	5019
W15-2-4	D19	1	5014
W15-2-5	D19	1	5006
W15-2-6	D19	1	4998
W15-2-7	D19	1	4990
W15-2-8	D19	1	4981
W15-2-9	D19	1	4975
W15-2-10	D19	1	4969
W15-2-11	D19	1	4961
W15-2-12	D19	1	4957
W15-2-13	D19	1	4948
W15-2-14	D19	1	4940
W15-2-15	D19	1	4932
W15-2-16	D19	1	4924
W15-2-17	D19	1	4916
W15-2-18	D19	1	4909
W15-2-19	D19	1	4903
W15-2-20	D19	1	4895
W15-2-21	D19	1	4888
平均長	D19	21	4961

Reinforcement details for section W₁₆₋₂-21-D19 x 3470 (average length)

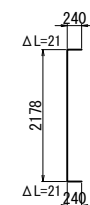
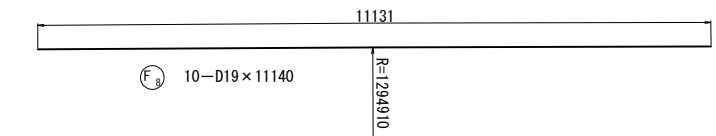
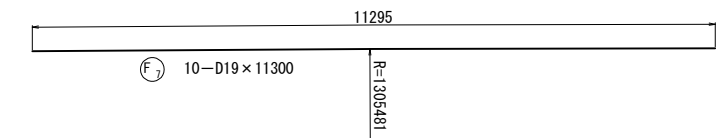
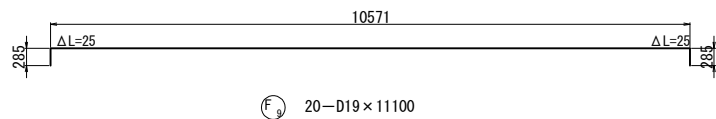
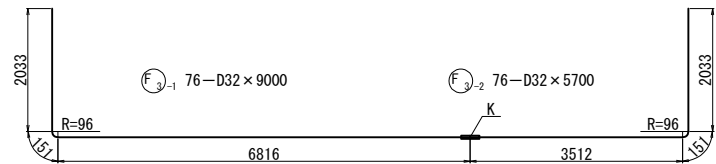
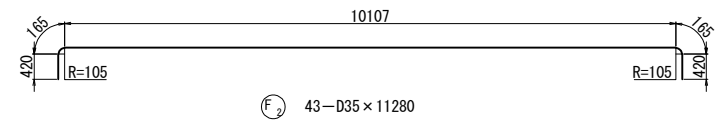
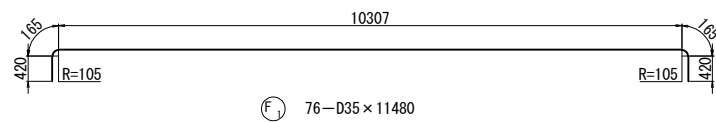
記号	径	本数	a
W16-2-1	D19	1	3535
W16-2-2	D19	1	3527
W16-2-3	D19	1	3519
W16-2-4	D19	1	3514
W16-2-5	D19	1	3506
W16-2-6	D19	1	3498
W16-2-7	D19	1	3490
W16-2-8	D19	1	3481
W16-2-9	D19	1	3475
W16-2-10	D19	1	3469
W16-2-11	D19	1	3461
W16-2-12	D19	1	3457
W16-2-13	D19	1	3448
W16-2-14	D19	1	3440
W16-2-15	D19	1	3432
W16-2-16	D19	1	3424
W16-2-17	D19	1	3416
W16-2-18	D19	1	3409
W16-2-19	D19	1	3403
W16-2-20	D19	1	3395
W16-2-21	D19	1	3388
平均長	D19	21	3461

Reinforcement details for section W₁₇₋₂-22-D19 x 4970 (average length)

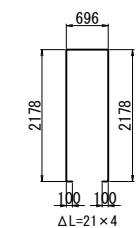
記号	径	本数	a
W17-2-1	D19	1	5039
W17-2-2	D19	1	5031
W17-2-3	D19	1	5023
W17-2-4	D19	1	5016
W17-2-5	D19	1	5010
W17-2-6	D19	1	5002
W17-2-7	D19	1	4994
W17-2-8	D19	1	4985
W17-2-9	D19	1	4977
W17-2-10	D19	1	4972
W17-2-11	D19	1	4965
W17-2-12	D19	1	4959
W17-2-13	D19	1	4952
W17-2-14	D19	1	4944
W17-2-15	D19	1	4936
W17-2-16	D19	1	4928
W17-2-17	D19	1	4919
W17-2-18	D19	1	4912
W17-2-19	D19	1	4906
W17-2-20	D19	1	4899
W17-2-21	D19	1	4890
W17-2-22	D19	1	4886
平均長	D19	22	4961

- 注記
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

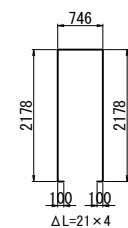
道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U 2 ブロック擁壁配筋図（その5）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			



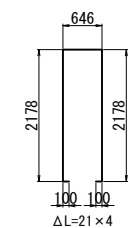
F10 68-D16 x 2620



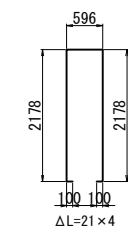
F9 94-D16 x 5170



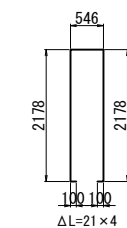
F9 9-D16 x 5220



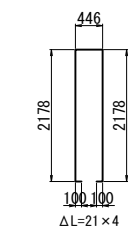
F9 25-D16 x 5120



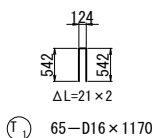
F9 9-D16 x 5070



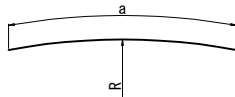
F9 8-D16 x 5020

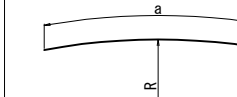


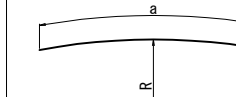
F9 8-D16 x 4920

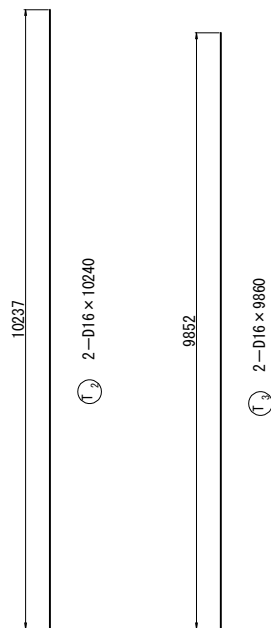


F1 65-D16 x 1170

					
F4 36-D29 x 11220 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F4- 1	D29	1	1304988	11287	
F4- 2	D29	1	1304720	11283	
F4- 3	D29	1	1304420	11279	
F4- 4	D29	1	1304170	11275	
F4- 5	D29	1	1303970	11272	
F4- 6	D29	1	1303720	11268	
F4- 7	D29	1	1303420	11263	
F4- 8	D29	1	1303182	11259	
F4- 9	D29	1	1302883	11255	
F4-10	D29	1	1302583	11250	
F4-11	D29	1	1302283	11245	
F4-12	D29	1	1301983	11241	
F4-13	D29	1	1301683	11236	
F4-14	D29	1	1301383	11231	
F4-15	D29	1	1301083	11227	
F4-16	D29	1	1300845	11223	
F4-17	D29	1	1300545	11218	
F4-18	D29	1	1300295	11215	
F4-19	D29	1	1300095	11211	
F4-20	D29	1	1299845	11208	
F4-21	D29	1	1299545	11203	
F4-22	D29	1	1299308	11199	
F4-23	D29	1	1299008	11195	
F4-24	D29	1	1298708	11190	
F4-25	D29	1	1298408	11185	
F4-26	D29	1	1298108	11181	
F4-27	D29	1	1297808	11176	
F4-28	D29	1	1297508	11171	
F4-29	D29	1	1297208	11167	
F4-30	D29	1	1296970	11163	
F4-31	D29	1	1296670	11158	
F4-32	D29	1	1296420	11154	
F4-33	D29	1	1296220	11151	
F4-34	D29	1	1295970	11147	
F4-35	D29	1	1295670	11143	
F4-36	D29	1	1295403	11139	
平均長	D29	36		11213	

					
F5 38-D29 x 11220 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F5- 1	D29	1	1305320	11293	
F5- 2	D29	1	1305020	11288	
F5- 3	D29	1	1304720	11283	
F5- 4	D29	1	1304420	11279	
F5- 5	D29	1	1304170	11275	
F5- 6	D29	1	1303970	11272	
F5- 7	D29	1	1303720	11268	
F5- 8	D29	1	1303420	11263	
F5- 9	D29	1	1303182	11259	
F5-10	D29	1	1302883	11255	
F5-11	D29	1	1302583	11250	
F5-12	D29	1	1302283	11245	
F5-13	D29	1	1301983	11241	
F5-14	D29	1	1301683	11236	
F5-15	D29	1	1301383	11231	
F5-16	D29	1	1301083	11227	
F5-17	D29	1	1300845	11223	
F5-18	D29	1	1300545	11218	
F5-19	D29	1	1300295	11215	
F5-20	D29	1	1300095	11211	
F5-21	D29	1	1299845	11208	
F5-22	D29	1	1299545	11203	
F5-23	D29	1	1299308	11199	
F5-24	D29	1	1299008	11195	
F5-25	D29	1	1298708	11190	
F5-26	D29	1	1298408	11185	
F5-27	D29	1	1298108	11181	
F5-28	D29	1	1297808	11176	
F5-29	D29	1	1297508	11171	
F5-30	D29	1	1297208	11167	
F5-31	D29	1	1296970	11163	
F5-32	D29	1	1296670	11158	
F5-33	D29	1	1296420	11154	
F5-34	D29	1	1296220	11151	
F5-35	D29	1	1295970	11147	
F5-36	D29	1	1295670	11143	
F5-37	D29	1	1295370	11138	
F5-38	D29	1	1295070	11133	
平均長	D29	38		11213	

					
F6 36-D22 x 11220 (平均長)					
記号	径	本数	R	a	
F6- 1	D22	1	1304991	11288	
F6- 2	D22	1	1304720	11283	
F6- 3	D22	1	1304420	11279	
F6- 4	D22	1	1304170	11275	
F6- 5	D22	1	1303970	11272	
F6- 6	D22	1	1303720	11268	
F6- 7	D22	1	1303420	11263	
F6- 8	D22	1	1303182	11259	
F6- 9	D22	1	1302883	11255	
F6-10	D22	1	1302583	11250	
F6-11	D22	1	1302283	11245	
F6-12	D22	1	1301983	11241	
F6-13	D22	1	1301683	11236	
F6-14	D22	1	1301383	11231	
F6-15	D22	1	1301083	11227	
F6-16	D22	1	1300845	11223	
F6-17	D22	1	1300545	11218	
F6-18	D22	1	1300295	11215	
F6-19	D22	1	1300095	11211	
F6-20	D22	1	1299845	11208	
F6-21	D22	1	1299545	11203	
F6-22	D22	1	1299308	11199	
F6-23	D22	1	1299008	11195	
F6-24	D22	1	1298708	11190	
F6-25	D22	1	1298408	11185	
F6-26	D22	1	1298108	11181	
F6-27	D22	1	1297808	11176	
F6-28	D22	1	1297508	11171	
F6-29	D22	1	1297208	11167	
F6-30	D22	1	1296970	11163	
F6-31	D22	1	1296670	11158	
F6-32	D22	1	1296420	11154	
F6-33	D22	1	1296220	11151	
F6-34	D22	1	1295970	11147	
F6-35	D22	1	1295670	11143	
F6-36	D22	1	1295399	11139	
平均長	D22	36		11213	

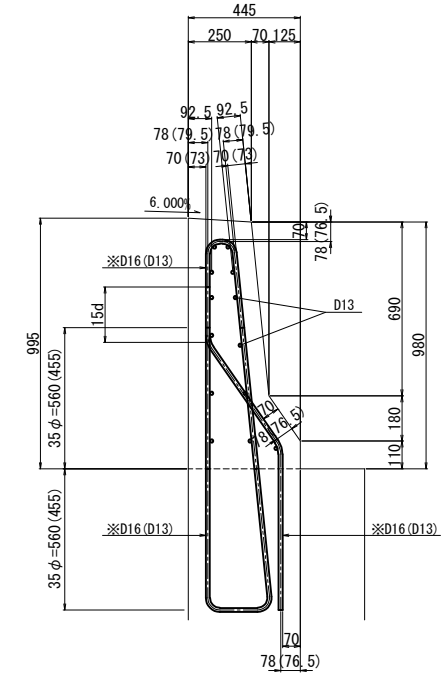


- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U 2 ブロック擁壁配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

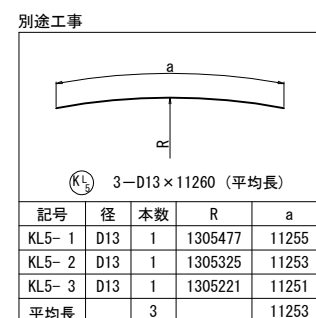
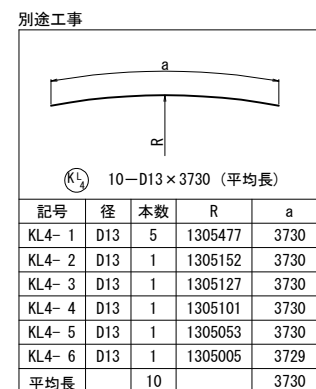
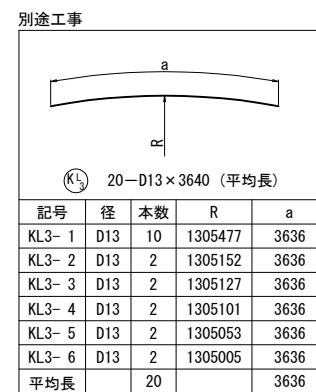
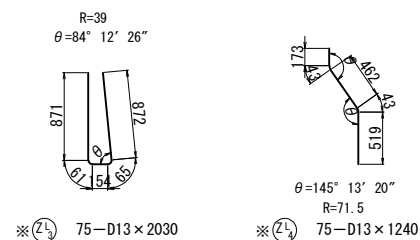
壁高欄

端部 (中央部)

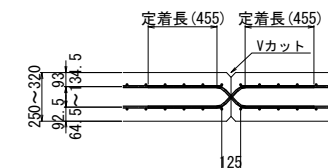


Technical drawing of a shaft-hub assembly. The drawing shows a shaft with a diameter of $\varnothing 45$ mm and a hub with a bore diameter of $\varnothing 45$ mm. The shaft has a length of 995 mm. The hub has a total length of 980 mm. The assembly is shown in a cross-sectional view. The dimensions are as follows:

- Shaft diameter: $\varnothing 45$ mm
- Hub bore diameter: $\varnothing 45$ mm
- Shaft length: 995 mm
- Hub total length: 980 mm
- Hub bore length: 690 mm
- Shaft step length: 115 mm
- Hub step length: 100 mm
- Shaft diameter at step: $\varnothing 45$ mm
- Hub bore diameter at step: $\varnothing 45$ mm
- Shaft diameter at end: $\varnothing 45$ mm
- Hub bore diameter at end: $\varnothing 45$ mm
- Shaft diameter at end: $\varnothing 45$ mm
- Hub bore diameter at end: $\varnothing 45$ mm



壁高欄部



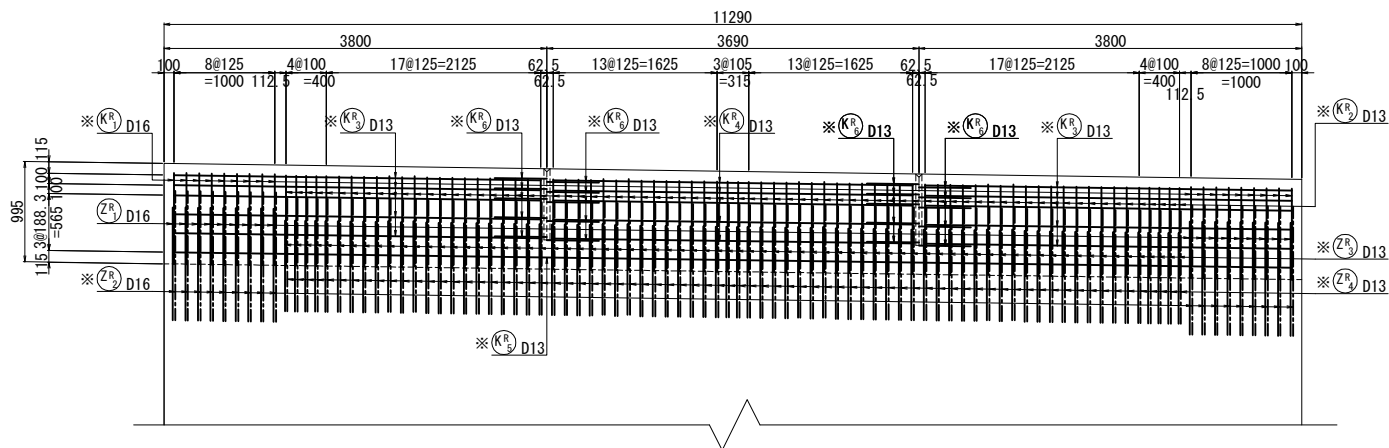
The drawing consists of two parts. The top part is a plan view of a rectangular frame. It features a grid of six circles arranged in two rows and three columns. The frame is defined by a double-line border. Dimensions are indicated by arrows and numbers: '1' for the overall width, '2' for the width of the left section, and '3' for the width of the right section. A dashed horizontal line runs through the center of the circles. The bottom part is a side view of the frame, showing its profile. It has a U-shaped cross-section with a central vertical dashed line. The top edge is slightly flared. Dimensions '1' and '1' are shown on the left side, indicating the height and the thickness of the frame's walls.

注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

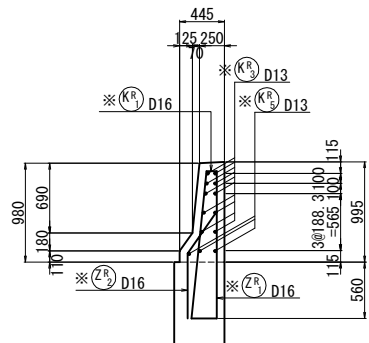
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A1橋合側U2ブロック牆壁配筋図（その8）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

壁高配筋図(その2)

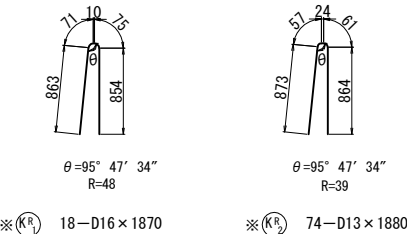
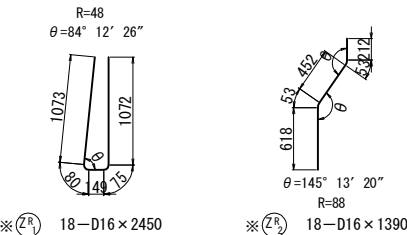
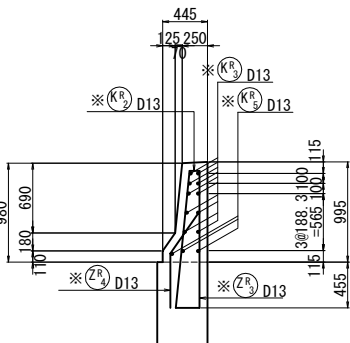
側面図(1-1)



断面図(2-2)

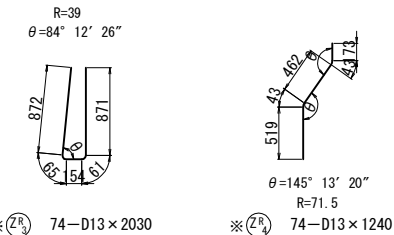


断面図(3-3)



※(KR) 18-D16×1870 別途工事

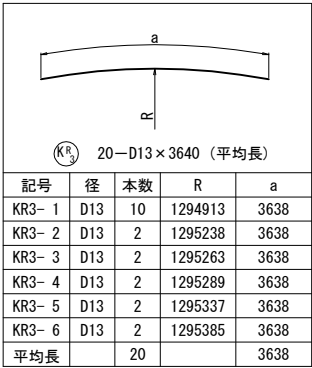
※(KR) 74-D13×1880 別途工事



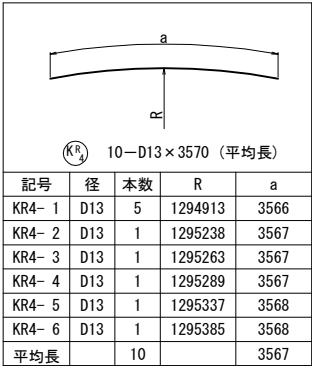
※(KR) 18-D16×1870 別途工事

※(KR) 74-D13×1880 別途工事

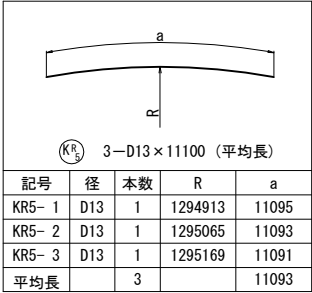
別途工事



別途工事



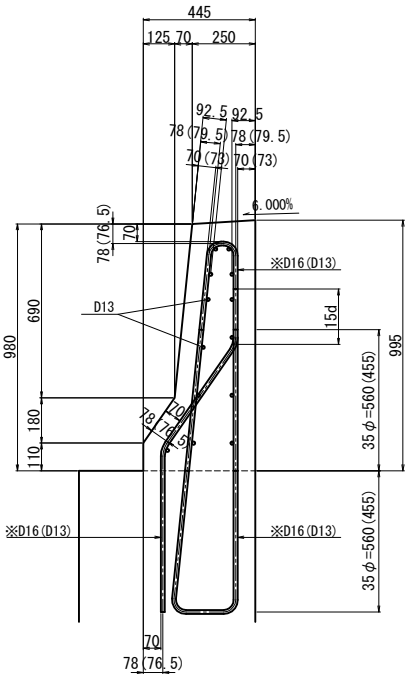
別途工事



かぶり詳細図 S=1:30

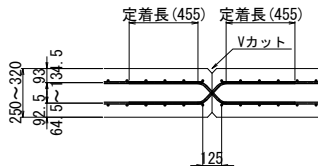
壁高欄

端部（中央部）

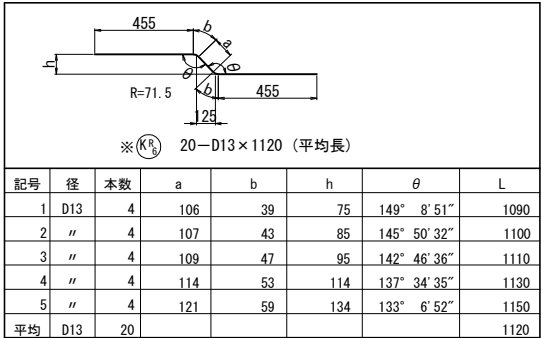


Vカット詳細図 S=1:50

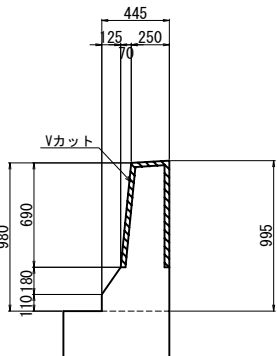
壁高欄部



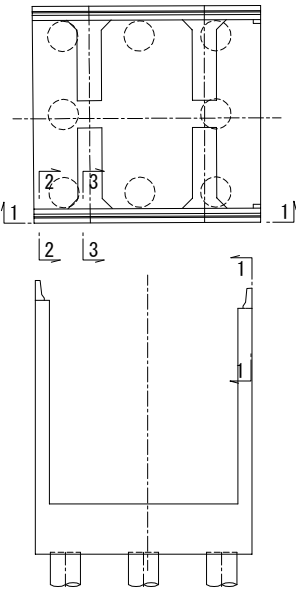
別途工事



Vカット詳細図 S=1:50



位置図



注記)

1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トママ地区下部工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 1 橋台側U 2 ブロック擁壁配筋図（その9）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W1	D22	11300	67	3.04	34.4	2305	—
W2	D22	4570	1	3.04	13.9	14	—
W3	D22	11290	66	3.04	34.3	2264	—
W4	D22	4570	1	3.04	13.9	14	—
W5	D22	11140	64	3.04	33.9	2170	—
W6	D22	5490	1	3.04	16.7	17	—
W7	D22	11140	63	3.04	33.9	2136	—
W8	D22	5500	1	3.04	16.7	17	—
W9-1	D19	9000	22	2.25	20.3	447	└
W9-2	D19	3850	22	2.25	8.66	191	└ (平均長)
W10-1	D19	7500	21	2.25	16.9	355	└
W10-2	D19	5350	21	2.25	12.0	252	└ (平均長)
W11-1	D19	9000	21	2.25	20.3	426	└
W11-2	D19	3850	21	2.25	8.66	182	└ (平均長)
W12-1	D19	7500	22	2.25	16.9	372	└
W12-2	D19	5350	22	2.25	12.0	264	└ (平均長)
W13	D19	6000	18	2.25	13.5	243	└
W14-1	D19	9000	22	2.25	20.3	447	└
W14-2	D19	3470	22	2.25	7.81	172	└ (平均長)
W15-1	D19	7500	21	2.25	16.9	355	└
W15-2	D19	4970	21	2.25	11.2	235	└ (平均長)
W16-1	D19	9000	21	2.25	20.3	426	└
W16-2	D19	3460	21	2.25	7.79	164	└ (平均長)
W17-1	D19	7500	22	2.25	16.9	372	└
W17-2	D19	4970	22	2.25	11.2	246	└ (平均長)
W18	D16	890	127	1.56	1.39	177	┐
W19	D16	860	86	1.56	1.34	115	┐
W20	D16	11300	1	1.56	17.6	18	—
W21	D16	11140	1	1.56	17.4	17	—
W22-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W22-2	D16	2770	1	1.56	4.32	4	└
W23-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W23-2	D16	2610	1	1.56	4.07	4	└
W24-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W24-2	D16	2380	1	1.56	3.71	4	└
W25-1	D16	10000	1	1.56	15.6	16	└
W25-2	D16	2230	1	1.56	3.46	3	└
W01	D13	660	636	0.995	0.657	418	┐
小計						14910 kg	
F1	D35	11480	76	7.51	86.2	6551	┐
F2	D35	11280	43	7.51	84.7	3642	┐
F3-1	D32	6500	76	6.23	40.5	3078	└
F3-2	D32	8200	76	6.23	51.1	3884	┐ (76)
F4	D29	11220	36	5.04	56.5	2034	— (平均長)
F5	D29	11220	38	5.04	56.5	2147	— (平均長)
F6	D22	11220	36	3.04	34.1	1228	— (平均長)
F7	D19	11300	10	2.25	25.4	254	—
F8	D19	11140	10	2.25	25.1	251	—
F9	D19	11100	20	2.25	25.0	500	┐
F10	D16	2620	68	1.56	4.09	278	└
F01	D16	5170	94	1.56	8.07	759	□
F02	D16	5220	9	1.56	8.14	73	□
F03	D16	5120	25	1.56	7.99	200	□
F04	D16	5070	9	1.56	7.91	71	□
F05	D16	5020	8	1.56	7.83	63	□
F06	D16	4920	8	1.56	7.68	61	□
小計						25074 kg	(76)

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
T1	D16	1170	65	1.56	1.83	119	┐
T2	D16	10240	2	1.56	16.0	32	└
T3	D16	9860	2	1.56	15.4	31	└
小計						182	kg
B1	D35	9610	72	7.51	72.2	5198	└
B2	D19	5980	376	2.25	13.5	5076	┐
B3	D19	3440	376	2.25	7.74	2910	┐
B4	D16	9350	96	1.56	14.6	1402	└
B5	D16	1400	56	1.56	2.18	122	┐
B6	D16	1440	92	1.56	2.25	207	┐
B7	D16	4450	12	1.56	6.94	83	—
B01	D13	1200	112	0.995	1.19	133	┐
小計						15131	kg
ZL1	D16	2450	18	1.56	3.82	69	┐
ZL2	D16	1390	18	1.56	2.17	39	┐
ZL3	D13	2030	75	0.995	2.02	152	┐
ZL4	D13	1240	75	0.995	1.23	92	┐
ZR1	D16	2450	18	1.56	3.82	69	┐
ZR2	D16	1390	18	1.56	2.17	39	┐
ZR3	D13	2030	74	0.995	2.02	149	┐
ZR4	D13	1240	74	0.995	1.23	91	┐
小計						700	kg
鉄筋質量合計 (SD345)				鉄筋 (A)	鉄筋 (B)	合計	
				D35	15391	15391 kg	
				D32	6962	(76) 6962 kg	
				D29	4181	4181 kg	
				D22	10165	10165 kg	
				D19	14140	14140 kg	
				D16	3907	3907 kg	
				D13	551	551 kg	
合計				48335	6962 (76)	55297 kg	
鉄筋質量合計 (SD345)				エポキシ鉄筋			
				D16 216 kg			
				D13 484 kg			
合計				700 kg			

注1) ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
注2) () 内は、機械継手箇所数を示す。

鉄筋質量表 (SD345)

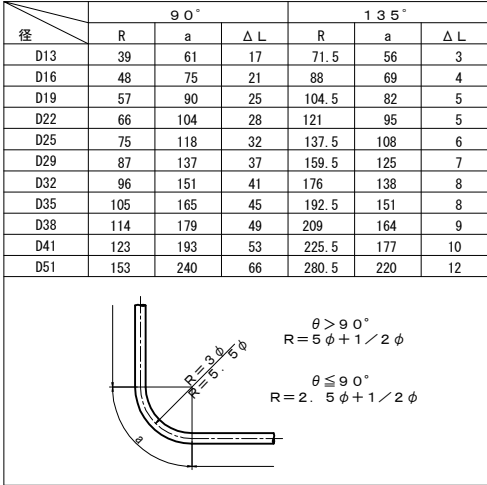
種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)	合 計 (Kg)
A	D13	D13	551
	D16	D16	3 907
		D19	14 140
		D22	10 165
		D25	-----
	D29	D29	4 181
		D32	-----
		D35	15 391
		合 計	48 335
B	D16	D16	-----
	D19	D19	-----
		D22	-----
		D25	-----
	D29	D29	-----
		D32	6 962
		D35	-----
A (E)	D13	D13	484
	D16	D16	216
	D19	D19	-----
		D22	-----
		D25	-----
		合 計	700
ガス圧接	箇所数	D16	-----
		D19	-----
		D22	-----
		D25	-----
		D29	-----
		D32	76
	合 計		76

鉄筋継手箇所数

継手の種類	径	箇所数	
機械継手	D16 ～ D25	D16	—
		D19	—
		D22	—
		D25	—
		計	—
	D29 ～ D32	D29	—
		D32	76
		計	—
		D35	—
		D38	—
		D41	—
		D51	—
		合 計	76

鉄筋加工寸法表

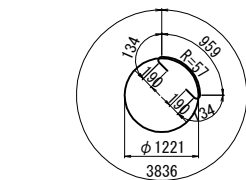
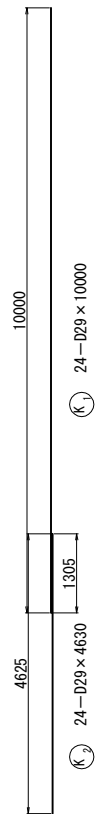
曲げ加工時の減長



注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側 U 2 ブロック擁壁配筋図（その 1 0）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

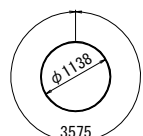
鉄筋質量表



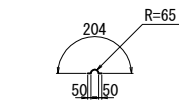
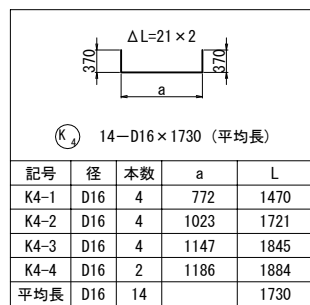
(K₃) 51—D19×5450
(T₁) 9—D19×5450

A diagram showing a large circle with a horizontal diameter. A vertical line segment connects the top of the diameter to the top of the circle. Inside the circle, a horizontal chord is drawn. The diameter is labeled with the number 3487 below it. The chord is labeled with the number 1110 above it.

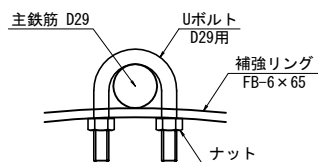
(K₆) 6-D22 × 3490



6 - FB-6 x 65 x 3575



36—D16×310



杭配置図

Technical drawing of a circular reinforcement ring (補強リング) for a concrete structure. The drawing shows a circular ring with 12 U-bolts (Uボルト) spaced evenly around its circumference. The overall diameter is 1500 mm. The distance between the center of the ring and the center of each U-bolt is 1173 mm. The distance from the center of the ring to the edge of the concrete structure is 163.5 mm. The ring is made of FRP (FRP-6 x 65). The U-bolts are labeled K6 D22 and K1 D29.

φ 1500

163.5

ケーシングチューブ

主鉄筋 D29

補強鉄筋 D29

Uボルト D29用

補強リング FB-6×65

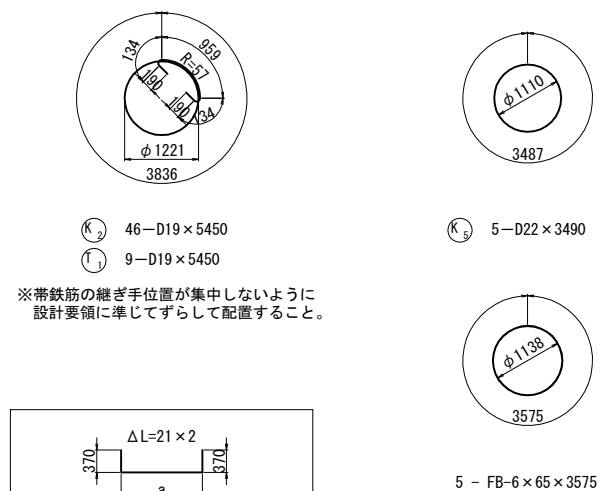
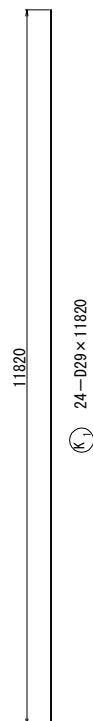
平鋼

スペーサー (c/c3000以下) 1断面6ヶ所 千鳥配置

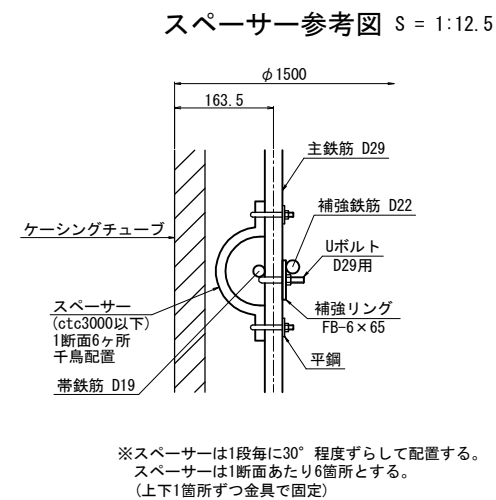
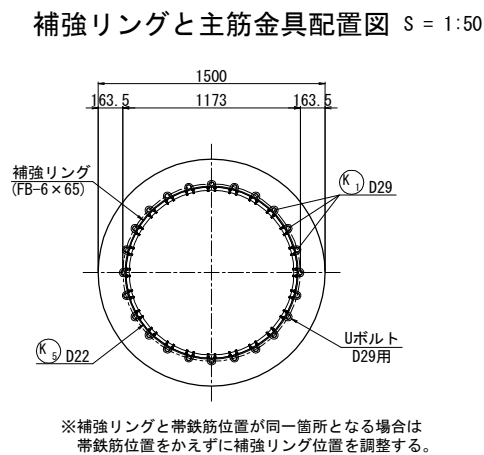
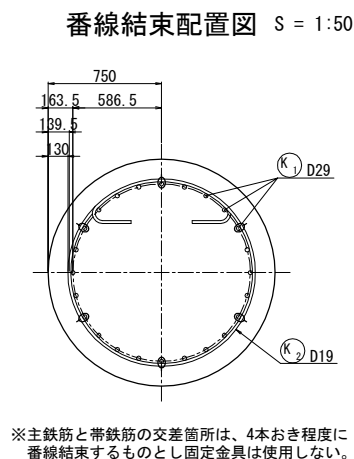
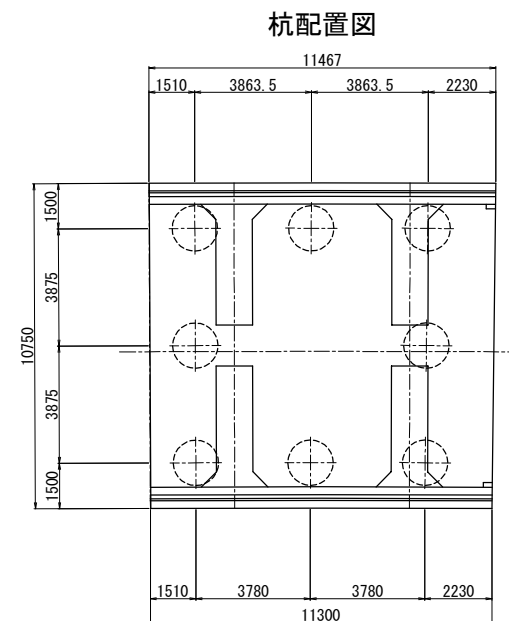
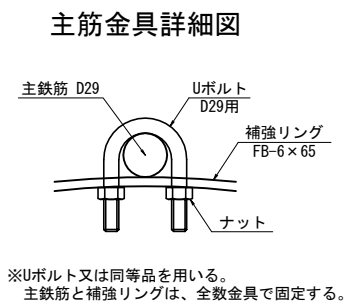
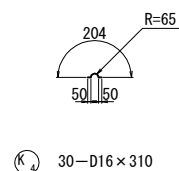
帯鉄筋 D19

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U型擁壁場所打杭配筋図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

下トナム橋（下り線） A 1 橋台側 U 型擁壁場所打ち杭配筋図（その 2） S = 1:125



記号	径	本数	a	L
K3-1	D16	4	772	1470
K3-2	D16	4	1023	1721
K3-3	D16	4	1147	1845
K3-4	D16	2	1186	1884
平均長	D16	14		1730

[illegible]

	1本当たり	本数	1本当たり
D29	1 430 ×	8 =	11 440 kg (SD345)
D22	53 ×	8 =	424 kg (SD345)
D19	566 ×	8 =	4 528 kg (SD345)
D16	53 ×	8 =	424 kg (SD345)
総合計	2 102 ×	8 =	16 816 kg (SD345)

鉄筋 A							
T 1	D19	5 450	9	2.25	12.3	111	⊙
合計						111	kg

	1本当たり	本数	1基当たり
D19	111	× 8 =	888 kg (SD345)

注) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

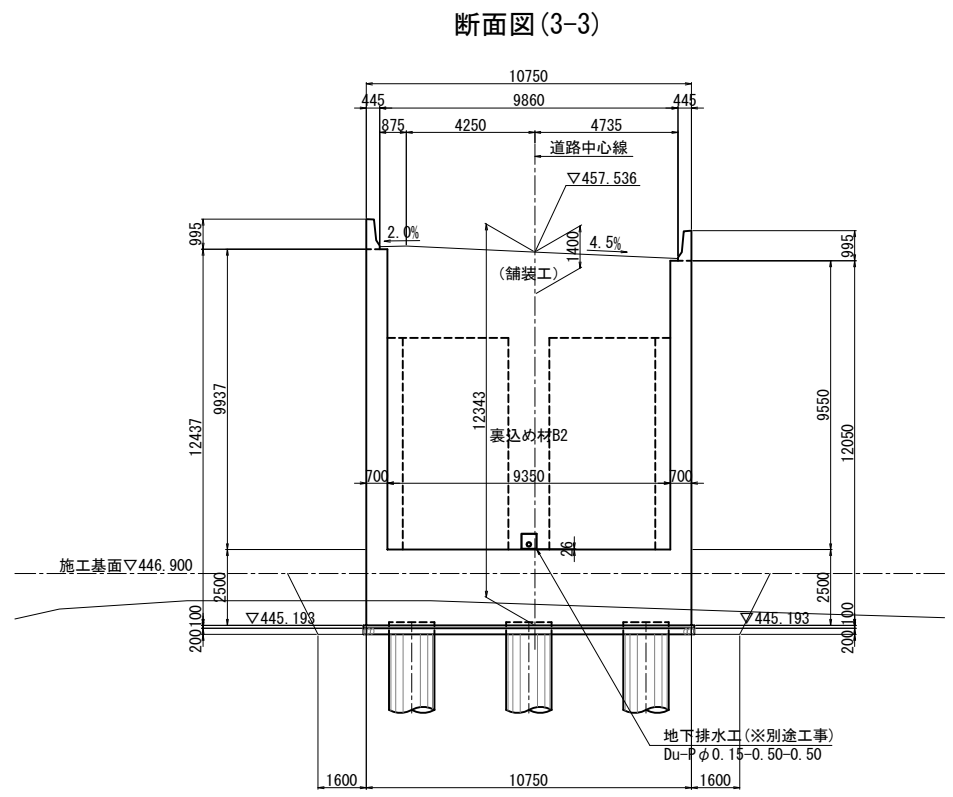
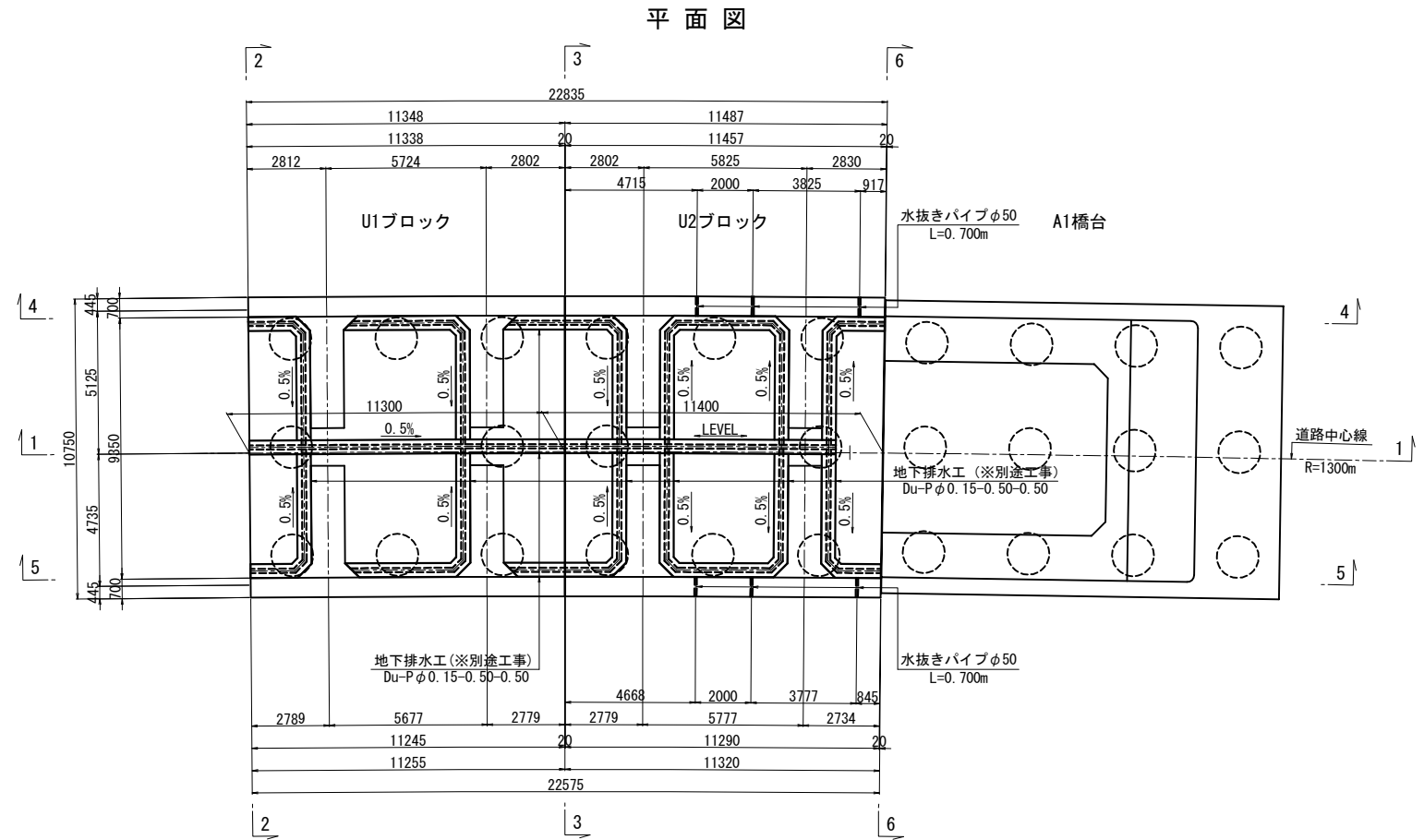
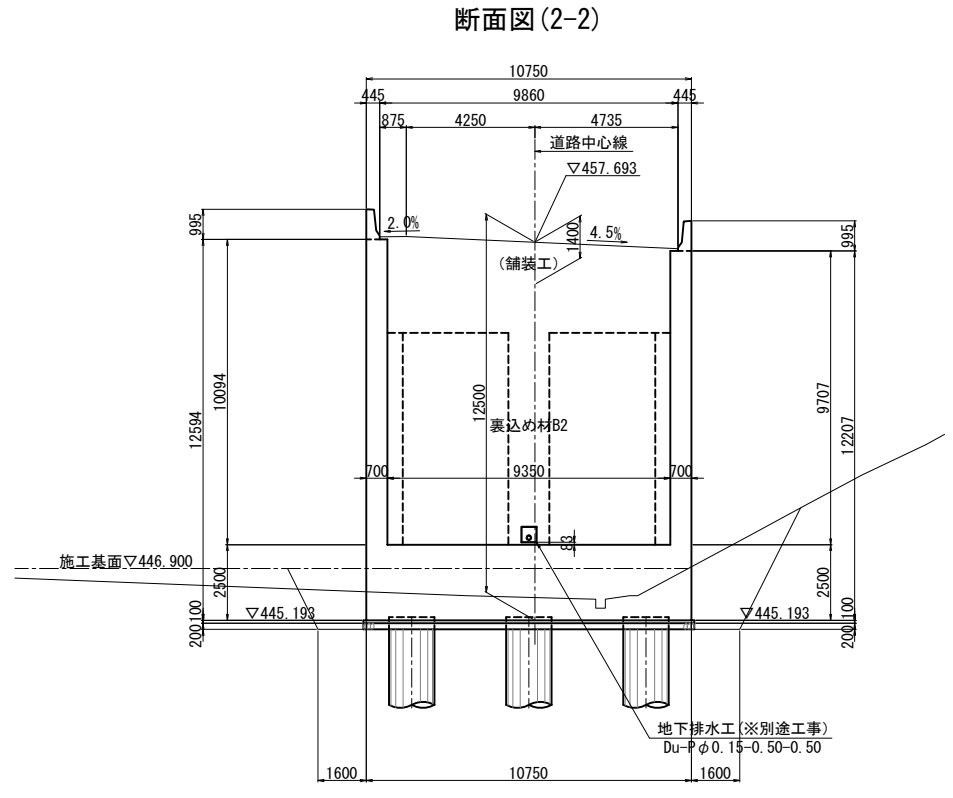
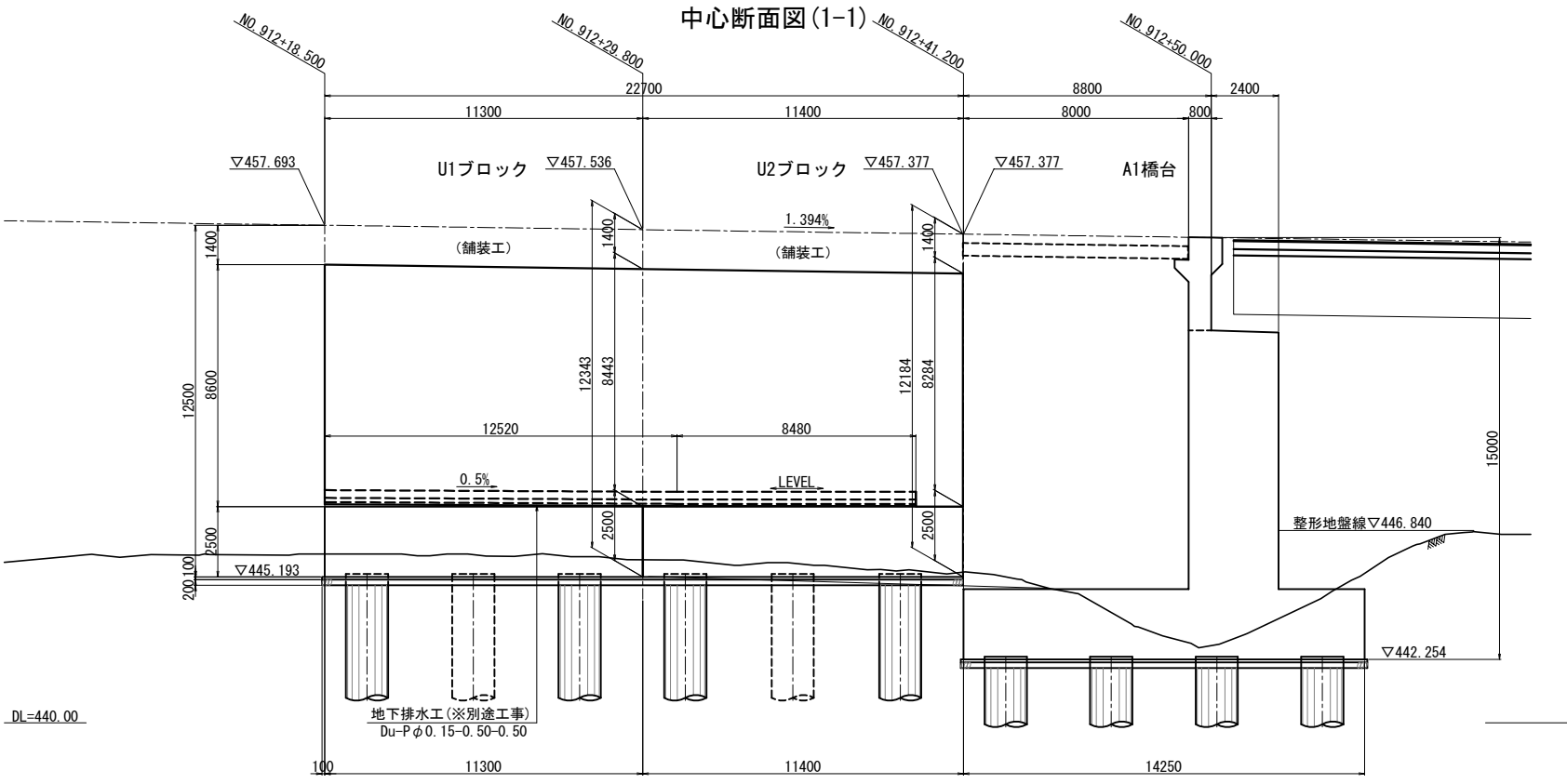
(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
FB6x65	3575	5	3.06	10.94	55	補強リング
Uボルト (D29用)	120	----	----	----	----	主鉄筋と補強リングの固定

注) Uボルト規格
D29用、SS400、変形時荷重30kN以上
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

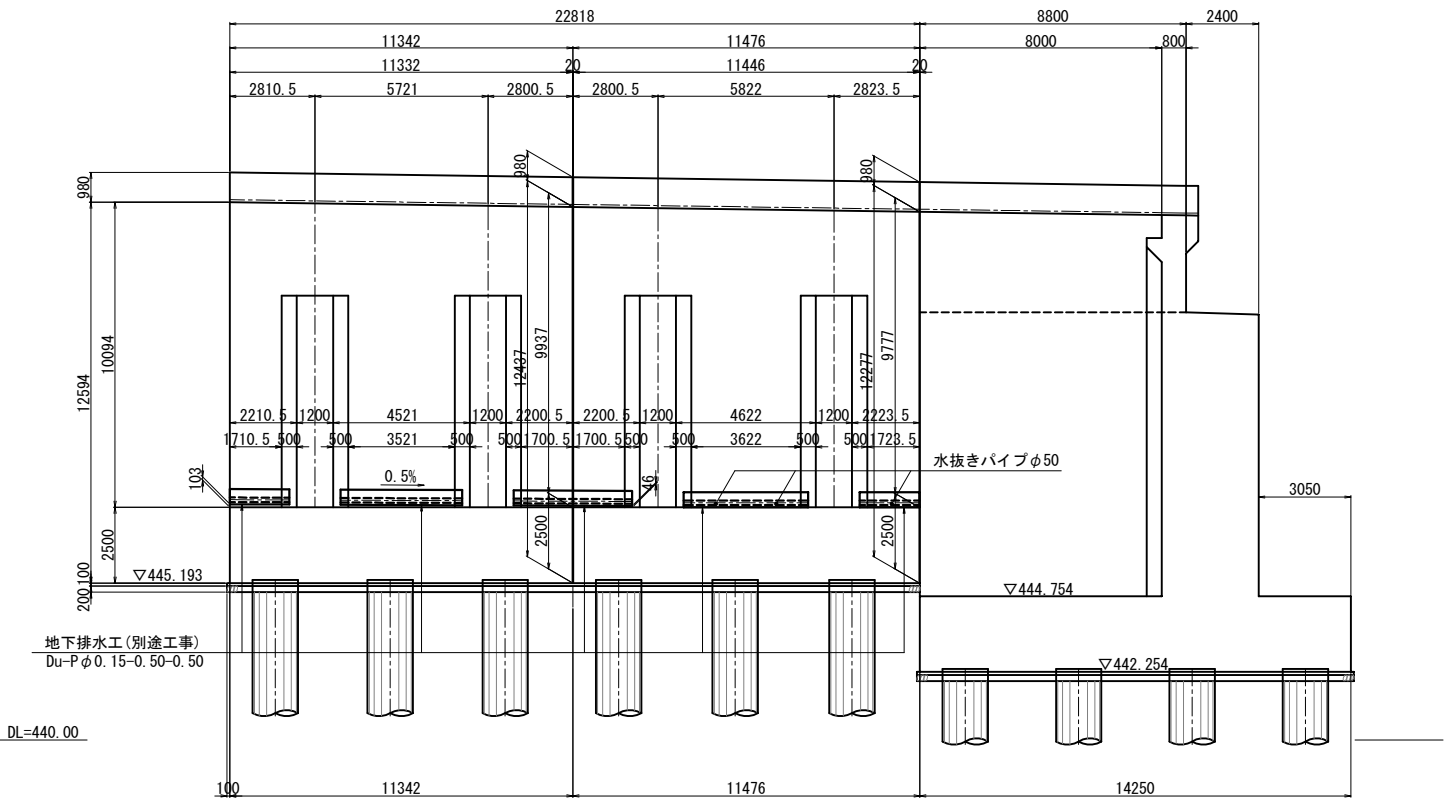
(杭1本当り)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
Uボルト	----	60	----	----	----	スプーサーと主鉄筋の固定
平鋼32x4.5	80	60	1.130	0.090	5	Uボルト固定用

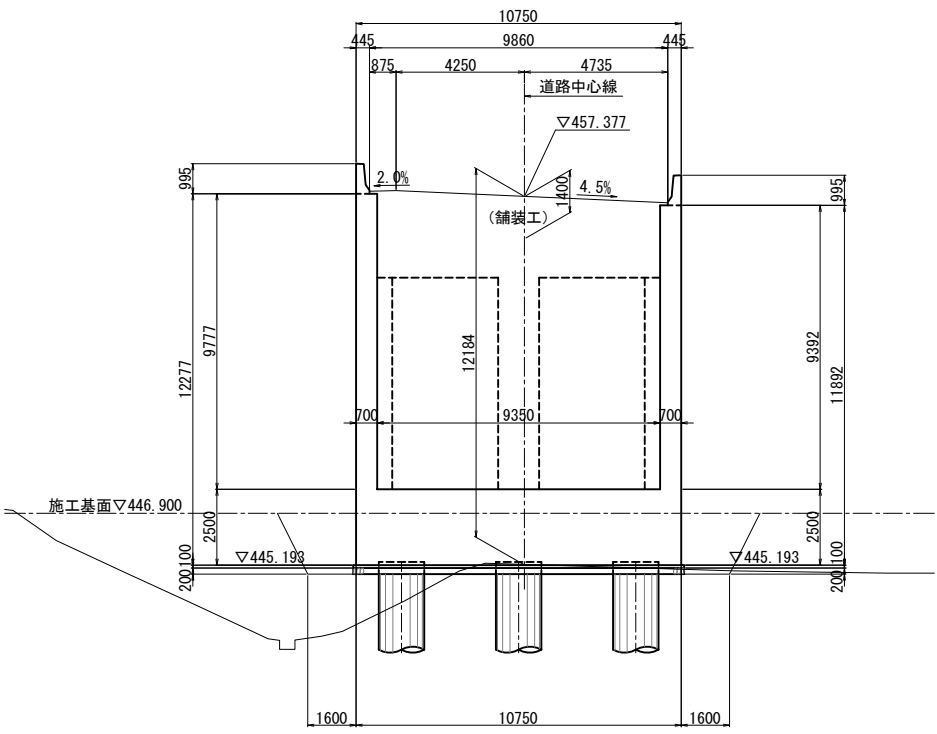


道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 1 橋台側U型擁壁裏込め排水工詳細図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

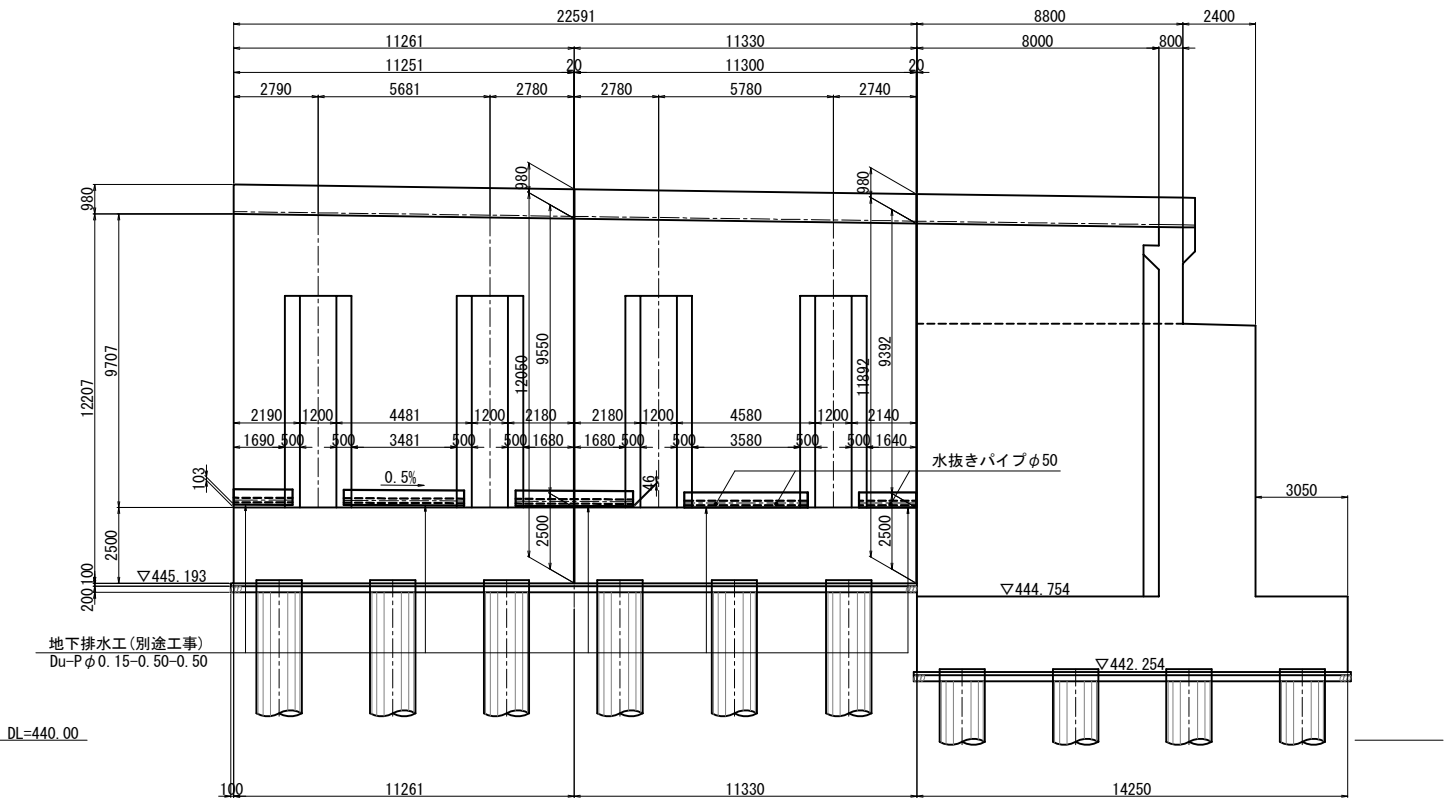
左側面図(4-4)



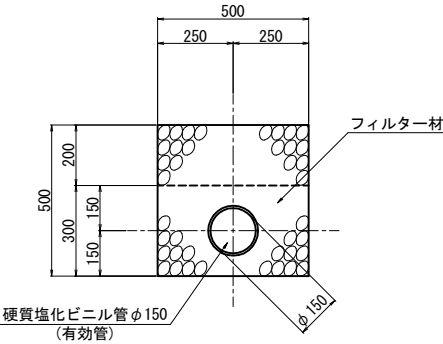
断面図(6-6)



右側面図(5-5)

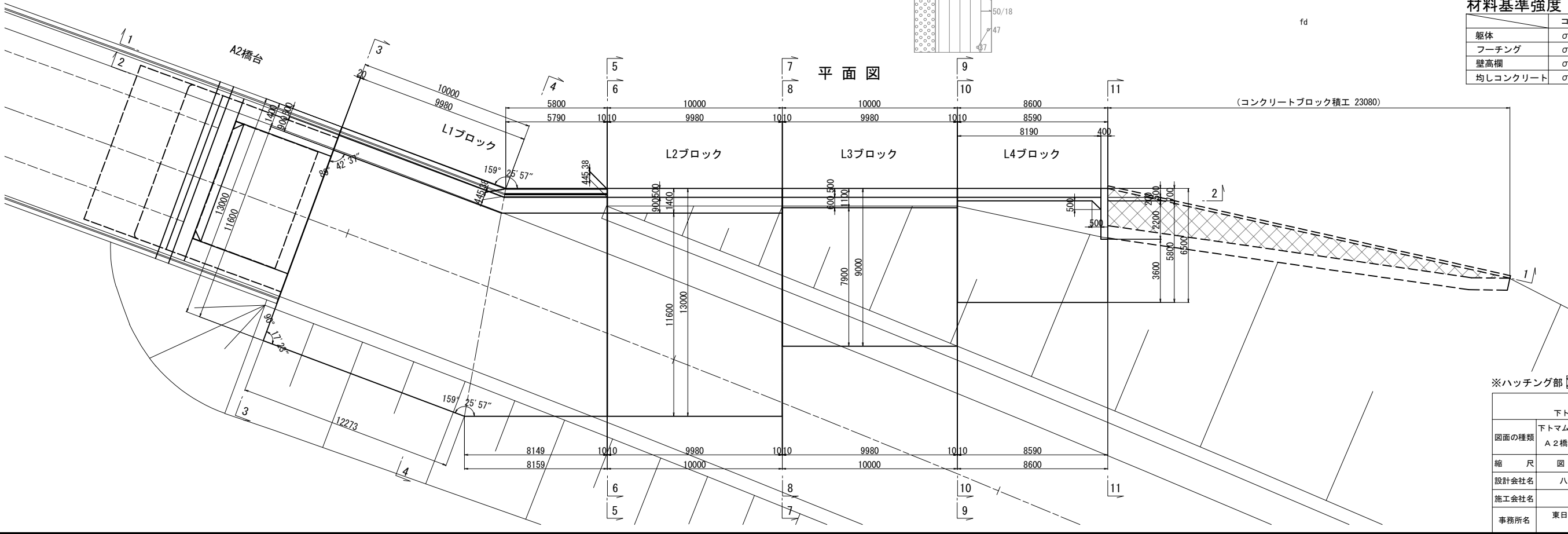
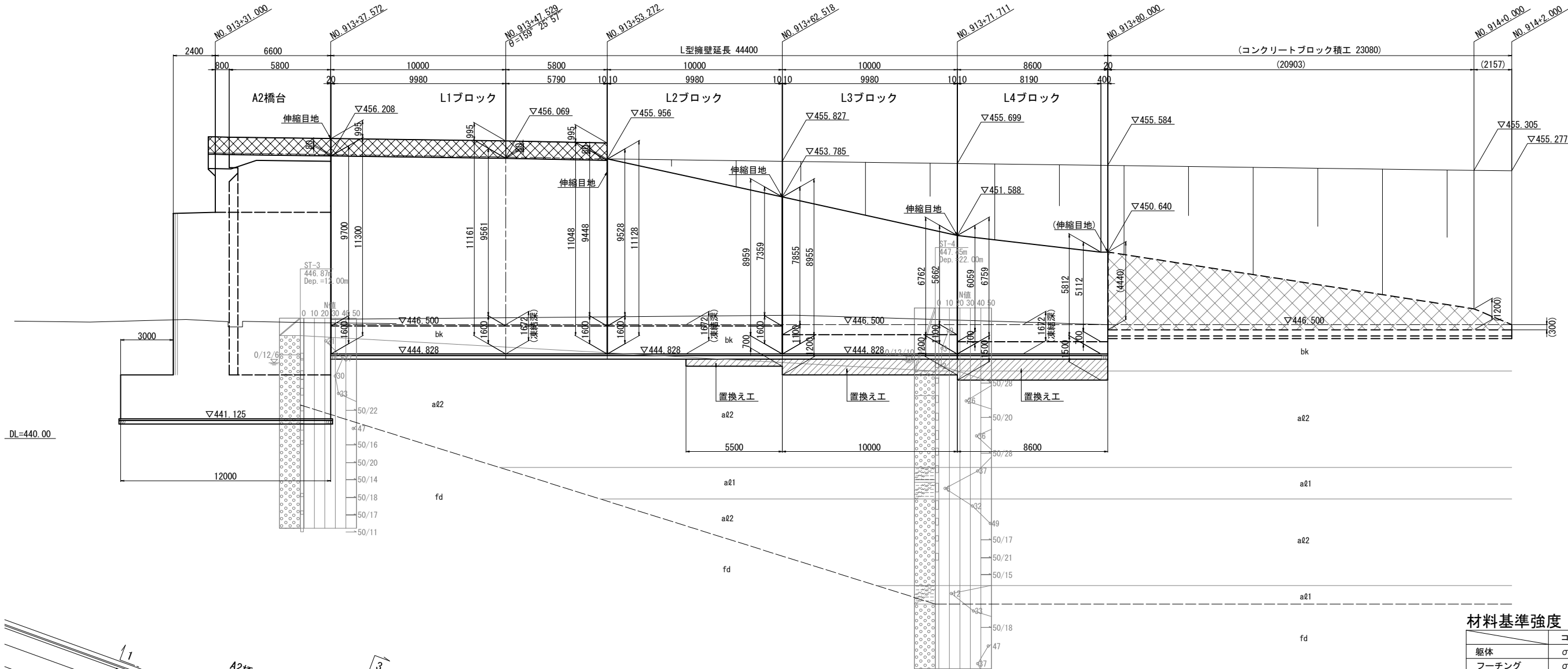


地下排水工詳細図 縮尺 1:25 ※別途工事



道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 1 橋台側U型擁壁裏込め排水工詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

下トナム橋（下り線）A 2 橋台側 L 型擁壁構造一般図（その 1） S = 1:250
たて壁前面展開図 (1-1)

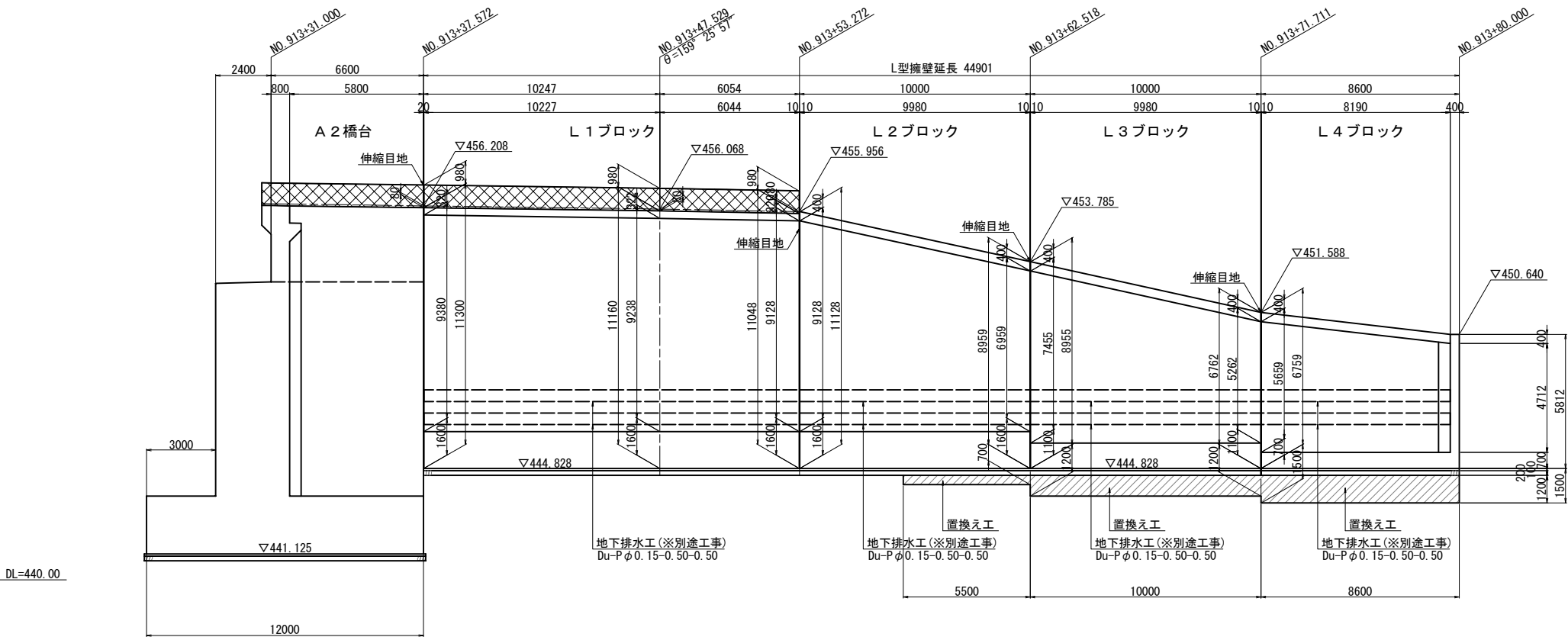


材料基準強度		
	コンクリート	鉄筋
躯体	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
フーチング	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	SD345
壁高欄	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	SD345

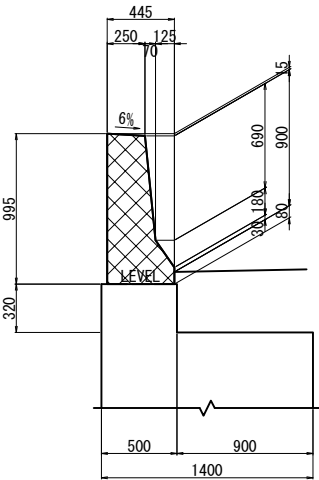
※ハッチング部  は別途工事を示す。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台側 L 型擁壁構造一般図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

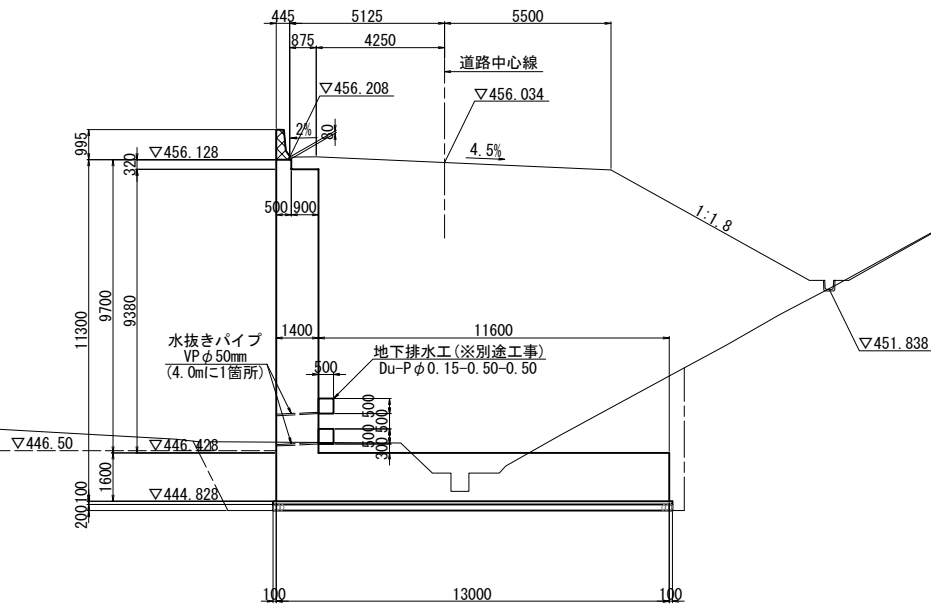
たて壁背面展開図 (2-2)



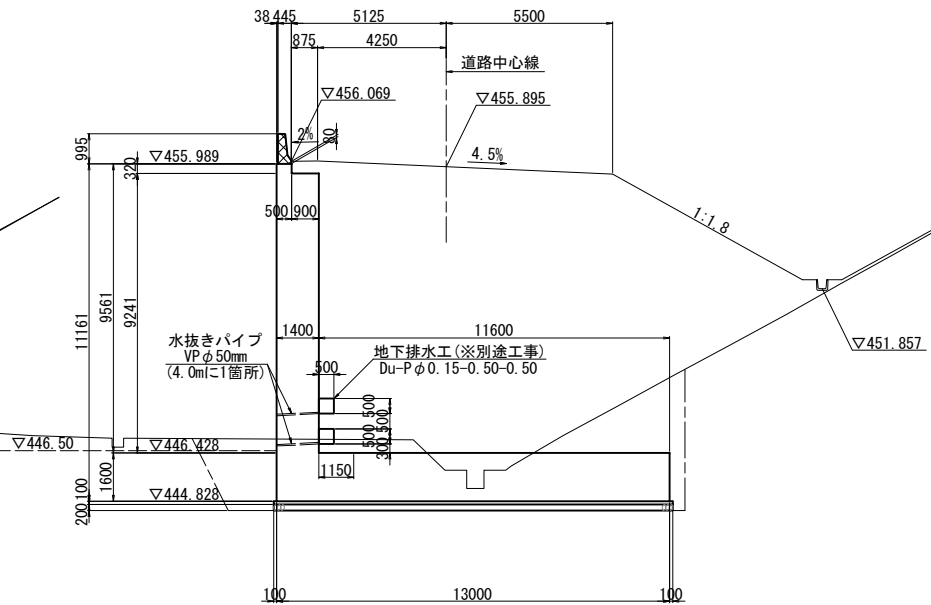
地覆壁高欄詳細図 S = 1:50



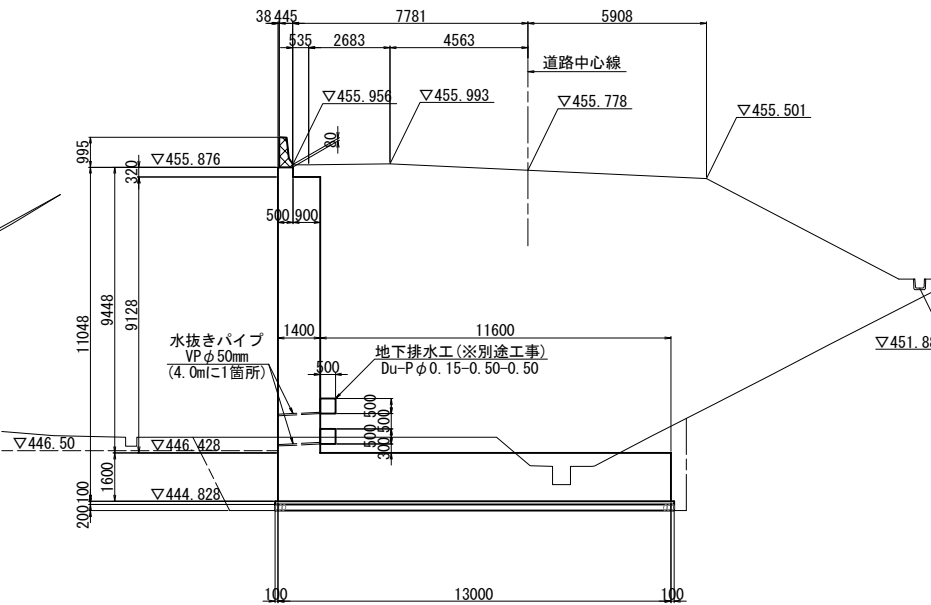
断面図 (3-3)
L 1 ブロック



断面図 (4-4)
L 1 ブロック



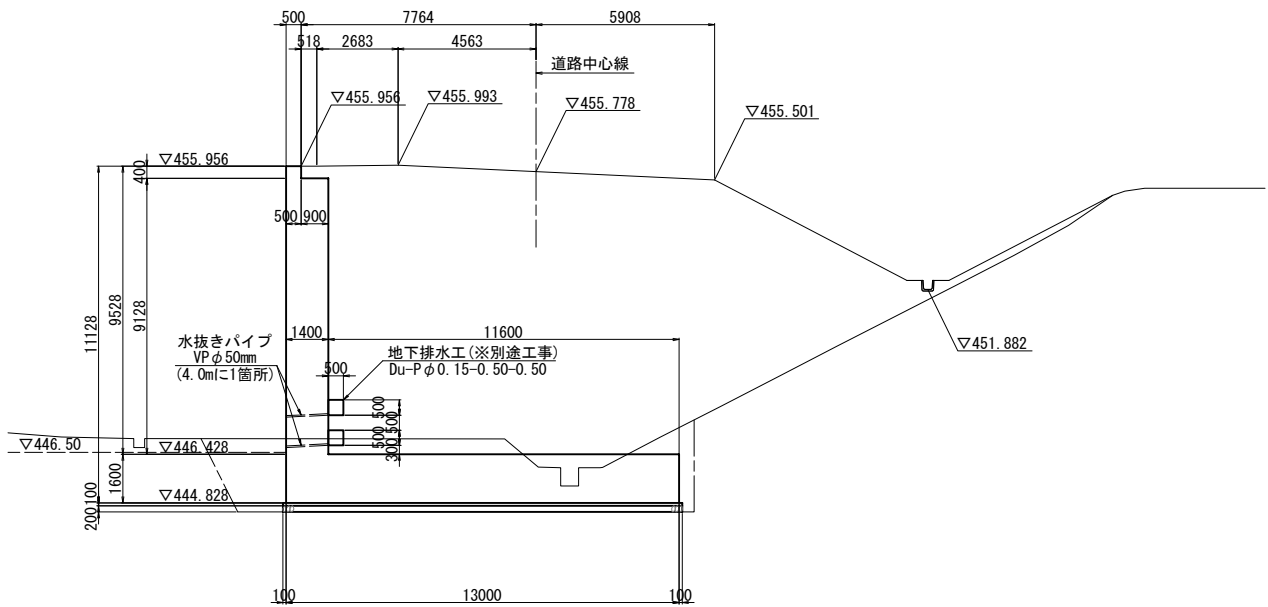
断面図 (5-5)
L 1 ブロック



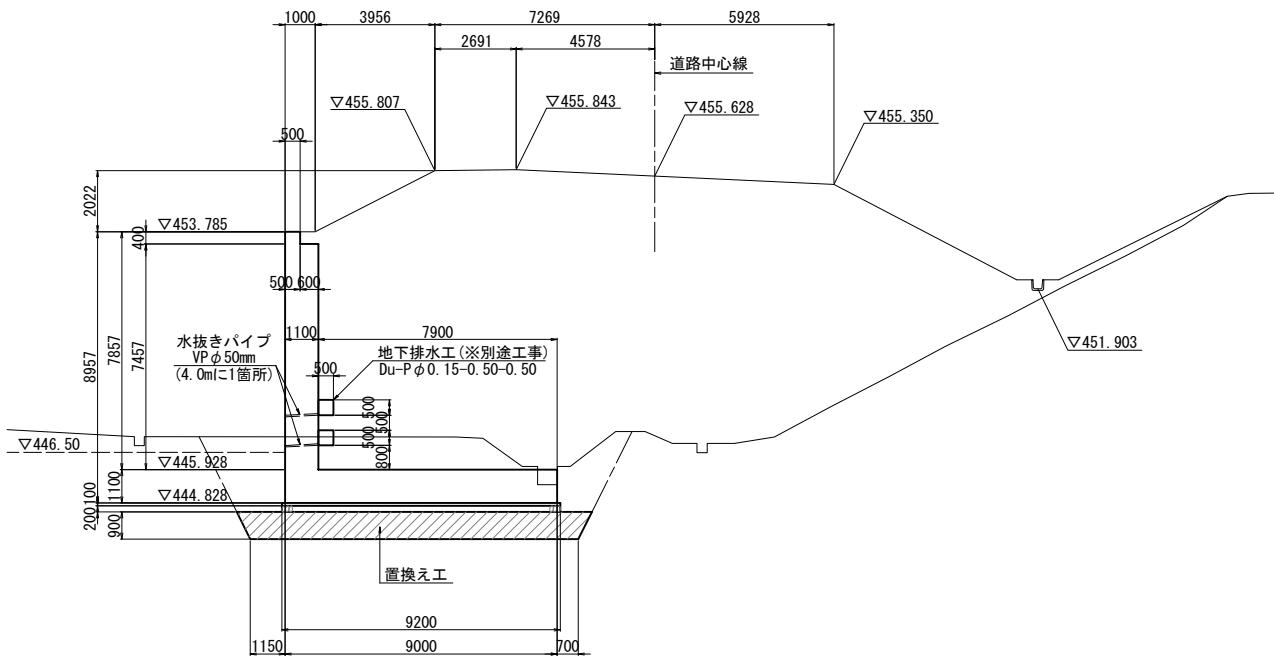
※ハッチング部  は別途工事を示す。

道東自動車道			
下トママ地区下部工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線）		
	A 2 橋台側 L 型擁壁構造一般図（その 2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

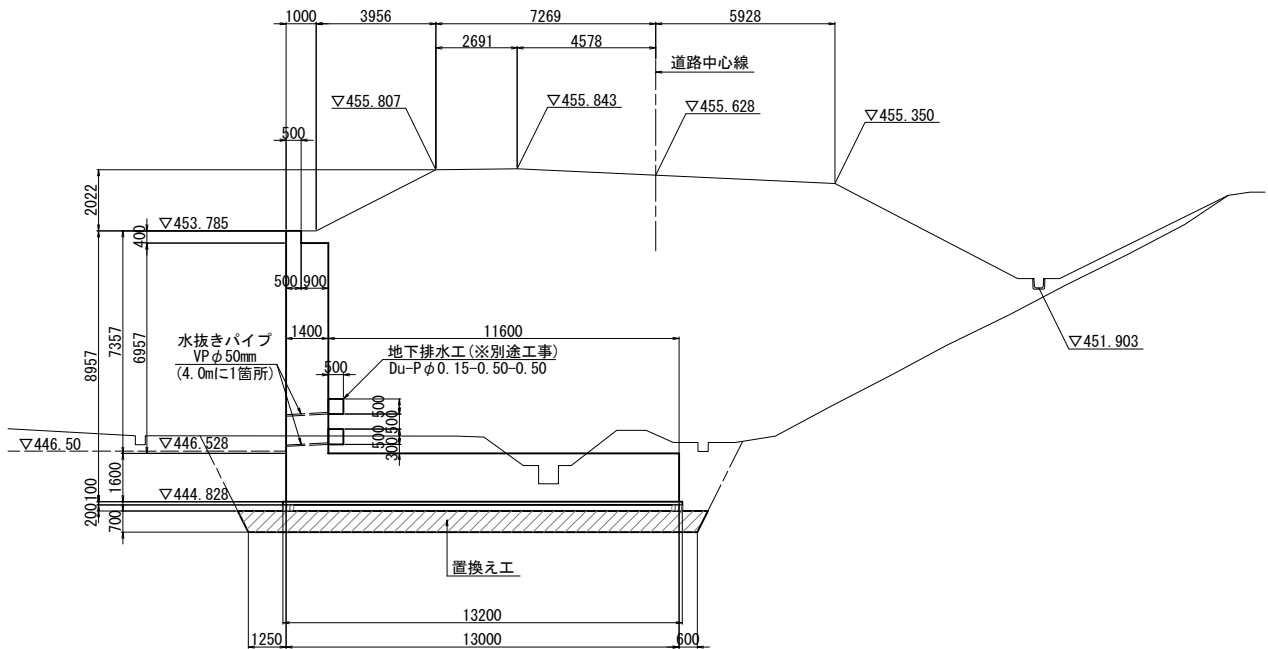
断面図(6-6)
L 2 ブロック



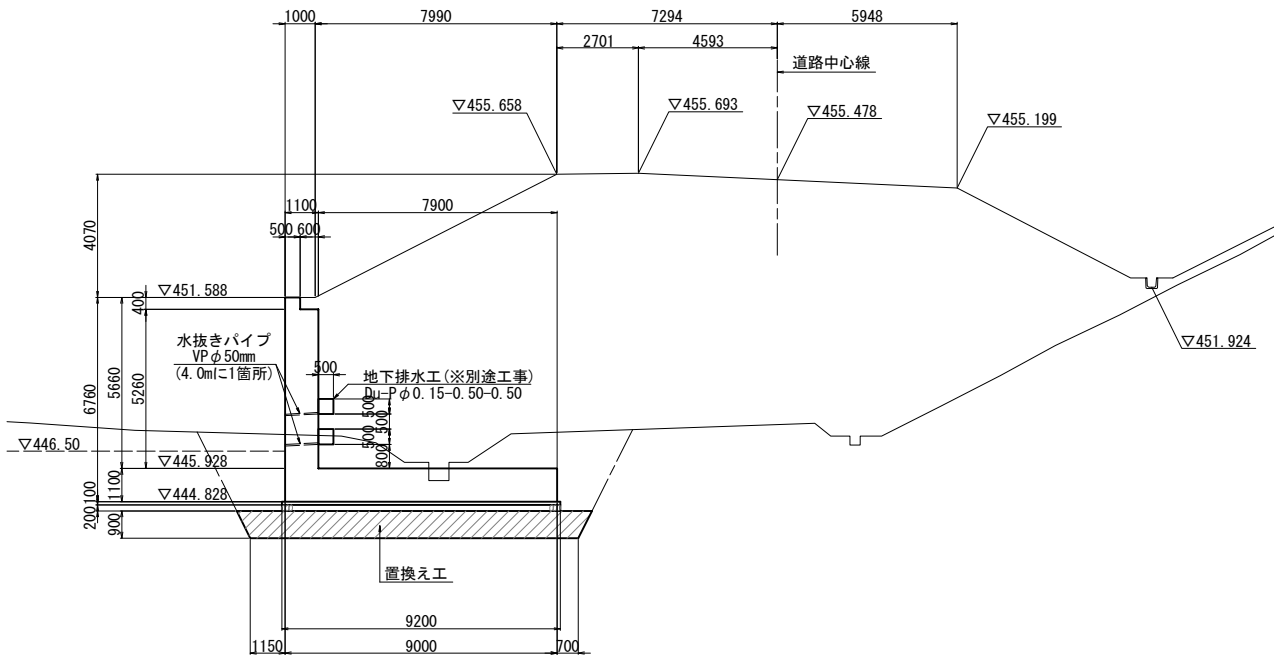
断面図(8-8)
L 3 ブロック



断面図(7-7)
L 2 ブロック

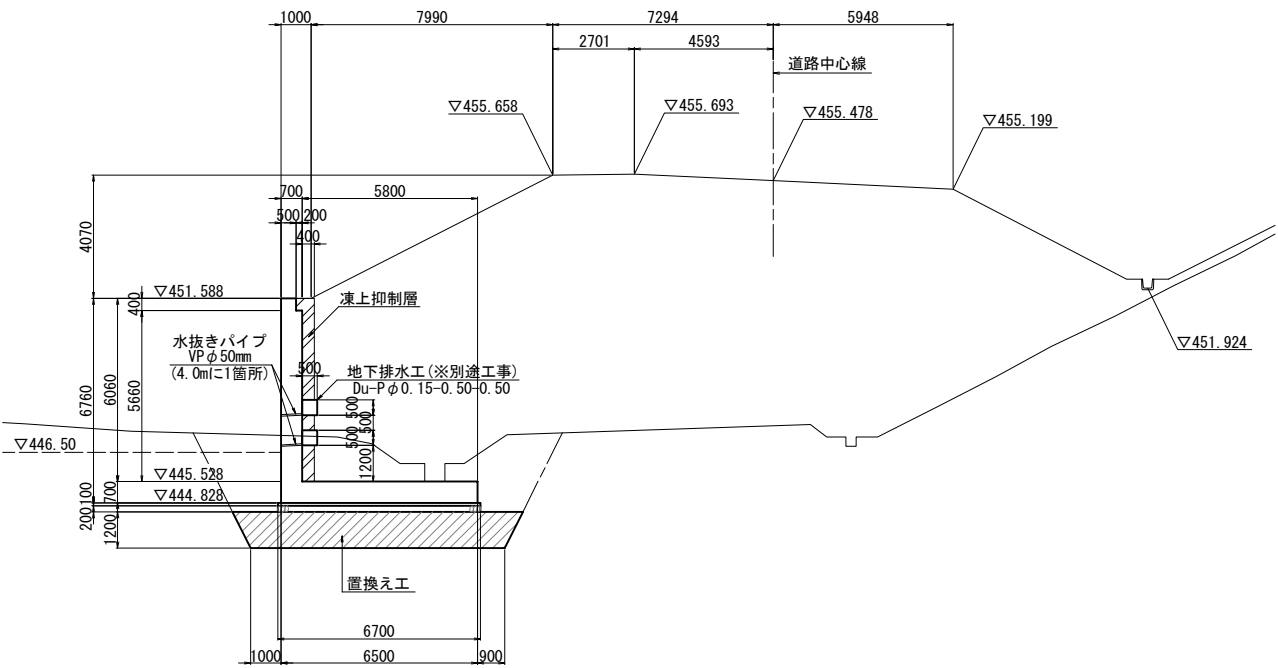


断面図(9-9)
L 3 ブロック

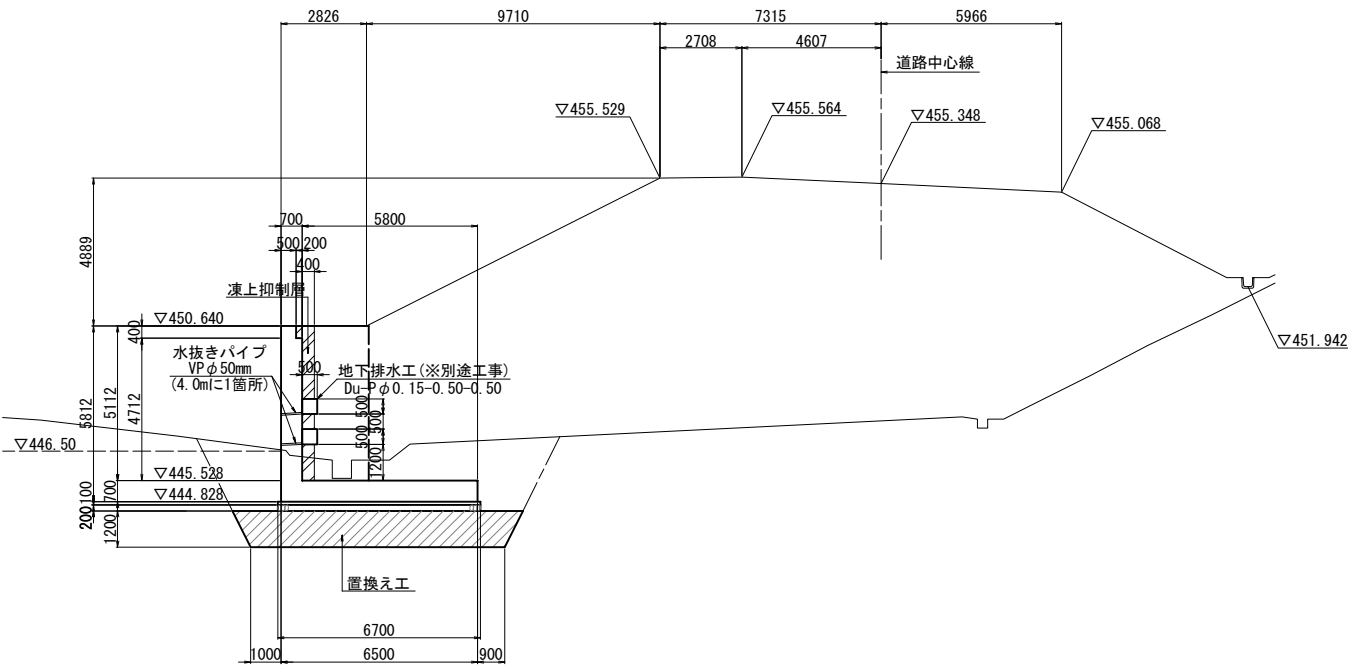


道東自動車道			
下トママ地区下部工工事			
図面の種類	下トママ橋（下り線） A 2 橋台側 L 型擁壁構造一般図（その 3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

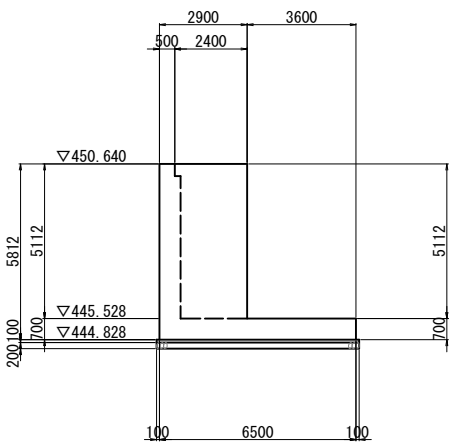
断面図(10-10)
L 4 ブロック



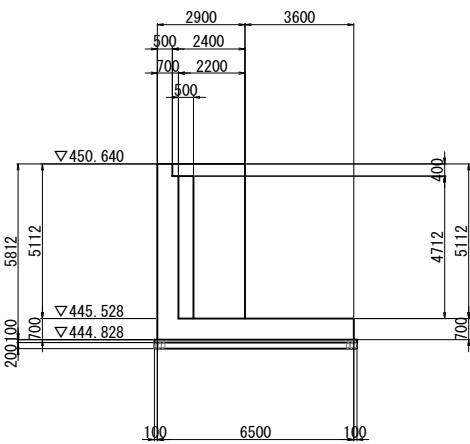
断面図(11-11)
L 4 ブロック



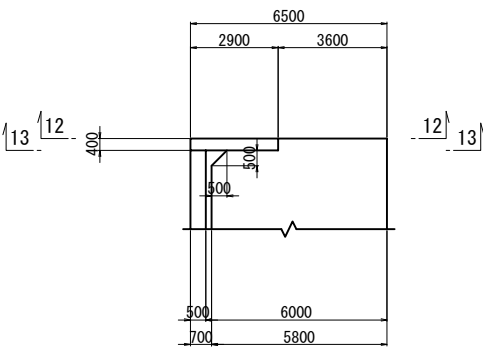
断面図(12-12)
L 4 ブロックウイング部



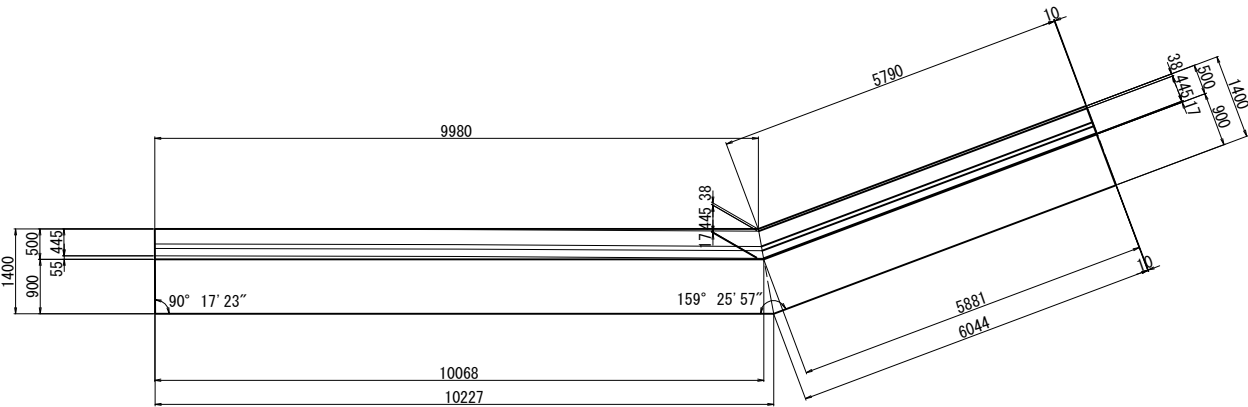
断面図(13-13)



平面図

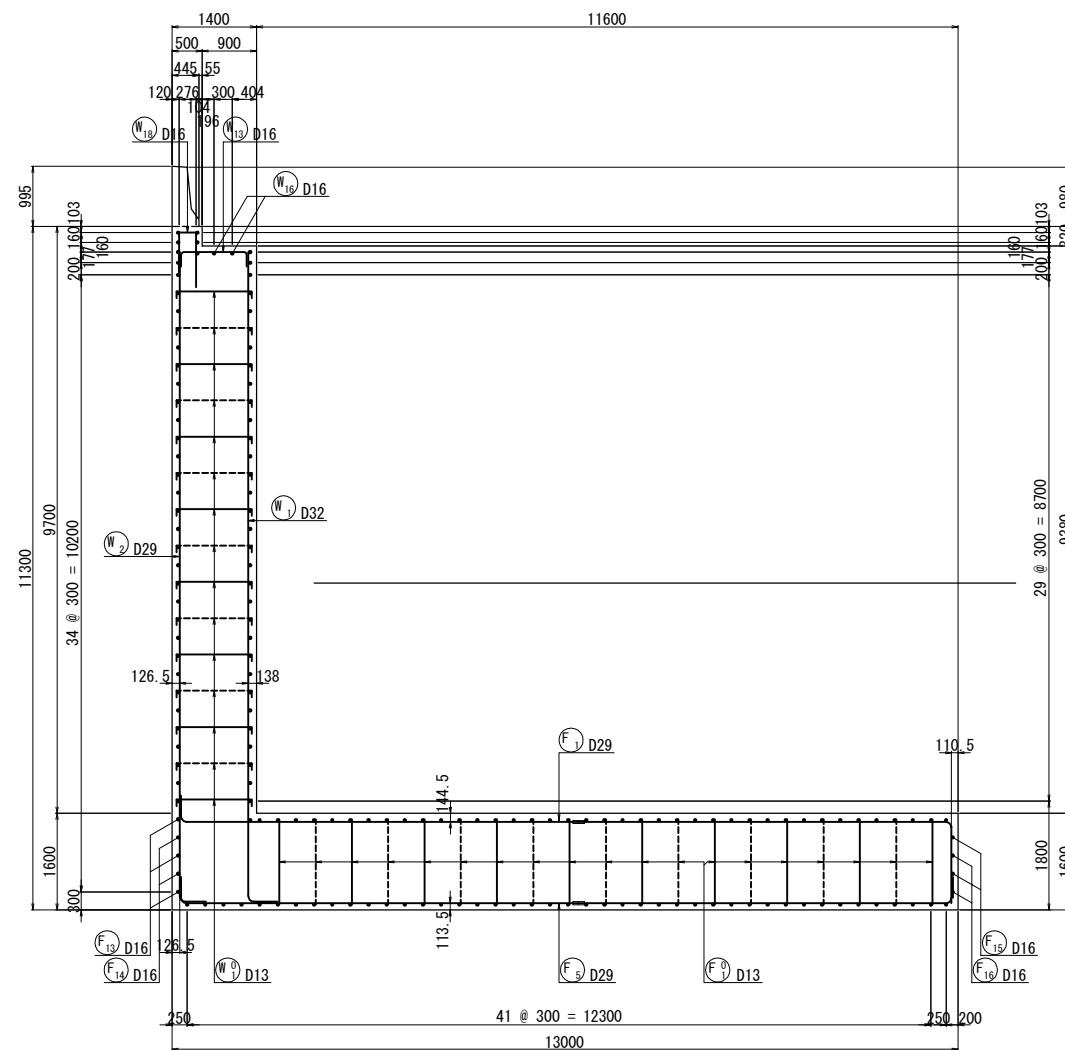


L 1 ブロック地覆壁高欄配置図 S = 1:125

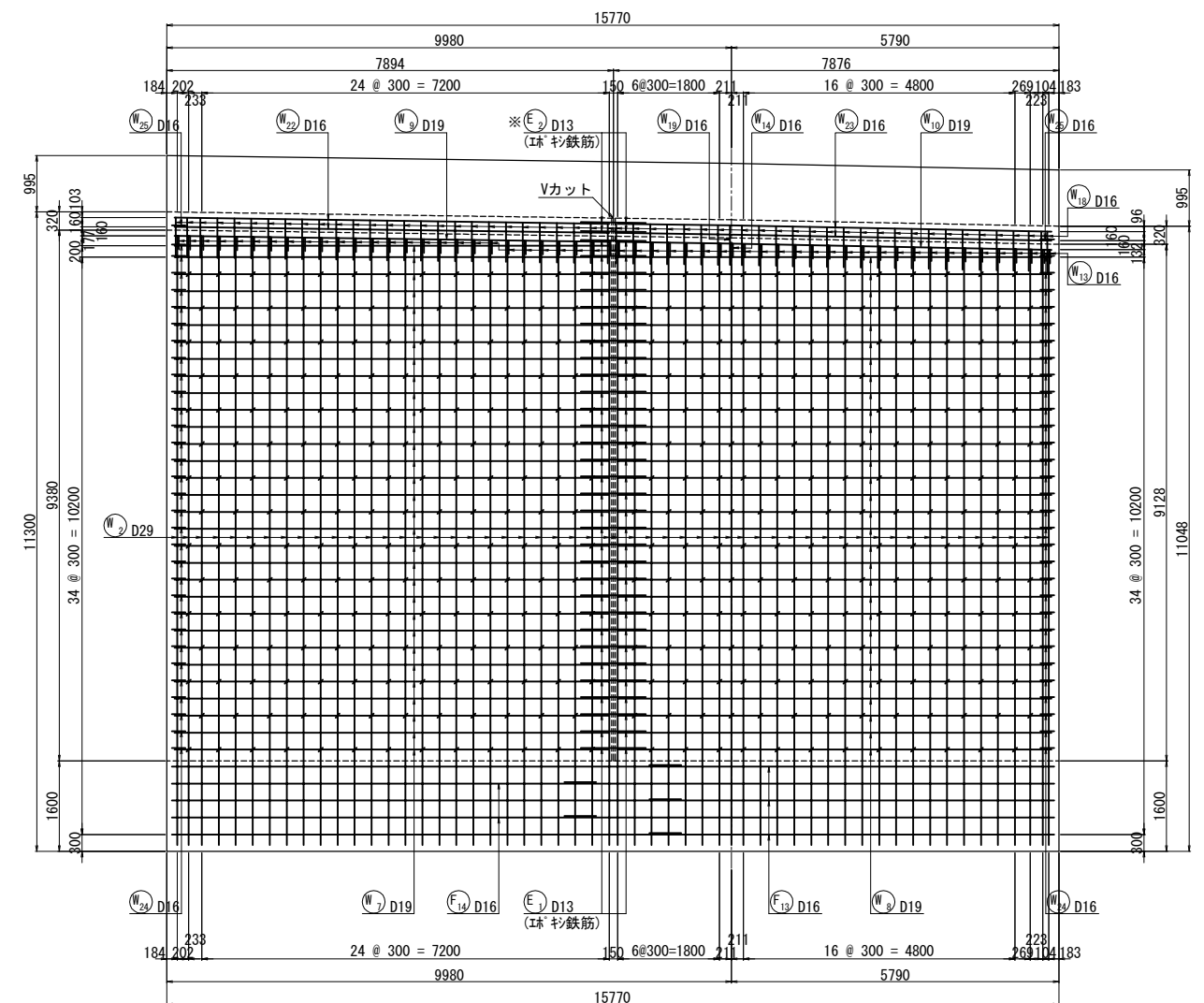


道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線）		
	A 2 橋台側 L 型擁壁構造一般図（その 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

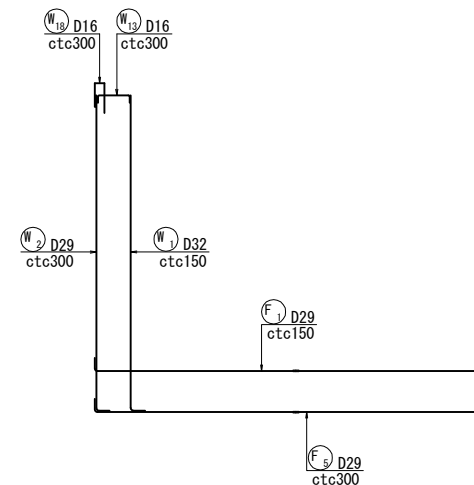
断面図(1-1)



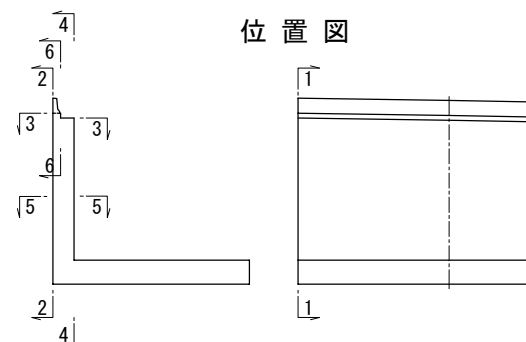
たて壁前面図(2-2)



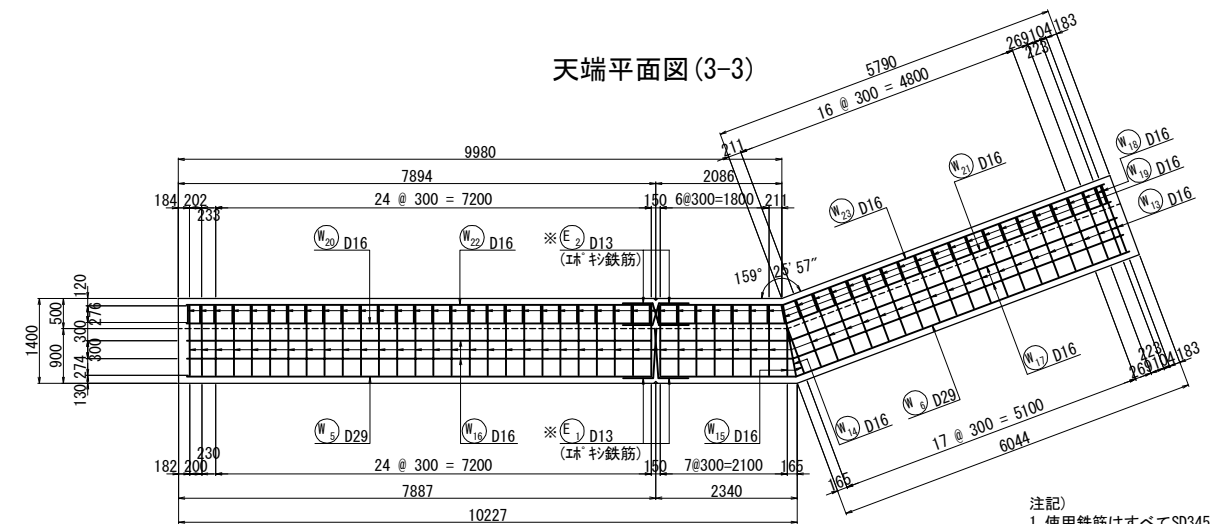
主鉄筋組立て図



位置図



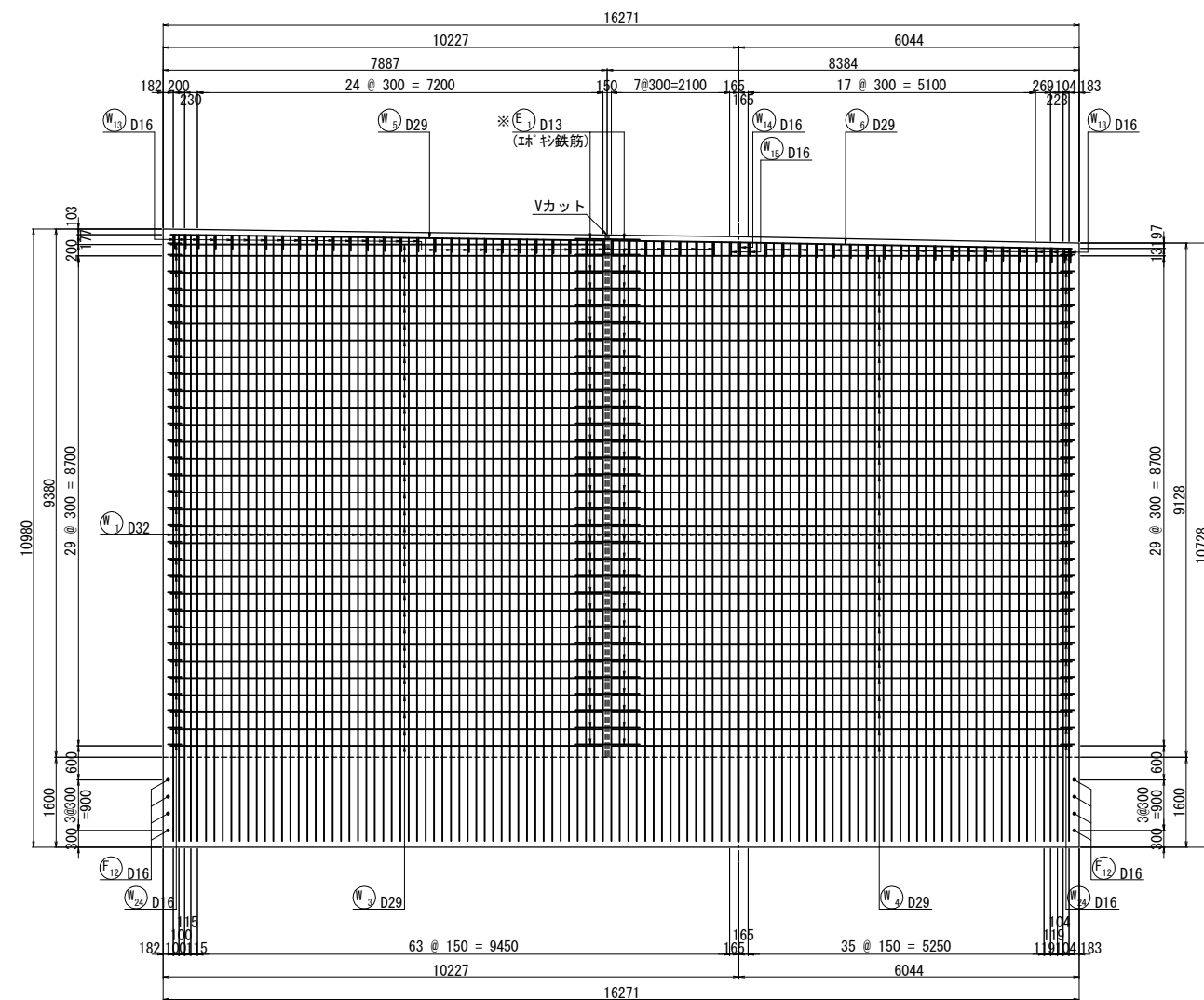
天端平面図(3-3)



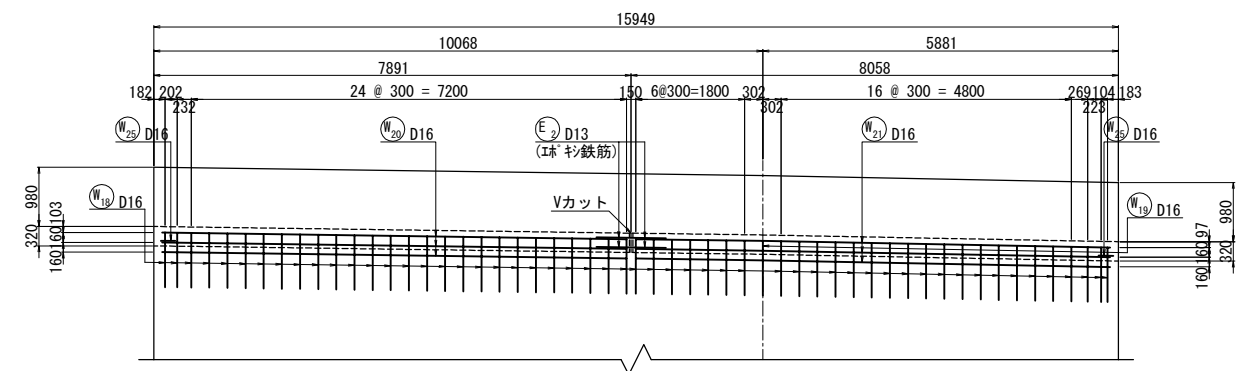
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2橋台側L 1ブロック擁壁配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

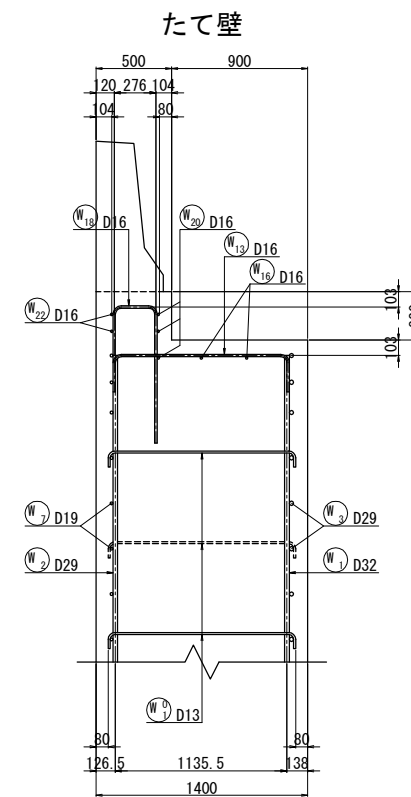
たて壁背面図(4-4)



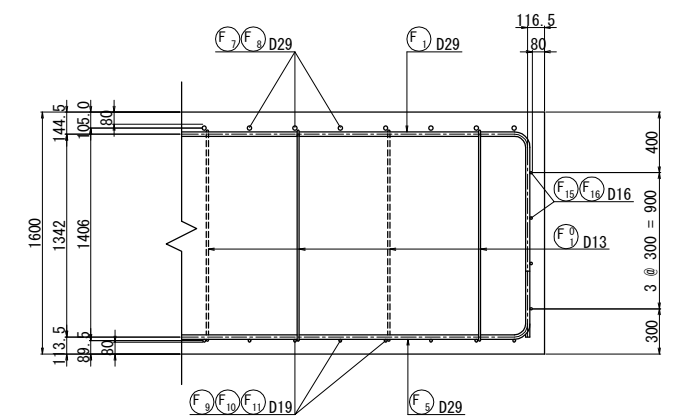
たて壁背面図(6-6)



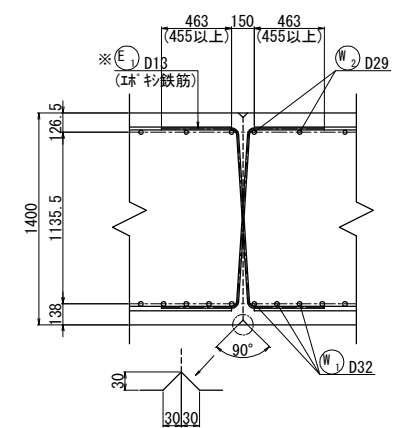
かぶり詳細図 S = 1:50



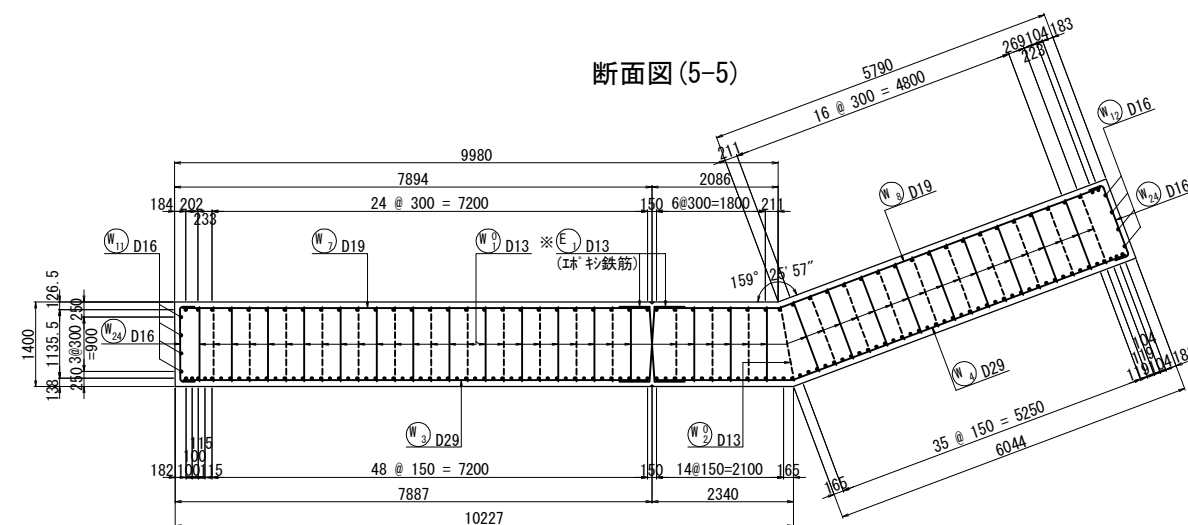
底板



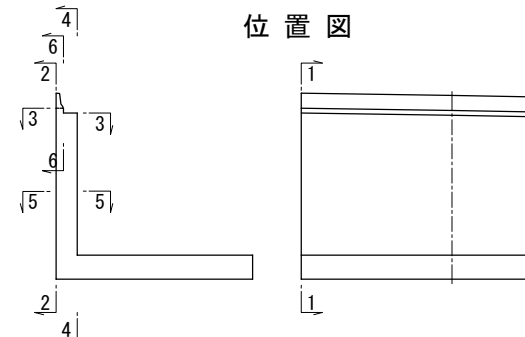
Vカット詳細図 S = 1:50



断面図(5-5)



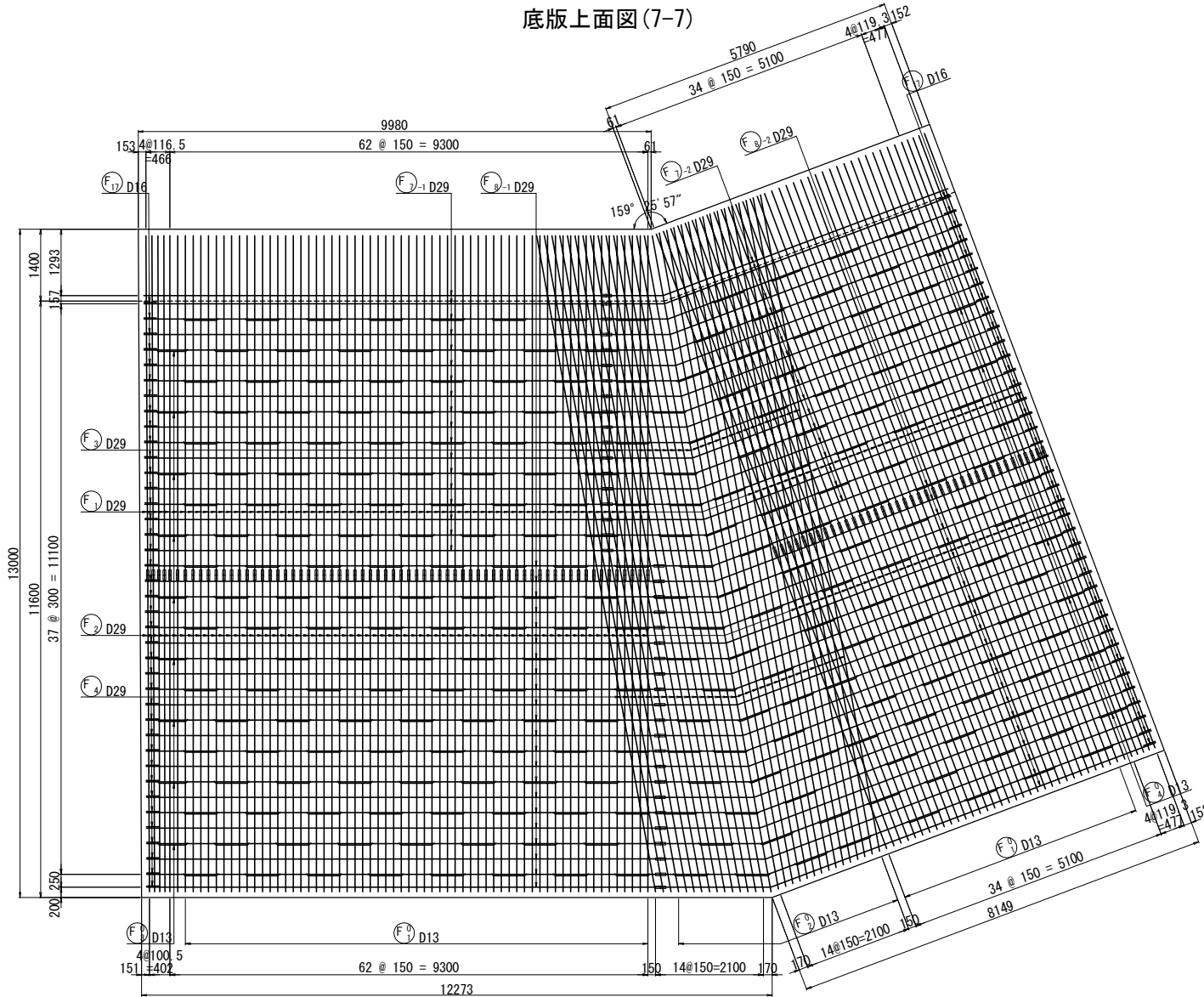
位置図



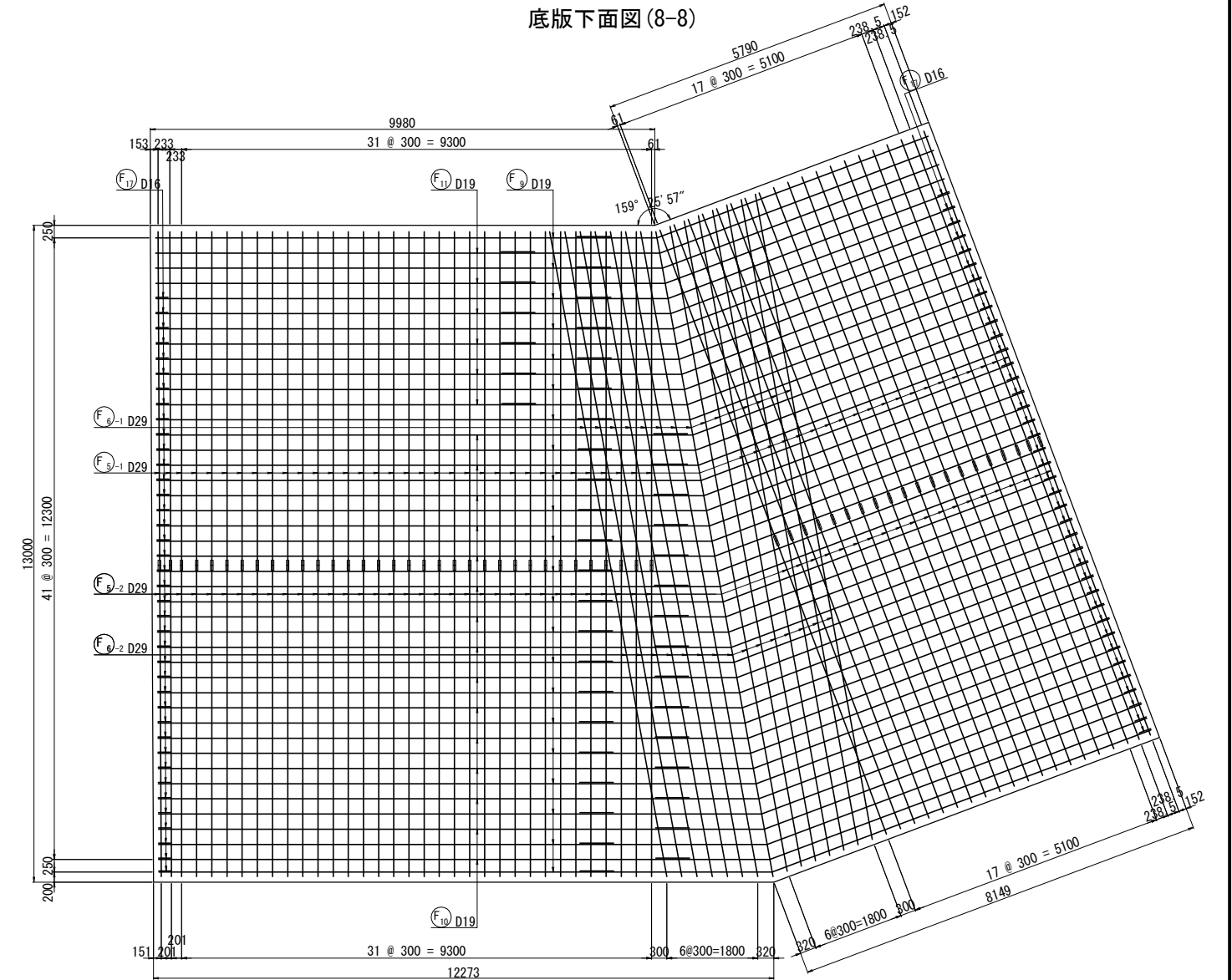
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエボキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2橋台側L 1ブロック擁壁配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

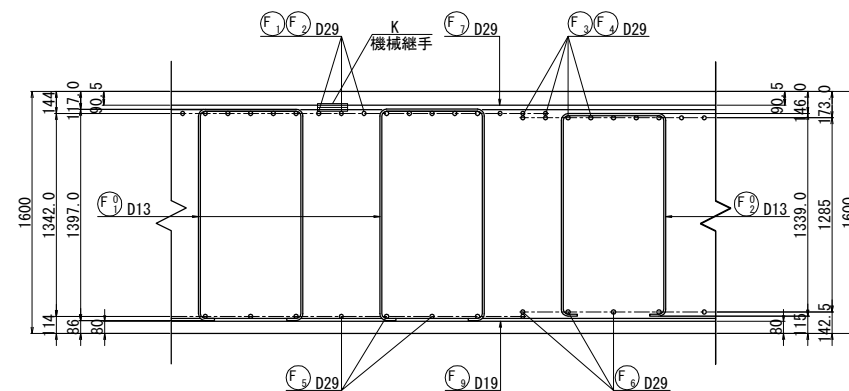
底板上面図(7-7)



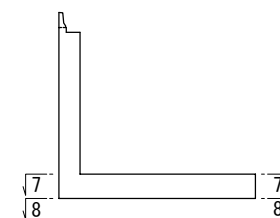
底板下面図(8-8)



かぶり詳細図 S = 1:50

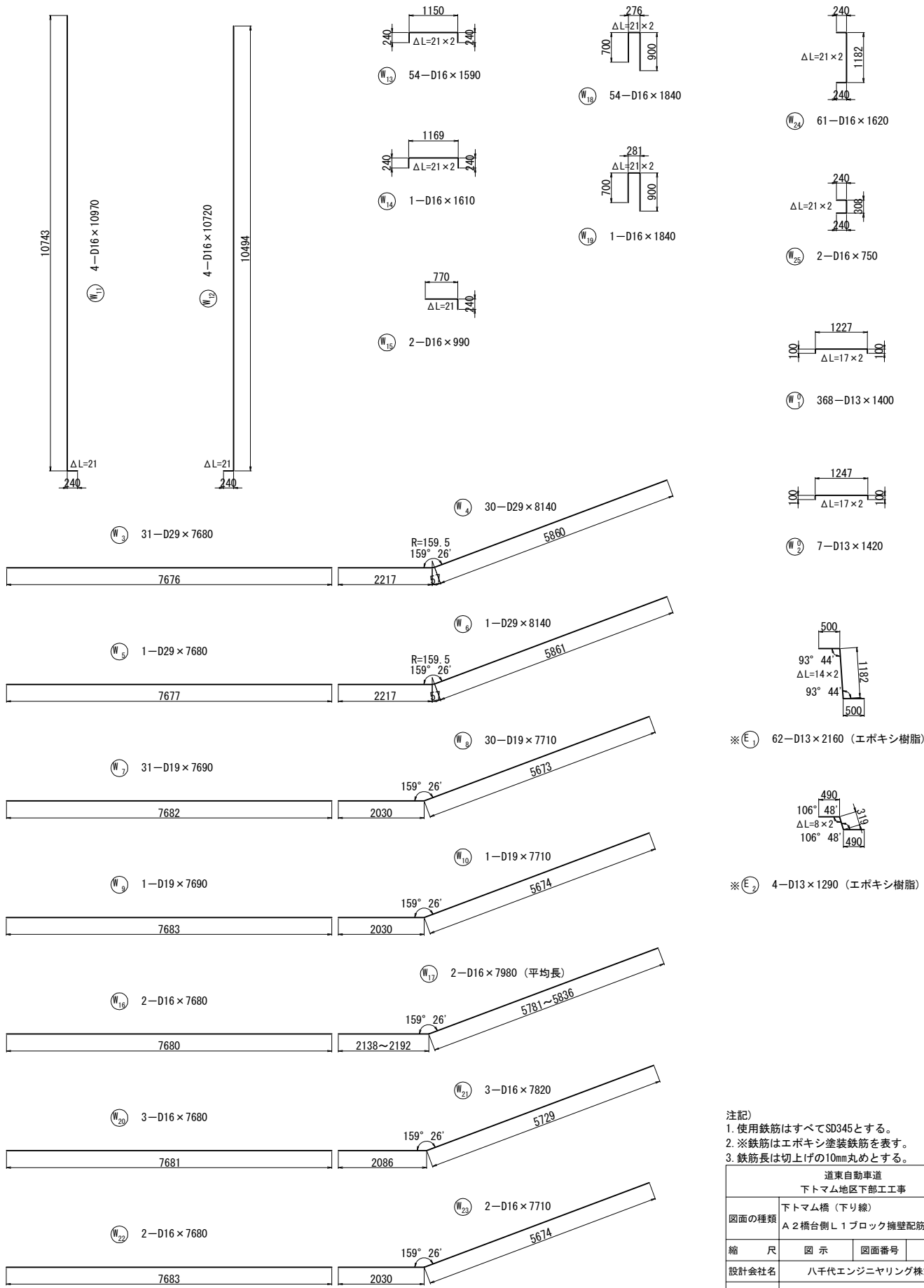
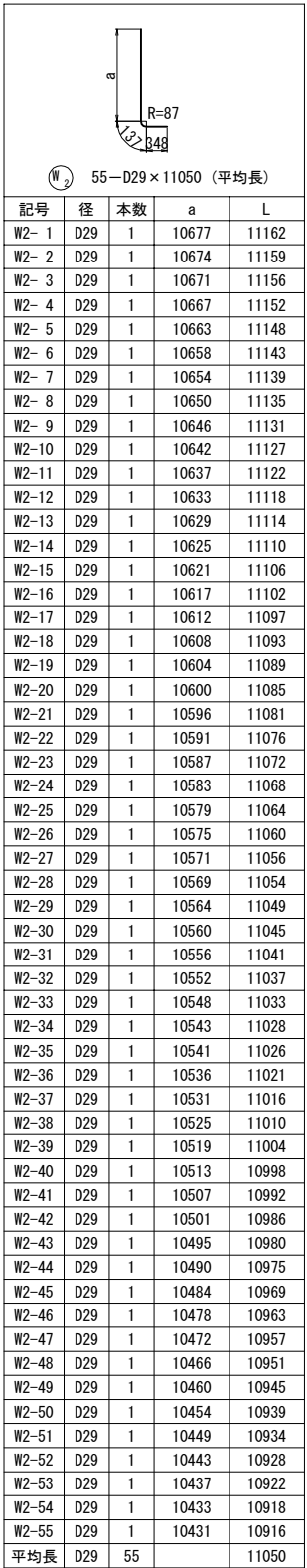
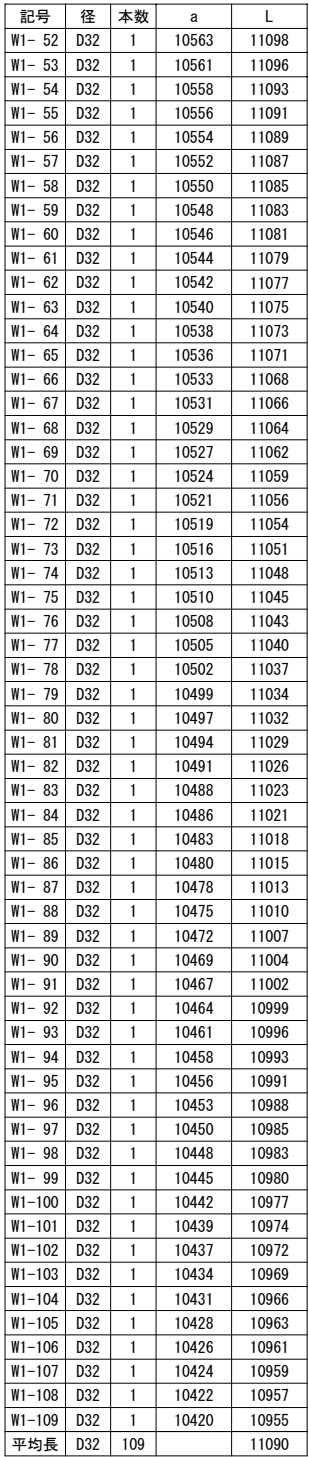
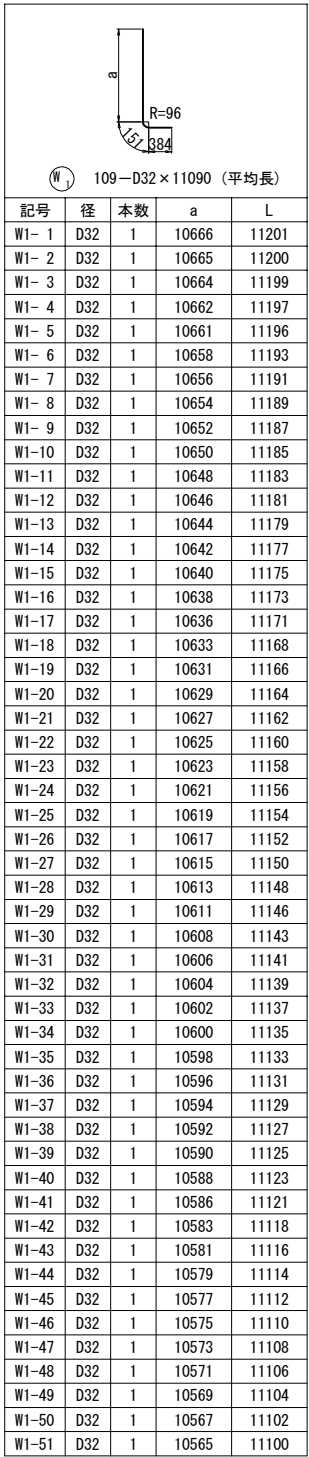


位置図



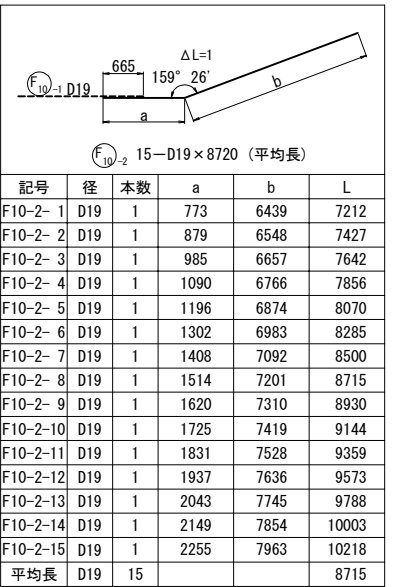
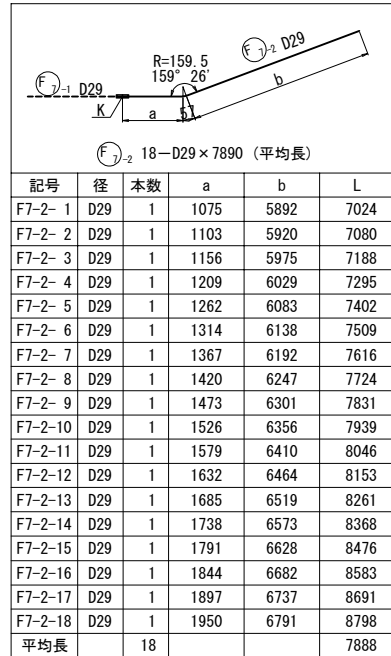
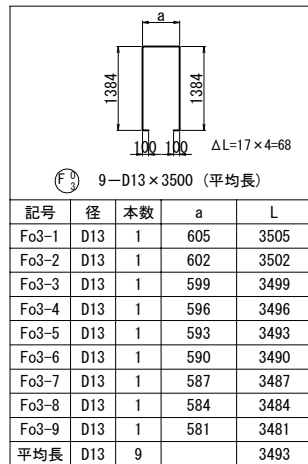
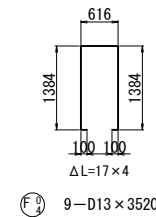
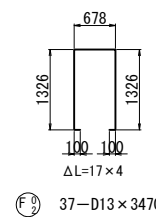
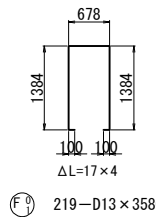
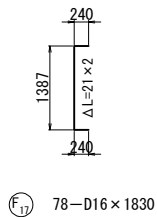
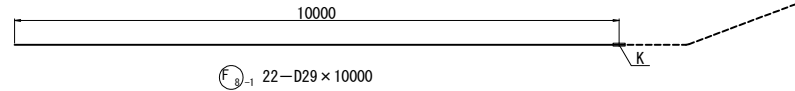
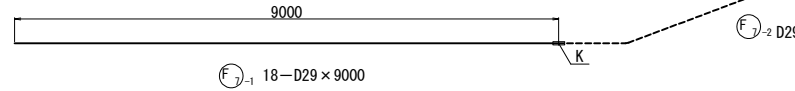
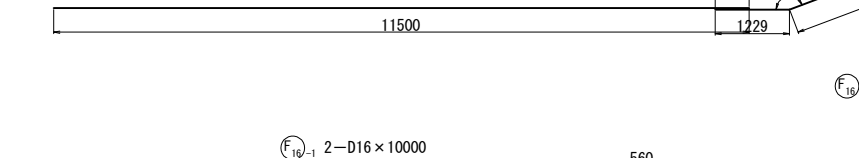
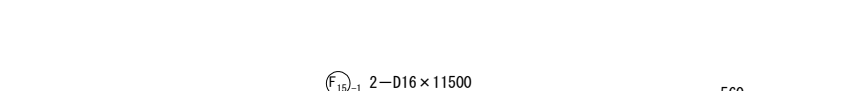
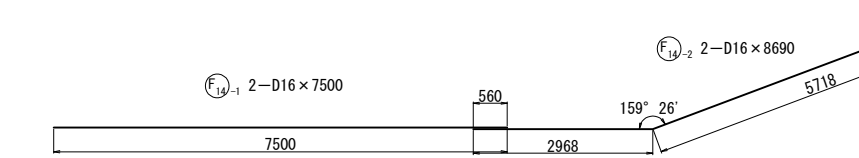
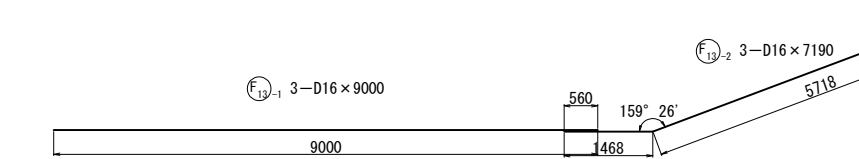
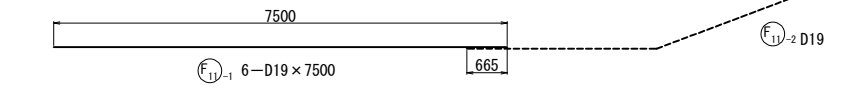
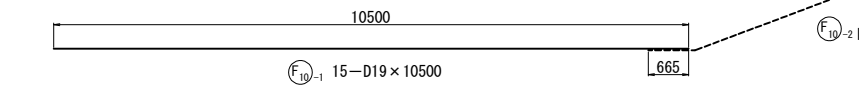
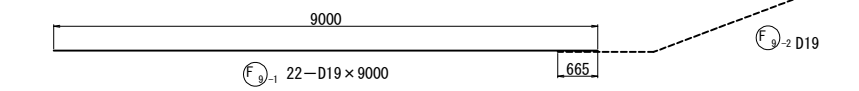
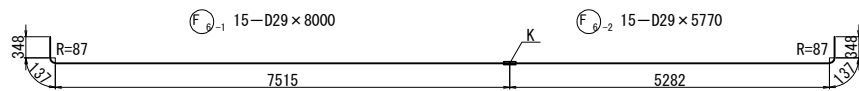
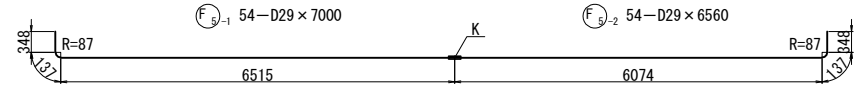
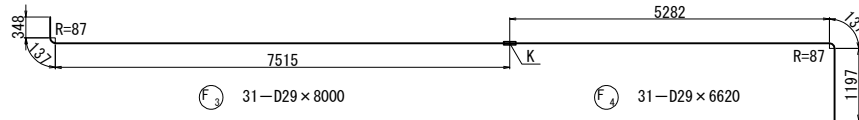
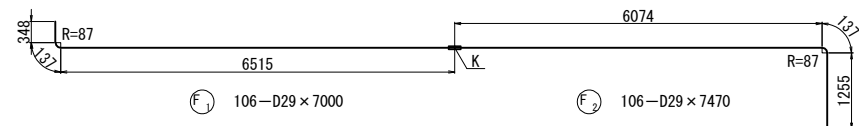
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 1ブロック擁壁配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

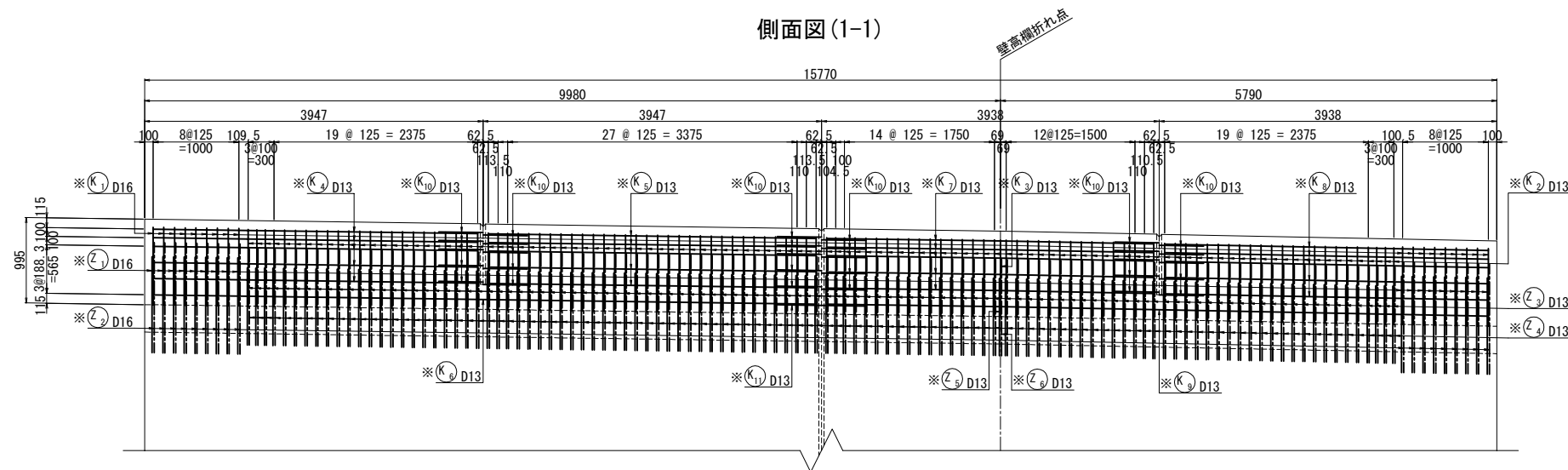
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2 橋台側 L 1 ブロック擁壁配筋図（その 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



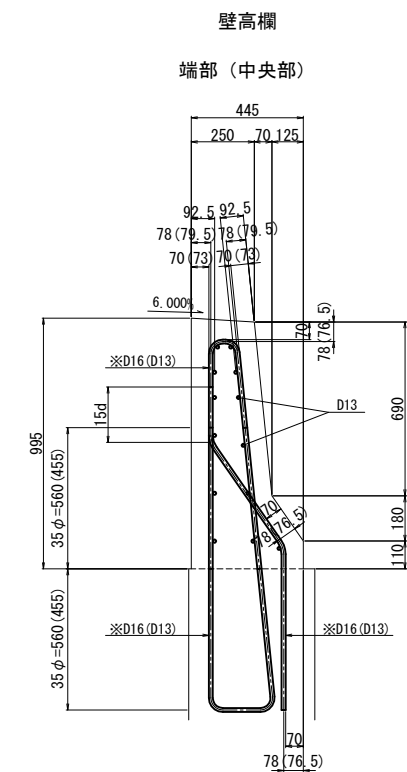
注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道				
下トマム地区下部工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 1ブロック擁壁配筋図（その5）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

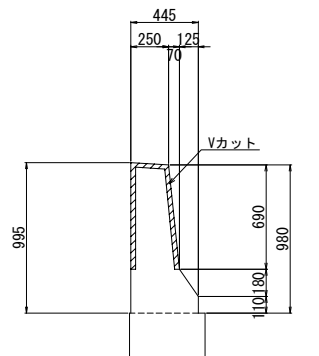
側面図(1-1)



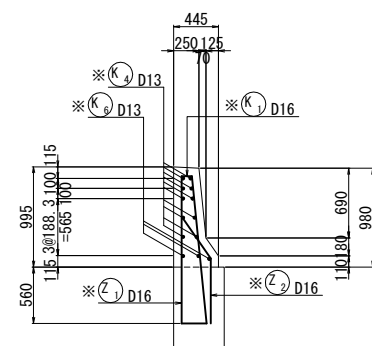
かぶり詳細図 S=1:30



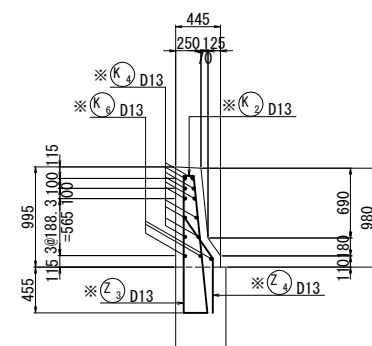
Vカット詳細図 S=1:50



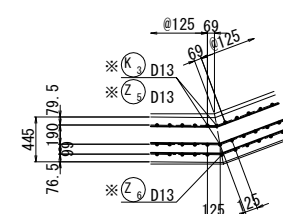
断面図(2-2)



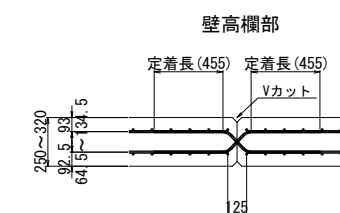
断面図(3-3)



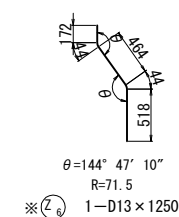
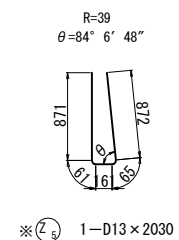
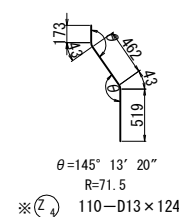
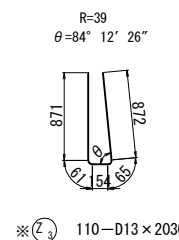
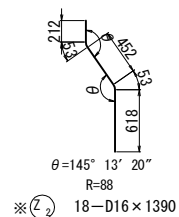
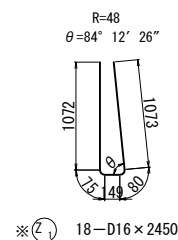
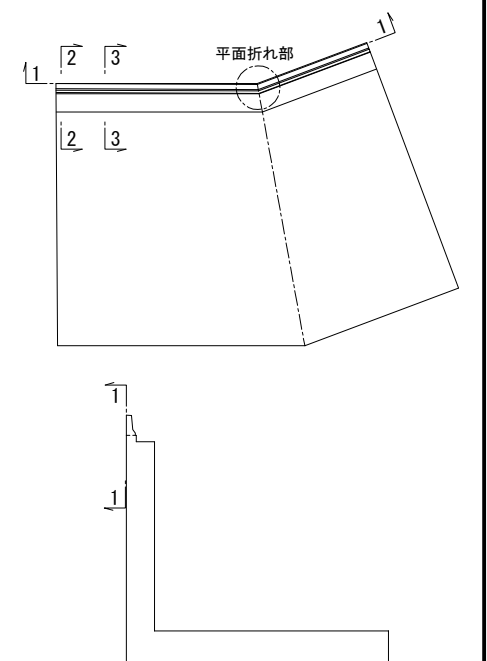
壁高欄折れ部平面図



Vカット詳細図 S=1:50



位置図



別途工事

記号	径	本数	a	b	h	θ	L
1	D13	6	106	39	75	149° 8' 51"	1094
2	"	6	107	43	85	145° 50' 32"	1103
3	"	6	109	47	95	142° 46' 36"	1113
4	"	6	114	53	114	137° 34' 35"	1130
5	"	6	121	59	134	133° 6' 52"	1149
平均	D13	30					1118

別途工事

記号	径	本数	a	b	L
K7- 1	D13	5	2048	1813	3861
K7- 2	D13	1	2061	1826	3887
K7- 3	D13	1	2063	1829	3892
K7- 4	D13	1	2065	1830	3895
K7- 5	D13	1	2068	1834	3902
K7- 6	D13	1	2072	1837	3909
平均長	D13	10			3891

別途工事

記号	径	本数	a	b	L
K9- 1	D13	1	2048	5714	7762
K9- 2	D13	1	2075	5741	7816
K9- 3	D13	1	2093	5761	7854
平均長	D13	3	2072	5739	7811

注記)

1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道	下トナム地区下部工事
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2橋台側L 1ブロック擁壁配筋図（その6）
縮 尺	図 示 図面番号 -
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W1	D32	11090	109	6.23	69.1	7532	└ (平均長)
W2	D29	11050	55	5.04	55.7	3064	└ (平均長)
W3	D29	7680	31	5.04	38.7	1200	└
W4	D29	8140	30	5.04	41.0	1230	└
W5	D29	7680	1	5.04	38.7	39	└
W6	D29	8140	1	5.04	41.0	41	└
W7	D19	7690	31	2.25	17.3	536	└
W8	D19	7710	30	2.25	17.3	519	└
W9	D19	7690	1	2.25	17.3	17	└
W10	D19	7710	1	2.25	17.3	17	└
W11	D16	10970	4	1.56	17.1	68	└
W12	D16	10720	4	1.56	16.7	67	└
W13	D16	1590	54	1.56	2.48	134	└
W14	D16	1610	1	1.56	2.51	3	└
W15	D16	990	2	1.56	1.54	3	└
W16	D16	7680	2	1.56	12.0	24	└
W17	D16	7980	2	1.56	12.4	25	└ (平均長)
W18	D16	1840	54	1.56	2.87	155	└
W19	D16	1840	1	1.56	2.87	3	└
W20	D16	7680	3	1.56	12.0	36	└
W21	D16	7820	3	1.56	12.2	37	└
W22	D16	7680	2	1.56	12.0	24	└
W23	D16	7710	2	1.56	12.0	24	└
W24	D16	1620	61	1.56	2.53	154	└
W25	D16	750	2	1.56	1.17	2	└
W01	D13	1400	368	0.995	1.39	512	└
W02	D13	1420	7	0.995	1.41	10	└
小計							15476 kg
※E1	D13	2160	62	0.995	2.15	133	└
※E2	D13	1290	4	0.995	1.28	5	└
小計							138 kg
F1	D29	7000	106	5.04	35.3	3472	└ (B)
F2	D29	7470	106	5.04	37.6	3986	└ (106) (B)
F3	D29	8000	31	5.04	40.3	1249	└ (B)
F4	D29	6620	31	5.04	33.4	1035	└ (31) (B)
F5-1	D29	7000	54	5.04	35.3	1906	└ (B)
F5-2	D29	6560	54	5.04	33.1	1787	└ (54) (B)
F6-1	D29	8000	15	5.04	40.3	605	└ (B)
F6-2	D29	5770	15	5.04	29.1	437	└ (15) (B)
F7-1	D29	9000	18	5.04	45.4	817	└ (B)
F7-2	D29	7890	18	5.04	39.8	716	└ (平均長) (18) (B)
F8-1	D29	10000	22	5.04	50.4	1109	└ (B)
F8-2	D29	9040	22	5.04	45.6	1003	└ (平均長) (22) (B)
F9-1	D19	9000	22	2.25	20.3	447	└
F9-2	D19	9570	22	2.25	21.5	473	└ (平均長)
F10-1	D19	10500	15	2.25	23.6	354	└
F10-2	D19	8720	15	2.25	19.6	294	└ (平均長)
F11-1	D19	7500	6	2.25	16.9	101	└
F11-2	D19	9460	6	2.25	21.3	128	└ (平均長)

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
F12-1	D16	8000	8	1.56	12.5	100	└
F12-2	D16	5830	8	1.56	9.09	73	└
F13-1	D16	9000	3	1.56	14.0	42	└
F13-2	D16	7190	3	1.56	11.2	34	└
F14-1	D16	7500	2	1.56	11.7	23	└
F14-2	D16	8690	2	1.56	13.6	27	└
F15-1	D16	11500	2	1.56	17.9	36	└
F15-2	D16	9280	2	1.56	14.5	29	└
F16-1	D16	10000	2	1.56	15.6	31	└
F16-2	D16	10780	2	1.56	16.8	34	└
F17	D16	1830	78	1.56	2.85	222	[
F01	D13	3580	219	0.995	3.56	780	□
F02	D13	3470	37	0.995	3.45	128	□
F03	D13	3500	9	0.995	3.48	31	□
F04	D13	3520	9	0.995	3.50	32	□ (平均長)
小計						21811 kg	(246)
Z1	D16	2450	18	1.56	3.82	69	└
Z2	D16	1390	18	1.56	2.17	39	└
Z3	D13	2030	110	0.995	2.02	222	└
Z4	D13	1240	110	0.995	1.23	135	└
Z5	D13	2030	1	0.995	2.02	2	└
Z6	D13	1250	1	0.995	1.24	1	└
小計						468 kg	
鉄筋質量合計 (SD345)							
鉄筋 (A)				鉄筋 (B)		合計	
D32				7532		7532 kg	
D29				5574		18392 (246)	
D19				2886		2886 kg	
D16				1410		1410 kg	
D13				1493		1493 kg	
合計				18895		18392 (246)	
鉄筋質量合計 (SD345)							
エポキシ鉄筋							
D16				108 kg			
D13				498 kg			
合計				606 kg			

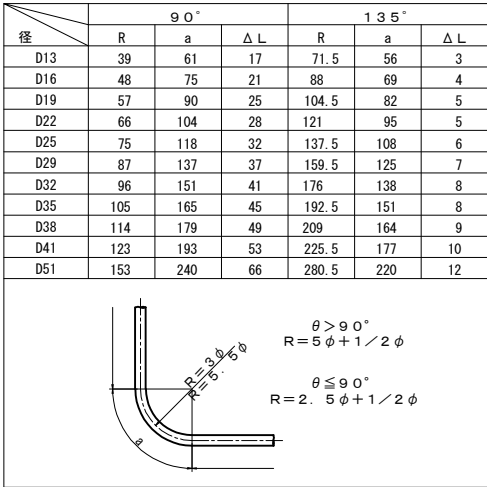
注1) ※印は、エポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
注2) () 内は、機械継手箇所数を示す。

鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)	合 計 (Kg)
A	D13	D13	1 493
		D16	1 410
	D25	D19	2 886
		D22	-----
		D25	-----
		D29	5 574
	D32	D32	7 532
		合計	13 106
	合計		18 895
B	D16	D16	-----
		D19	-----
	D25	D22	-----
		D25	-----
		D29	18 392
		D32	-----
	D32	D32	-----
		合計	18 392
	合計		18 392
A (E)	D13	D13	498
		D16	108
	D25	D19	-----
		D22	-----
		D25	-----
		D29	-----
	D32	D32	246
		合計	246
	合計		246
機械継手	箇所数	D16	-----
		D19	-----
		D22	-----
		D25	-----
		D29	246
		D32	-----
	合計		246
	合計		246

鉄筋加工寸法表

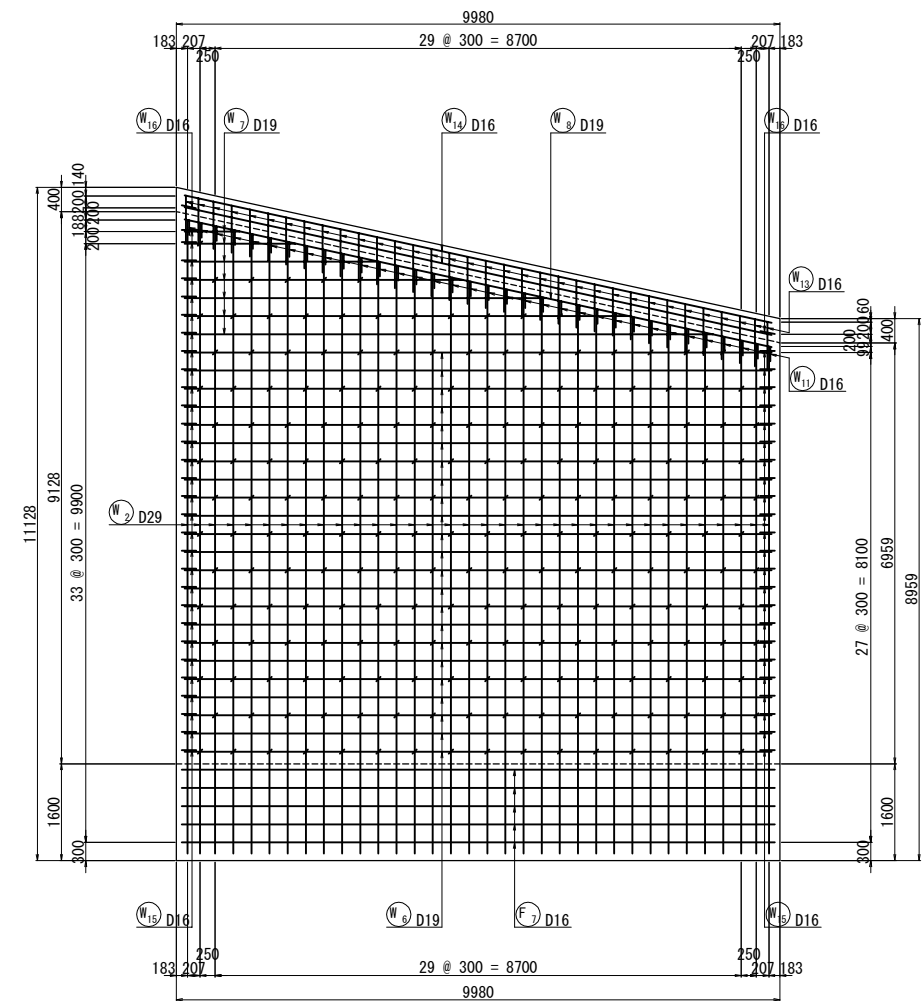
曲げ加工時の減長



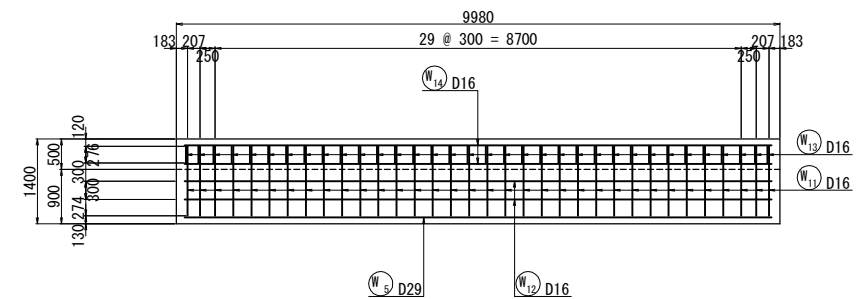
注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2 橋台側 L 1 ブロック擁壁配筋図（その 7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

たて壁前面図(2-2)

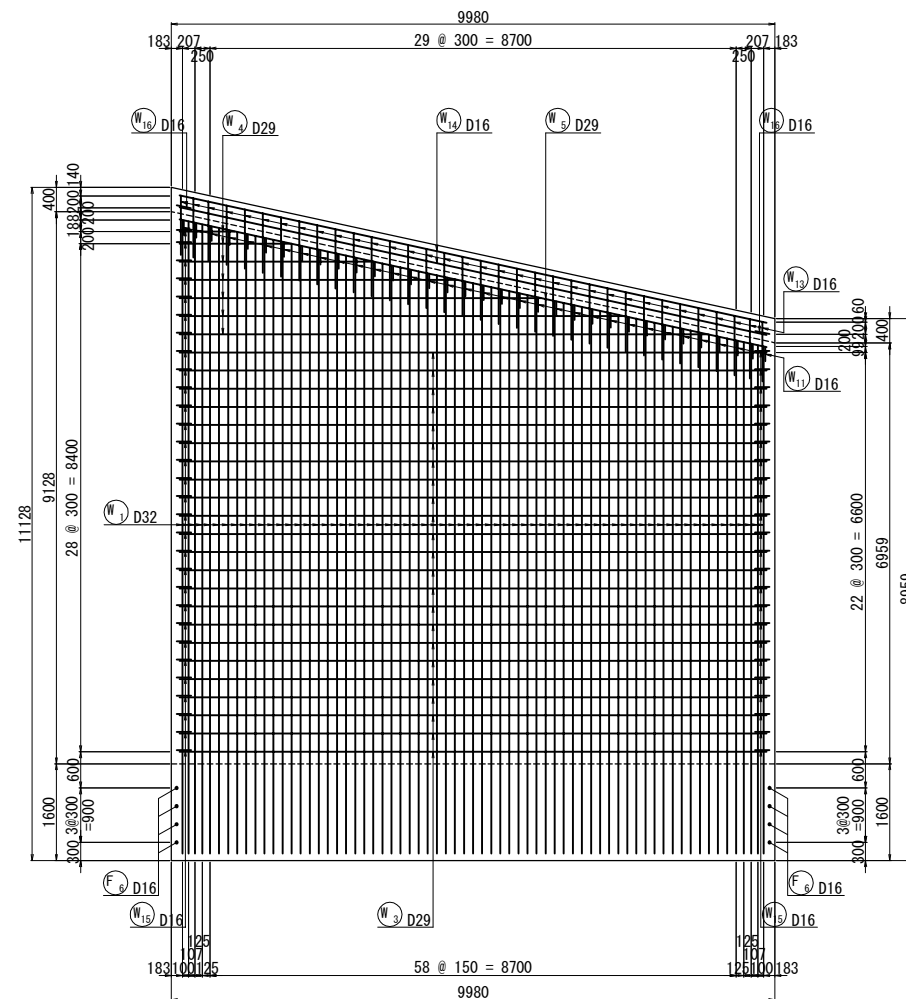


主鉄筋組立て図

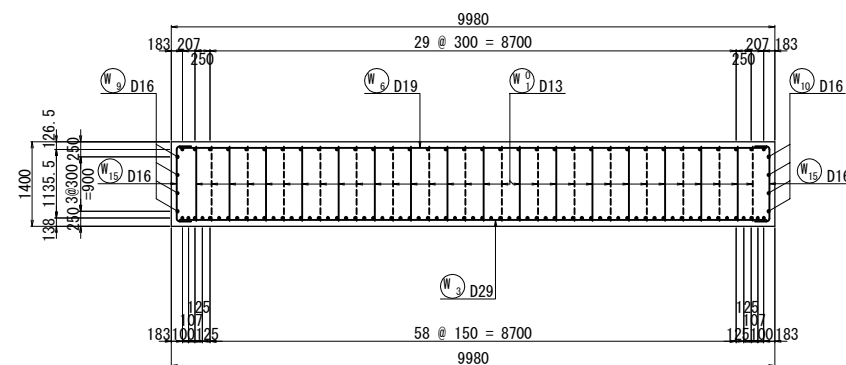


道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側・L2ブロック橋壁設け図面（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

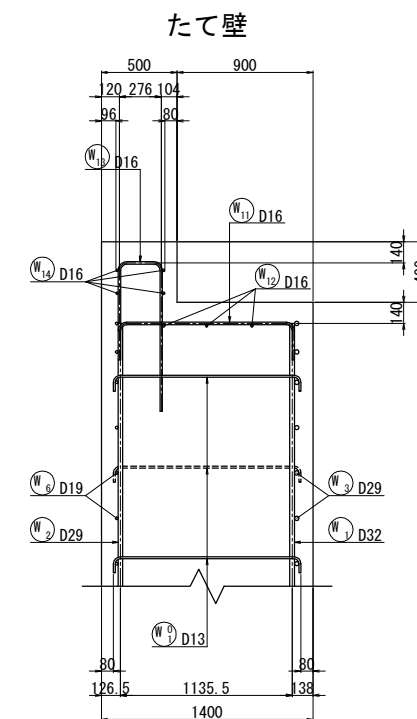
たて壁背面図 (4-4)



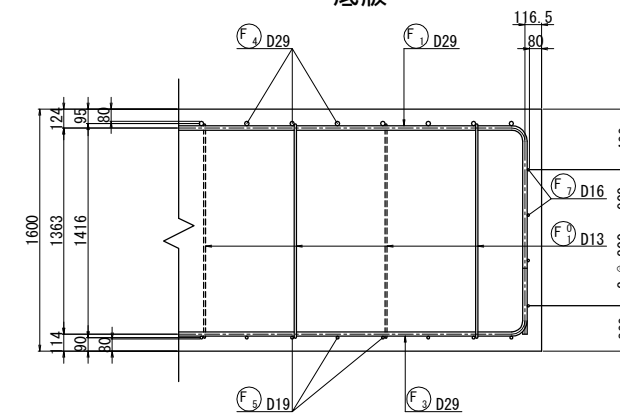
断面図 (5-5)



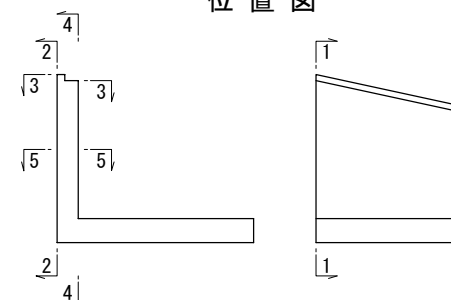
かぶり詳細図 S = 1:50



底板



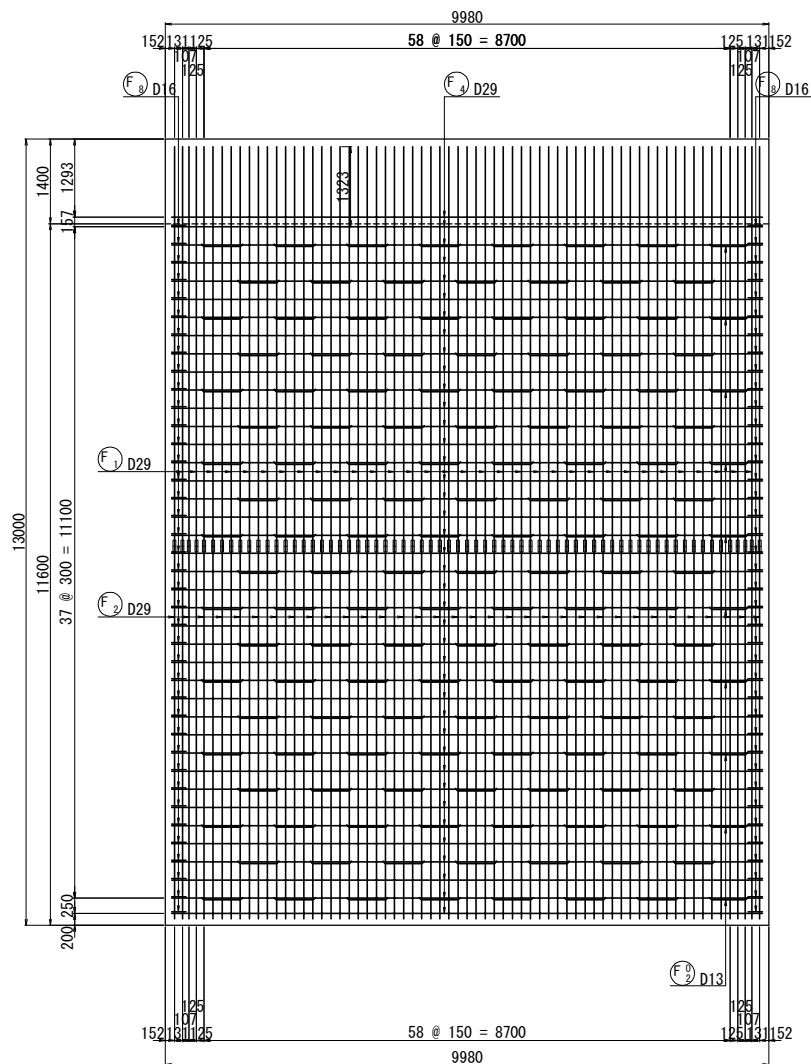
位置図



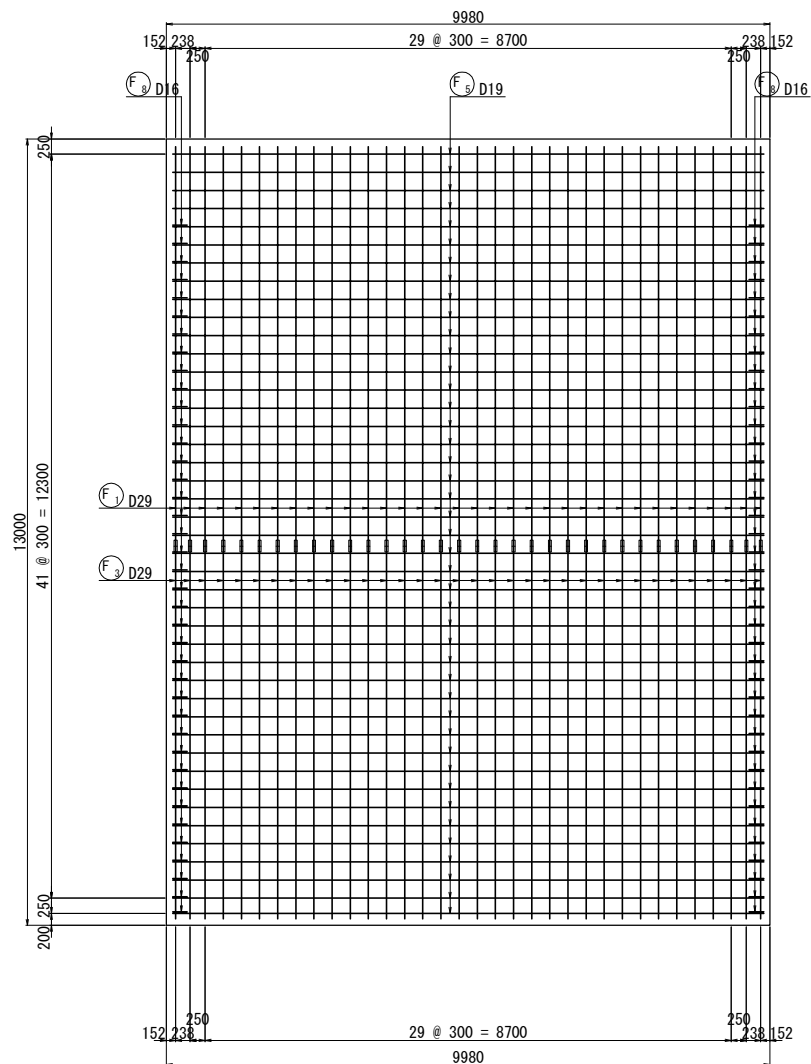
- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 2ブロック擁壁配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

底版上面図 (6-6)



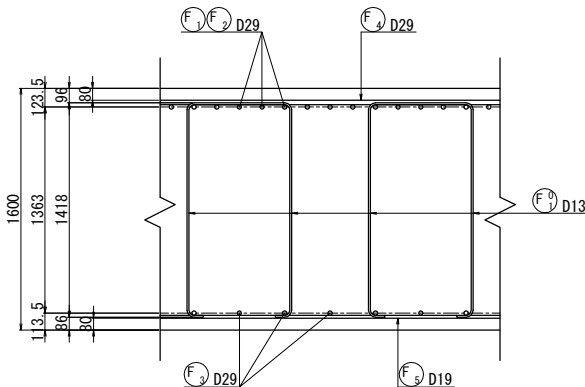
底版下面図 (7-7)



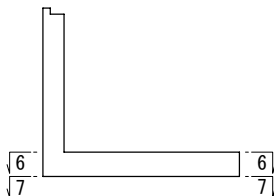
※表示のないスターラップは、Fo1とする。

かぶり詳細図 S = 1:50

底版(直角方向)

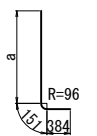


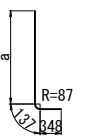
位置図





- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
 2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
 3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

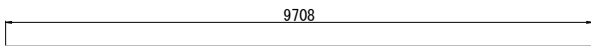
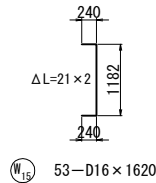
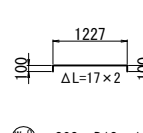
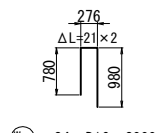
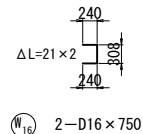
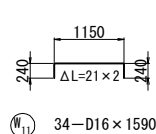
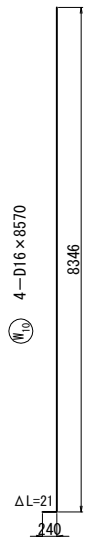
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 2ブロック擁壁配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

				
① 67—D32×9870（平均長）				
記号	径	本数	a	L
W1- 1	D32	1	10377	10912
W1- 2	D32	1	10355	10890
W1- 3	D32	1	10332	10867
W1- 4	D32	1	10305	10840
W1- 5	D32	1	10278	10813
W1- 6	D32	1	10245	10780
W1- 7	D32	1	10213	10748
W1- 8	D32	1	10180	10715
W1- 9	D32	1	10148	10683
W1-10	D32	1	10115	10650
W1-11	D32	1	10082	10617
W1-12	D32	1	10050	10585
W1-13	D32	1	10017	10552
W1-14	D32	1	9985	10520
W1-15	D32	1	9952	10487
W1-16	D32	1	9919	10454
W1-17	D32	1	9887	10422
W1-18	D32	1	9854	10389
W1-19	D32	1	9822	10357
W1-20	D32	1	9789	10324
W1-21	D32	1	9756	10291
W1-22	D32	1	9724	10259
W1-23	D32	1	9691	10226
W1-24	D32	1	9659	10194
W1-25	D32	1	9626	10161
W1-26	D32	1	9593	10128
W1-27	D32	1	9561	10096
W1-28	D32	1	9528	10063
W1-29	D32	1	9496	10031
W1-30	D32	1	9463	9998
W1-31	D32	1	9430	9965
W1-32	D32	1	9398	9933
W1-33	D32	1	9365	9900
W1-34	D32	1	9333	9868
W1-35	D32	1	9300	9835
W1-36	D32	1	9267	9802
W1-37	D32	1	9235	9770
W1-38	D32	1	9202	9737
W1-39	D32	1	9170	9705
W1-40	D32	1	9137	9672
W1-41	D32	1	9104	9639
W1-42	D32	1	9072	9607
W1-43	D32	1	9039	9574
W1-44	D32	1	9007	9542
W1-45	D32	1	8974	9509
W1-46	D32	1	8941	9476
W1-47	D32	1	8909	9444
W1-48	D32	1	8876	9411
W1-49	D32	1	8844	9379
W1-50	D32	1	8811	9346
W1-51	D32	1	8778	9313
W1-52	D32	1	8746	9281
W1-53	D32	1	8713	9248
W1-54	D32	1	8681	9216
W1-55	D32	1	8648	9183
W1-56	D32	1	8615	9150
W1-57	D32	1	8583	9118
W1-58	D32	1	8550	9085
W1-59	D32	1	8518	9053
W1-60	D32	1	8485	9020
W1-61	D32	1	8452	8987
W1-62	D32	1	8420	8955
W1-63	D32	1	8387	8922
W1-64	D32	1	8367	8902
W1-65	D32	1	8333	8868
W1-66	D32	1	8310	8845
W1-67	D32	1	8288	8823
平均長	D32	67		9868

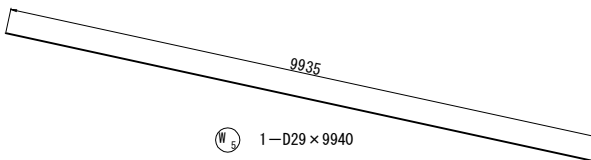
				
② 34—D29×9830（平均長）				
記号	径	本数	a	L
W2- 1	D29	1	10388	10873
W2- 2	D29	1	10343	10828
W2- 3	D29	1	10288	10773
W2- 4	D29	1	10223	10708
W2- 5	D29	1	10158	10643
W2- 6	D29	1	10093	10578
W2- 7	D29	1	10028	10513
W2- 8	D29	1	9962	10447
W2- 9	D29	1	9897	10382
W2-10	D29	1	9832	10317
W2-11	D29	1	9767	10252
W2-12	D29	1	9702	10187
W2-13	D29	1	9636	10121
W2-14	D29	1	9571	10056
W2-15	D29	1	9506	9991
W2-16	D29	1	9441	9926
W2-17	D29	1	9376	9861
W2-18	D29	1	9310	9795
W2-19	D29	1	9245	9730
W2-20	D29	1	9180	9665
W2-21	D29	1	9115	9600
W2-22	D29	1	9050	9535
W2-23	D29	1	8985	9470
W2-24	D29	1	8919	9404
W2-25	D29	1	8854	9339
W2-26	D29	1	8789	9274
W2-27	D29	1	8724	9209
W2-28	D29	1	8659	9144
W2-29	D29	1	8593	9078
W2-30	D29	1	8528	9013
W2-31	D29	1	8463	8948
W2-32	D29	1	8398	8883
W2-33	D29	1	8343	8828
W2-34	D29	1	8298	8783
平均長	D29	34		9828

				
④ 7—D29×4660（平均長）				
記号	径	本数	a	L
W4- 1	D29	1	913	913
W4- 2	D29	1	1833	1833
W4- 3	D29	1	3214	3214
W4- 4	D29	1	4594	4594
W4- 5	D29	1	5975	5975
W4- 6	D29	1	7355	7355
W4- 7	D29	1	8736	8736
平均長	D29	7		4660

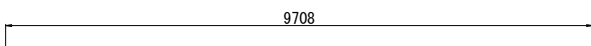
				
⑦ 7—D19×4660（平均長）				
記号	径	本数	a	L
W7- 1	D19	1	913	913
W7- 2	D19	1	1833	1833
W7- 3	D19	1	3214	3214
W7- 4	D19	1	4594	4594
W7- 5	D19	1	5975	5975
W7- 6	D19	1	7355	7355
W7- 7	D19	1	8736	8736
平均長	D19	7		4660



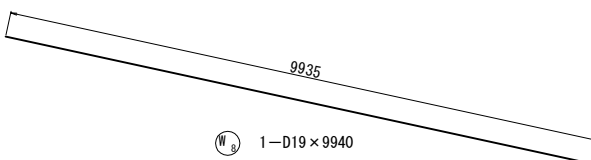
③ 23—D29×9710



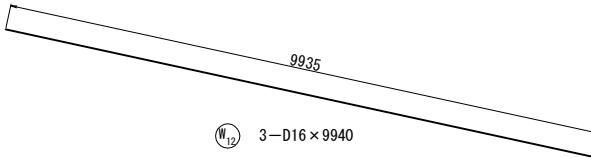
⑤ 1—D29×9940



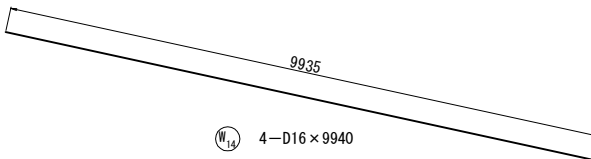
⑥ 23—D19×9710



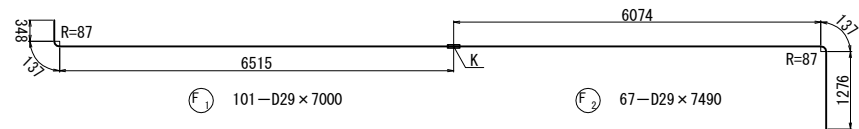
⑧ 1—D19×9940



⑩ 3—D16×9940

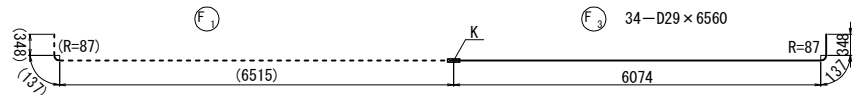


⑭ 4—D16×9940

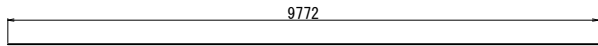


① 101—D29×7000

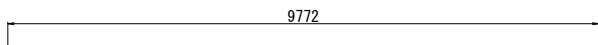
② 67—D29×7490



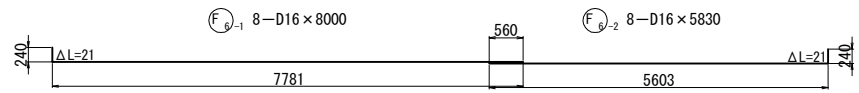
① 34—D29×6560



④ 40—D29×9780

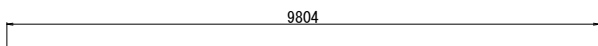


⑤ 40—D19×9780

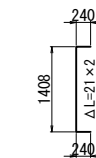


⑥-1 8—D16×8000

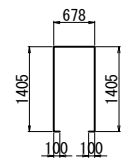
⑥-2 8—D16×5830



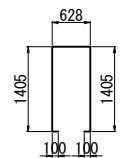
⑦ 9—D16×9810



⑧ 78—D16×1850



⑨ 133—D13×3620



⑩ 10—D13×3570

- 注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 2ブロック擁壁配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	本当り質量	質 量	摘 要
W1	D32	9870	67	6.23	61.5	4121	└ (平均長)
W2	D29	9830	34	5.04	49.5	1683	└ (平均長)
W3	D29	9710	23	5.04	48.9	1125	—
W4	D29	4660	7	5.04	23.5	165	— (平均長)
W5	D29	9940	1	5.04	50.1	50	└
W6	D19	9710	23	2.25	21.8	501	—
W7	D19	4660	7	2.25	10.5	74	— (平均長)
W8	D19	9940	1	2.25	22.4	22	└
W9	D16	10690	4	1.56	16.7	67	└
W10	D16	8570	4	1.56	13.4	54	└
W11	D16	1590	34	1.56	2.48	84	┐
W12	D16	9940	3	1.56	15.5	47	└
W13	D16	2000	34	1.56	3.12	106	┐
W14	D16	9940	4	1.56	15.5	62	└
W15	D16	1620	53	1.56	2.53	134	└
W16	D16	750	2	1.56	1.17	2	└
W01	D13	1400	208	0.995	1.39	289	┐
小計						8586 kg	
F1	D29	7000	101	5.04	35.3	3565	— (B)
F2	D29	7490	67	5.04	37.7	2526	┐ (67) (B)
F3	D29	6560	34	5.04	33.1	1125	┐ (34) (B)
F4	D29	9780	40	5.04	49.3	1972	—
F5	D19	9780	40	2.25	22.0	880	—
F6-1	D16	8000	8	1.56	12.5	100	—
F6-2	D16	5830	8	1.56	9.09	73	—
F7	D16	9810	9	1.56	15.3	138	—
F8	D16	1850	78	1.56	2.89	225	[
F01	D13	3620	133	0.995	3.60	479	┐
F02	D13	3570	10	0.995	3.55	36	┐
小計						11119 kg	(101)
鉄筋質量合計 (SD345)				鉄筋 (A)	鉄筋 (B)	合計	
				D32	4121	—	4121 kg
				D29	4995	7216 (101)	12211 kg
				D19	1477	—	1477 kg
				D16	1092	—	1092 kg
				D13	804	—	804 kg
合計				12489	7216 (101)		19705 kg

注) ()内は、機械継手箇所数を示す。

鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径 (mm)		質 量 (Kg)	合 計 (Kg)
A	D13	D13	804	804
	D16 └ D25	D16	1 092	2 569
		D19	1 477	
		D22	—	
		D25	—	
	D29 └ D32	D29	4 995	9 116
		D32	4 121	
	合 計			12 489
B	D16 └ D25	D16	—	—
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	
	D29 └ D32	D29	7 216	7 216
		D32	—	
	合 計			7 216
機械継手	箇所数	D16	—	—
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	
		D29	101	
		D32	—	
	合 計			101

鉄筋加工寸法表

曲げ加工時の減長

径	9 0 °			1 3 5 °		
	R	a	Δ L	R	a	Δ L
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

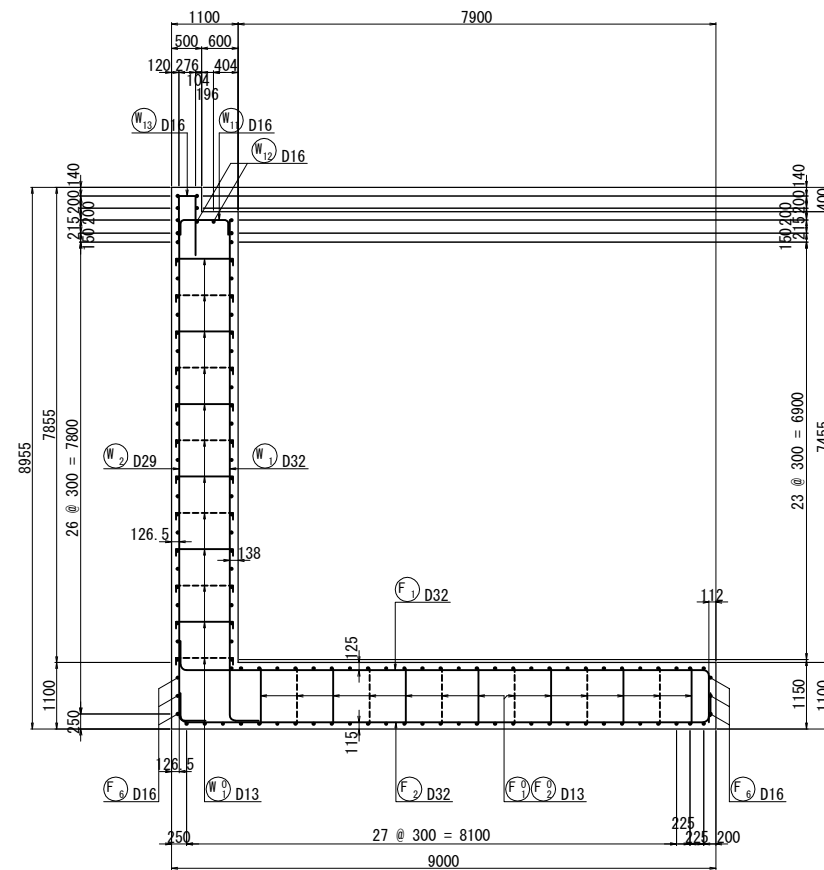
$\theta > 90^\circ$
 $R = 5 \phi + 1 / 2 \phi$

$\theta \leq 90^\circ$
 $R = 2.5 \phi + 1 / 2 \phi$

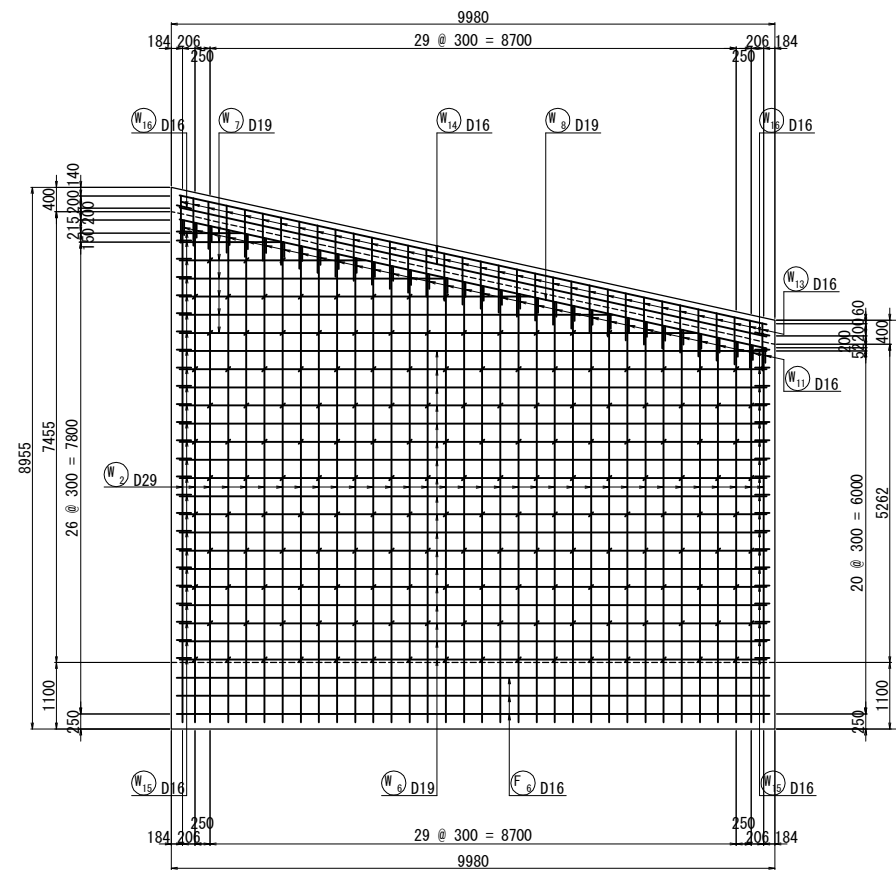
注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。
2. ※鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
3. 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線）		
	A 2 橋台側 L 2 ブロック擁壁配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

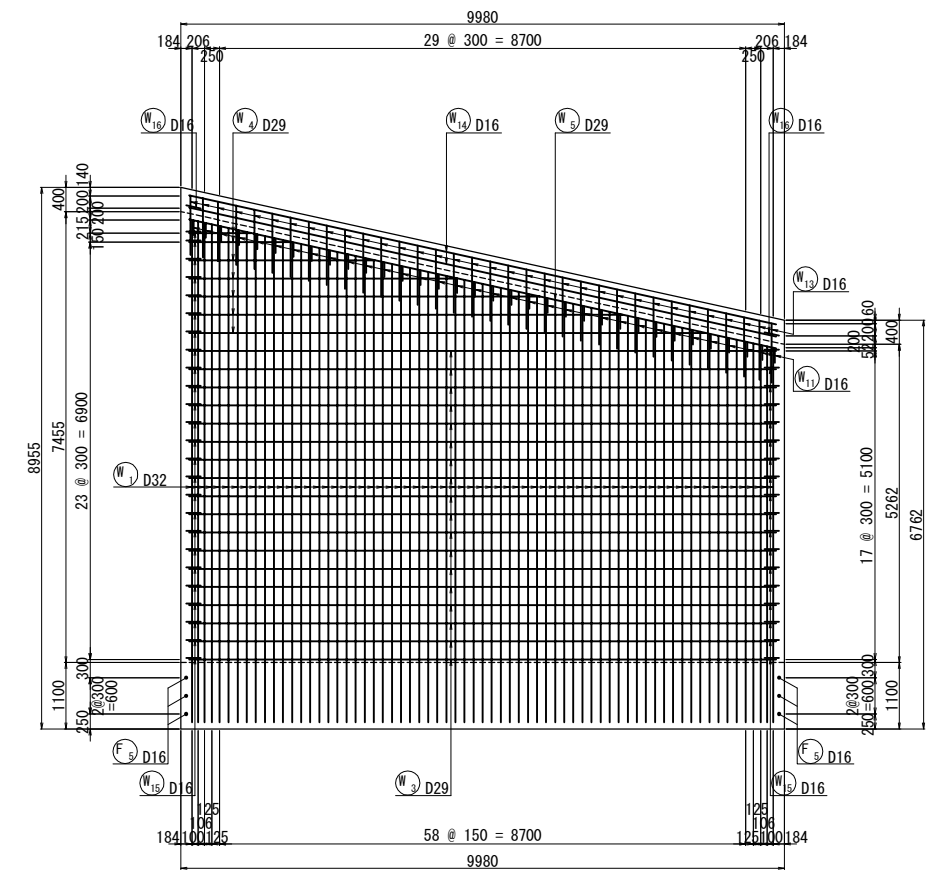
断面図(1-1)



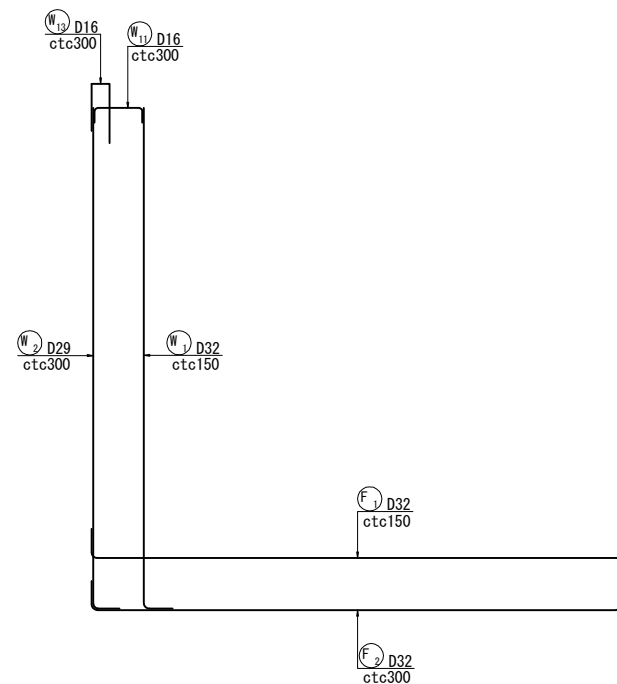
たて壁前面図(2-2)



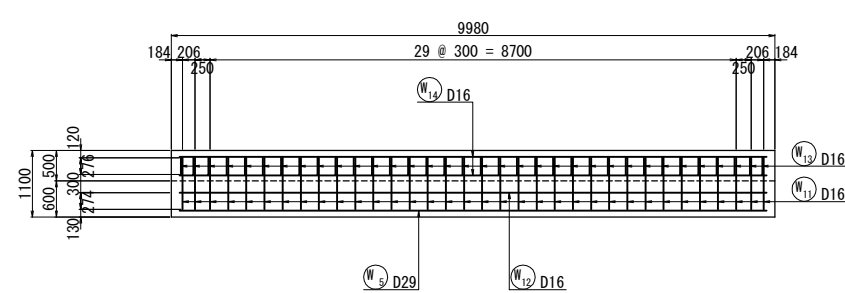
たて壁背面図(4-4)



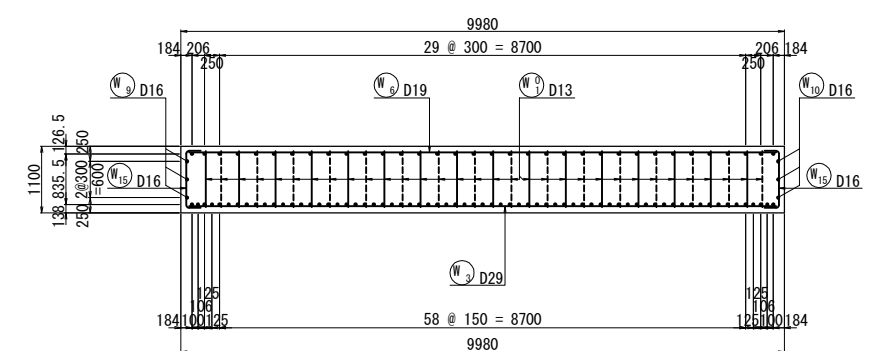
主鉄筋組立て図



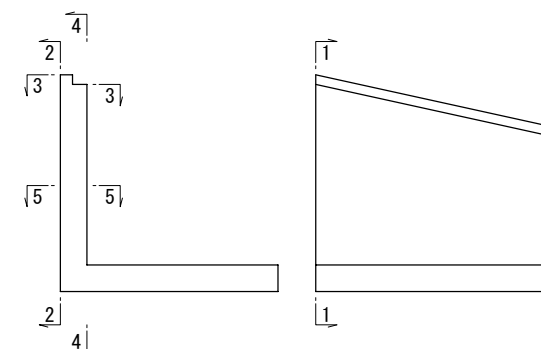
天端平面图(3-3)



断面図(5-5)



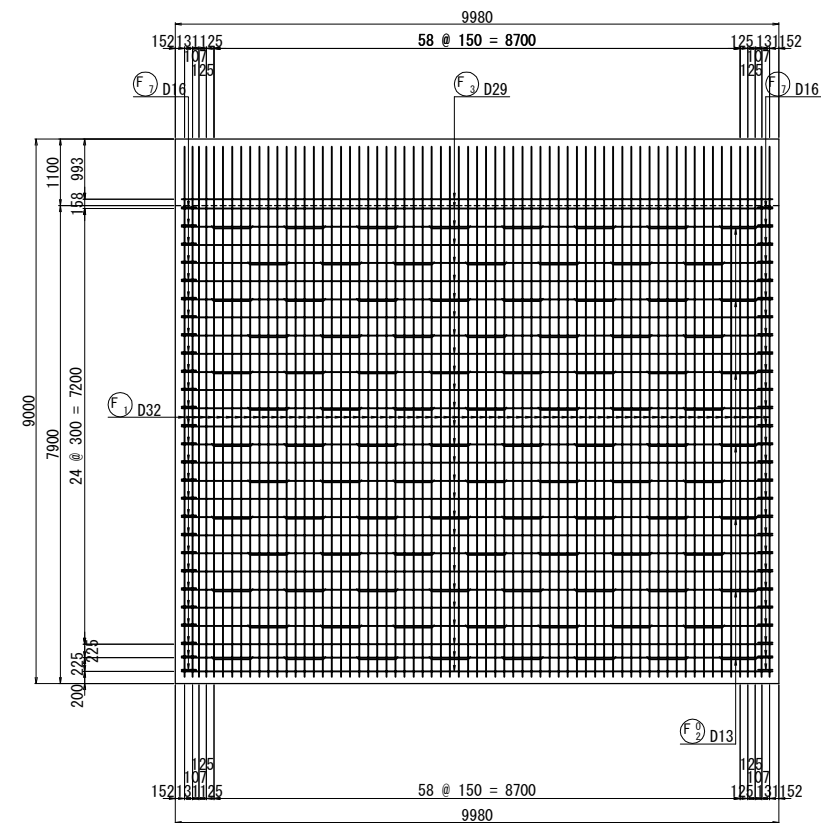
位置図



注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。

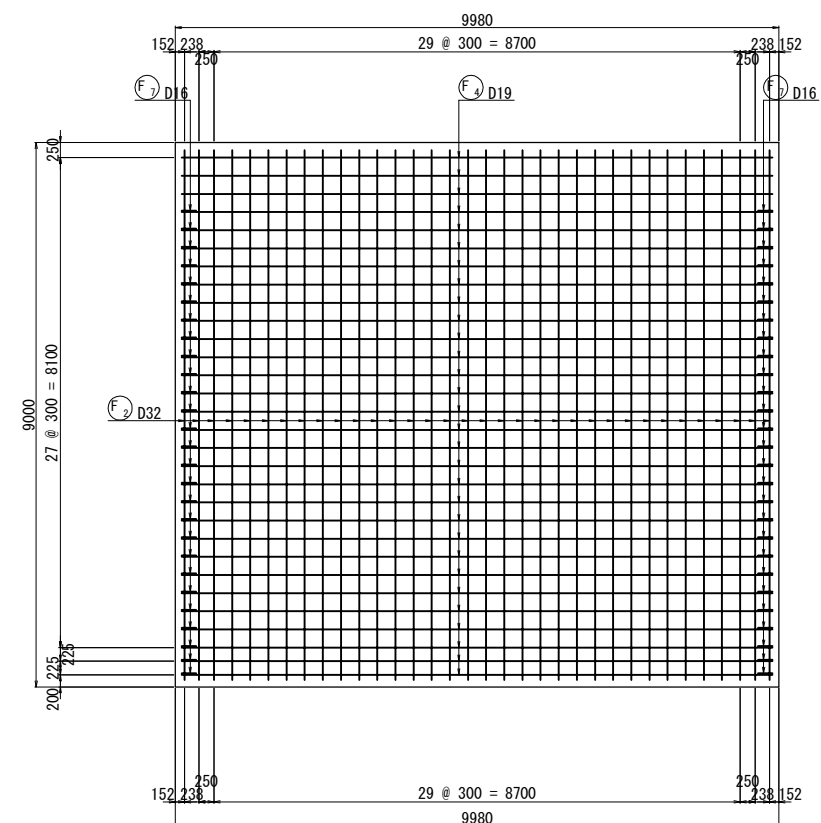
道東自動車道 下トマム地区下土工工事				
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L3橋脚擁壁設防図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

底版上面図(6-6)

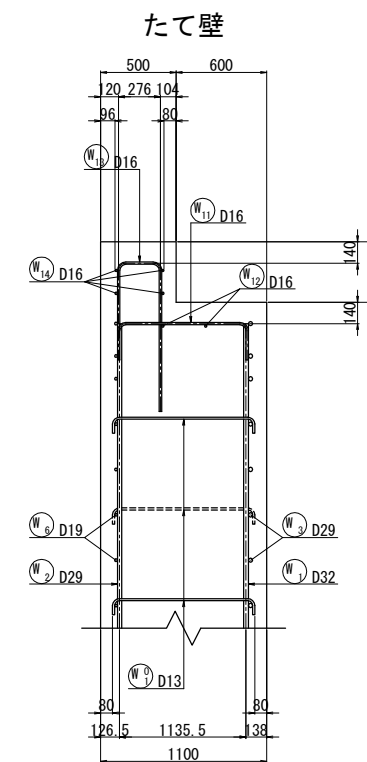


※表示のないスターラップは、Fo1とする。

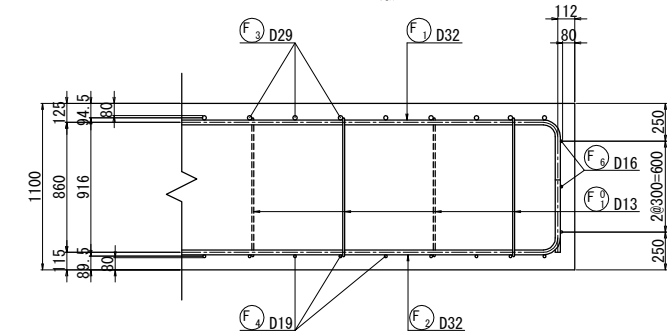
底版下面図(7-7)



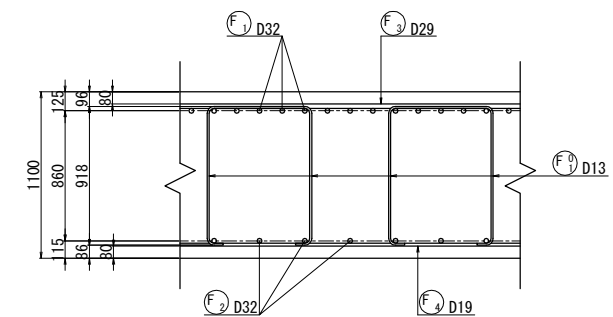
かぶり詳細図 S = 1:50



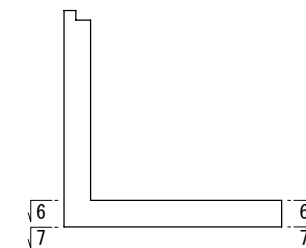
底版



底版(直角方向)



位置図



注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 3ブロック擁壁配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

道東自動車道			
下トマム地区下部土工			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A2橋台側L3ブロック牆壁設け図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
W1	D32	7690	67	6.23	47.9	3209	└ (平均長)
W2	D29	7650	34	5.04	38.6	1312	└ (平均長)
W3	D29	9710	18	5.04	48.9	880	—
W4	D29	4540	7	5.04	22.9	160	— (平均長)
W5	D29	9940	1	5.04	50.1	50	—
W6	D19	9710	18	2.25	21.8	392	—
W7	D19	4540	7	2.25	10.2	71	— (平均長)
W8	D19	9940	1	2.25	22.4	22	—
W9	D16	8520	3	1.56	13.3	40	└
W10	D16	6370	3	1.56	9.94	30	└
W11	D16	1290	34	1.56	2.01	68	┐
W12	D16	9940	2	1.56	15.5	31	┐
W13	D16	2000	34	1.56	3.12	106	┐
W14	D16	9940	4	1.56	15.5	62	—
W15	D16	1320	43	1.56	2.06	89	┘
W16	D16	750	2	1.56	1.17	2	┘
W01	D13	1100	167	0.995	1.09	182	┐
小計						6706 kg	
F1	D32	10020	67	6.23	62.4	4181	┐
F2	D32	9640	34	6.23	60.1	2043	┐
F3	D29	9780	28	5.04	49.3	1380	—
F4	D19	9780	30	2.25	22.0	660	—
F5	D16	9270	6	1.56	14.5	87	—
F6	D16	9810	6	1.56	15.3	92	—
F7	D16	1350	54	1.56	2.11	114	└
F01	D13	2620	91	0.995	2.61	238	┐
F02	D13	2570	7	0.995	2.56	18	┐
小計						8813 kg	
鉄筋質量合計 (SD345)				鉄筋 (A)			
				D32 9433 kg			
				D29 3782 kg			
				D19 1145 kg			
				D16 721 kg			
				D13 438 kg			
合計				15519 kg			

鉄筋質量表 (SD345)

種 別	径 (mm)		質 量 (Kg)	合 計 (Kg)
A	D13	D13	438	438
		D16	721	1 866
	D16 ┘ D25	D19	1 145	
		D22	—	
		D25	—	
	D29 ┘ D32	D29	3 782	13 215
		D32	9 433	
	合 計			15 519
B	D16 ┘ D25	D16	—	—
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	
	D29 ┘ D32	D29	—	—
		D32	—	
	合 計			—
ガス圧接	箇所数	D16	—	—
		D19	—	
		D22	—	
		D25	—	
		D29	—	
	合 計			—

鉄筋加工寸法表

曲げ加工時の減長

径	9 0 °			1 3 5 °		
	R	a	Δ L	R	a	Δ L
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

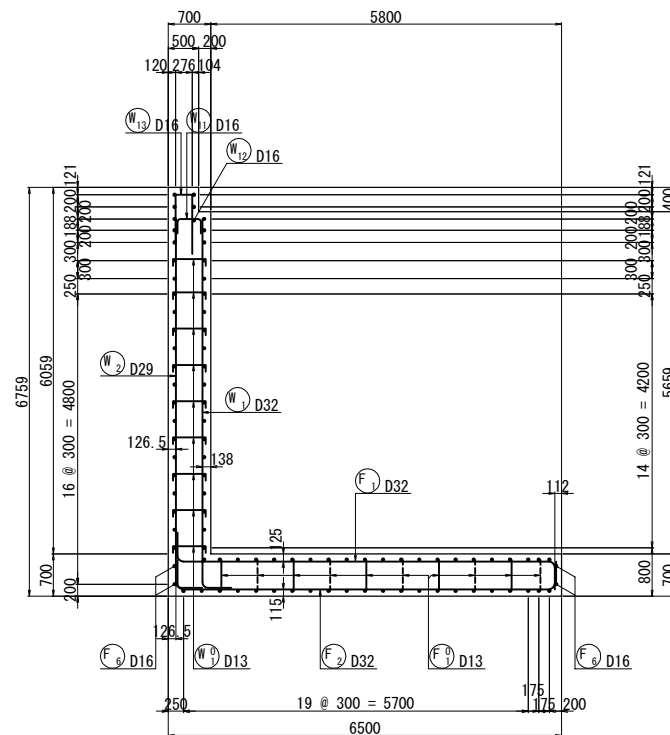
$\theta > 90^\circ$
 $R = 5 \phi + 1/2 \phi$

$\theta \leq 90^\circ$
 $R = 2.5 \phi + 1/2 \phi$

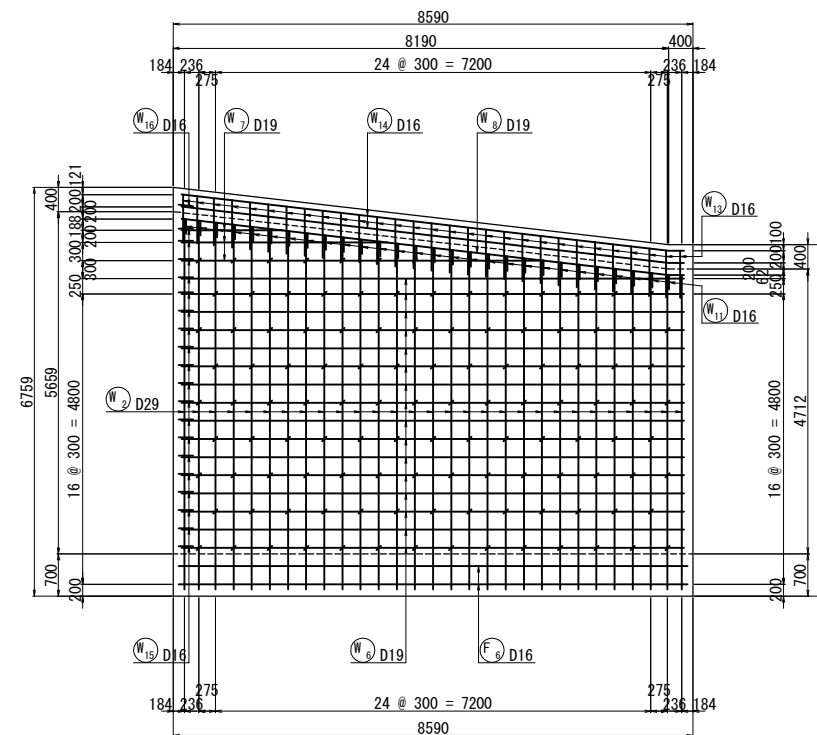
注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。

道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線）		
	A 2 橋台側 L 3 ブロック擁壁配筋図（その 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

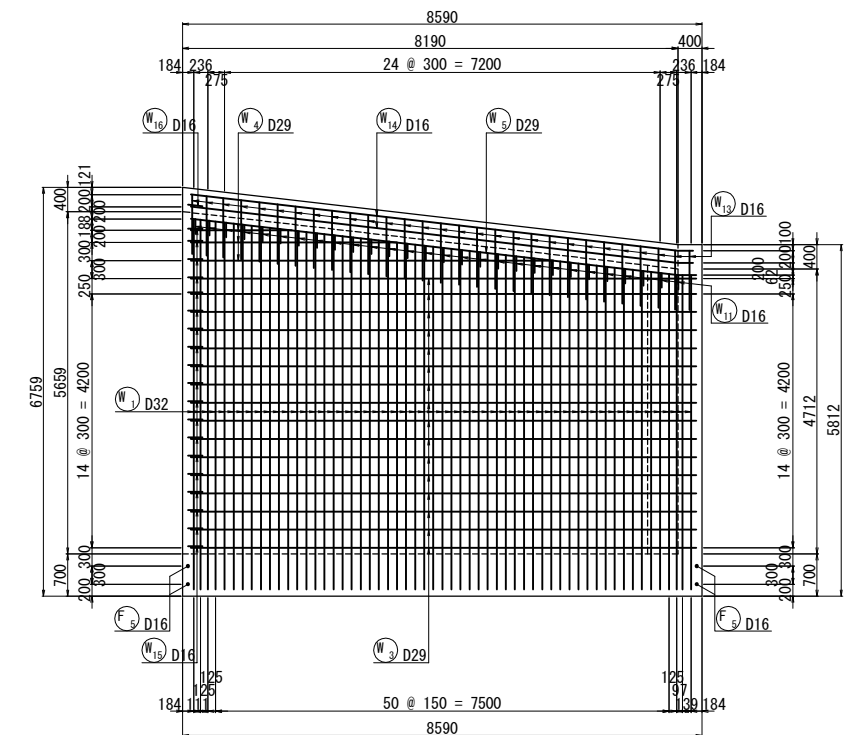
断面図(1-1)



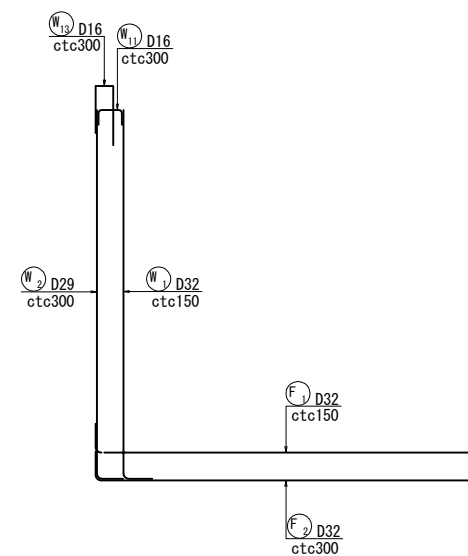
たて壁前面図(2-2)



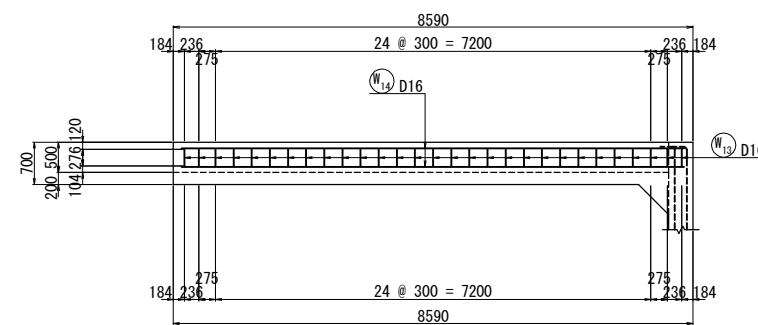
たて壁背面図(4-4)



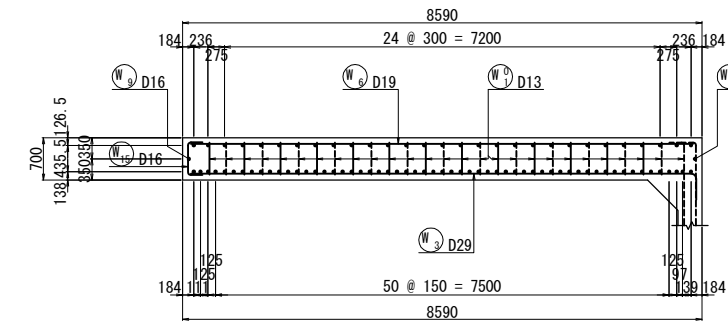
主鉄筋組立て図



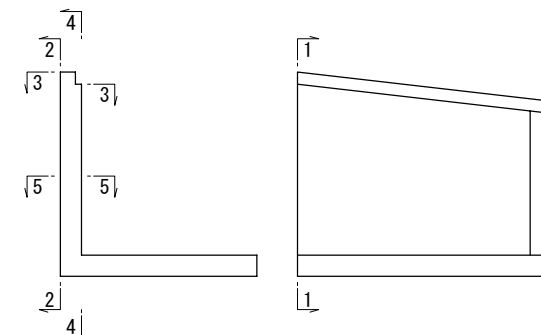
天端平面図(3-3)



断面図(5-5)

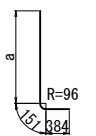


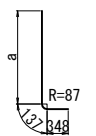
位置図





注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。

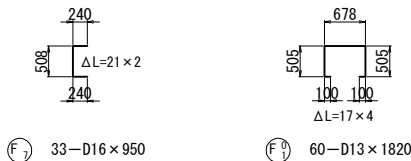
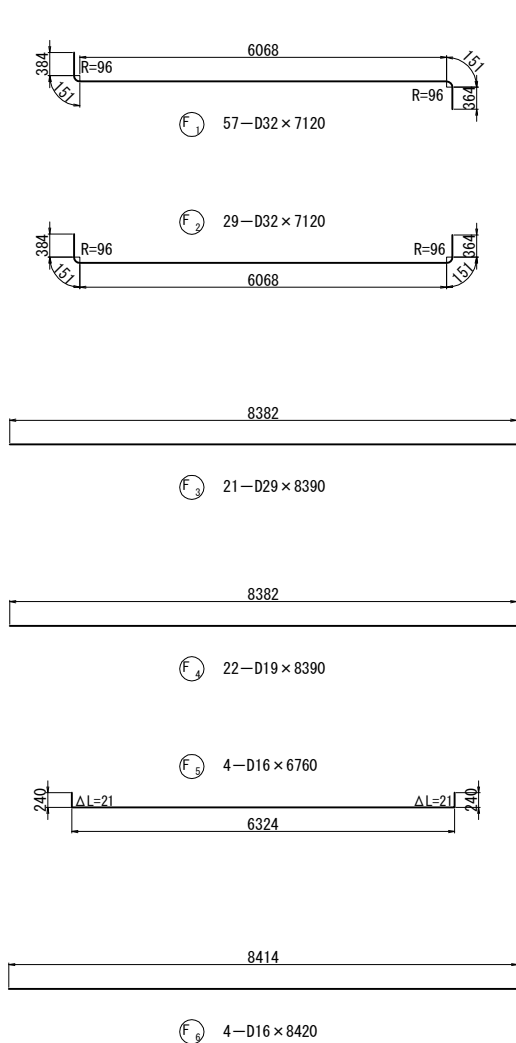
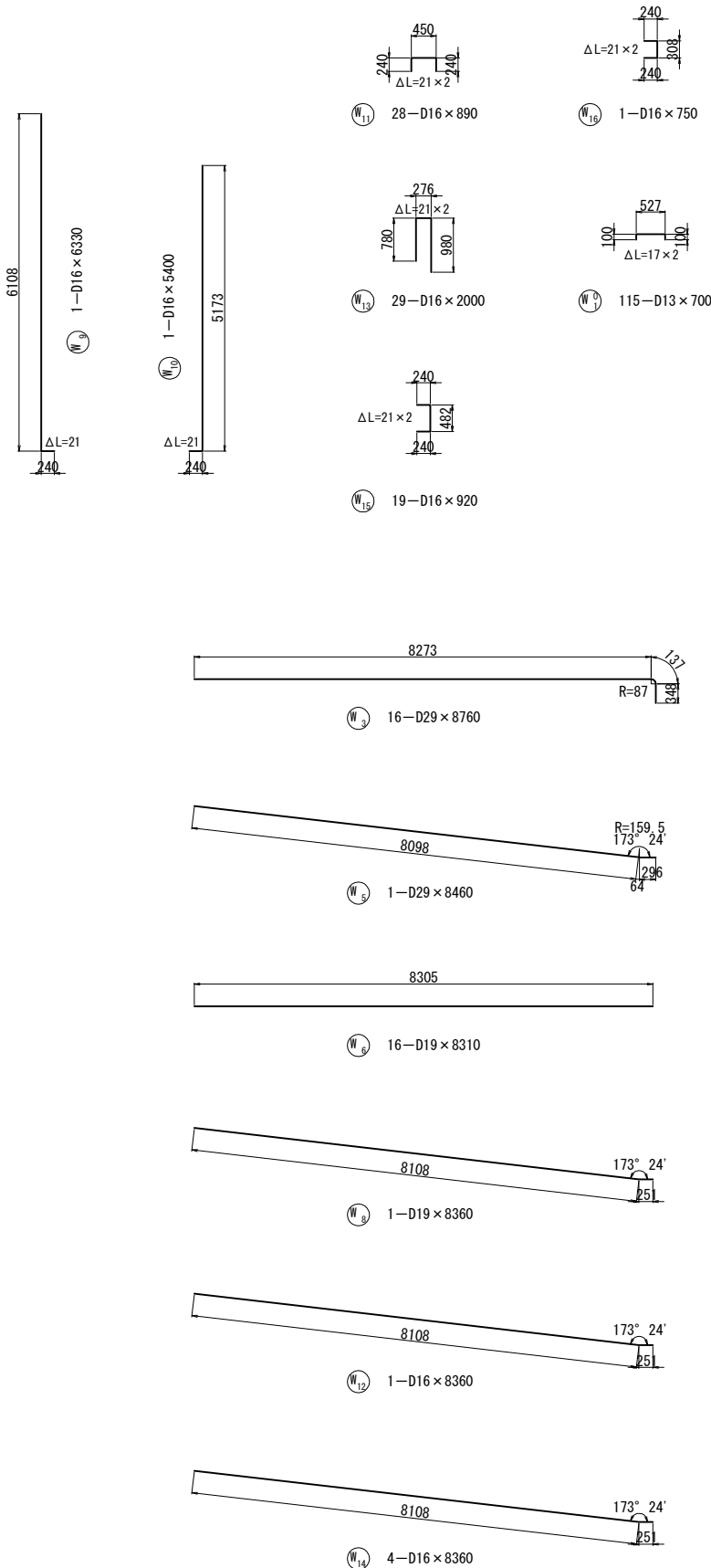
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 4ブロック擁壁配筋図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

				
記号	径	本数	a	L
W1- 1	D32	1	6027	6562
W1- 2	D32	1	6014	6549
W1- 3	D32	1	5999	6534
W1- 4	D32	1	5985	6520
W1- 5	D32	1	5967	6502
W1- 6	D32	1	5950	6485
W1- 7	D32	1	5933	6468
W1- 8	D32	1	5915	6450
W1- 9	D32	1	5898	6433
W1-10	D32	1	5881	6416
W1-11	D32	1	5863	6398
W1-12	D32	1	5846	6381
W1-13	D32	1	5829	6364
W1-14	D32	1	5811	6346
W1-15	D32	1	5794	6329
W1-16	D32	1	5777	6312
W1-17	D32	1	5759	6294
W1-18	D32	1	5742	6277
W1-19	D32	1	5725	6260
W1-20	D32	1	5707	6242
W1-21	D32	1	5690	6225
W1-22	D32	1	5673	6208
W1-23	D32	1	5655	6190
W1-24	D32	1	5638	6173
W1-25	D32	1	5621	6156
W1-26	D32	1	5603	6138
W1-27	D32	1	5586	6121
W1-28	D32	1	5569	6104
W1-29	D32	1	5551	6086
W1-30	D32	1	5534	6069
W1-31	D32	1	5517	6052
W1-32	D32	1	5499	6034
W1-33	D32	1	5482	6017
W1-34	D32	1	5465	6000
W1-35	D32	1	5447	5982
W1-36	D32	1	5430	5965
W1-37	D32	1	5413	5948
W1-38	D32	1	5395	5930
W1-39	D32	1	5378	5913
W1-40	D32	1	5361	5896
W1-41	D32	1	5343	5878
W1-42	D32	1	5326	5861
W1-43	D32	1	5309	5844
W1-44	D32	1	5291	5826
W1-45	D32	1	5274	5809
W1-46	D32	1	5256	5791
W1-47	D32	1	5239	5774
W1-48	D32	1	5222	5757
W1-49	D32	1	5204	5739
W1-50	D32	1	5187	5722
W1-51	D32	1	5170	5705
W1-52	D32	1	5152	5687
W1-53	D32	1	5135	5670
W1-54	D32	1	5118	5653
W1-55	D32	1	5103	5638
W1-56	D32	1	5101	5636
W1-57	D32	1	5101	5636
平均長	D32	57		6087

				
記号	径	本数	a	L
W2- 1	D29	1	6037	6522
W2- 2	D29	1	6010	6495
W2- 3	D29	1	5978	6463
W2- 4	D29	1	5943	6428
W2- 5	D29	1	5909	6394
W2- 6	D29	1	5874	6359
W2- 7	D29	1	5839	6324
W2- 8	D29	1	5805	6290
W2- 9	D29	1	5770	6255
W2-10	D29	1	5735	6220
W2-11	D29	1	5701	6186
W2-12	D29	1	5666	6151
W2-13	D29	1	5631	6116
W2-14	D29	1	5596	6081
W2-15	D29	1	5562	6047
W2-16	D29	1	5527	6012
W2-17	D29	1	5492	5977
W2-18	D29	1	5458	5943
W2-19	D29	1	5423	5908
W2-20	D29	1	5388	5873
W2-21	D29	1	5354	5839
W2-22	D29	1	5319	5804
W2-23	D29	1	5284	5769
W2-24	D29	1	5250	5735
W2-25	D29	1	5215	5700
W2-26	D29	1	5180	5665
W2-27	D29	1	5146	5631
W2-28	D29	1	5114	5599
W2-29	D29	1	5111	5596
平均長	D29	29		6048

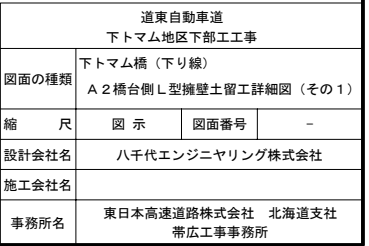
				
記号	径	本数	a	L
W4-1	D29	1	1670	1670
W4-2	D29	1	3400	3400
W4-3	D29	1	5995	6000
平均長	D29	3		3688

				
記号	径	本数	a	L
W7-1	D19	1	1670	1670
W7-2	D19	1	3400	3400
W7-3	D19	1	5995	5995
平均長	D19	3		3688

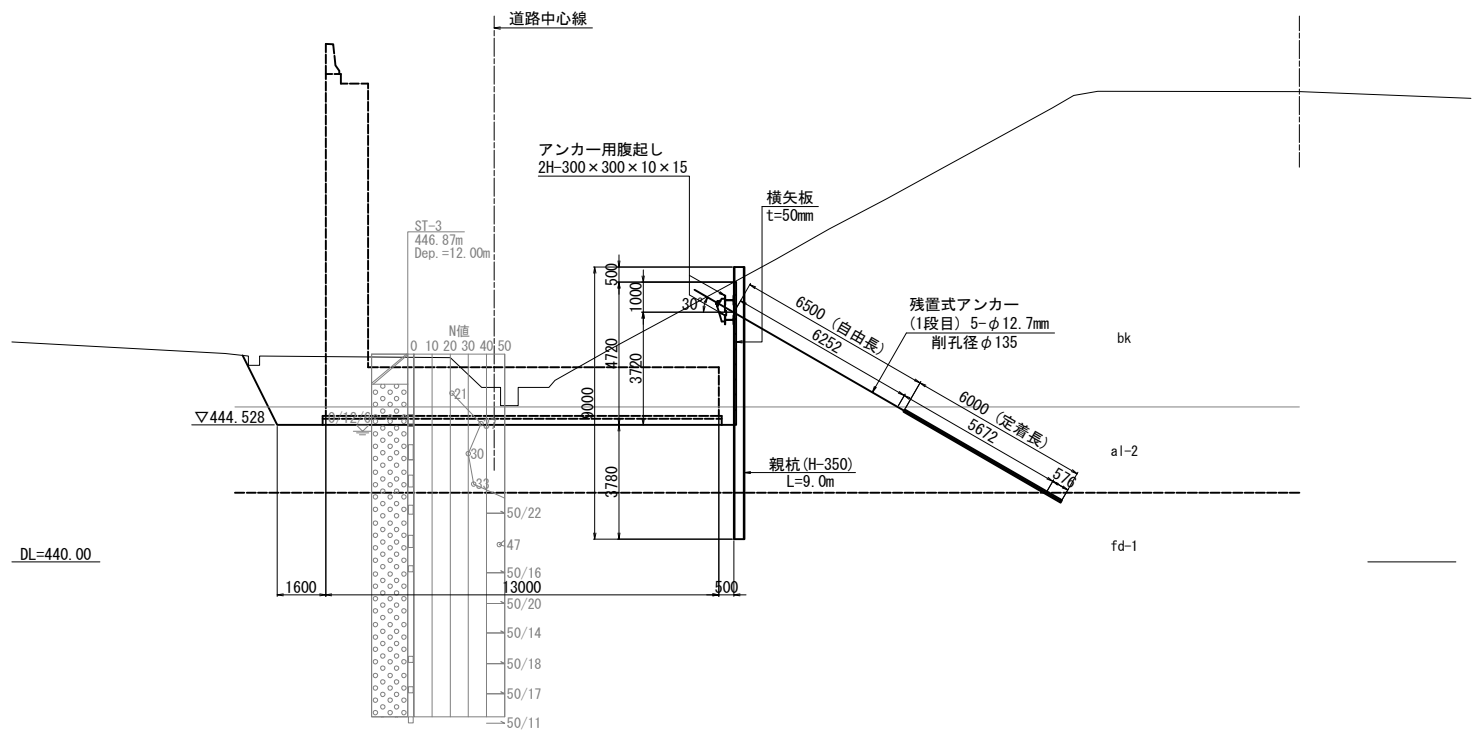


注記)
1. 使用鉄筋はすべてSD345とする。

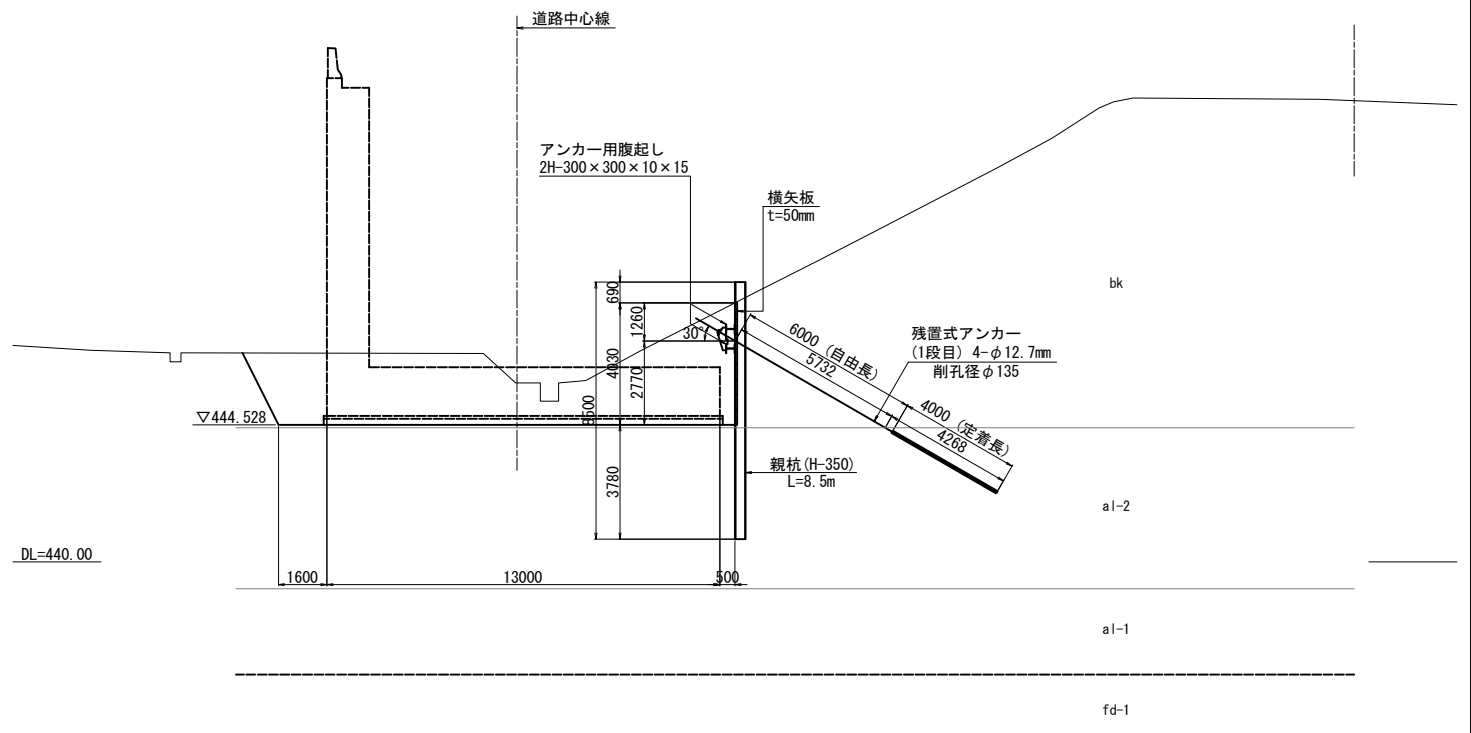
道東自動車道			
下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2橋台側L 4ブロック擁壁配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



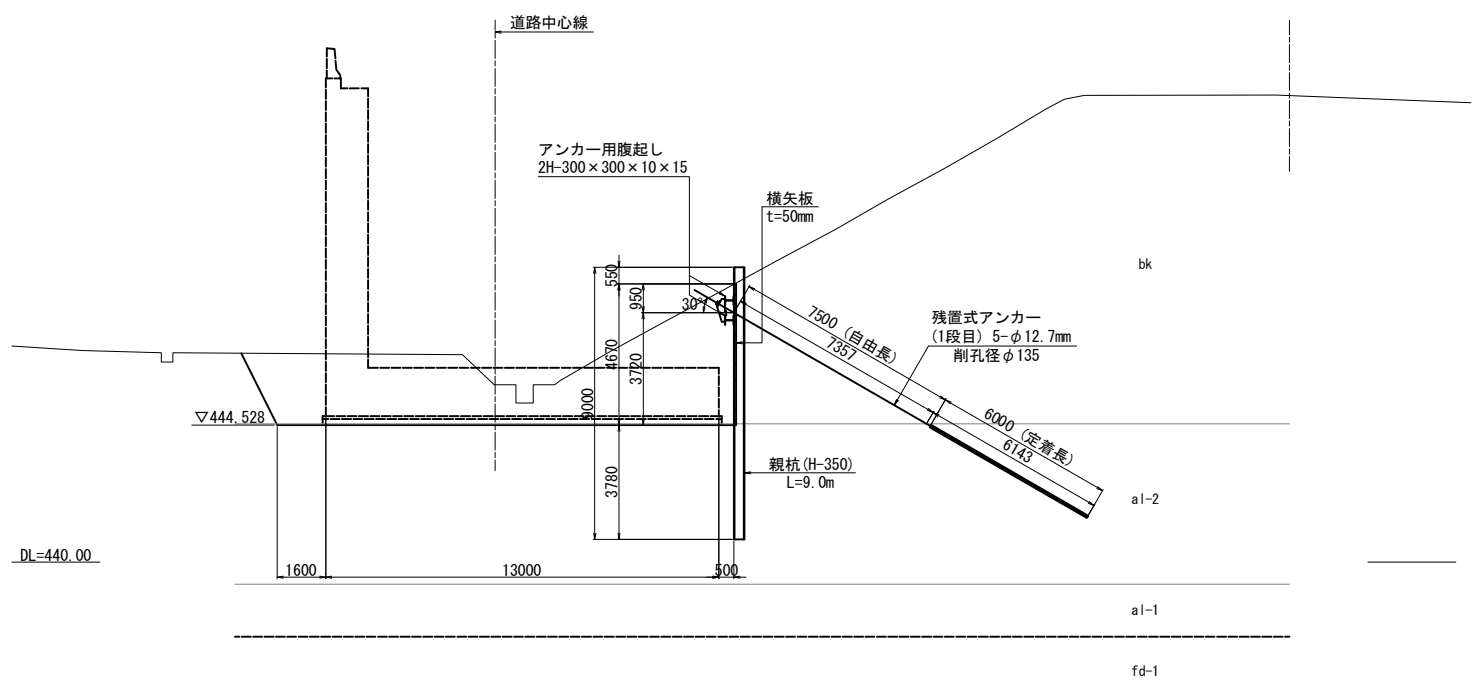
断面図(3-3)



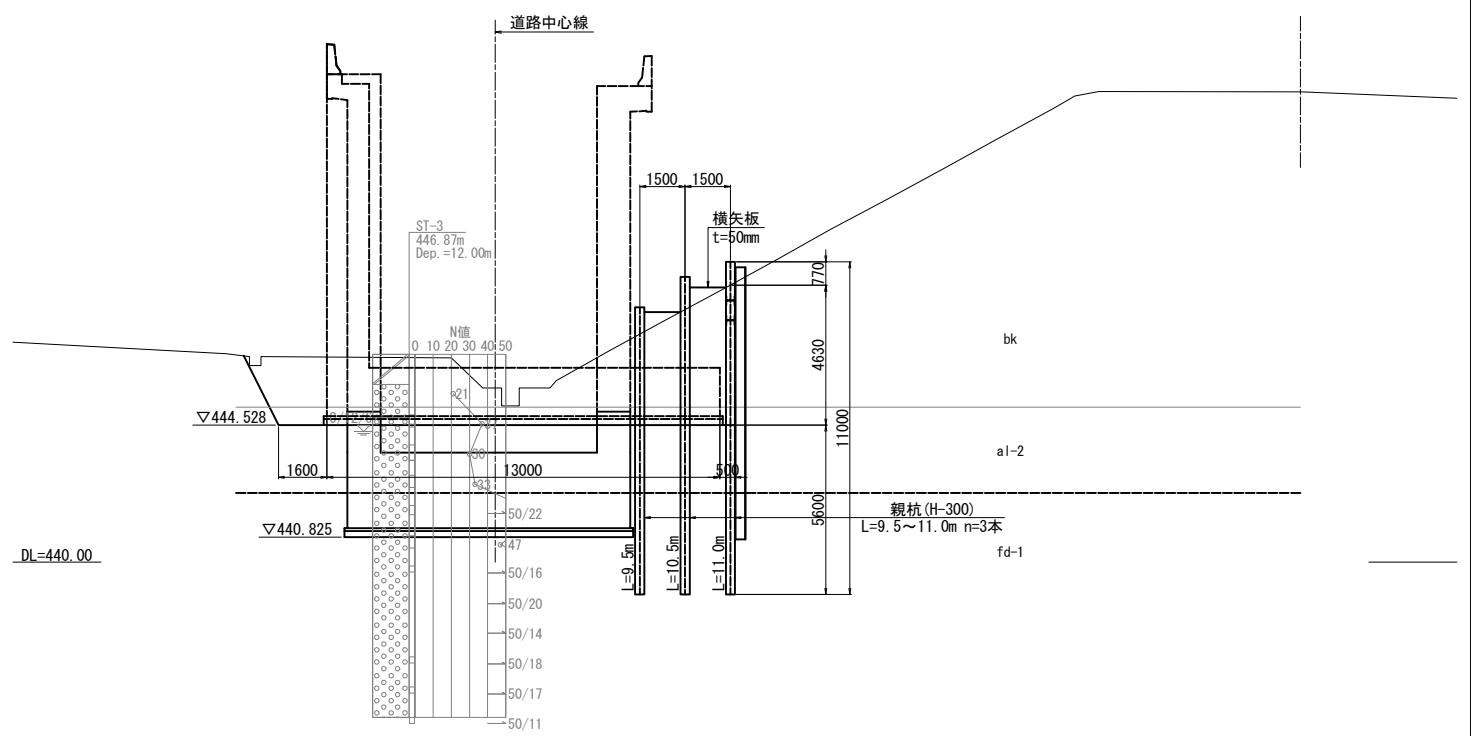
断面図(5-5)



断面図(4-4)



断面図(6-6)



断面図(3-3)(4-4) 部材リスト

親杭	H-350x350x12x19	
腹起	2H-300x300x10x15	1段目
グラウンドアンカー	PC鋼より線 φ12.7mm 5本、打設角度30度、設置間隔 @1.50m 削孔径 φ135、定着長 L=6.00m、設計アンカー力 582kN	1段目

断面図(5-5) 部材リスト

親杭	H-350x350x12x19	
腹起	2H-300x300x10x15	1段目
グラウンドアンカー	PC鋼より線 φ12.7mm 4本、打設角度30度、設置間隔 @1.50m 削孔径 φ135、定着長 L=4.00m、設計アンカー力 362kN	1段目

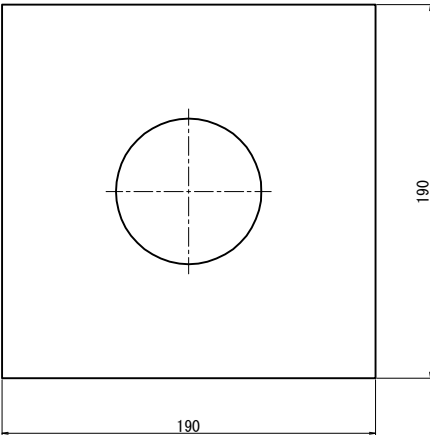
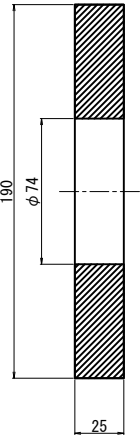
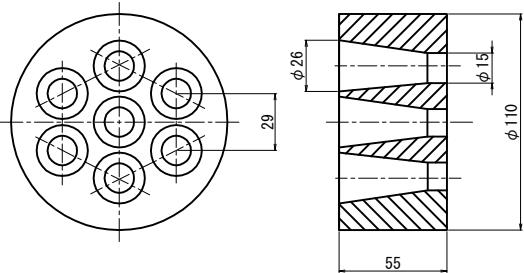
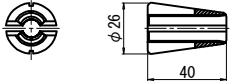
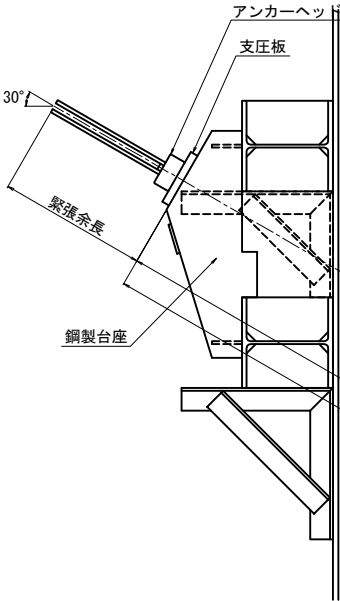
道東自動車道			
下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2橋台側L型擁壁土留工詳細図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

下トマム橋（下り線）A 2 橋台側 L 型擁壁土留工詳細図（その 4） S = 1:250
（ 残置式アンカー参考図 5×φ12.7mm ）

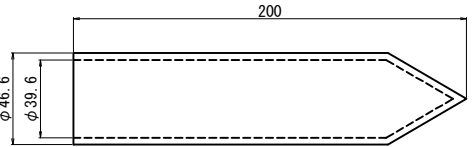
くさび S=1:3

アンカーヘッド (E5-7) S=1:3

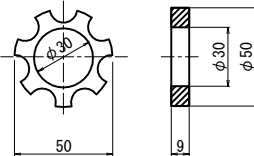
支圧板 (E5-7) S=1:3



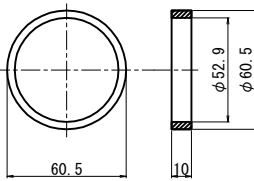
パイロットキャップ 2型 S=1:3
φ46.6/39.6×200



スペーサー 1型 S=1:3
φ50×9



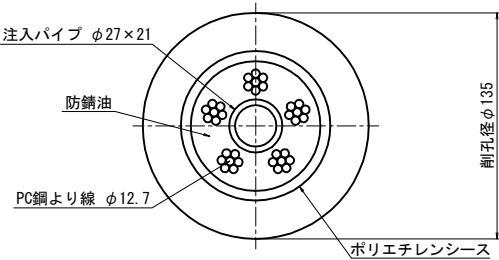
スチールリング 2型 S=1:3
φ60.5×10



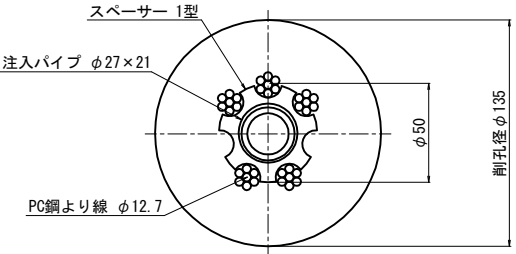
ポリエチレンシース径

外 径	内 径
76	66

A-A断面図 S=1:3



B-B断面図 S=1:3



道東自動車道 下トマム地区下部工工事			
図面の種類	下トマム橋（下り線） A 2 橋台側 L 型擁壁土留工詳細図（その 4）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

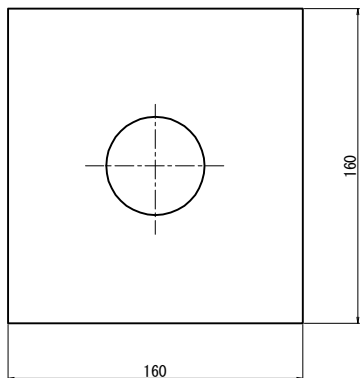
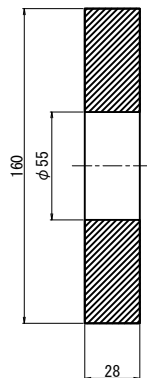
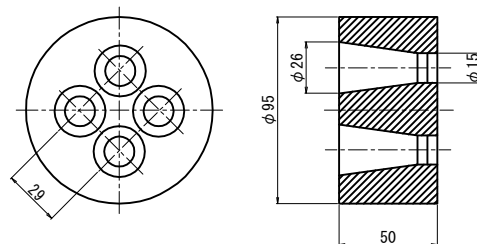
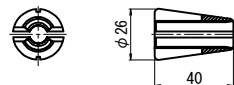
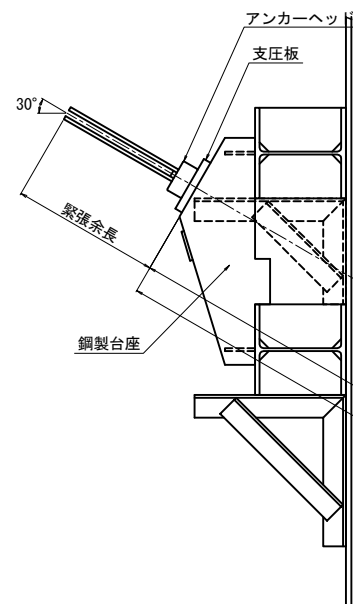
下トナム橋（下り線）A 2 橋台側 L 型擁壁土留工詳細図（その 5） S = 1:250
（ 残置式アンカー参考図 4×φ12.7mm ）

124 / 124

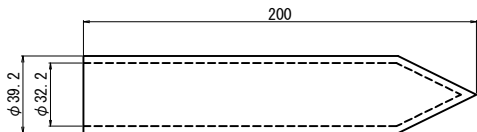
くさび S=1:3

アンカーヘッド (E5-4) S=1:3

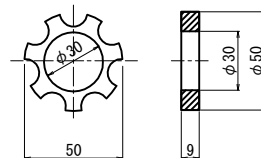
支圧板 (E5-4N) S=1:3



パイロットキャップ 1型 S=1:3
φ39.2/32.2×200



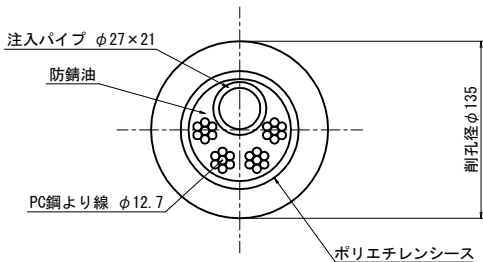
スペーサー 1型 S=1:3
φ50×9



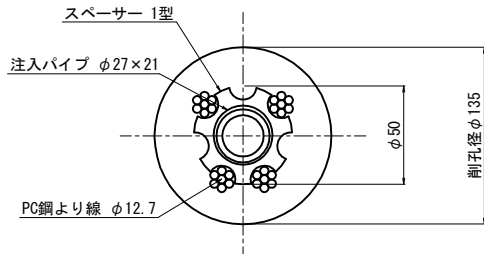
ポリエチレンシース径

外 径	内 径
60	52

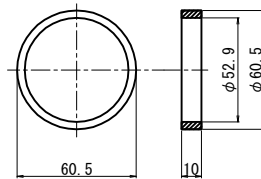
A-A断面図 S=1:3



B-B断面図 S=1:3



スチールリング 2型 S=1:3
φ60.5×10



道東自動車道 下トナム地区下部工工事			
図面の種類	下トナム橋（下り線） A 2 橋台側 L 型擁壁土留工詳細図（その 5）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	八千代エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		